

学生の確保の見通し等を記載した書類（目次）

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
(1) 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析	2
(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析	2
(3) 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等	3
① 設置の趣旨・目的	
② 教育内容	
③ 定員設定の理由	
④ 入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠	
(4) 学生確保の見通し	8
① 学生確保の見通しの調査結果	
② 新設学部等の分野の動向	
③ 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等	
④ 競合校の状況	
⑤ 既設学部等の学生確保の状況	
⑥ 女子学生割合について	
(5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	11
① 学外試験会場の設置	
② 高大連携や入試広報の強化	
③ 体系的・継続的なニーズ調査の実施	
④ 次世代科学者の育成（ジュニアドクター育成塾）	
2. 人材需要の動向等社会の要請	12
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	12
(2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものである ことの客観的な根拠	13

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

山梨大学（以下「本学」という。）は、クリーンエネルギー（水素・燃料電池、太陽エネルギー変換等）、発生工学、先端脳科学、流域環境科学などの分野に強みを有しているほか、ワイン科学、クリスタル科学などの地域性や特色のある分野を有している。このうち、クリーンエネルギー、流域環境科学、クリスタル科学の各分野が今回設置する工学部工学科に関係する分野である。特にクリーンエネルギー分野については、脱炭素やGX（グリーントランスフォーメーション）など、今後、社会的な重要度が更に増していくことが見込まれる分野であるが、本学においては、同分野の教育は大学院が中心であり、学部段階では工学部応用化学科における教育の一部に留まっている。また、工学部関連では、これ以外にもデジタル技術を活用したスマート農業や医学部との連携による医療機器開発などの分野において、大学院を中心に教育研究を推進し実績を積み重ねているところであり、将来的な学部教育への展開も見据えている。

他方、近年、18歳人口の減少（少子化）や教育の内部質保証の重要性が増していることなどを背景として全国的に大学間連携が進んでおり、本学においても、他に先んじて令和元年5月に山梨県立大学と（山梨県を含む3者間の）連携協定を締結し、同年12月に一般社団法人「大学アライアンスやまなし」を設立した。同法人が令和3年3月に全国初となる「大学等連携推進法人」の認定を受けたことから、令和3年度から教学上の特例措置を活用し教養教育科目を中心に連携開設科目を開講している。これらの取組が評価され、令和4年度には地域活性化人材育成事業（SPARC）に採択されるなど、改革を推進している。これ以外にも、令和2年3月に明治大学と包括的連携協定を締結し、主に大学院において学生・教員の交流（単位互換、プロジェクトへの参加等）を行っているほか、令和4年6月には千葉工業大学と包括的連携協定を締結し、教育研究の連携を通じ学生の学びの場を広げるなど、様々な取組を進めている。

このように様々な教育改革等に取り組んでいるものの、工学部においては、前回の改組（平成24年度）から10年余りが経過し、入試倍率の低下をはじめ、7学科が各々の専門毎に相応しいと考えられる教育を行っていることにより分野横断教育が十分でないこと、これに伴い転学科後に多くの専門科目を修得しなければならず留年の可能性が高まるなどの理由により転学科制度が形骸化していること、女子学生が少ないことなど、当初は予見できなかった様々な課題等が顕在化してきている。

(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析

本学の位置する山梨県は、製造業（特に機械電子産業）や観光業、農業が基幹産業である。また、近年は、県が主体となって水素・燃料電池関連産業の基幹産業化を進めており、全国トップクラスの集積地となっているほか、メディカル・デバイス・コリドー（医療機器回廊）構想の実現に向け、医療機器関連産業の集積にも力を入れている。これ以外にも貴金属・ジュエリー、ワイン、織物等の地場産業や、印章、和紙等の伝統的な産業も存在している。これらの多くは、本学が有する工学部や生命環境学部、医学部と密接に関連する産業であり、将来に亘って本学が人材養成の一翼を担っていくことが求められている。

また近年、中部横断自動車道（山梨―静岡間）の開通や将来のリニア中央新幹線開業、コロナ禍を受けた地方志向・地方回帰などにより、県内への企業進出や移住が進んでおり、令和3年及び令和4年の県内人口は、自然減が上回っていることにより総人口は減少しているものの、社会増（転入超過）に転じた。

他方、全国的には、コロナ禍を受けデジタル化（DX）が急速に進んでおり、デジタル人材や半導体関連人材の育成が喫緊の課題となっているほか、SDGs 推進や2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素やGX 関連人材の育成も急務となっている。

（3）新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

① 設置の趣旨・目的

上記（1）及び（2）の課題等については、一刻も早く対応する必要があり、特に本学工学部に係る課題については、学部の存続に関わる重大なものであることから、本学では、全理事・監事及び工学域（教員組織）関係教員で組織する「工学系の機能強化対策 WG」において、全学的な視点も踏まえ検討を行い、ニーズに合わせた柔軟なコース設定や募集人員変更、一括入試の実施等が可能な1学科複数コース制への改組（現在の7学科を廃止し、「工学部工学科」を設置）を現時点で最短の令和6年度に行うこととした。改組の主な内容・特色は以下のとおりである。

ア．分野間の垣根を低くし、柔軟な定員設定や教員配置、教育組織の整備が可能な教育体制を構築

⇒7学科を1学科複数コースに再編する。各コースの募集人員は実績等を基に設定する。

イ．工学共通基礎教育の強化

⇒1年次は大括りの「クラス」とし、工学共通基礎を学ぶカリキュラムを実施する。専門教育は2年次の「コース」から本格的に開始し、転コースのしやすさを向上させる。

ウ．分野横断教育の推進

⇒他コース科目やコース横断による実践的な科目（PBL 科目、インターンシップ等）の履修、他コース主担当教員の指導による卒業研究（卒業論文）を可能とする。

エ．デジタル人材育成機能の強化

⇒コンピュータ理工学コース（情報系クラス）を大幅に増員（現学科：55 人→1年次：75 人、2年次以降：90 人）する。

オ．水素・燃料電池やクリーンエネルギー等に関する学部教育の開始

⇒本学の強み・特色であるクリーンエネルギーや燃料電池実用化等に関する高い研究力とそのリソースを活用し、クリーンエネルギー化学コースを新設し、学部段階から大学院まで一貫した教育体制を整備する。

カ．専門分野を特定せず1年次は工学に係る知識・技術を幅広く学び、2年次進級時に専

門を選択できる体制の整備（レイトスペシャライゼーションの導入）
 ⇒入学時に専門分野を特定しない総合工学クラスを新設するとともに、専門分野のより深い学びを実現するため、大学院進学を前提とした特別教育プログラム（3年次以降に履修）を新設する。

キ. より質の高い入学者の確保、学科間の学力レベル差の解消
 ⇒一括入試を導入する。一般選抜（前期）は工学科全体で成績上位者から合格者を決定する。一般選抜（後期）は総合工学枠のみ募集する。

工学部学科組織の現状と改組後のイメージは以下のとおりである。

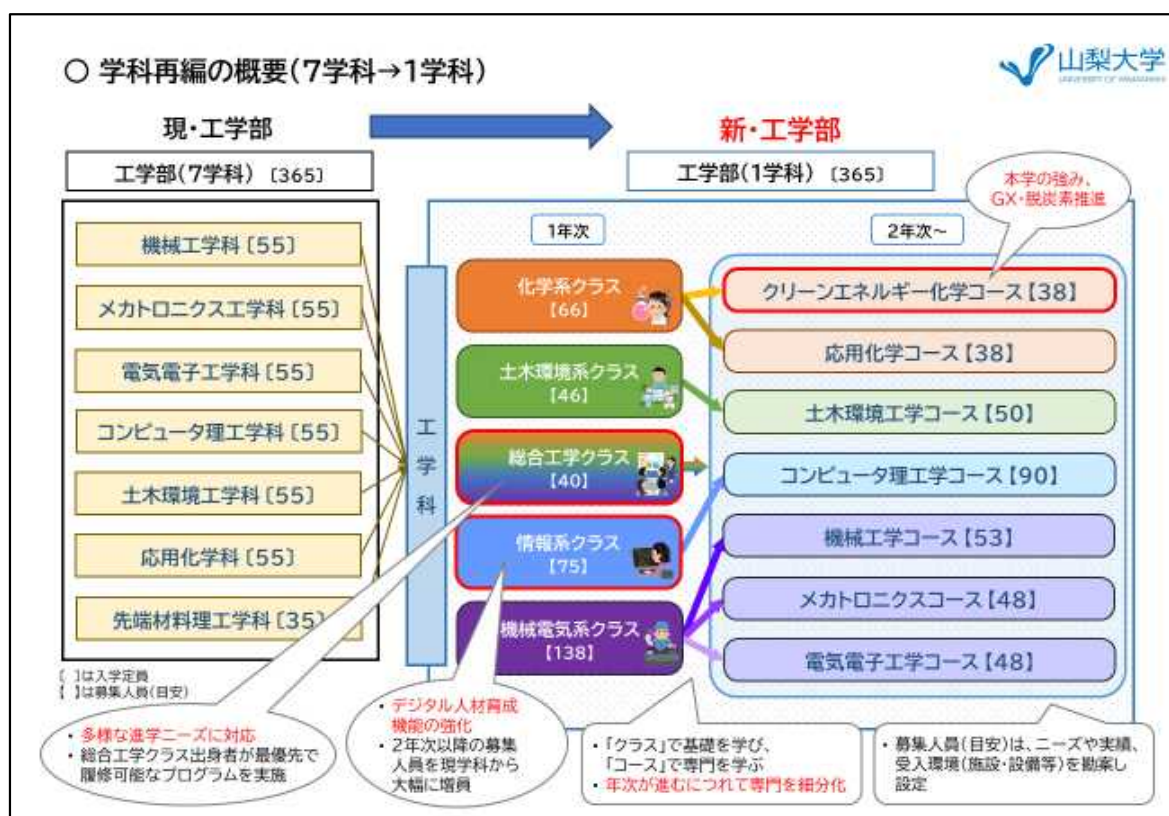


図1 工学部組織再編の概要

② 教育内容

ディプロマ・ポリシーを達成するために策定したカリキュラム・ポリシーを具現化するための体系的なカリキュラムを編成した。具体的には、全学共通教育科目と専門科目から編成される教育課程である。本改組に伴う教育課程編成では、学生の主体的な学びの支援強化、各工学専門分野においてDXを実現できる工学基礎知識の強化、さらには社会的課題の解決に貢献する新たな工学人材の輩出強化などを目的としている。

カリキュラム・ポリシーに基づき、設定した科目区分と設定理由等は以下のとおりである。

ア. 全学共通教育科目

人間形成科目部門、語学教育科目部門、情報・数理教育科目部門、教養教育科目部

門、自発的教養科目部門の5部門から構成される。「山梨大学の卒業生が備えるべき能力」のうち、「多様な知識の獲得」、「様々な学問分野の考え方」、「批評力」、「健康維持増進力」、「異文化理解と外国語リテラシ」などの基礎、及び汎用能力全般の基礎を涵養することを目的とする。

人間形成科目部門においては、「生活と健康」、「キャリアデザイン」等を設定し、自立した健康的な大学生活の実現とキャリア形成についての意識の向上を目指す。

語学教育科目部門においては、「英語」、「未習外国語（ドイツ語、フランス語など）」を設定し、国際社会で活躍できる能力の育成を目指す。

情報・数理教育科目部門においては、「データサイエンス入門」、「情報処理及び実習」等の科目を設定し、データを用いて有益な知見を引き出す手法である「データサイエンス」を活用できる能力の育成を目指す。

教養教育科目部門においては、人文科学分野、社会科学分野、自然科学分野、健康科学分野、教養発展科目の5分野等に多様な科目を設定し、各分野から少なくとも1科目以上を修得することで、知識を拡げるとともに、分野に特有な考え方、ものの見方を理解し、自ら考え、問題解決していく基礎能力の育成を目指す。

自発的教養科目部門においては、「自発的教養（ボランティア活動）」、「自発的教養（実践的研究活動）」等を設定し、自律的な学習能力、及び実践的な能力を涵養し、リベラルアーツの実践を後押しする能力の育成を目指す。

イ．専門科目

工学部基礎科目部門、工学応用科目部門、工学特殊科目部門、他学部科目、その他科目の5部門等から形成される。専門的知識・技術の全学習過程を通して、全学共通教育科目で獲得した能力を活用し、問題解決学習科目や実験実習科目及び卒業研究で具体的な問題に取り組み、教養力、汎用能力をさらに伸ばすことを目的とする。

工学部基礎科目部門においては、「微分積分学」、「線形代数学」、「基礎ゼミ」等を設定した工学部共通基礎科目、及び「社会と科学技術」、「基礎物理学」、「基礎化学」等を配置したクラス共通科目の2つのカテゴリーを設ける。このうち、工学部共通基礎科目においては、工学系技術者に必要な広い教養と自然科学の基礎知識や社会的倫理の育成を目指す。クラス共通科目においては、専門分野の近い複数のコースをクラスとして編成し、共同学習を通じて、当該専門分野に関わる魅力的な情報・知識を広範かつ効率的に共有することを目指す。具体的には、「自然科学実験（化学系クラス）」や「機械工学概論（機械電気系クラス）」等の科目をクラス共通科目として設けることで、従来の学科単位で閉塞した受講環境を打破し、専門分野の近い多様な学生が共に学ぶことを通じて、2年次以降の進路を真摯に考える機会としての活用も期待している。また2年次から専門分野（コース）を選択する総合工学クラスに所属する学生に対しては、他クラスが開講するすべてのクラス共通科目が受講できるようなカリキュラムとすることで、コース選択時に十分な進路検討を行い得る情報収集を支援する。

工学応用科目部門においては、各専門分野で必須となる基礎的及びより発展的な知識修得のための科目を厳選したうえで設定する。効率的な学修を促すために、これらの詳細については、ガイダンス等を通じて、基幹履修モデル及び発展履修モデルとし

て学生に説明する。また科目厳選により確保した学習時間を他コース科目の受講に有効活用することで、当該分野の専門知識のみならず他分野の専門知識も修得できる環境を整備する（1 学科体制のメリット）。

工学特殊科目部門においては、「インターンシップ」、「リーダー養成特別演習」、「PBL ものづくり実践ゼミ」等の PBL 科目をコース横断的に多数設けることで、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任の理解を促す。また「データエンジニアリング基礎」、「AI 基礎」、「品質管理概論」、「工学科研修」をコース横断的に設け、これからの工学技術者が備えるべき、特に各専門分野における DX 実現に資する能力の育成を目指す。さらに「工学科卒業研究」もコース横断的に設けることで、特定の学科と専門分野に閉じていた従来の卒業研究からの転換を促し、多様な学びの機会を提供する。

他学部科目においては、本学生命環境学部から提供される複数の専門科目等を履修できる枠組みを設け、多様な学びを支援する。他コース科目の履修に留まらず、学部を超えた他の専門分野の知識修得を通じて、自身が獲得した専門分野の知識や技術をより広い分野で活用できる能力の育成を目指す。

その他科目においては、山梨県立大学との連携による科目（文系科目を中心とした連携開設科目）等を配置することにより、科目選択の幅を広げている。これらの科目の学修を通じて、文理融合教育をはじめ、アントレプレナーシップや経済に関わる基礎知識の修得も可能となる。

③ 定員設定の理由

工学部工学科は、現在の工学部 7 学科を 1 学科に改組して設置するものであり、学科の下に設置するコースの構成についても、主要な分野は現在と大きく異なることから、志願者や入学者の属性については、現在とほぼ同様となると見込んでいる。このため、工学部工学科の入学定員については、現行の工学部において定員充足が問題なく行われており、就職先（出口）も十分確保されていること【資料 1、2】、また、入口側である高校関係者（山梨県内の高校生、保護者、高校教員）に実施したアンケート【資料 3】において改組後の 7 コース全てに十分な進学希望者が存在する【資料 4】ことなども勘案し、現在の工学部 7 学科の入学定員の合計と同数の 365 人に設定する。

また、工学部工学科に設置する各コースについては、前述のとおり現在の学科構成と大きく異なることから、これまでの入試実績（志願倍率、合格者平均点・最低点、第 2 志望入学者割合）【資料 5～7】、各分野へのニーズの状況、教員配置の状況、教室・設備等の教育環境、更には、2 年次進級時における総合工学クラスからのコース配属、他コースからの転コース受入などを総合的に勘案し、目安となる 1 年次の募集人員を設定する。具体的な人数は以下のとおりである。

クリーンエネルギー化学コース及び応用化学コースについては、進学を「強く希望する」、「希望する」と回答した高校生がクリーンエネルギー化学コースはそれぞれ 30 人と 52 人（計 82 人）、改組後の工学部を受験することとなる高校 2 年生に限るとそれぞれ 13 人と 24 人（計 37 人）、また、応用化学コースはそれぞれ 32 人と 56 人（計 88 人）、高校 2 年生に限るとそれぞれ 16 人と 25 人（計 41 人）となっており【資料 4】、十分なニーズが存在しているもの

の、受入体制（教員、施設・設備）等を考慮し、各 33 人とする。

コンピュータ理工学コースについては、進学を「強く希望する」、「希望する」と回答した高校生がいずれも 98 人（計 196 人）、高校 2 年生に限るといずれも 48 人（計 96 人）となる

【資料 4】など十分な入口ニーズが存在し、出口側からも高い期待が寄せられている（産業界へのアンケート（回答社数 100 社）において、同コースに「非常に期待する」、「期待する」と回答した企業がそれぞれ 65%、26%）【資料 4】ほか、国や産業界からもデジタル分野の人材育成機能の強化が求められていること、また、これまでの入試において、前身のコンピュータ理工学科の一般選抜（前期）の志願倍率や合格者平均点・最低点が学部で最も高く【資料 6】、多くの優秀な学生の確保が見込めることなどから、募集人員を同学科（入学定員 55 人）よりも増員し、教育の質を維持しつつ現在の施設・設備等で受入可能な上限である 75 人とする。

その他のコース（土木環境工学コース、機械工学コース、メカトロニクスコース、電気電子工学コース）については、前身の各学科の入学定員（55 人）からコンピュータ理工学コースの増員や後述の総合工学枠等への移行分（8 人程）を除いた 47 人を基準として、ニーズや入試実績等を勘案し設定する。具体的には以下のとおりであるが、設定にあたっては、受入体制（教員、施設・設備）等を考慮し、コース毎の募集人員に過度の差が生じることのないようにする。

土木環境工学コースについては、進学を「強く希望する」、「希望する」と回答した高校生がそれぞれ 34 人と 43 人（計 77 人）、高校 2 年生に限るとそれぞれ 14 人と 26 人（計 40 人）となっており【資料 4】、県外出身者を含めると十分なニーズが存在していると考えられること、また、前身の土木環境工学科において、公務員を中心に十分な進路実績を有する【資料 1】ものの、これまでの入試において、一般選抜（前期）の志願倍率や合格者平均点・最低点が学部平均を下回っている【資料 6】こと、更には、より質の高い教育を行うための受入体制（教員、施設・設備）などを考慮し、基準より 1 人減じ 46 人とする。

機械工学コースについては、進学を「強く希望する」、「希望する」と回答した高校生がそれぞれ 48 人と 107 人（計 155 人）、高校 2 年生に限るとそれぞれ 20 人と 49 人（計 69 人）となっており【資料 4】、十分なニーズが存在していること、また、これまでの入試において、前身の機械工学科の一般選抜（前期）の合格者平均点・最低点が学部平均を上回っており【資料 6】、多くの優秀な学生の確保が見込めること、更には、より質の高い教育を行うための受入体制（教員、施設・設備）が十分に確保できることなどを考慮し、基準より 1 人増の 48 人とする。

メカトロニクスコースについては、進学を「強く希望する」、「希望する」と回答した高校生がそれぞれ 33 人と 82 人（計 115 人）、高校 2 年生に限るとそれぞれ 13 人と 36 人（計 49 人）となっており【資料 4】、十分なニーズが存在しているものの、これまでの入試において、前身のメカトロニクス工学科の一般選抜（前期）の志願倍率が学部で最も低い【資料 5】こと、更には、より質の高い教育を行うための受入体制（教員、施設・設備）などを考慮し、基準より 2 人減じ 45 人とする。

電気電子工学コースについては、進学を「強く希望する」、「希望する」と回答した高校生がそれぞれ 34 人と 108 人（計 142 人）、高校 2 年生に限るとそれぞれ 17 人と 52 人（計 69 人）となっており【資料 4】、十分なニーズが存在しているものの、これまでの入試におい

て、前身の電気電子工学科の一般選抜（前期）の志願倍率や合格者平均点・最低点が学部平均を下回っている【資料5、6】こと、更には、より質の高い教育を行うための受入体制（教員、施設・設備）などを考慮し、基準より2人減じ45人とする。

総合工学卒（入学後は総合工学クラスに所属）については、進学を「強く希望する」、「希望する」と回答した高校生がそれぞれ27人と70人（計92人）、高校2年生に限るとそれぞれ13人と30人（計43人）、子女を進学させることを「強く希望する」、「希望する」と回答した保護者がそれぞれ32人と63人（計95人）となっており【資料4】、多くのニーズが存在するものの、2年次進級時の各コースへの配属において、特定のコースに希望が集中し、施設・設備等の都合により配属が困難となることを避け、できる限り学生本人の希望に沿った配属を行うため、40人とする。

④ 入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠

入学料及び授業料等の学生納付金の額については、国立大学等の授業料その他の費用に関する省令（平成16年文部科学省令第16号）に規定する標準額とする。

（4）学生確保の見通し

① 学生確保の見通しの調査結果

受験生等からのニーズを把握するため、山梨県内の高校関係者（高校生、保護者、高校教員）へアンケートを実施した【資料3】。調査概要は以下のとおりである。

事項	内容
調査対象	・ 高校生 過去3年間（令和元年度～令和3年度）に本学工学部への入学実績のある山梨県内の高校（21校）の普通科（理系クラス、文理融合クラス）、理数科、総合学科に在籍する高校1～3年生（ただし、普通科の1年生で文理分けがされていない場合は、工学部に興味のある生徒） ・ 保護者 上記高校生の保護者 ・ 高校教員 上記高校の進路指導担当教員や理系クラス担当教員
調査期間	令和4年8月23日（火）～令和4年9月30日（金）
調査（依頼）方法	事前に各対象校及び県教育委員会へ調査への協力を依頼し、了解を得た後、各対象校へ調査用紙を配布（訪問、郵送）し、Web上での回答を依頼した。
回答状況	・ 高校生 配布数：約9,000枚 回答数：2,630人 ・ 保護者 配布数：約9,000枚 回答数：668人 ・ 高校教員 配布数：約80枚 回答数：54人 ※不足が生じることのないよう、各対象校へ多めに配布

調査結果の概要は以下のとおりである。

高校生のうち大学進学を希望する者（2,367人）に対し、各分野への進学希望を尋ねたところ、「とても進学したい」、「進学したい」との回答が、「機械・ロボット」は14%、「電気・電子」は13%、「情報、コンピュータ、ソフトウェア」は19%、「クリーンエネルギー」は8%、「化学」は11%、「物理」は7%、「土木・建築」は8%、「環境科学」は8%、「生命科学、農学」は11%、「医療」は26%、「ビジネス」は10%、「政策、地域、人間」は12%、「その他」は18%であった。

高校生のうち本学工学部の受験を検討している者（512人）に対し、改組後の各コース（総合工学枠を含む。以下、本項目において同じ。）への進学希望を尋ねたところ、各コースとも「進学を強く希望する」、「希望する」との回答が15～40%（77～196人）、高校2年生に限ると16～41%（37～96人）となっており、県内高校のみを対象としたアンケートにもかかわらず、いずれのコースについても、十分な進学希望者が存在している。また、保護者や高校教員からは、新設のクリーンエネルギー化学コースや総合工学枠（クラス）へ進学させたいとの回答が多く寄せられている（同コース：保護者71%、高校教員78% 同クラス：保護者78%、高校教員67%）。

更に、高校教員に対し、「直近3年間の進路志望動向において、増加傾向とを感じる分野（上位3番目まで）」を尋ねたところ、「工学関係」が1番目に増加傾向と回答した者が37%と最も多くなっている。

以上のことから、新設する工学部工学科においては、十分な志願者を確保し、定員を充足できるものと判断する。

② 新設学部等の分野の動向

文部科学省が毎年度公表している「国公立大学入学者選抜確定志願状況」によると、国立大学理工系学部については、令和元年度以降、志願倍率が3.8～4.0倍、志願者数が12万人程度となっている【資料8】。また、近隣の国公立大学工学系学部である静岡大学工学部及び情報学部、信州大学工学部及び繊維学部、公立諏訪東京理科大学工学部については、令和3年度以降、志願倍率が3.3～7.5倍、志願者数が874～2,294人となっている【資料9】。

他方、国においては、諸外国と比べ理工系の学生割合が著しく低い現状を打破するため、教育未来創造会議「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言）」等を踏まえ、理工系や農学系（特にデジタル、グリーン等の成長分野）の学生を増加させるための取組（初等中等教育段階を含む。）を強化・推進していくこととしている。

以上のことから、新設する工学部工学科においては、十分な志願者を確保し、定員を充足できるものと判断する。

③ 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

リクルート進学総研が発行する「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向」【資料10】によると、山梨県及び近隣の静岡県、長野県の18歳人口予測等は以下のとおりである。

	18 歳人口（令和 15 年時点） ※〔 〕は令和 3 年度比	大学進学率 （令和 3 年時点）	自県進学率 （残留率） （令和 3 年時点）
山梨県	6,231 人 [▲19.8%]	53.5%	24.6%
静岡県	28,669 人 [▲17.2%]	50.2%	28.5%
長野県	16,513 人 [▲18.4%]	43.6%	20.4%
全国	1,014,014 人 [▲11.1%]	52.9%	44.7%

3 県においては、全国平均を上回るペースで 18 歳人口が減少すると予測されており、自県進学率も全国平均を大きく下回っている。一方で、山梨県においては、大学進学率が全国平均を上回っていることから、本学や山梨県の魅力を高め、それを積極的に発信し、自県進学者を増加させることで、当面の間は本学（工学部）の志願者を確保することが可能と考えている。

④ 競合校の状況

本学工学部は、山梨県内で唯一の工学系学部であり、県内に競合校は存在しないと考えているが、近隣県のうち、本学工学部への入学者の多い静岡県（20～25%程度）及び長野県（6～8%程度）には、国公立大学工学系学部としてそれぞれ静岡大学工学部（学位：工学、学術）及び情報学部（同：情報学）、信州大学工学部（同：工学）及び繊維学部（同：工学、農学）、公立諏訪東京理科大学工学部（同：工学）があり、本学工学部と一定程度競合するものと考えている。各大学の過去 3 年間（令和 3 年度～令和 5 年度）の入試実施状況等【資料 9】は以下のとおりである。

静岡大学について、工学部（入学定員：R3～R4 年度 545 人、R5 年度 540 人）においては、志願者が 1,807～2,294 人、志願倍率が 3.3～4.2 倍、受験者数が 1,169～1,583 人、合格者数が 597～621 人、入学者数が 545～558 人、入学定員充足率が 100.0～102.4%となっている。情報学部（入学定員：R3～R4 年度 240 人、R5 年度 235 人）においては、志願者が 874～1,023 人、志願倍率が 3.6～4.4 倍、受験者数が 543～639 人、合格者数が 262～273 人、入学者数が 242～243 人、入学定員充足率が 100.8～103.0%となっている。

信州大学について、工学部（入学定員：485 人）においては、志願者が 1,599～1,912 人、志願倍率が 3.3～3.9 倍、受験者数が 1,118～1,364 人、合格者数が 533～535 人、入学者数が 491～496 人、入学定員充足率が 101.2～102.3%となっている。繊維学部（入学定員：280 人）においては、志願者が 929～1,119 人、志願倍率が 3.3～4.0 倍、受験者数が 634～755 人、合格者数が 329 人、入学者数が 291～293 人、入学定員充足率が 103.9～104.6%となっている。

公立諏訪東京理科大学工学部（入学定員：300 人）においては、志願者が 1,545～2,241 人、志願倍率が 5.2～7.5 倍、受験者数が 1,006～1,302 人、合格者数が 399～474 人、入学者数が 309～325 人、入学定員充足率が 103.0～108.3%となっている。

以上のとおり、各大学には十分な志願者が存在しており、志願倍率も高い。このため、各大学に入学しない（合格できない）受験生も多いと考えられることから、競合関係にある本学工学部工学科においても、十分な志願者を確保し、定員を充足できるものと判断する。

⑤ 既設学部等の学生確保の状況

現在の工学部7学科の入試実施状況（令和元年度～令和5年度）は【資料11】のとおりである。学部全体の志願者数は846～1,188人、志願倍率は2.3～3.3倍、受験者数は633～980人、合格者数は411～418人、入学者数は372～381人、入学定員充足率は101.9～104.4%である。一部の学科（メカトロニクス工学科、電気電子工学科、応用化学科）においては、入学辞退者が想定よりも多かったことなどにより、入学定員充足率が100%を2～5%程度下回っている年度もあるが、学部全体では全ての年度において入学定員（365人）を適正な入学者数で充足している。

以上のことから、現在の学科による教育内容を継承する（クリーンエネルギー化学コース以外の）6コースについては、十分な志願者を確保できるものと判断する。クリーンエネルギー化学コースについては、現在の応用化学科から派生したコースであり、教育内容も同学科と関連性の深いものであること、前述のとおり高校関係者へのアンケート【資料3】においても募集人員（目安）を上回る進学希望者が存在していることなどから、十分な志願者を確保できるものと判断する。

また、3年次編入学試験の実施状況（令和元年度～令和5年度）は【資料12】のとおりである。編入学定員（合計20人）を有する3学科（機械工学科、電気電子工学科、コンピュータ理工学科）を含む学部全体の志願者数は65～104人、志願倍率は3.3～5.2倍、受験者数は59～96人、合格者数は31～50人、入学者数は15～24人、入学定員充足率は75～120%であることから、工学部工学科においては、編入学定員（20人）を上回る十分な志願者を確保できるものと判断する。

⑥ 女子学生割合について

本学工学部の女子学生割合は、学部全体で12.7%（平成30年度～令和4年度入学者平均）【資料13】であり、応用化学科（26.1%）を除く全ての学科において全国平均である15.2%（出典：令和3年度内閣府調査「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」【資料14】）を下回っている。特に、一般選抜において「物理」を必須化している学科（機械工学科、メカトロニクス工学科、電気電子工学科）の割合が6.4～7.2%と著しく低くなっている。なお、志願者に占める女子の割合も同様の傾向（学部全体で13.0%）である。

また、入試の選抜区分別（特別選抜、一般選抜）では、特別選抜の方が志願者・入学者ともに女子割合が高く、特に県内高校出身の女子割合が高くなっている（男子も特別選抜の方が県内高校出身者の割合が高い）。

以上のことから、本学工学部の女子学生を増加させるためには、特別選抜を拡大することが有効であると考えられ、県内高校出身学生の増加も見込まれる。これらを踏まえ、本学工学部においては、特別選抜として新たに学校推薦型選抜Ⅰを導入するとともに、同選抜に女子枠を設けることとした。

（5）学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

① 学外試験会場の設置

本学工学部においては、遠方に住む受験生の利便性を向上させ志願者の増加を図るため、一般選抜（前期）における学外試験会場として、平成 20 年度入試から名古屋試験会場を、平成 25 年度入試から東京試験会場（平成 28 年度入試のみ横浜市で実施）をそれぞれ設置している（試験内容等は全会場共通）。試験会場別の状況（志願者数、受験者数、合格者数、入学者数）は【資料 15】のとおりである。近年は試験会場別の合格率の差が小さくなってきているが、概ね名古屋試験会場での受験者の合格率が他の試験会場と比べ高くなっており（甲府試験会場と東京試験会場は同程度）、同会場においては優秀な志願者（学生）を確保できていると判断する。これを踏まえ、引き続き学外試験会場を設置し、県外出身者を含め（優秀な）志願者の確保を図ることとする。

② 高大連携や入試広報の強化

志願者の確保に向け、これまで以上に高大連携や入試広報を強化する。特に高校訪問については、コロナ禍の影響等もあり、近年、十分に実施できていなかったことから、県内外を問わず重点的に実施する。また、新設するクリーンエネルギー化学コースの PR を行うため、同コースの紹介動画を作成したことから、HP 上の分かりやすい箇所に掲載するとともに、オープンキャンパス等のイベントにおいて、積極的に活用していく。

③ 体系的・継続的なニーズ調査の実施

本学工学部においては、これまで（工学部長と学生との意見交換会など一部の機会を除き）ステークホルダーのニーズを十分に把握できていなかった。このため、体系的・継続的にニーズ調査を行い、その結果を踏まえ、柔軟に教育組織や募集人員を見直すなど改善を適切に行うことにより、志願者の確保に繋げていく。

④ 次世代科学者の育成（ジュニアドクター育成塾）

本学は、令和 4 年度に科学技術振興機構（JST）の次世代人材育成事業「ジュニアドクター育成塾」に採択されたことを受け、小中学生を対象に、環境化学、生態学、生物学、コンピュータ理工学、社会科学の視点から学際的に自然と社会を理解し、持続可能な社会の創出に貢献できる人材を育成するための教育を行っている。すぐに結果に表れるものではないが、この取組を推進することにより、次世代の科学者（≡将来の本学工学部志願者）を育成していく。

2. 人材需要の動向等社会の要請

（1）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

工学部工学科は、「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」をキャッチフレーズに掲げ、将来の社会のあり方やグローバルなニーズを的確に捉えて活動できる人材の養成を目指している。そのうえで、「基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけたグローバルに活躍できる人材を養成」することを教育目標とし、産業界を中心に高等教育機関や公的機関で活躍するエンジニアを養成する。具体的養成する人

材像は以下のとおりである。

- ・専門分野における深い理解と見識を有しつつ、さらに分野をまたぐ広い視野を兼ね揃えることにより、主体的および能動的に課題解決に取り組める専門家
- ・卒業後直ちに社会に貢献可能な人材と、自ら深い学習意欲を育み大学院でさらなる学修を追求する人材

また、上記等を踏まえた今回の改組の主な内容・特色は以下のとおりである。

①分野間の垣根を低くし、柔軟な定員設定や教員配置、教育組織の整備が可能な教育体制を構築

⇒7学科を1学科複数コースに再編する。各コースの募集人員は実績等を基に設定する。

②工学共通基礎教育の強化

⇒1年次は大括りの「クラス」とし、工学共通基礎を学ぶカリキュラムを実施する。専門教育は2年次の「コース」から本格的に開始し、転コースのしやすさを向上させる。

③分野横断教育の推進

⇒他コース科目やコース横断による実践的な科目（PBL科目、インターンシップ等）の履修、他コース主担当教員の指導による卒業研究（卒業論文）を可能とする。

④デジタル人材育成機能の強化

⇒コンピュータ理工学コース（情報系クラス）を大幅に増員（現学科：55人→1年次：75人、2年次以降：90人）する。

⑤水素・燃料電池やクリーンエネルギー等に関する学部教育の開始

⇒本学の強み・特色であるクリーンエネルギーや燃料電池実用化等に関する高い研究力とそのリソースを活用し、クリーンエネルギー化学コースを新設し、学部段階から大学院まで一貫した教育体制を整備する。

⑥専門分野を特定せず1年次は工学に係る知識・技術を幅広く学び、2年次進級時に専門を選択できる体制の整備（レイトスペシャライゼーションの導入）

⇒入学時に専門分野を特定しない総合工学クラスを新設するとともに、専門分野のより深い学びを実現するため、大学院進学を前提とした特別教育プログラム（3年次以降に履修）を新設する。

⑦より質の高い入学者の確保、学科間の学力レベル差の解消

⇒一括入試を導入する。一般選抜（前期）は工学科全体で成績上位者から合格者を決定する。一般選抜（後期）は総合工学枠のみ募集する。

（2）上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本学の位置する山梨県は、製造業（特に機械電子産業）や観光業、農業が基幹産業である。また、近年は、県が主体となって水素・燃料電池関連産業の基幹産業化を進めており、全国トップクラスの集積地となっているほか、メディカル・デバイス・コリドー（医療機器回廊）構想の実現に向け、医療機器関連産業の集積にも力を入れている。これ以外にも貴金属・ジュエリー、ワイン、織物等の地場産業や、印章、和紙等の伝統的な産業も存在している。これらの多くは、本学が有する工学部や生命環境学部、医学部と密接に関連する産業であり、将来に亘って本学が人材養成の一翼を担っていくことが求められている。特に工学部においては、過去5年間（平成30年度～令和4年度卒業）において、毎年27～43人（就職者の11.6～24.2%）が県内の企業等へ就職【資料16】しており、県内企業等にとって有力な人材供給源となっていることから、特に地域のニーズを十分に踏まえた人材養成を行っていくことが重要となっている。

これらを踏まえ、改組後の工学部に対するニーズを把握するため、産業界へアンケート（回答社数100社）を実施【資料3】した。その結果、各コースに「非常に期待する」、「期待する」との回答が、公務員への就職が多い土木環境工学コースを除く全てのコースにおいて85～93%（土木環境工学コースは76%）となっており、改組が十分なニーズを踏まえたものとなっていると判断する。

他方、全国的には、コロナ禍を受けデジタル化（DX）が急速に進んでおり、デジタル人材や半導体関連人材の育成が喫緊の課題となっているほか、SDGs推進や2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素やGX関連人材の育成も急務となっている。具体的には、教育未来創造会議「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言）」において、デジタル・グリーン分野をはじめとする成長分野を担う高度専門人材の育成が期待されている。また、経済産業省「IT人材需給に関する調査」において、令和12年に先端IT人材が54.5万人不足するとの試算【資料17】がなされているほか、内閣府「脱炭素分野専門人材の市町村派遣に向けた調査等業務報告書」において、脱炭素（カーボンニュートラル）の推進にあたり自治体の約9割が外部人材の知見を必要としているとの報告【資料18】がなされていることなどから、改組が十分なニーズを踏まえたものとなっていると判断する。

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類 別添資料（目次）

別添資料1	工学部学科別進路状況	2
別添資料2	工学部関係の業種別求人数	18
別添資料3	アンケート調査票	19
別添資料4	アンケート集計結果	79
別添資料5	工学部入試倍率	171
別添資料6	工学部各学科の平均・最低点	175
別添資料7	工学部第2志望入学者の割合	176
別添資料8	国立理工学系学部 of 志願状況	179
別添資料9	入試実施状況（静岡、信州、諏訪）	180
別添資料10	リクルート進学総研	181
別添資料11	工学部入試実施状況	190
別添資料12	工学部入試実施状況（3年次編入学）	191
別添資料13	工学部各学科の男女別動向	192
別添資料14	女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての 調査研究【概要】（抜粋）	195
別添資料15	工学部試験会場別入試実施状況	196
別添資料16	工学部卒業者の山梨県内就職状況	197
別添資料17	IT人材需給に関する調査（抜粋）	198
別添資料18	第3回教育未来創造会議_参考データ集（抜粋）	199

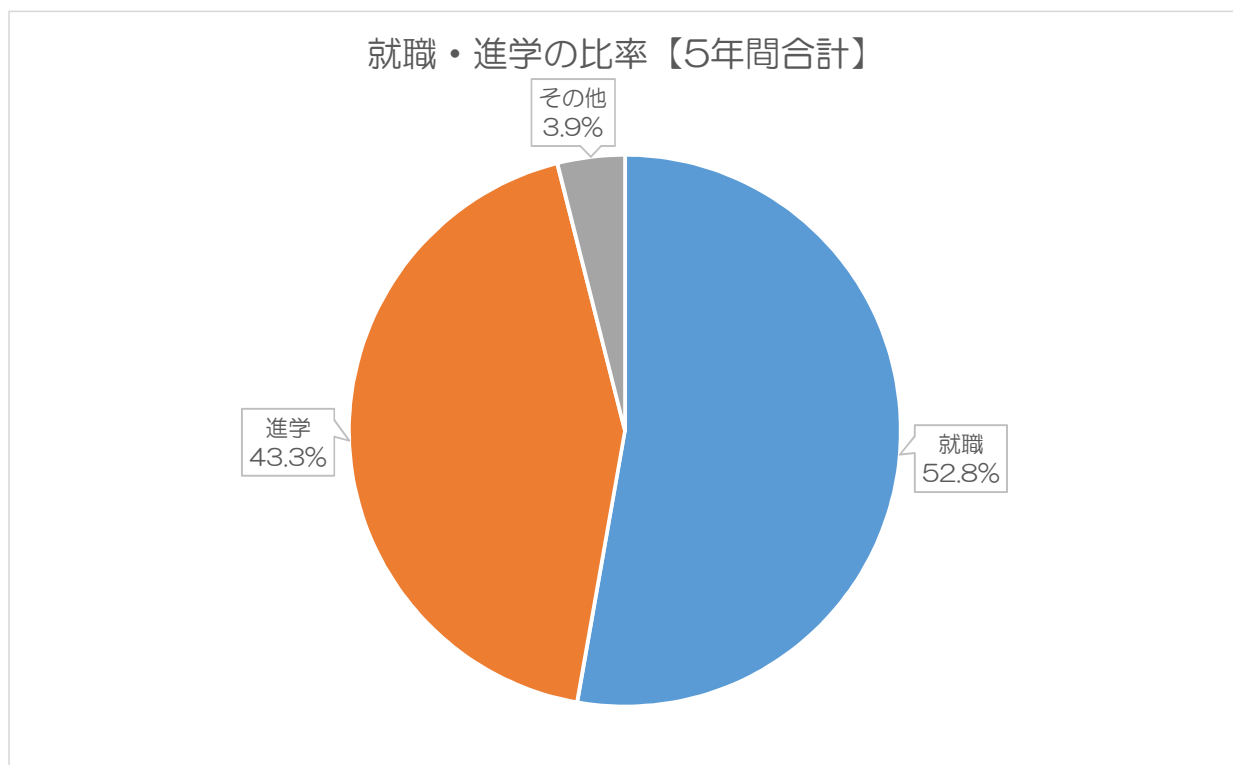
○ 工学部卒業者の進路（H29年度～R3年度）

業種等		卒業年度					合計	備考
		H29	H30	R1	R2	R3		
就職	教員		1	1			2	
	農業		1				1	
	鉱業							
	建設業	15	37	20	28	20	120	
	製造業：食品等	2	1	3		1	7	
	製造業：繊維			1			1	
	製造業：印刷関連	3	2		1		6	
	製造業：化学工業等	3	10	6	4	4	27	
	製造業：鉄鋼業等	3	4	3	2		12	
	製造業：はん用機械	23	16	17	11	22	89	
	製造業：電子／デバイス	13	18	10	4	7	52	
	製造業：電気／情報通信機械	19	28	24	26	13	110	
	製造業：輸送用機械	27	25	25	15	11	103	
	製造業：その他	3	11	3	2	2	21	
	電気・ガス・水道業	3	4			2	9	
	情報通信業	28	41	61	33	27	190	
	運輸・郵便業	6	4	11	5	2	28	
	卸・小売業	1	1	2		1	5	
	金融・保険業		1	1		2	4	
	不動産・物品賃貸業		1		2		3	
	サービス業	13	9	12	15	12	61	
	教育・学習支援業	3	1	1	4	1	10	
	医療・福祉業	2	1	1		1	5	
	公務員	21	15	19	26	28	109	
	その他	1	1			1	3	
	就職 計	189	233	221	178	157	978	
進学	大学院	153	146	144	171	178	792	
	諸学校	1	1	1	5	2	10	
	進学 計	154	147	145	176	180	802	
その他	その他	15	11	12	21	14	73	
合計		358	391	378	375	351	1,853	

ポイント

・R1年度卒業者までは、好景気の影響もあり、就職者が多かったが、R2年度以降は、コロナ禍の影響による景気後退等により、就職者が減り、進学者が増加している
H29～R1年度平均：就職 57.1%、進学 39.6%
R2～R3年度平均：就職 46.1%、進学 49.0%

○ 工学部卒業者の進路（H29年度～R3年度）



○ 機械工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

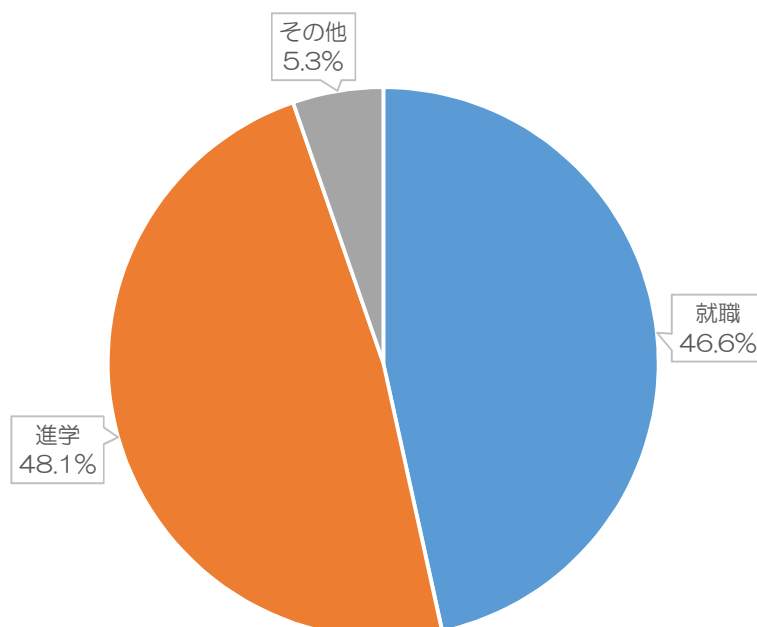
業種等		卒業年度					合計	備考
		H29	H30	R1	R2	R3		
就職	教員							
	農業							
	鉱業							
	建設業		1	1	1	1	4	
	製造業：食品等		1				1	
	製造業：繊維							
	製造業：印刷関連							
	製造業：化学工業等	1	1			1	3	
	製造業：鉄鋼業等		2	2	1		5	
	製造業：はん用機械	7	5	2	1	8	23	
	製造業：電子／デバイス	2	2	1		2	7	
	製造業：電気／情報通信機械		6	9	5	2	22	
	製造業：輸送用機械	11	10	11	9	6	47	
	製造業：その他		3	2	1		6	
	電気・ガス・水道業							
	情報通信業	1	2	2			5	
	運輸・郵便業		1	1			2	
	卸・小売業	1					1	
	金融・保険業			1			1	
	不動産・物品賃貸業		1				1	
	サービス業	3	2	4	2	2	13	
	教育・学習支援業	1			1	1	3	
	医療・福祉業							
	公務員	1	1			3	5	
	その他							
	就職 計	28	38	36	21	26	149	
進学	大学院	35	20	26	36	33	150	
	諸学校		1	1	2		4	
	進学 計	35	21	27	38	33	154	
その他	その他	5		2	4	6	17	
合計		68	59	65	63	65	320	

○ 機械工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

就職先詳細（R1年度～R3年度抜粋）

R1	官公庁等	
	企業等	SUS、VSN、YSK e-com、朝日インテック、アズビル、エキスパートパワーシズオカ、加藤電器製作所、ケーヒン、京三製作所、小林製作所、スズキ、ジェイテクト、松栄テクノサービス、シマノ、新東工業、セイコーエプソン、ゼネラルエンジニアリング、ソミック石川、テクノプロ テクノプロ・デザイン社、東海旅客鉄道、東京自働機械製作所、東芝プラントシステム、日産オートモーティブテクノロジー、ニフコ、パナソニックマレーシア、日野自動車、富士通アイ・ネットワークシステムズ、牧野フライス製作所、三菱電機エンジニアリング、名鉄バス、メイテック、山梨中央銀行、ヤマハモーターエンジニアリング、ユニプレス
	大学院等	山梨大学大学院(25)、東北大学大学院(1)
R2	官公庁等	
	企業等	いすゞ自動車、飯田鉄工、エイム、オリエンタルランド、共和化工、住友電装、スタンレー電気、竹田設計工業、ホンダテクノフォート、ミツバ、メイテック、ヤマハモーターエンジニアリング、三菱電機エンジニアリング、山梨大学、東京アールアンドデー、東京エレクトロングループ、東京サマー、日信工業、理研軽金属工業
	大学院等	山梨大学大学院(35)、筑波大学大学院(1)
R2	官公庁等	国土交通省関東地方整備局、埼玉県（機械整備職）、平塚市
	企業等	アイエイアイ、アルプス技研、イハラサイエンス、エクセルシアきょういく、キャノンファインテックニスカ、小糸製作所、山陽精工、新生テクノス、スズキ、セイコーエプソン、電元社トーア、内藤製作所、日星電気、ニプロ医療電子システムズ、日本ヒルティ、日本ブラスト、日本マルコ、平山ファインテクノ、富士カプセル、矢崎総業、ヤシカ車体、ヤマハ発動機、ローム
	大学院等	山梨大学大学院(27)、東北大学大学院(2)、筑波大学大学院(2)、東京農工大学大学院(1)、立命館大学大学院(1)

就職・進学 の比率【5年間合計】



○ メカトロニクス工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

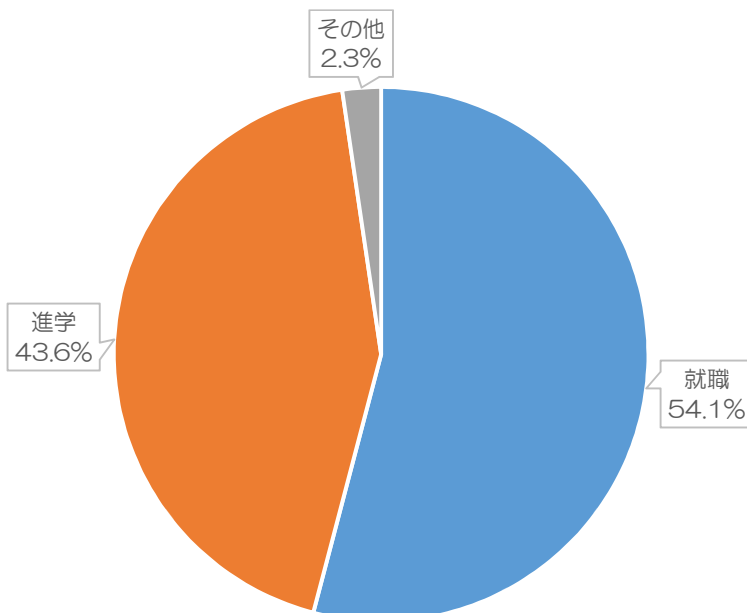
業種等		卒業年度					合計	備考
		H29	H30	R1	R2	R3		
就職	教員							
	農業							
	鉱業							
	建設業							
	製造業：食品等							
	製造業：繊維							
	製造業：印刷関連	1					1	
	製造業：化学工業等		1	1		1	3	
	製造業：鉄鋼業等	1					1	
	製造業：はん用機械	6	5	3	4	8	26	
	製造業：電子／デバイス	5	2	1			8	
	製造業：電気／情報通信機械	9	7	1	4	5	26	
	製造業：輸送用機械	5	3	5	1	1	15	
	製造業：その他		5			1	6	
	電気・ガス・水道業							
	情報通信業	5	3	12	10	7	37	
	運輸・郵便業				1		1	
	卸・小売業			1			1	
	金融・保険業							
	不動産・物品賃貸業							
	サービス業	1		2	2	1	6	
	教育・学習支援業		1				1	
	医療・福祉業							
	公務員	1		1	4	1	7	
	その他							
	就職 計	34	27	27	26	25	139	
進学	大学院	18	25	21	25	21	110	
	諸学校				2		2	
	進学 計	18	25	21	27	21	112	
その他	その他	2	1	2		1	6	
合計		54	53	50	53	47	257	

○ メカトロニクス工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

就職先詳細（R1年度～R3年度抜粋）

R1	官公庁等	山梨県
	企業等	KSK、NHKテクノロジーズ、NTC、アイネット、アツミ電気、いすゞ自動車、インフォテックソリューション、キッセイコムテック、サイオステクノロジー、ソーバル、テクノプロテクノプロ・デザイン社、電機興業、東京エレクトロン、東芝機械、ニトリ、日本電産モビリティ、日立ハイテクソリューションズ、富士通アイ・ネットワークシステムズ、フタバ産業、フューチャーインスペース、三菱自動車工業、ミマキエンジニアリング、明電システムソリューション、ヤマハモーターパワープロダクツ、ヤマハ発動機、ロングテイル
	大学院等	山梨大学大学院(21)
R2	官公庁等	山梨県
	企業等	NTTドコモ、アルトナー、アレックスマネジメント、エスエスワイ、コンピュータマインド、山九、サンコー、セイコーエプソン、ソミック石川、東芝テック、トーヨーコーケン、ドコモCS東海、日興システムソリューションズ、日本コムシス、フレアン、牧野フライス製作所、ミラプロ、メイテックフィルダース、ユニテック、ワイ・シー・シー
	大学院等	山梨大学大学院(24)、電気通信大学大学院(1)
R3	官公庁等	山梨県
	企業等	NTC、アイ・イー・シー、アイエイアイ、アイダエンジニアリング、アスリートFA、キット、キャノンファインテックニスカ、システム・エナジー、スズキ、セイコーエプソン、ソフトキューブ、テクスパイア、東京エレクトロン、東京技研工業、東芝キャリア、ファーストビジョン、ファソテック、フジワラ化学、ヘッドウォーターズ、ミラプロ、横河マニュファクチャリング、日研トータルソーシング
	大学院等	山梨大学大学院(19)、千葉大学大学院(1)、芝浦工業大学大学院(1)

就職・進学 の比率【5年間合計】



○ 電気電子工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

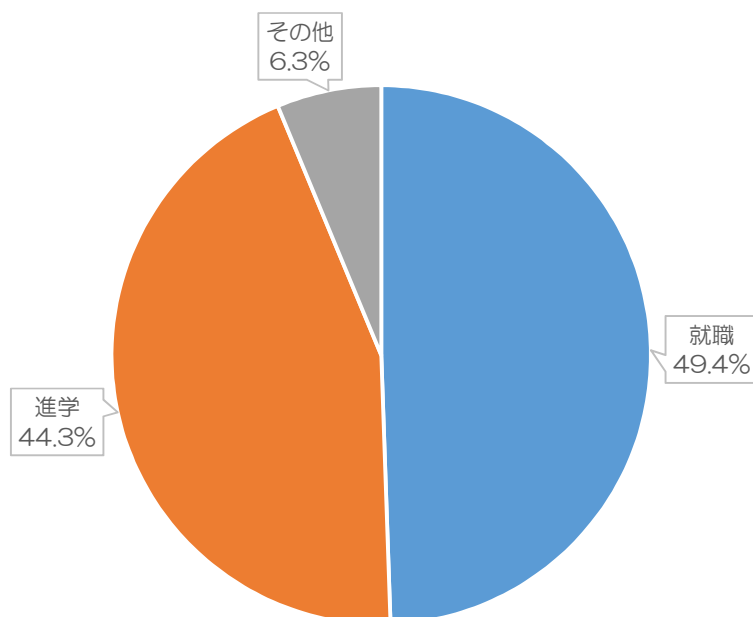
業種等		卒業年度					合計	備考
		H29	H30	R1	R2	R3		
就職	教員							
	農業							
	鉱業							
	建設業		1				1	
	製造業：食品等							
	製造業：繊維							
	製造業：印刷関連				1		1	
	製造業：化学工業等	1					1	
	製造業：鉄鋼業等		1				1	
	製造業：はん用機械	6	4	3	4	3	20	
	製造業：電子／デバイス	4	10	3	4	1	22	
	製造業：電気／情報通信機械	4	5	9	8	4	30	
	製造業：輸送用機械	5	8	6		1	20	
	製造業：その他	2					2	
	電気・ガス・水道業	3	4				7	
	情報通信業	1	2	4	2	3	12	
	運輸・郵便業	1	3	3			7	
	卸・小売業							
	金融・保険業							
	不動産・物品賃貸業							
	サービス業	1		1	1	2	5	
	教育・学習支援業							
	医療・福祉業	1					1	
	公務員			2	2		4	
	その他							
	就職 計	29	38	31	22	14	134	
進学	大学院	14	19	22	28	35	118	
	諸学校				1	1	2	
	進学 計	14	19	22	29	36	120	
その他	その他	1	3	3	8	2	17	
合計		44	60	56	59	52	271	

○ 電気電子工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

就職先詳細（R1年度～R3年度抜粋）

R1	官公庁等	甲府市、吹田市
	企業等	NECフィールディング、NECプラットフォームズ、NTTデータフォー、SUBARU、TDK、VSN、アイシン・エイ・ダブリュ、菊水電子工業、小糸製作所、セイコーエプソン、中央エンジニアリング、デジオン、電気興業、東海旅客鉄道、東芝テック、豊田合成、長野日本無線、日本電産、東日本旅客鉄道、ファナック、フジテック、三菱自動車工業、三菱電機、三菱電機メカトロニクスソフトウェア、明電舎
	大学院等	山梨大学大学院(21)、東京工業大学大学院(1)
R2	官公庁等	中部近畿産業保安監督部、山梨県
	企業等	NECネットワーク・センサ、NECプラットフォームズ、UTグループ、アツミ電気、オープンセサミ・テクノロジー、加藤電器製作所、キャノンファインテックニスカ、協立電機、三栄精機工業、三明機工、双信電機、東京エレクトロンデバイス、東芝キャリア、日本製紙、フォーカスシステムズ、富士電機、明電舎、横河マニュファクチャリング
	大学院等	山梨大学大学院(27)、九州大学大学院(1)
R3	官公庁等	
	企業等	SANKYO、アルプス技研、インテック、エスエスワイ、協立電機、静銀ITソリューション、新電元工業、スタンレー電気、電音エンジニアリング、東京エレクトロン、東芝キャリア、マキタ、ヤマハモーターエレクトロニクス、リコーテクノロジーズ
	大学院等	山梨大学大学院(35、うち1名は教職大学院)

就職・進学 の比率【5年間合計】



○ コンピュータ理工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

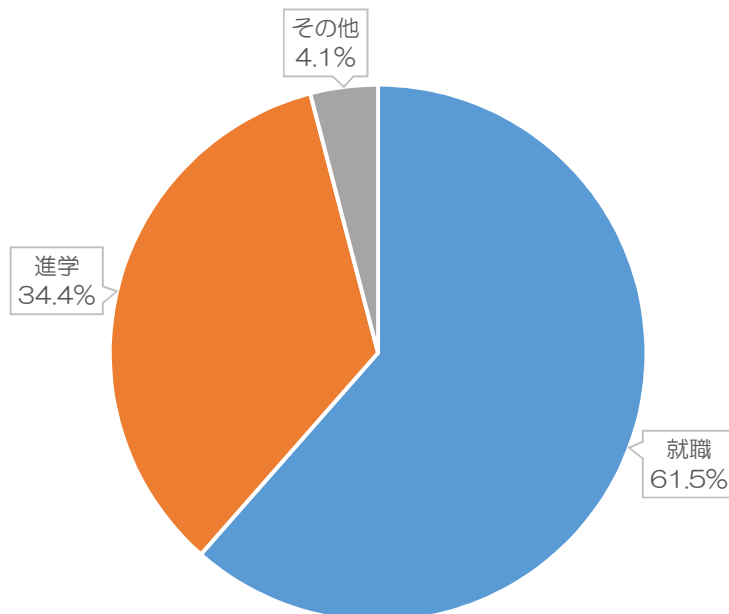
業種等		卒業年度					合計	備考
		H29	H30	R1	R2	R3		
就職	教員							
	農業		1				1	
	鉱業							
	建設業		1				1	
	製造業：食品等					1	1	
	製造業：繊維							
	製造業：印刷関連	1					1	
	製造業：化学工業等							
	製造業：鉄鋼業等							
	製造業：はん用機械	1	2	2		2	7	
	製造業：電子／デバイス							
	製造業：電気／情報通信機械	4	4	1	5	1	15	
	製造業：輸送用機械	1	1		2	2	6	
	製造業：その他							
	電気・ガス・水道業					1	1	
	情報通信業	16	32	37	17	15	117	
	運輸・郵便業	1		1			2	
	卸・小売業							
	金融・保険業							
	不動産・物品賃貸業							
	サービス業	2	3	1	3	4	13	
	教育・学習支援業							
	医療・福祉業							
	公務員				1		1	
	その他							
	就職 計	26	44	42	28	26	166	
進学	大学院	18	18	14	22	21	93	
	諸学校							
	進学 計	18	18	14	22	21	93	
その他	その他	3	3	1	2	2	11	
合計		47	65	57	52	49	270	

○ コンピュータ理工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

就職先詳細（R1年度～R3年度抜粋）

R1	官公庁等	
	企業等	dely、GA technologies、Gizumo、JALインフォテック、NECプラットフォームズ、NTTテクノクロス、NTTデータ・ニューソン、NTTデータ・フィナンシャルコア、NTTドコモ、YSK e-com、アイ・エス・ビー、インターネットイニシアティブ、インビリティー、伊藤忠テクノソリューションズ、エイベックス、エス・ジー、エヌアイデイ、エンファクトリー、コーエーテクモホールディングス、コニカミノルタ情報システム、シイエヌエス、システムゼウス、システム計画研究所、西安スターティアソフト、セコムトラストシステムズ、テレビ静岡システムクリエイツ、東海旅客鉄道、ニッセイ情報テクノロジー、日本ノーベル、日本ミニコンピュータシステム、ネオシステム、ビッグロブ、ファスフォードテクノロジー、フコク情報システム、富士ソフト、プリチストンソフトウェア、マイクロアド、ミラプロ、ラキール、ラクス、ワイ・シー・シー、ワールドビジネスセンター(WBC)
	大学院等	山梨大学大学院(13)、電気通信大学大学院(1)
R2	官公庁等	笛吹市
	企業等	NECプラットフォームズ、YSK e-com、アイネット、エーティーエルシステムズ、エヌ・エス・システム、カディンチェ、木村情報技術、スズキ、セイコーエプソン、ソリューション・ラボ・横浜、タクトシステムズ、トップ、トライネット、長野県協同電算、長野日本ソフトウェア、ニーズウェル、ピーエスシー、富士通クラウドテクノロジーズ、プリングアップ史、三井E&Sシステム技研、ミックウェア、メイテック、明電システムソリューション、ヤマハモーターエレクトロニクス
	大学院等	山梨大学大学院(21)、東京工業大学大学院(1)
R3	官公庁等	
	企業等	KSK、TOKAIホールディングス、YSK e-com、旭化成アミダス、ウイルテック、エス・ビー・エス、エスユーエス、カオナビ、スズキ、セイコーエプソン、ソーワテクニカ、ソフテム、東京エレクトロン、東京電力ホールディングス、日本システムウェア、日本テクノストラクチャ名古屋技術センター、はくばく、日立ソリューションズ、富士ソフト、富士通エフサス、ワールドインテック、ワイ・シー・シー
	大学院等	山梨大学大学院(21)

就職・進学比率【5年間合計】



○ 土木環境工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

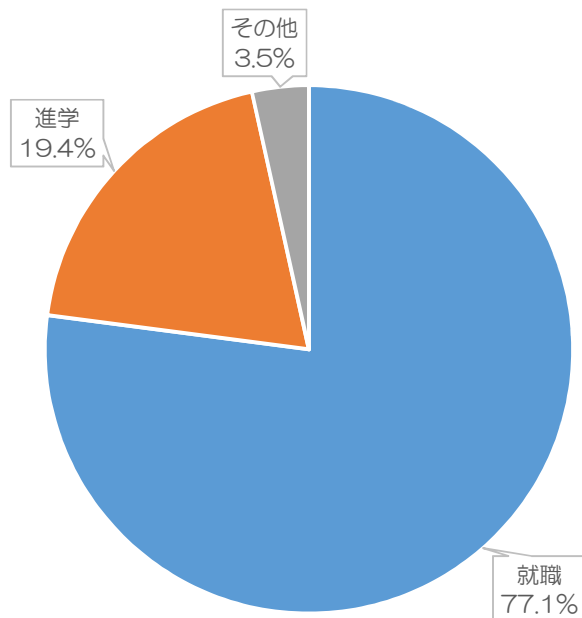
業種等		卒業年度					合計	備考
		H29	H30	R1	R2	R3		
就職	教員							
	農業							
	鉱業							
	建設業	14	34	19	25	19	111	
	製造業：食品等							
	製造業：繊維							
	製造業：印刷関連							
	製造業：化学工業等							
	製造業：鉄鋼業等							
	製造業：はん用機械							
	製造業：電子／デバイス							
	製造業：電気／情報通信機械							
	製造業：輸送用機械							
	製造業：その他							
	電気・ガス・水道業					1	1	
	情報通信業	2				1	3	
	運輸・郵便業	4		6	4	2	16	
	卸・小売業			1			1	
	金融・保険業							
	不動産・物品賃貸業				1		1	
	サービス業	4		2	2		8	
	教育・学習支援業			1			1	
	医療・福祉業							
	公務員	18	12	16	13	20	79	
	その他		1				1	
	就職 計	42	47	45	45	43	222	
進学	大学院	10	8	16	10	11	55	
	諸学校					1	1	
	進学 計	10	8	16	10	12	56	
その他	その他	2	1	1	5	1	10	
合計		54	56	62	60	56	288	

○ 土木環境工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

就職先詳細（R1年度～R3年度抜粋）

R1	官公庁等	山梨県、東京都、愛知県、静岡県、磐田市、横浜市
	企業等	JR西日本コンサルタンツ、JR東日本コンサルタンツ、いであ、イーオン、オギノ、大林組、加和太建設、五洋建設、四国旅客鉄道、鈴与建設、大成建設、竹中土木、大日コンサルタンツ、東海旅客鉄道、西松建設、日本工営、東日本旅客鉄道、フジヤマ、ホーク・ワン、三井住友建設、名工建設
	大学院等	山梨大学大学院(16)
R2	官公庁等	山梨県、東京都、千葉県、甲府市、静岡市、浜松市
	企業等	大林組、鹿島建設、熊谷組、五洋建設、サンエイ、サンコーコンサルタント、サンボー、首都高技術、首都高速道路、新菱冷熱工業、鈴与建設、大成エンジニアリング、大成建設、中部テック、東海旅客鉄道、中日本高速道路、中村組、西松建設、日本シビックコンサルタンツ、日本水工設計、フジオ、フジタ、三井共同建設コンサルタント、三井住友建設、名工建設、横河ブリッジ
	大学院等	山梨大学大学院(10)
R3	官公庁等	国土交通省関東地方整備局、山梨県、東京都、静岡県、長野県、横浜市、名古屋市、静岡市、裾野市、藤枝市、富士市、富士宮市、上田市
	企業等	アクタス、近藤建設、サムシング、シーアンドエーコンピューター、静岡コンサルタント、首都高速道路、水KingAM、鈴与建設、大洋建設、中央コンサルタンツ、八千代エンジニアリング、東海旅客鉄道、中日本ハイウェイエンジニアリング東京、ナルサワコンサルタンツ、日水コン、日本工営、ハヤテ・コンサルタント、復建エンジニアリング、前田建設工業、三井共同建設コンサルタント
	大学院等	山梨大学大学院(11)

就職・進学 の比率【5年間合計】



○ 応用化学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

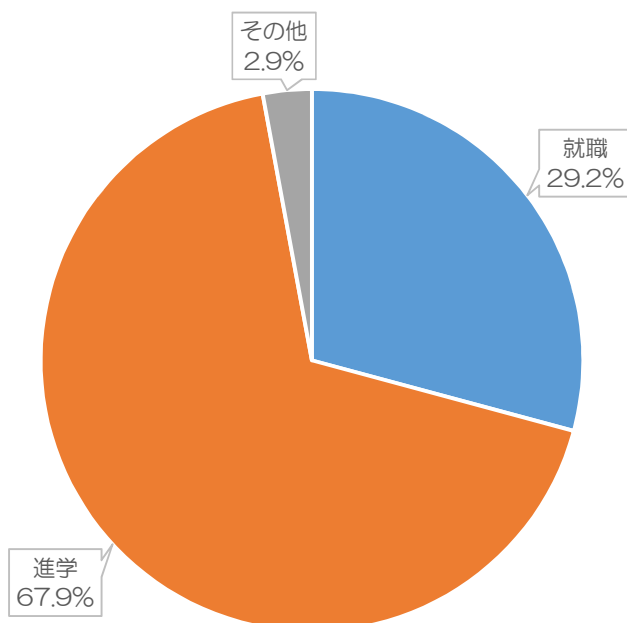
業種等		卒業年度					合計	備考
		H29	H30	R1	R2	R3		
就職	教員		1	1			2	
	農業							
	鉱業							
	建設業	1					1	
	製造業：食品等	1		3			4	
	製造業：繊維							
	製造業：印刷関連		1				1	
	製造業：化学工業等		6	5	1	1	13	
	製造業：鉄鋼業等							
	製造業：はん用機械	1		2	1		4	
	製造業：電子／デバイス	1		2		3	6	
	製造業：電気／情報通信機械		2				2	
	製造業：輸送用機械	2		2	1		5	
	製造業：その他	1	2			1	4	
	電気・ガス・水道業							
	情報通信業	2		5	1		8	
	運輸・郵便業							
	卸・小売業					1	1	
	金融・保険業					2	2	
	不動産・物品賃貸業				1		1	
	サービス業	1	3	2	2	2	10	
	教育・学習支援業	2			1		3	
	医療・福祉業	1		1		1	3	
	公務員	1	2		3	3	9	
	その他	1					1	
	就職 計	15	17	23	11	14	80	
進学	大学院	40	37	29	40	39	185	
	諸学校	1					1	
	進学 計	41	37	29	40	39	186	
その他	その他	2	2	2	2		8	
合計		58	56	54	53	53	274	

○ 応用化学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

就職先詳細（R1年度～R3年度抜粋）

R1	官公庁等	
	企業等	DXC Technology、NTTエレクトロニクス、東日本電信電話（NTT東日本）、旭ファイバークラス、安曇野食品工房、臼井国際産業、エスエーティ、エスエスワイ、エンビジョン AESCエナジーデバイス、キャノンファインテックニスカ、興国インテック、クリーンサワ、静岡県生活科学検査センター、シャトレーズ、南部化成、日本アルゴリズム、日本化学工業、浜名湖電装、富士ソフト、吉村味噌糰店、マイクロンメモリ ジャパン、ミラプロ、東海大学付属静岡翔洋高等学校
	大学院等	山梨大学大学院(22)、東北大学大学院(2)、筑波大学大学院(2)、名古屋工業大学(1)、東京都立大学大学院(1)、大阪府立大学大学院(1)
R2	官公庁等	名古屋市、富士宮市、東京二十三区清掃一部事務組合
	企業等	アウトソーシングテクノロジー、トリケミカル研究所、ネオシステム、日野自動車、三井ホーム、ミラプロ、メイテック、山梨大学
	大学院等	山梨大学大学院(39)、横浜国立大学大学院(1)
R3	官公庁等	山梨県、甲府市、峡東地域広域水道企業団
	企業等	YITOAマイクロテクノロジー、アエナ、山陽ミナセル、しずおか焼津信用金庫、日総工業、ヌヴォトンテクノロジージャパン、布目電機、富士特殊紙業、フレアン、山梨厚生会山梨厚生病院、山梨中央銀行
	大学院等	山梨大学大学院(35、うち1名は教職大学院)、筑波大学大学院(2)、奈良先端科学技術大学院大学(1)、ミネソタ大学大学院(1)

就職・進学 の比率【5年間合計】



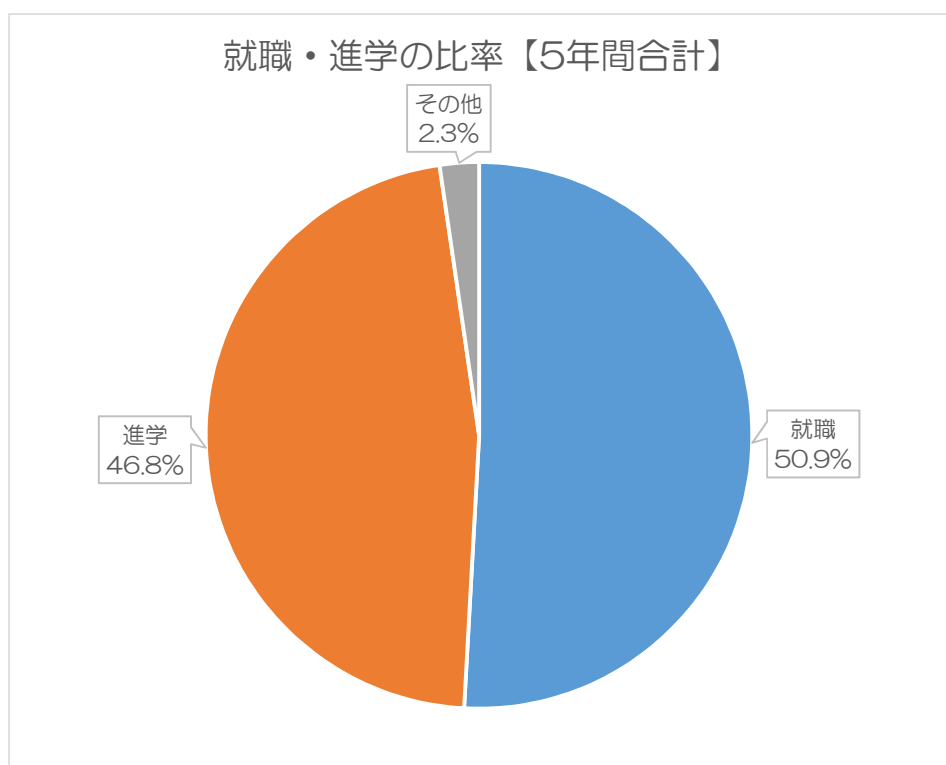
○ 先端材料理工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

業種等		卒業年度					合計	備考
		H29	H30	R1	R2	R3		
就職	教員							
	農業							
	鉱業							
	建設業				2		2	
	製造業：食品等	1					1	
	製造業：繊維			1			1	
	製造業：印刷関連	1	1				2	
	製造業：化学工業等	1	2		3	1	7	
	製造業：鉄鋼業等	2	1	1	1		5	
	製造業：はん用機械	2		5	1	1	9	
	製造業：電子／デバイス	1	4	3		1	9	
	製造業：電気／情報通信機械	2	4	4	4	1	15	
	製造業：輸送用機械	3	3	1	2	1	10	
	製造業：その他		1	1	1		3	
	電気・ガス・水道業							
	情報通信業	1	2	1	3	1	8	
	運輸・郵便業							
	卸・小売業		1				1	
	金融・保険業		1				1	
	不動産・物品賃貸業							
	サービス業	1	1		3	1	6	
	教育・学習支援業				2		2	
	医療・福祉業		1				1	
	公務員				3	1	4	
	その他					1	1	
	就職 計	15	22	17	25	9	88	
進学	大学院	18	19	16	10	18	81	
	諸学校							
	進学 計	18	19	16	10	18	81	
その他	その他		1	1		2	4	
合計		33	42	34	35	29	173	

○ 先端材料理工学科卒業者の進路（H29年度～R3年度）

就職先詳細（R1年度～R3年度抜粋）

R1	官公庁等	
	企業等	NTTエレクトロニクス、SMC、TPR、エノモト、ケーヒン、コスモ、シンレキ工業、セイコーエプソン、ティボー、テルモ、デンソーテンテクノロジー、トーヨーアサノ、浜松ホトニクス、パッファロー、パーパス、富士電機、矢崎化工
	大学院等	山梨大学大学院(15)、東京工業大学大学院(1)
R2	官公庁等	山梨県警察、南部町、菊川市
	企業等	USEN-NEXT HOLDINGS、アルディート、アルプス技研、石垣エンジニアリング、エア・ウォーター・マッハ、キオクシア、共信冷熱、コイケ、しんせい塾、スターインフォテック、双信電機、デンソーテクノ、天龍コンボジット、東芝キャリア、トヨタシステムズ、トランスコスモス、日本金属、マツダ、矢崎化工、山梨大学、リスグループ、リベロホーム
	大学院等	山梨大学大学院(10)
R3	官公庁等	甲府市
	企業等	YITOAマイクロテクノロジー、加藤電器製作所、クラシエホールディングス、ニプロ医療電子システムズ、マイナビedge、ヤマトシステム開発
	大学院等	山梨大学大学院(16)、横浜国立大学大学院(1)、東京工業大学大学院(1)



○ 工学部関係の業種別求人数(R1年度～R4年度卒業)

業種等	卒業年度				傾向 (グラフ)
	R1	R2	R3	R4	
教員	30	15	14	7	
建設業	478	433	430	297	
製造業:食品等	54	30	34	21	
製造業:繊維	18	14	8	3	
製造業:印刷関連	12	12	16	8	
製造業:化学工業等	108	87	88	68	
製造業:鉄鋼業等	12	15	11	8	
製造業:はん用機械	113	101	117	81	
製造業:電子／デバイス	70	81	67	56	
製造業:電気／情報通信機械	110	61	83	52	
製造業:輸送用機械	103	95	92	52	
製造業:その他	338	281	223	126	
電気・ガス・水道業	28	27	25	21	
情報通信業	536	422	358	241	
運輸・郵便業	31	26	17	12	
卸・小売業	208	153	135	73	
金融・保険業	24	20	16	7	
不動産・物品賃貸業	17	10	8	11	
サービス業	211	186	146	106	
教育・学習支援業	16	14	11	4	
医療・福祉業	58	52	40	28	
公務員	17	10	9	13	
その他(漁業、農業、鉱業を含む)	7	4	8	6	
計	2,599	2,149	1,956	1,301	

※各年度とも、前年度末までに求人票を受け付けた企業等数を集計

ポイント

- ・コロナ禍の影響等により景気が後退傾向にあることから、ほとんどの業種で求人数が減少傾向にある
- ・一方で、減少傾向にはあるものの、情報通信業や建設業からの求人は多数存在している

山梨大学工学部に関するアンケート調査【高校生向け】

このアンケート調査は、令和6年4月に予定している山梨大学工学部の改組（再編）や将来的な方向性を検討する基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

回答内容は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用したりすることはありません。また、入学者選抜の可否等にも一切影響しませんので、忌憚のないご意見をお聞かせください。

以下の山梨大学HPに改組や入試の変更等に係る情報を掲載しておりますので、ご参照ください。

URL <https://www.yamanashi.ac.jp/examination/37247>

2024年（令和6年）4月～

現時点での構想であり、今後、変更があり得ます。
コース名等は全て仮称です。



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI
令和4年4月18日

「生まれ変わる 山梨大学工学部」

新たな社会に貢献できる工学系人材を育成

⇒「SDGs」：持続可能な社会
カーボンニュートラルのためのエネルギー問題への取り組みなど

「地方創生」：地方のポテンシャルを引き出し継続的な営みができる社会

「Society5.0」：IoTやビッグデータ、人工知能等の技術革新による新たな社会

新入試

- 一括入試の導入による募集人員の弾力化
 - ・成績上位者からコース希望を勘案して合格者を決定
 - ・総定員（365人）の枠内で各コースの募集人員をニーズ等を踏まえて弾力的に設定
- 学校推薦型選抜Ⅰの導入
 - ・調査書・推薦書・小論文・面接等で総合的に評価（大学入学共通テストは課さない）
- 大学入学共通テストで「生物」が選択可能
 - ・大学入学共通テストの理科選択科目が「物理、化学、生物のうちから2科目選択」に変更

新体制

- 7学科を1学科複数コースに再編
 - ・分野間の垣根を低くし、進路選択が柔軟となるよう変更
 - ・新コースの設置により進路選択の幅が拡大
- クリーンエネルギー化学コースを新設
 - ・化学の力でエネルギー問題を解決できる人材を育成
 - ・山梨大学が有するクリーンエネルギー分野における国内有数の研究実績（燃料電池やエネルギー変換など）を活用し、新たなコースを設置
- 総合工学クラスを新設
 - ・入学後に進む分野を決定したい、進みたい分野があるが入学後に適性を見極めたい、幅広い工学の知識や技術を学んでから専門の分野に進みたい、というニーズに対応したクラスを設置（出願時に「総合工学科」を選択）
 - ・総合工学クラス出身の学生が最優先で履修可能なプログラムを実施（文理融合教育やアントレプレナー（起業家）シップ教育なども検討）

新教育

- 工学基礎教育の強化
 - ・数理・データサイエンス・AI
 - ・コース・学部を超えた、幅広い専門性を有する教員による授業を実施
- 1年次はクラスに所属、2年次から専門分野ごとのコースに所属
 - ・1年次の基礎教育科目を充実（PBL、キャリア教育、語学教育など）
- 転コース制度等による進路選択の柔軟化
 - ・2年次のコース配属時に条件を満たせば他コースへの変更が可能、3年次進級時にも転コースが可能
- 特別教育プログラム（特P）の実施
 - ・希望者は3年次進級時に専門性の高い特Pを履修可能（大学院修士課程までの一貫教育）

0 あなたについて

0-1 あなたの学年についておたずねします。

☐1年生

☐2年生

☐3年生

☐その他

0-2 あなたの性別についておたずねします。

☐男性

☐女性

☐その他

0-3 あなたの在籍学科についておたずねします。

☐普通科

☐工業科

☐総合学科

☐理数科

☐文理科

☐英数科

☐その他

1 あなたは卒業後、どのような進路を希望しますか？

○大学進学

○短期大学進学・専修学校（専門学校）進学

○就職・就業・その他

2 あなたが進学したい分野を教えてください。

	①とても進学したい	②進学したい	③どちらかといえば 進学したい	④どちらともいえない・ まだ決めかねている	⑤進学したくない
クリーンエネルギー	○	○	○	○	○
機械・ロボット	○	○	○	○	○
電気・電子	○	○	○	○	○
情報・コンピュータ・ ソフトウェア	○	○	○	○	○
化学	○	○	○	○	○
物理	○	○	○	○	○
土木・建築	○	○	○	○	○
環境科学	○	○	○	○	○
生命科学・農学	○	○	○	○	○
医療	○	○	○	○	○
ビジネス	○	○	○	○	○
政策・地域・人間	○	○	○	○	○
その他	○	○	○	○	○

3 あなたは、進学先としてどの地域を希望しますか。

	①強く希望する	②希望する	③どちらかといえば希望する	④希望しない
山梨	○	○	○	○
北海道	○	○	○	○
東北	○	○	○	○
北陸	○	○	○	○
関東	○	○	○	○
中部	○	○	○	○
東海	○	○	○	○
近畿	○	○	○	○
中四国	○	○	○	○
九州・沖縄	○	○	○	○
海外	○	○	○	○

4 あなたが進学先を検討するにあたり重要と考える事項を次の中から3つまで選んでください。

- ☐学費（入学金・授業料等）がリーズナブルであること
- ☐家からの距離が近いこと
- ☐立地の良さ
- ☐施設・設備が充実していること
- ☐教育体制が充実していること
- ☐著名な教員がいること
- ☐クリーンエネルギー・SDGs・データサイエンスなど世界のトレンドに合わせた教育研究を行っていること
- ☐教育職員免許が取得できること
- ☐学びたい分野があるか
- ☐学力レベル（偏差値）
- ☐保護者の意向
- ☐高校の先生のアドバイス
- ☐先輩・友人等のアドバイス
- ☐その他

5 あなたは進学先として山梨大学を検討する予定はありますか。

- ☐ある
- ☐ない

6 あなたは山梨大学工学部のこと（所在地、分野、教育、研究内容など）をご存じですか。

- ☐知っている
- ☐知らない

7-1 あなたは山梨大学工学部の受験を検討していますか。

☐ 検討している

☐ 検討していない

7-2 （検討していない場合のみ）検討していない理由を教えてください。

☐ 興味がない

☐ 学力レベルが合っておらず合格できそうにない

☐ より学力レベルの高い大学に進学したい

☐ 公立又は私立大学志望である

☐ 工学部以外の理系学部志望である

☐ 山梨県外へ進学したい

☐ その他

8 （7-1で「検討している」場合のみ）現在の学科に関し、どの学科を検討しているか教えてください。

	①強く検討している	②検討している	③少し検討している	④どちらかといえば 検討していない	⑤検討しない
機械工学科	☐	☐	☐	☐	☐
メカトロニクス工学科	☐	☐	☐	☐	☐
電気電子工学科	☐	☐	☐	☐	☐
コンピュータ理工学科	☐	☐	☐	☐	☐
土木環境工学科	☐	☐	☐	☐	☐
応用化学科	☐	☐	☐	☐	☐
先端材料理工学科	☐	☐	☐	☐	☐
学科未定（※）	☐	☐	☐	☐	☐

※①～④のいずれを選択しても、回答内容に違いはありません

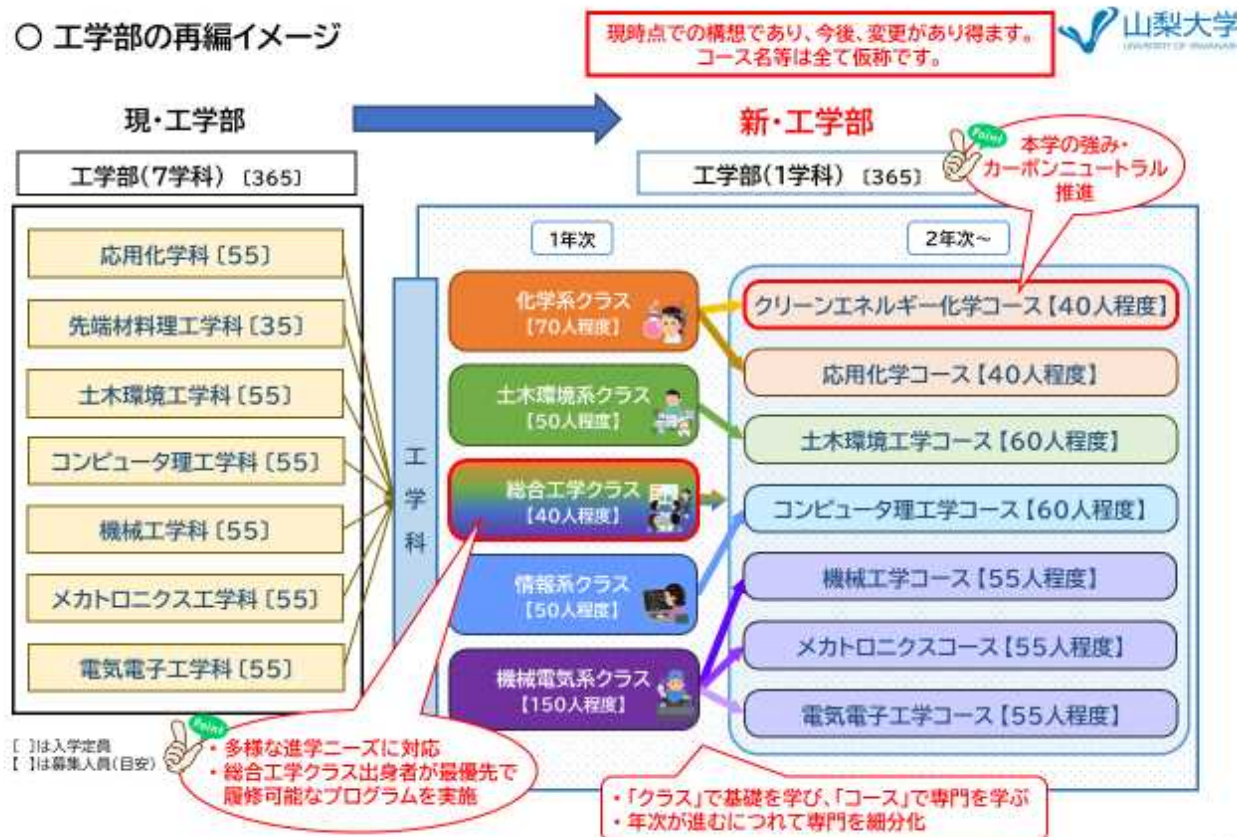
9 （7-1で「検討している」場合のみ）最近はSDGsやカーボンニュートラルなどのエネルギー・環境問題がよく話題に上がりますが、あなたはクリーンエネルギーの分野に対する興味はありますか。

☐ ある

☐ ない

10 (7-1で「検討している」場合のみ) 山梨大学工学部ではR6年度より新たにクリーンエネルギー化学コースを作ることを検討しています。このコースでは、燃料電池や太陽エネルギーなどを学びますが、このコースへ進学することに興味はありますか？

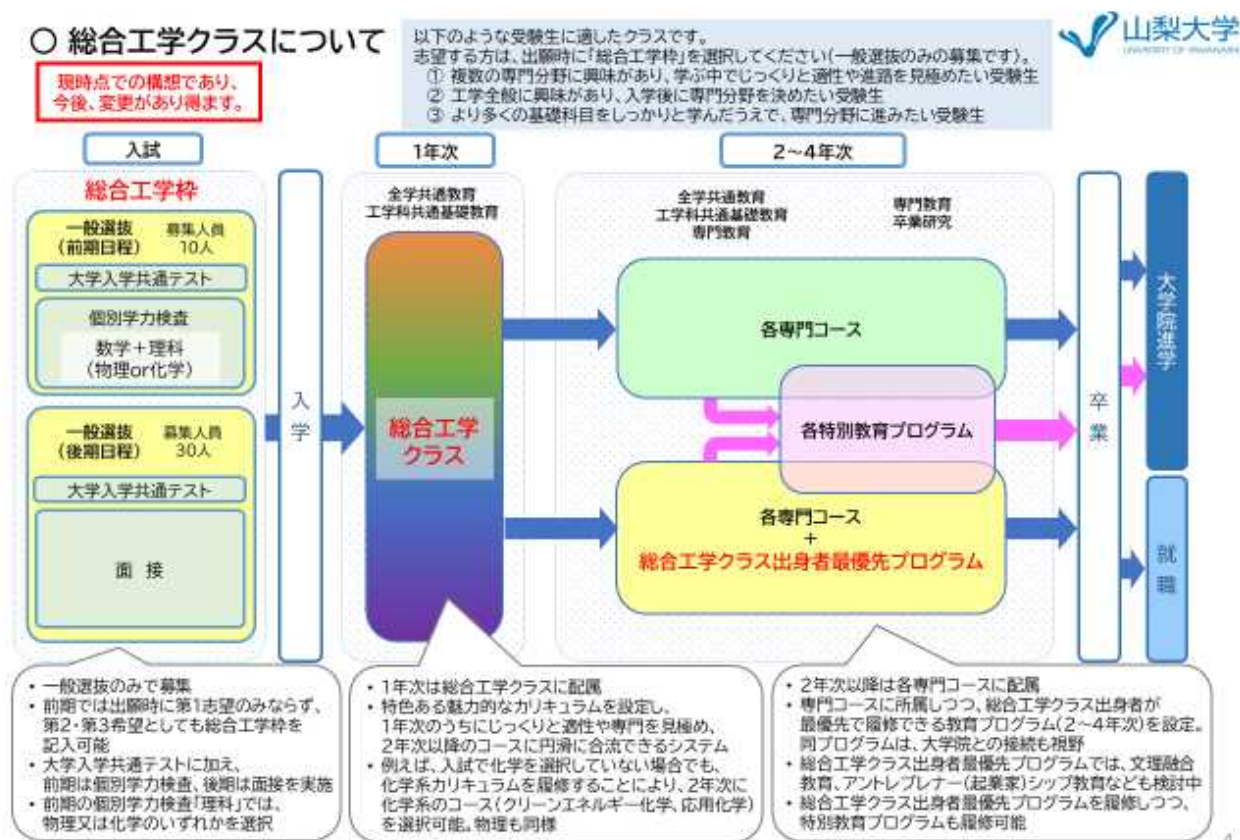
○ 工学部の再編イメージ



2

- ある
○ない
○その他

11 (7-1で「検討している」場合のみ) 山梨大学工学部ではR6年度より新たに総合工学枠を作ることを検討しています。この枠での入学者のクラス(総合工学クラス)では、2年生への進級時にコースを決定したり、このクラス出身者が最優先で選べるプログラム(文理融合やアントレプレナーシップ教育を導入予定)も開設予定ですが、このコースへ進学することに興味はありますか?



- ある
- ない
- その他



山梨大学
YAMANASHI UNIVERSITY

26

13 あなたは大学（山梨大学以外も含む）で高校の教育職員免許を取得することに興味がありますか。（参考：現在、山梨大学工学部では、学科により、「数学」「理科」「情報」「工業」の一種免許が取得可能です。）

- ☐ある（数学）
- ☐ある（理科）
- ☐ある（情報）
- ☐ある（工業）
- ☐ある（それ以外の教科）
- ☐ない
- ☐その他

14 好ましいと考える入試方法を教えてください。

- ☐共通テストのみ
- ☐共通テスト＋学力試験
- ☐共通テスト＋面接
- ☐共通テスト＋小論文
- ☐面接のみ
- ☐面接＋実技（実験等）
- ☐その他

15 好ましいと考える受験方を教えてください。

- ☐希望する学科やコースを選択して受験
- ☐学部のみを選択して受験（学科やコースは入学後の希望や成績で決定）
- ☐その他

16 あなたの得意科目を教えてください。（3つまで選択可）

- ☐国語
- ☐数学
- ☐英語
- ☐物理
- ☐化学
- ☐生物
- ☐地学
- ☐情報
- ☐地理・歴史
- ☐公民

17 共通テストで「生物」を選択できれば、山梨大学工学部を受験したいですか。

- ☐ぜひ受験したい
- ☐どちらかといえば受験したい
- ☐わからない
- ☐その他

18 どのような入学前教育がよいと思いますか。

- ☐オンラインの教材で学力の不足を補うための入学前教育
- ☐オンラインで大学入学後の学修を先取りする入学前教育
- ☐対面方式で学力の不足を補うための入学前教育
- ☐対面方式で大学入学後の学修を先取りする入学前教育
- ☐その他

19 あなたは進学先でどのような基礎教育を受けたいと考えますか。次の中から3つまで選んでください。(ここでの基礎教育とは、数学、物理、化学、生物や英語などの基礎的な科目の教育を指します。)

- ☐低学年で基礎教育を重視した教育プログラム
- ☐基礎教育は重視せず入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育プログラム
- ☐基礎科目の学習の遅れに対する補習を行うなど基礎教育が丁寧な教育プログラム
- ☐習熟度ごとにクラス分けをすることで学習効果を高める教育プログラム
- ☐英語の外部試験（TOEIC、TOEFL など）の対策などを取り入れた教育プログラム
- ☐語学教育の充実や留学・海外との大学の交流等国际性を重視した教育プログラム
- ☐その他

20 あなたは進学先を選ぶ際、特に専門的な教育に対してどのようなことを重視しますか。次の中から3つまで選んでください。

- ☐入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育プログラム
- ☐入学後に他学科への興味が大きくなったときに成績次第で転学科ができるよう考慮した教育プログラム
- ☐実験・実習などの実践型授業を多く取り入れた教育プログラム
- ☐資格や免許等の取得が可能な教育プログラム
- ☐地域資源を活用するなど地域性を取り入れた教育プログラム
- ☐民間企業などでのインターンシップ（現地実習）を取り入れた教育プログラム
- ☐大学院進学を前提とした教育プログラム
- ☐その他

21 現在、様々な英語の外部検定試験（英検、TOEIC、TOEFL など）があります。あなたが進学先に入学したらそれらの英語外部検定試験についてどのように取り組む予定ですか。

- ☐ 進学先の授業とは関係なく毎年受験して英語の実力を確認する。
- ☐ 進学先の授業とは関係なく1回は受験する。
- ☐ 進学先の授業で英語があるため受験するつもりはない。
- ☐ 進学先や教員の指示もしくは推薦があれば受験を考える。
- ☐ その他

22 あなたは入学後の所属コース（学修分野）についてどのように思いますか。

- ☐ 入学試験により入学を許可された分野を深く学びたい。
- ☐ 入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べるのが良い。
- ☐ 入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる方が良い。
- ☐ 分野を固定せず、浅くても様々な分野を学べる方が良い。
- ☐ その他

23 あなたの大学卒業後の進路希望について教えてください。

- ☐ 大学院に進学
- ☐ 就職
- ☐ その他

24 あなたは将来の就職についてどのような職種を希望しますか。次の中から2つまで選んでください。

- ☐ 専門職（研究者・開発含む）
- ☐ クリエイティブ・編集・出版
- ☐ IT・エンジニア
- ☐ 土木・建設
- ☐ 製造・工場・倉庫
- ☐ 営業
- ☐ 事務・オフィスワーク
- ☐ 販売
- ☐ 飲食・フード
- ☐ サービス・警備・清掃
- ☐ イベント・レジャー・娯楽
- ☐ 教育・カルチャー・スポーツ（塾・インストラクターなど）
- ☐ 理容・美容
- ☐ 医療・介護・福祉
- ☐ ドライバー・配達
- ☐ 農水産関係
- ☐ その他

25 あなたは将来の就職先としてどの業種を希望しますか。次の中から2つまで選んでください。

- ☐製造業
☐通信業
☐電気・ガス
☐運搬業
☐建設業
☐公務員
☐広告・出版・マスコミ
☐金融・保険業
☐医療・福祉
☐サービス業
☐不動産業
☐教育・学習支援
☐卸売・小売・飲食業
☐農林・水産業
☐鉱業
☐漁業
☐どこでもよい
☐その他

26 あなたは、就職先としてどの地域を希望しますか。

	①強く希望する	②希望する	③選択肢の一つである	④希望しない
山梨	○	○	○	○
北海道	○	○	○	○
東北	○	○	○	○
北陸	○	○	○	○
関東	○	○	○	○
中部	○	○	○	○
東海	○	○	○	○
近畿	○	○	○	○
中四国	○	○	○	○
九州・沖縄	○	○	○	○
海外	○	○	○	○

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

山梨大学工学部に関するアンケート調査【保護者向け】

このアンケート調査は、令和6年4月に予定している山梨大学工学部の改組（再編）や将来的な方向性を検討する基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

回答内容は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用したりすることはありません。また、入学者選抜の可否等にも一切影響しませんので、忌憚のないご意見をお聞かせください。

以下の山梨大学HPに改組や入試の変更等に係る情報を掲載しておりますので、ご参照ください。

URL <https://www.yamanashi.ac.jp/examination/37247>

2024年（令和6年）4月～

現時点での構想であり、今後、変更があり得ます。
コース名等は全て仮称です。



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI
令和4年4月18日

「生まれ変わる 山梨大学工学部」

新たな社会に貢献できる工学系人材を育成

⇒「SDGs」：持続可能な社会
カーボンニュートラルのためのエネルギー問題への取り組みなど

「地方創生」：地方のポテンシャルを引き出し継続的な営みができる社会

「Society5.0」：IoTやビッグデータ、人工知能等の技術革新による新たな社会

新入試

- 一括入試の導入による募集人員の弾力化
 - ・成績上位者からコース希望を勘案して合格者を決定
 - ・総定員（365人）の枠内で各コースの募集人員をニーズ等を踏まえて弾力的に設定
- 学校推薦型選抜Ⅰの導入
 - ・調査書・推薦書・小論文・面接等で総合的に評価（大学入学共通テストは課さない）
- 大学入学共通テストで「生物」が選択可能
 - ・大学入学共通テストの理科選択科目が「物理、化学、生物のうちから2科目選択」に変更

新体制

- 7学科を1学科複数コースに再編
 - ・分野間の垣根を低くし、進路選択が柔軟となるよう変更
 - ・新コースの設置により進路選択の幅が拡大
- クリーンエネルギー化学コースを新設
 - ・化学の力でエネルギー問題を解決できる人材を育成
 - ・山梨大学が有するクリーンエネルギー分野における国内有数の研究実績（燃料電池やエネルギー変換など）を活用し、新たなコースを設置
- 総合工学クラスを新設
 - ・入学後に進む分野を決定したい、進みたい分野があるが入学後に適性を見極めたい、幅広い工学の知識や技術を学んでから専門の分野に進みたい、というニーズに対応したクラスを設置（出願時に「総合工学科」を選択）
 - ・総合工学クラス出身の学生が最優先で履修可能なプログラムを実施（文理融合教育やアントレプレナー（起業家）シップ教育なども検討）

新教育

- 工学基礎教育の強化
 - ・数理・データサイエンス・AI
 - ・コース・学部を超えた、幅広い専門性を有する教員による授業を実施
- 1年次はクラスに所属、2年次から専門分野ごとのコースに所属
 - ・1年次の基礎教育科目を充実（PBL、キャリア教育、語学教育など）
- 転コース制度等による進路選択の柔軟化
 - ・2年次のコース配属時に条件を満たせば他コースへの変更が可能、3年次進級時にも転コースが可能
- 特別教育プログラム（特P）の実施
 - ・希望者は3年次進級時に専門性の高い特Pを履修可能（大学院修士課程までの一貫教育）

0 あなたについて

0-1 高校生のお子様の学年についておたずねします。(複数回答可)

☐1年生

☐2年生

☐3年生

☐その他

0-2 高校生のお子様の性別についておたずねします。(複数回答可)

☐男性

☐女性

☐その他

0-3 高校生のお子様の在籍学科についておたずねします。(複数回答可)

☐普通科

☐工業科

☐総合学科

☐理数科

☐文理科

☐その他

1 お子様が高校卒業後、どのような進路に進むことを希望しますか？

○大学進学

○短期大学進学・専修学校（専門学校）進学

○就職・就業・その他

2 お子様に進学させたい分野を教えてください。

	①とても進学させたい	②進学させたい	③どちらかといえば 進学させたい	④どちらともいえない・ まだ決めかねている	⑤進学させたくない
クリーンエネルギー	○	○	○	○	○
機械・ロボット	○	○	○	○	○
電気・電子	○	○	○	○	○
情報・コンピュータ・ ソフトウェア	○	○	○	○	○
化学	○	○	○	○	○
物理	○	○	○	○	○
土木・建築	○	○	○	○	○
環境科学	○	○	○	○	○
生命科学・農学	○	○	○	○	○
医療	○	○	○	○	○
ビジネス	○	○	○	○	○
政策・地域・人間	○	○	○	○	○
その他	○	○	○	○	○

3 お子様の進学先としてどの地域を希望しますか。

	①強く希望する	②希望する	③選択肢の一つである	④希望しない
山梨	○	○	○	○
北海道	○	○	○	○
東北	○	○	○	○
北陸	○	○	○	○
関東	○	○	○	○
中部	○	○	○	○
東海	○	○	○	○
近畿	○	○	○	○
中四国	○	○	○	○
九州・沖縄	○	○	○	○
海外	○	○	○	○

4 お子様の進学先を検討する際に重要と考える事項を次の中から3つまで選んでください。

☐学費（入学金・授業料等）がリーズナブルであること

☐家からの距離が近いこと

☐立地の良さ

☐施設・設備が充実していること

☐教育体制が充実していること

☐著名な教員がいること

☐クリーンエネルギー・SDGs・データサイエンスなど世界のトレンドに合わせた教育研究を行っていること

☐教育職員免許が取得できること

☐学びたい分野があるか

☐学力レベル（偏差値）

☐本人（お子様）の意思

☐高校の先生のアドバイス

☐その他

5 お子様の進学先として山梨大学を検討する予定はありますか。

☐ある

☐ない

6 あなたは山梨大学工学部のこと（所在地、分野、教育、研究内容など）をご存じですか。

☐知っている

☐知らない

7-1 お子様の山梨大学工学部の受験を検討していますか。

☐ 検討している

☐ 検討していない

7-2 （検討していない場合のみ）検討していない理由を教えてください。

☐ 興味がない

☐ 学力レベルが合っておらず合格できそうにない

☐ より学力レベルの高い大学に進学させたい

☐ 公立又は私立大学志望である

☐ 工学部以外の理系学部志望である

☐ 山梨県外へ進学させたい

☐ その他

8 （7-1で「検討している」場合のみ）現在の学科に関し、どの学科を検討しているか教えてください。

	①強く検討している	②検討している	③少し検討している	④どちらかといえば 検討していない	⑤検討しない
機械工学科	☐	☐	☐	☐	☐
メカトロニクス工学科	☐	☐	☐	☐	☐
電気電子工学科	☐	☐	☐	☐	☐
コンピュータ理工学科	☐	☐	☐	☐	☐
土木環境工学科	☐	☐	☐	☐	☐
応用化学科	☐	☐	☐	☐	☐
先端材料理工学科	☐	☐	☐	☐	☐
学科未定（※）	☐	☐	☐	☐	☐

※①～④のいずれを選択しても、回答内容に違いはありません

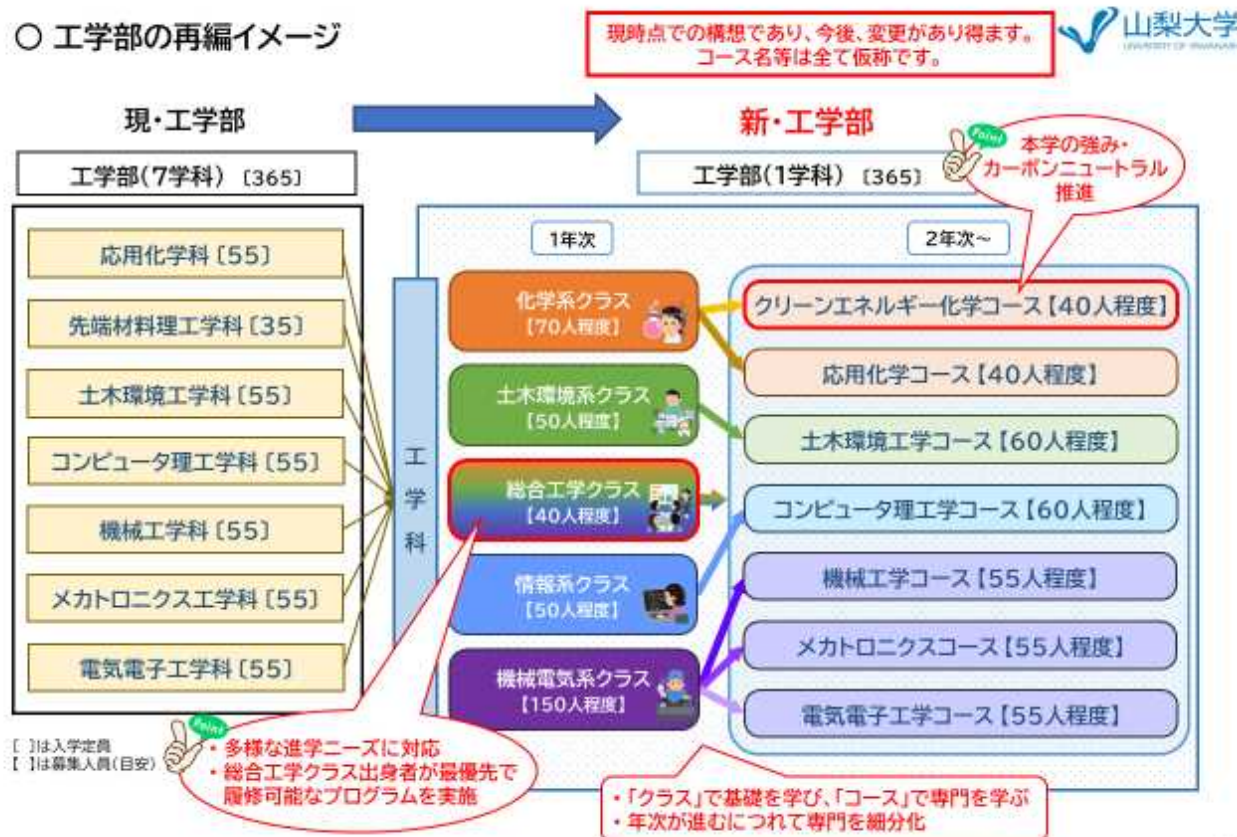
9 （7-1で「検討している」場合のみ）最近はSDGsやカーボンニュートラルなどのエネルギー・環境問題がよく話題に上がりますが、あなたはお子様にクリーンエネルギーの分野に対する興味を持ってほしいですか。

☐ 持ってほしい

☐ 持ってほしくない

10 (7-1で「検討している」場合のみ) 山梨大学工学部ではR6年度より新たにクリーンエネルギー化学コースを作ることを検討しています。このコースでは、燃料電池や太陽エネルギーなどを学びますが、お子様にこのコースへの進学を勧めたいですか？*

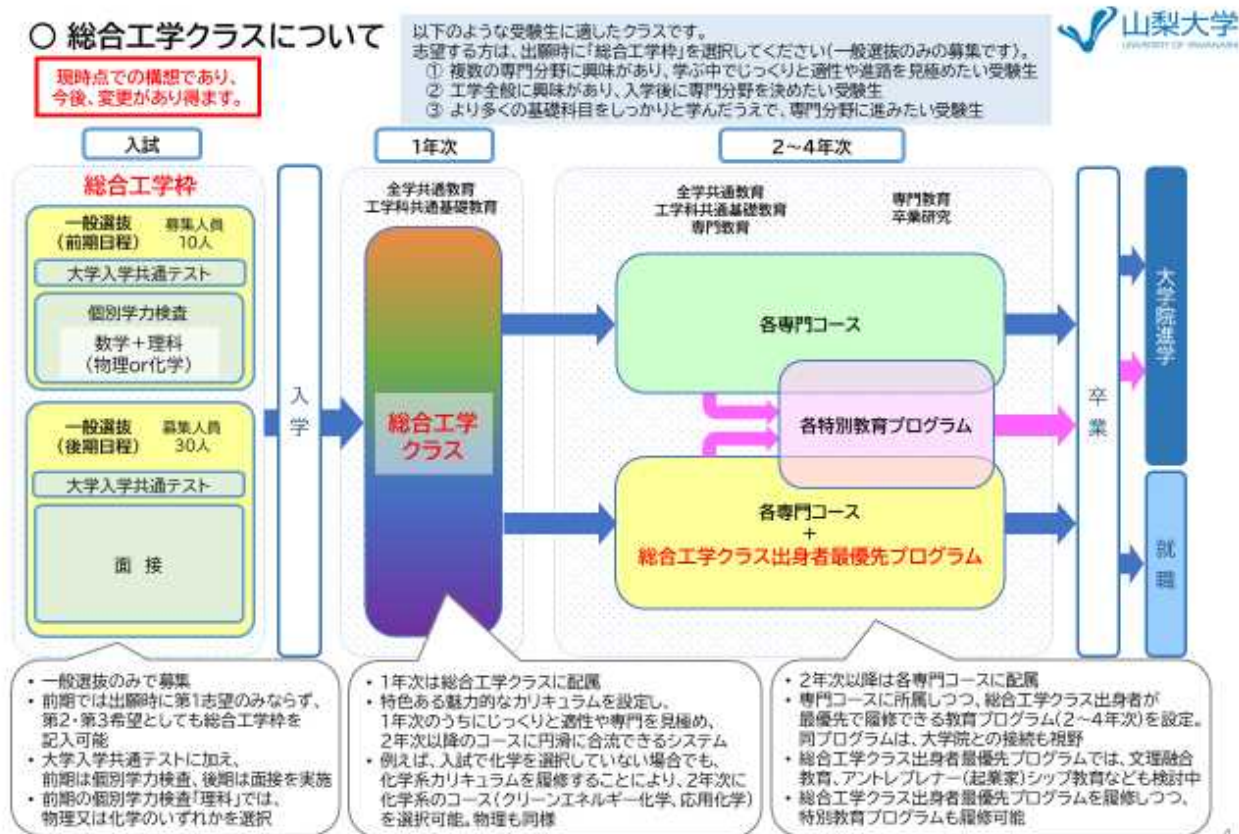
○ 工学部の再編イメージ



2

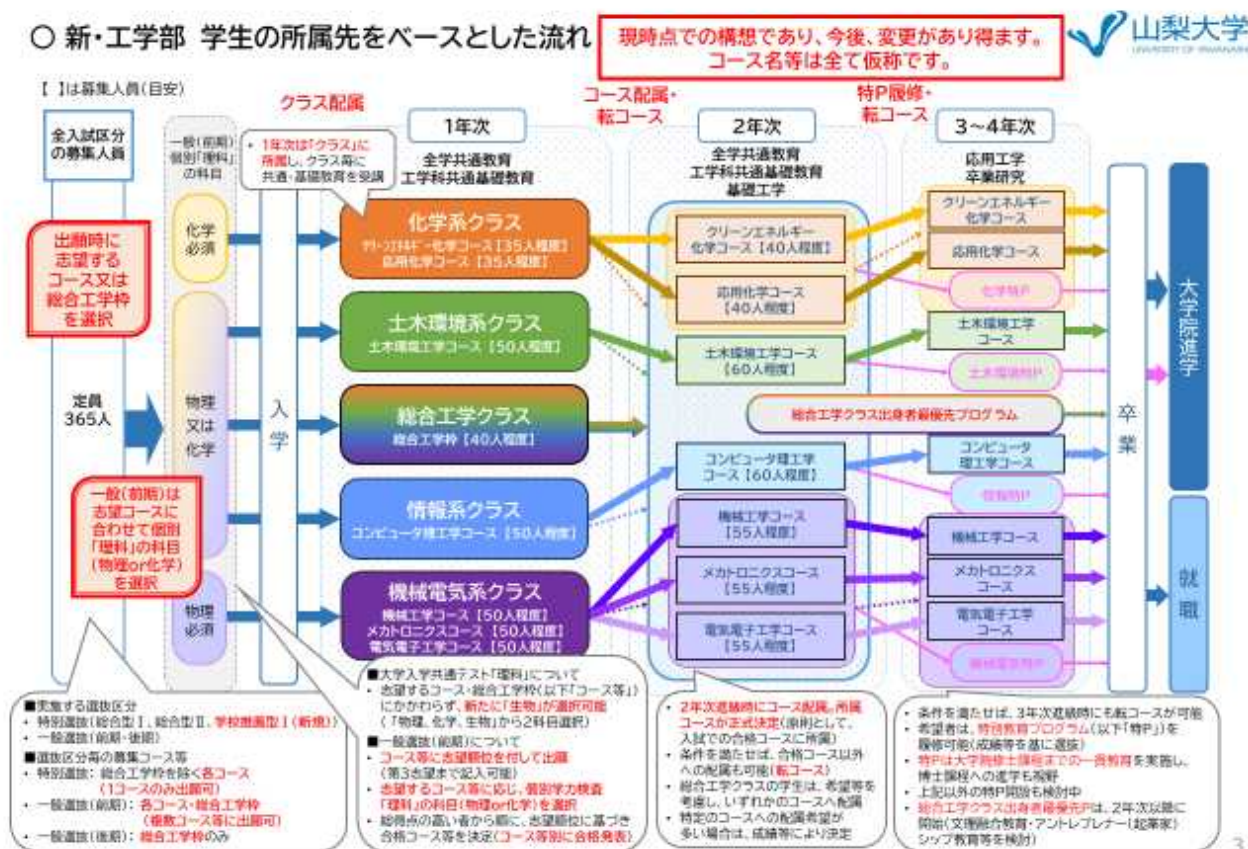
- 勧めたい
- 勧めたくない
- その他

11 (7-1で「検討している」場合のみ) 山梨大学工学部ではR6年度より新たに総合工学枠を作ることを検討しています。この枠での入学者のクラス(総合工学クラス)では、2年生への進級時にコースを決定したり、このクラス出身者が最優先で選べるプログラム(文理融合やアントレプレナーシップ教育を導入予定)も開設予定ですが、お様にこのコースへ進学を勧めたいですか?



- 勧めたい
- 勧めたくない
- その他

12 (7-1で「検討している」場合のみ) 山梨大学工学部は R6 年度より改組して新たな工学部に生まれ変わる予定です。以下のよう
なコース設定を予定していますが、この中でお子様に入学させたい又は興味があるコースを教えてください。



	①とても入学させたい	②入学させたい	③少し入学させたい	④どちらかといえば 入学させたくない	⑤入学させたくない
クリーンエネルギー化学	○	○	○	○	○
応用化学	○	○	○	○	○
土木環境工学	○	○	○	○	○
コンピュータ理工学	○	○	○	○	○
機械工学	○	○	○	○	○
メカトロニクス	○	○	○	○	○
電気電子工学	○	○	○	○	○
総合工学クラス (枠)	○	○	○	○	○

13 お子様の受験に対して好ましいと考える入試方法を教えてください。

- ☐ 共通テストのみ
- ☐ 共通テスト+学力試験
- ☐ 共通テスト+面接
- ☐ 共通テスト+小論文
- ☐ 面接のみ
- ☐ 面接+実技（実験等）
- ☐ その他

14 お子様の受験に対して好ましいと考える受験方を教えてください。

- ☐ 希望する学科やコースを選択して受験
- ☐ 学部のみを選択して受験（学科やコースは入学後の希望や成績で決定）
- ☐ その他

15 お子様の進学先を選ぶ際、どのような基礎教育を受けさせたいと考えますか。次の中から3つまで選んでください。（ここでの基礎教育とは、数学、物理、化学、生物や英語などの基礎的な科目の教育を指します。）

- ☐ 低学年で基礎教育を重視した教育プログラム
- ☐ 基礎教育は重視せず入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育プログラム
- ☐ 基礎科目の学習の遅れに対する補習を行うなど基礎教育が丁寧な教育プログラム
- ☐ 習熟度ごとにクラス分けをすることで学習効果を高める教育プログラム
- ☐ 英語の外部試験（TOEIC、TOEFL など）の対策などを取り入れた教育プログラム
- ☐ 語学教育の充実や留学・海外との大学の交流等国际性を重視した教育プログラム
- ☐ よくわからない・意見なし
- ☐ その他

16 お子様の進学先を選ぶ際、特に専門的な教育に対してどのようなことを重視しますか。次の中から3つまで選んでください。

- ☐ 入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育プログラム
- ☐ 入学後に他学科への興味が大きくなったときに成績次第で転学科ができるよう考慮した教育プログラム
- ☐ 実験・実習などの実践型授業を多く取り入れた教育プログラム
- ☐ 資格や免許等の取得が可能な教育プログラム
- ☐ 地域資源を活用するなど地域性を取り入れた教育プログラム
- ☐ 民間企業などでのインターンシップ（現地実習）を取り入れた教育プログラム
- ☐ 大学院進学を前提とした教育プログラム
- ☐ よくわからない・意見なし
- ☐ その他

17 現在、様々な英語の外部検定試験（英検、TOEIC、TOEFL など）があります。お子様が進学先に入学したらそれらの英語外部検定試験についてどのように取り組むよう助言する予定ですか。

☐ 進学先の授業とは関係なく毎年受験して英語の実力を確認する。

☐ 進学先の授業とは関係なく1回は受験する。

☐ 進学先の授業で英語があるため受験させるつもりはない。

☐ 進学先や教員の指示もしくは推薦があれば受験を考える。

☐ よくわからない・意見なし

☐ その他

18 お子様の入学後の所属コース（学修分野）についてどのように思いますか。

☐ 入学試験により入学を許可された分野を深く学ばせたい。

☐ 入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べるのが良い。

☐ 入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる方が良い。

☐ 分野を固定せず、浅くても様々な分野を選べる方が良い。

☐ よくわからない・意見なし

☐ その他

19 お子様の大学卒業後の進路希望について教えてください。

☐ 大学院に進学

☐ 就職

☐ その他

20 お子様の将来の就職についてどのような職種を希望しますか。次の中から2つまで選んでください。

- ☐専門職（研究者・開発含む）
- ☐クリエイティブ・編集・出版
- ☐IT・エンジニア
- ☐土木・建設
- ☐製造・工場・倉庫
- ☐営業
- ☐事務・オフィスワーク
- ☐販売
- ☐飲食・フード
- ☐サービス・警備・清掃
- ☐イベント・レジャー・娯楽
- ☐教育・カルチャー・スポーツ（塾・インストラクターなど）
- ☐理容・美容
- ☐医療・介護・福祉
- ☐ドライバー・配達
- ☐農水産関係
- ☐その他

21 お子様の将来の就職先としてどの業種を希望しますか。次の中から2つまで選んでください。

- ☐製造業
- ☐通信業
- ☐電気・ガス
- ☐運搬業
- ☐建設業
- ☐公務員
- ☐広告・出版・マスコミ
- ☐金融・保険業
- ☐医療・福祉
- ☐サービス業
- ☐不動産業
- ☐教育・学習支援
- ☐卸売・小売・飲食業
- ☐農林・水産業
- ☐鉱業
- ☐漁業
- ☐どこでもよい
- ☐その他

2 2 お子様の就職先としてどの地域を希望しますか。

	①強く希望する	②希望する	③選択肢の一つである	④希望しない
山梨	○	○	○	○
北海道	○	○	○	○
東北	○	○	○	○
北陸	○	○	○	○
関東	○	○	○	○
中部	○	○	○	○
東海	○	○	○	○
近畿	○	○	○	○
中四国	○	○	○	○
九州・沖縄	○	○	○	○
海外	○	○	○	○

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

山梨大学工学部に関するアンケート調査【高校教員向け】

このアンケート調査は、令和6年4月に予定している山梨大学工学部の改組（再編）や将来的な方向性を検討する基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

回答内容は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用したりすることはありません。また、入学者選抜の可否や貴校との関係等にも一切影響しませんので、忌憚のないご意見をお聞かせください。

以下の山梨大学HPに改組や入試の変更等に係る情報を掲載しておりますので、ご参照ください。

URL <https://www.yamanashi.ac.jp/examination/37247>

2024年（令和6年）4月～

現時点での構想であり、今後、変更があり得ます。
コース名等は全て仮称です。



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI
令和4年4月18日

「生まれ変わる 山梨大学工学部」

新たな社会に貢献できる工学系人材を育成

⇒ 「SDGs」  : 持続可能な社会
カーボンニュートラルのためのエネルギー問題への取り組みなど

「地方創生」 : 地方のポテンシャルを引き出し継続的な営みができる社会

「Society5.0」 : IoTやビッグデータ、人工知能等の技術革新による新たな社会

新入試

- 一括入試の導入による募集人員の弾力化
 - ・成績上位者からコース希望を勘案して合格者を決定
 - ・総定員（365人）の枠内で各コースの募集人員をニーズ等を踏まえて弾力的に設定
- 学校推薦型選抜Ⅰの導入
 - ・調査書・推薦書・小論文・面接等で総合的に評価（大学入学共通テストは課さない）
- 大学入学共通テストで「生物」が選択可能
 - ・大学入学共通テストの理科選択科目が「物理、化学、生物のうちから2科目選択」に変更

新体制

- 7学科を1学科複数コースに再編
 - ・分野間の垣根を低くし、進路選択が柔軟となるよう変更
 - ・新コースの設置により進路選択の幅が拡大
- クリーンエネルギー化学コースを新設
 - ・化学の力でエネルギー問題を解決できる人材を育成
 - ・山梨大学が有するクリーンエネルギー分野における国内有数の研究実績（燃料電池やエネルギー変換など）を活用し、新たなコースを設置
- 総合工学クラスを新設
 - ・入学後に進む分野を決定したい、進みたい分野があるが入学後に適性を見極めたい、幅広い工学の知識や技術を学んでから専門の分野に進みたい、というニーズに対応したクラスを設置（出願時に「総合工学枠」を選択）
 - ・総合工学クラス出身の学生が最優先で履修可能なプログラムを実施（文理融合教育やアントレプレナー（起業家）シップ教育なども検討）

新教育

- 工学基礎教育の強化
 - ・教理・データサイエンス・AI
 - ・コース・学部を超えた、幅広い専門性を有する教員による授業を実施
- 1年次はクラスに所属、2年次から専門分野ごとのコースに所属
 - ・1年次の基礎教育科目を充実（PBL、キャリア教育、語学教育など）
- 転コース制度等による進路選択の柔軟化
 - ・2年次のコース配属時に条件を満たせば他コースへの変更が可能、3年次進級時にも転コースが可能
- 特別教育プログラム（特P）の実施
 - ・希望者は3年次進級時に専門性の高い特Pを履修可能（大学院修士課程までの一貫教育）

0 あなたについて

0-1 あなたが勤務する高校名についておたずねします。

--

1 生徒の進路指導に際し、進学先に対して特に重視する事項はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

☐教育課程

☐就職指導・補習教育等の学生支援

☐教員組織

☐就職実績・大学院進学実績

☐研究内容・研究実績

☐入学難易度

☐入試制度

☐学費

☐世間での評判

☐生徒の性格・適性

☐生徒や保護者の希望

☐施設・整備

☐過去の進学先への入学実績

☐その他

2 生徒が進路を検討する際に、進学先のどのようなイベントが参考になると感じますか。次の中から2つまで選んでください。

☐オープンキャンパス

☐体験授業

☐SSH等（連携している大学における）

☐出前講義

☐ホームカミングデー

☐学園祭

☐イベントが参考にならない

☐その他

3 直近3年間における進学希望動向において、増加傾向であると感じる分野を上位3つまで選んでください。

★1 番目に増加傾向と感じる分野

- ☐理学関係
- ☐工学関係
- ☐農学関係
- ☐医学・歯学・薬学関係
- ☐文学・史学・哲学関係
- ☐外国語関係
- ☐心理学関係
- ☐法学・政治学関係
- ☐商学・経済学・経営学関係
- ☐社会学関係
- ☐国際関係学関係
- ☐保健関係（看護・理学療法・作業療法・社会福祉等）
- ☐家政学関係
- ☐教員養成・教育学・保育学関係
- ☐芸術関係
- ☐総合科学関係
- ☐その他

★2 番目に増加傾向と感じる分野

- ☐理学関係
- ☐工学関係
- ☐農学関係
- ☐医学・歯学・薬学関係
- ☐文学・史学・哲学関係
- ☐外国語関係
- ☐心理学関係
- ☐法学・政治学関係
- ☐商学・経済学・経営学関係
- ☐社会学関係
- ☐国際関係学関係
- ☐保健関係（看護・理学療法・作業療法・社会福祉等）
- ☐家政学関係
- ☐教員養成・教育学・保育学関係
- ☐芸術関係
- ☐総合科学関係
- ☐その他

★3 番目に増加傾向と感ずる分野

- 理学関係
- 工学関係
- 農学関係
- 医学・歯学・薬学関係
- 文学・史学・哲学関係
- 外国語関係
- 心理学関係
- 法学・政治学関係
- 商学・経済学・経営学関係
- 社会学関係
- 国際関係学関係
- 保健関係（看護・理学療法・作業療法・社会福祉等）
- 家政学関係
- 教員養成・教育学・保育学関係
- 芸術関係
- 総合科学関係
- その他

4 直近3年間における進学希望動向において、減少傾向であると感じる分野を上位3つまで選んでください。

☆1番目に減少傾向と感じる分野

- ☐理学関係
- ☐工学関係
- ☐農学関係
- ☐医学・歯学・薬学関係
- ☐文学・史学・哲学関係
- ☐外国語関係
- ☐心理学関係
- ☐法学・政治学関係
- ☐商学・経済学・経営学関係
- ☐社会学関係
- ☐国際関係学関係
- ☐保健関係（看護・理学療法・作業療法・社会福祉等）
- ☐家政学関係
- ☐教員養成・教育学・保育学関係
- ☐芸術関係
- ☐総合科学関係
- ☐その他

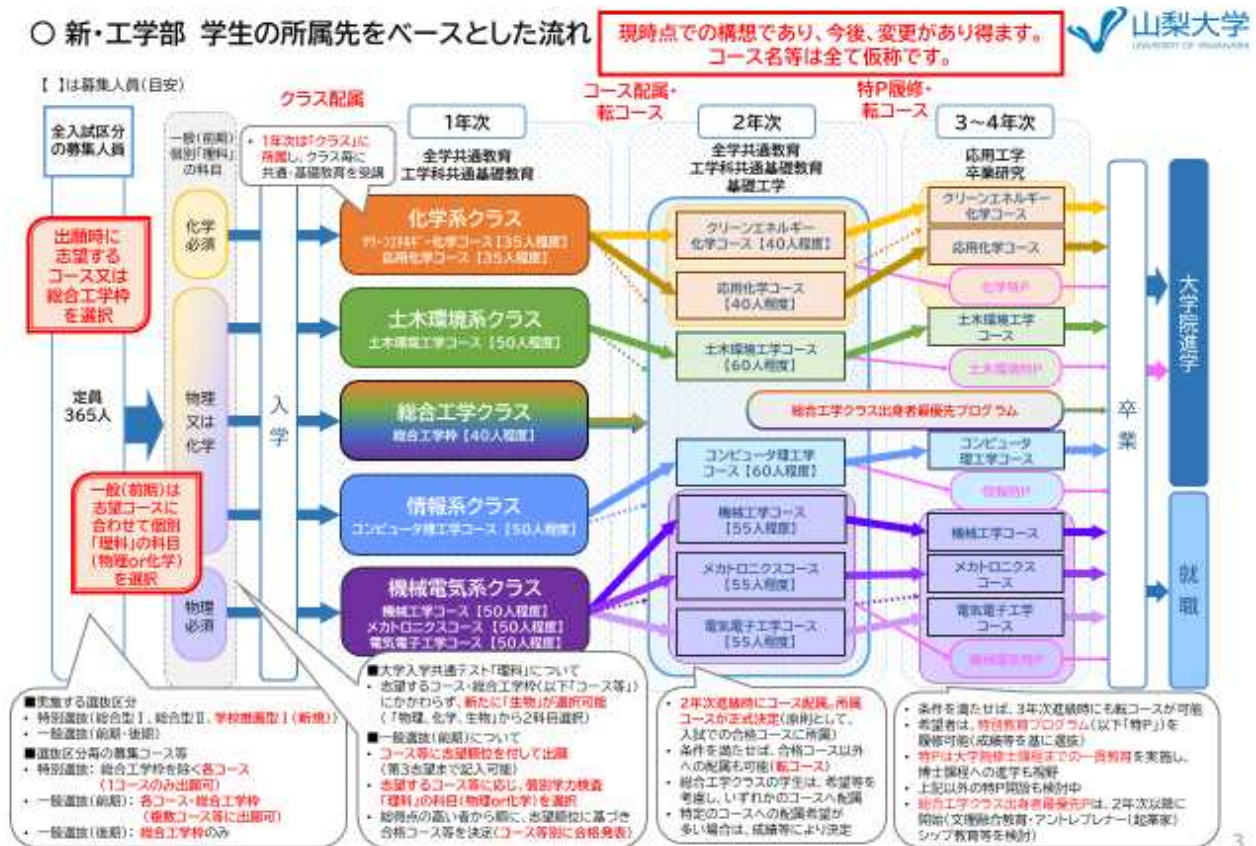
☆2番目に減少傾向と感じる分野

- ☐理学関係
- ☐工学関係
- ☐農学関係
- ☐医学・歯学・薬学関係
- ☐文学・史学・哲学関係
- ☐外国語関係
- ☐心理学関係
- ☐法学・政治学関係
- ☐商学・経済学・経営学関係
- ☐社会学関係
- ☐国際関係学関係
- ☐保健関係（看護・理学療法・作業療法・社会福祉等）
- ☐家政学関係
- ☐教員養成・教育学・保育学関係
- ☐芸術関係
- ☐総合科学関係
- ☐その他

☆3 番目に減少傾向と感ずる分野

- 理学関係
- 工学関係
- 農学関係
- 医学・歯学・薬学関係
- 文学・史学・哲学関係
- 外国語関係
- 心理学関係
- 法学・政治学関係
- 商学・経済学・経営学関係
- 社会学関係
- 国際関係学関係
- 保健関係（看護・理学療法・作業療法・社会福祉等）
- 家政学関係
- 教員養成・教育学・保育学関係
- 芸術関係
- 総合科学関係
- その他

山梨大学工学部ではR6年度より改組して新たな工学部に生まれ変わる予定です。図のようなコース設計を予定しています。



3

5 あなたは現在の山梨大学工学部の受験を生徒に勧めたいですか。

○強く勧めたい

○勧めたい

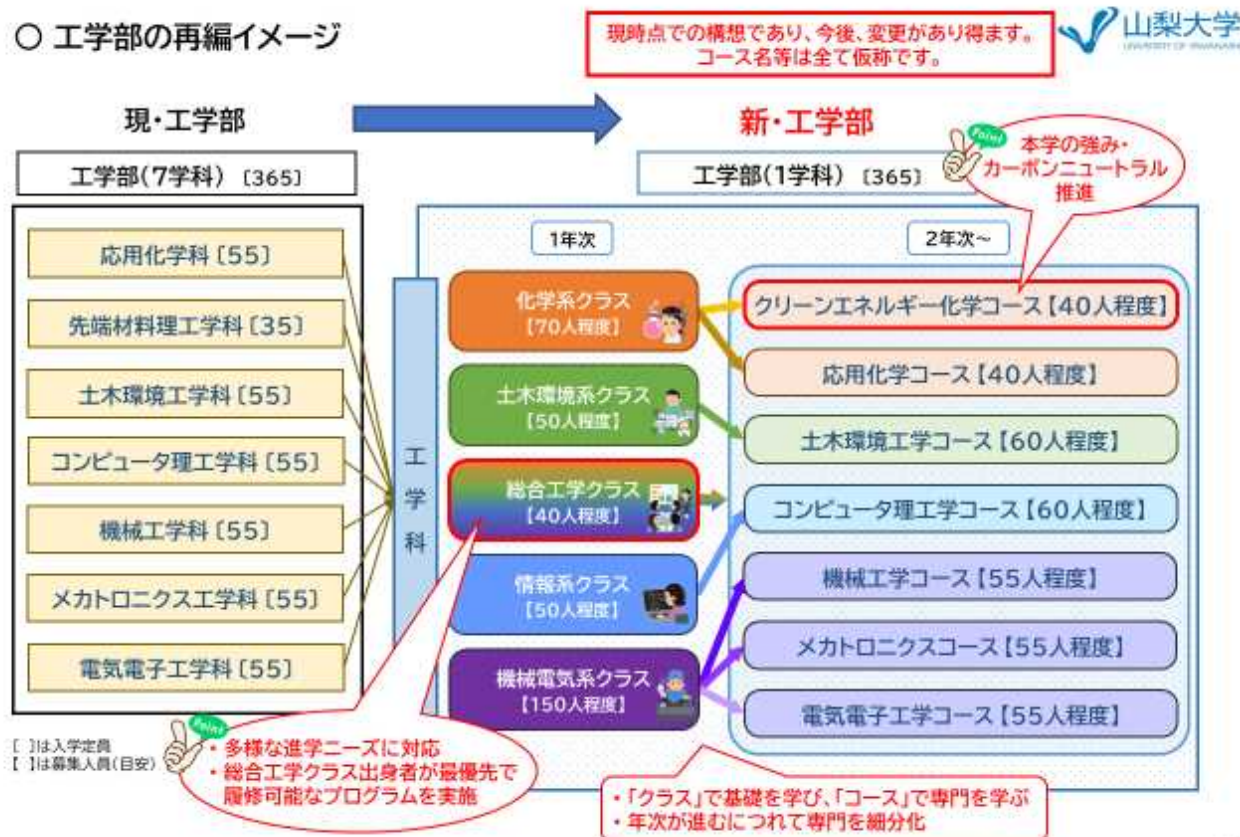
○選択肢の一つとして勧めたい

○勧めたくない

○その他

6 山梨大学工学部では R6 年度より新たにクリーンエネルギー化学コースを作ることを検討しています。このコースでは、燃料電池や太陽エネルギーなどを学びますが、このコースへの進学を勧めたいですか？

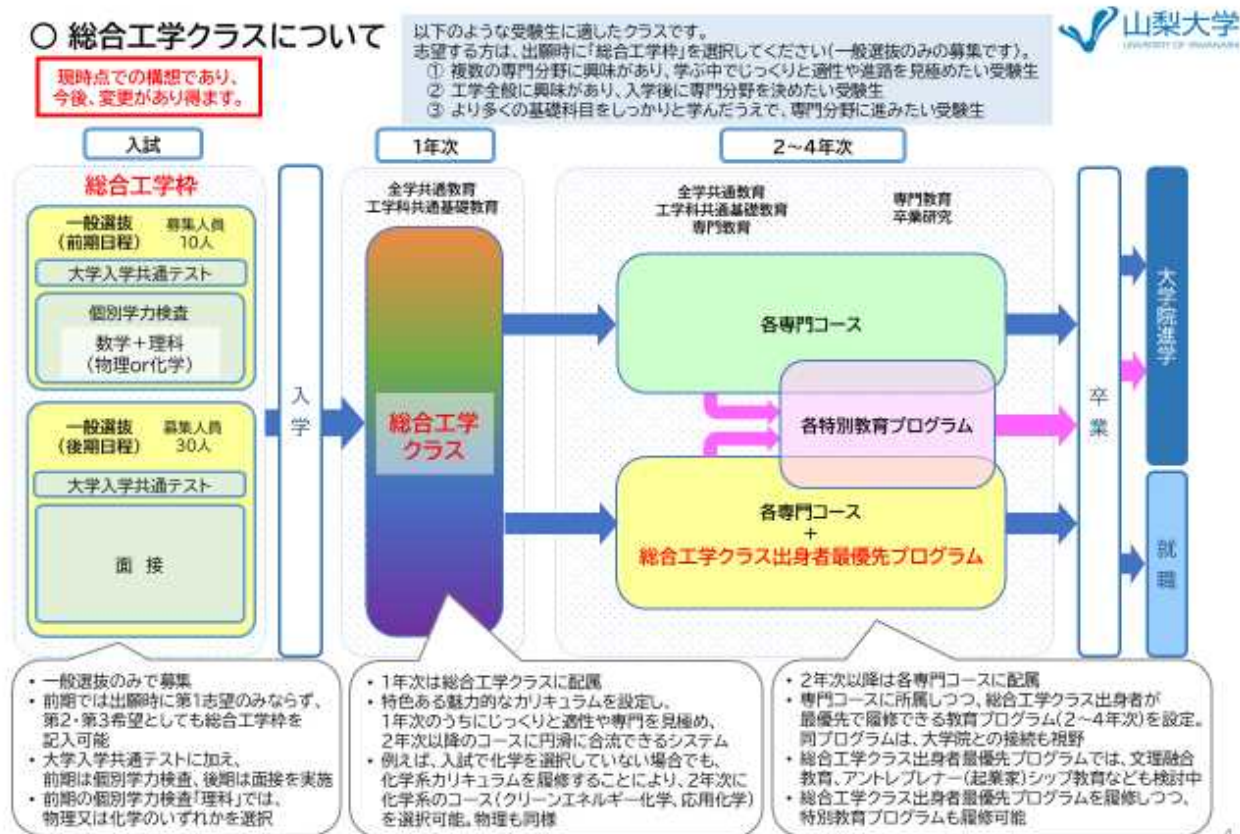
○ 工学部の再編イメージ



2

- 強く勧めたい
- 勧めたい
- 選択肢の一つとして勧めたい
- 勧めたくない
- その他

7 山梨大学工学部では R6 年度より新たに総合工学枠を作ること検討しています。この枠での入学者のクラス（総合工学クラス）では、2年生への進級時にコースを決定したり、このクラス出身者が最優先で選べるプログラム（文理融合やアントレプレナーシップ教育を導入予定）も開設予定ですが、このコースへの進学を勧めたいですか？



- 強く勧めたい
- 勧めたい
- 選択肢の一つとして勧めたい
- 勧めたくない
- その他

8 山梨大学工学部に期待することがあったら教えてください。

9 工学部以外で山梨大学に設置を希望する学部や学科があったら教えてください。

10 現在、山梨高大接続に関する研究会が活動しておりますが、山梨大学工学部の組織や改組に関して高大接続で検討すべきと考えられるテーマがございましたら教えてください。

11 山梨大学に対する要望や不満など、どんな内容でも差し支えありませんので、忌憚のないご意見をお聞かせください。回答内容が貴校との関係等に影響することは一切ありません。

12 生徒に勧めたいと考える入試方法を教えてください。

- ☐ 共通テストのみ
- ☐ 共通テスト＋学力試験
- ☐ 共通テスト＋面接
- ☐ 共通テスト＋小論文
- ☐ 面接のみ
- ☐ 面接＋実技（実験等）
- ☐ その他

13 生徒に勧めやすい大学の受験方を教えてください。

- ☐ 希望する学科やコースを選択して受験
- ☐ 学部のみを選択して受験（学科やコースは入学後の希望や成績で決定）
- ☐ その他

14 特に早期に大学進学先が決まった場合は入学前教育を行うのが効果的とされています。どのような入学前教育が効果的と考えられるかのご意見をいただけると幸いです。

15 生徒への進路指導で進学先を推薦する際、基礎教育に対してどのようなことを重視しますか。次の中から3つまで選んでください。
(ここでの基礎教育とは、数学、物理、化学、生物や英語などの基礎的な科目の教育を指します。)

- ☐ 低学年で基礎教育を重視した教育プログラム
- ☐ 基礎教育は重視せず入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育プログラム
- ☐ 基礎科目の学習の遅れに対する補習を行うなど基礎教育が丁寧な教育プログラム
- ☐ 習熟度ごとにクラス分けをすることで学習効果を高める教育プログラム
- ☐ 英語の外部試験（TOEIC、TOEFL など）の対策などを取り入れた教育プログラム
- ☐ 語学教育の充実や留学・海外との大学の交流等国际性を重視した教育プログラム
- ☐ その他

16 生徒の進学先を推薦する際、特に専門的な教育に対してどのようなことを重視しますか。次の中から3つまで選んでください。

- ☐ 入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育プログラム
- ☐ 入学後に他学科への興味が大きくなったときに成績次第で転学科ができるよう考慮した教育プログラム
- ☐ 実験・実習などの実践型授業を多く取り入れた教育プログラム
- ☐ 資格や免許等の取得が可能な教育プログラム
- ☐ 地域資源を活用するなど地域性を取り入れた教育プログラム
- ☐ 民間企業などでのインターンシップ（現地実習）を取り入れた教育プログラム
- ☐ 大学院進学を前提とした教育プログラム
- ☐ その他

17 現在、様々な英語の外部検定試験（英検、TOEIC、TOEFL など）があります。生徒が進学先に入学したらそれらの英語外部検定試験についてどのように取り組むべきと考えますか。

- ☐ 進学先の授業とは関係なく毎年受験して英語の実力を確認する。
- ☐ 進学先の授業とは関係なく1回は受験する。
- ☐ 進学先の授業で英語があるため受験させるつもりはない。
- ☐ 進学先や教員の指示もしくは推薦があれば受験を考える。
- ☐ その他

18 生徒の進学先への入学後の所属コース（学修分野）についてどのように思いますか。

☐ 入学試験により入学を許可された分野を深く学ばせたい。

☐ 入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べるのが良い。

☐ 入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる方が良い。

☐ 分野を固定せず、浅くても様々な分野を学ばせることができる方が良い。

☐ その他

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

山梨大学工学部に関するアンケート調査【在学生向け】

このアンケート調査は、在学生の皆様への教育・研究や卒業後の進路などに関する意向等を把握し、令和6年4月に予定している山梨大学工学部の改組（再編）や将来的な方向性を検討する基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

回答内容は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用したりすることはありません。

0 あなたについて

0-1 あなたの学年についておたずねします。

- ☐ 1年生
- ☐ 2年生
- ☐ 3年生
- ☐ 4年生
- ☐ その他

0-2 あなたの在籍学科についておたずねします。

- ☐ 機械工学科
- ☐ メカトロニクス工学科
- ☐ 電気電子工学科
- ☐ コンピュータ理工学科
- ☐ 土木環境工学科
- ☐ 応用化学科
- ☐ 先端材料理工学科

0-3 あなたの出身高校についておたずねします。

0-4 あなたの性別についておたずねします。

- ☐ 男性
- ☐ 女性
- ☐ その他

1 あなたが入学したときの入試方法を教えてください。

- ☐総合型選抜Ⅰ
- ☐総合型選抜Ⅱ
- ☐学校推薦型選抜
- ☐一般選抜（前期）
- ☐一般選抜（後期）
- ☐私費外国人留学生入試
- ☐AO入試
- ☐3年次編入学試験
- ☐その他

1-1 （1で「一般選抜（前期）」の場合のみ）その時の志望順を教えてください。

	機械工学科	メカトロニクス 工学科	電気電子工学科	コンピュータ 理工学科	土木環境工学科	応用化学科	先端材料理工学科
第1志望	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
第2志望	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

1-2 （1で「一般選抜（前期）」の場合のみ）あなたが利用した受験会場を教えてください。

- ☐甲府会場
- ☐東京会場（H28年度入試のみ「横浜会場」）
- ☐名古屋会場

2 あなたが本学を受験したすべての入試を教えてください。（複数回答可）

- ☐総合型選抜Ⅰ
- ☐総合型選抜Ⅱ
- ☐学校推薦型選抜
- ☐一般選抜（前期）
- ☐一般選抜（後期）
- ☐私費外国人留学生入試
- ☐AO入試
- ☐3年次編入学試験
- ☐その他

3 あなたが本学を選んだ理由を次の中から3つまで選んでください。

- ☐学費（入学科・授業料等）がリーズナブルであること
- ☐家からの距離が近いこと
- ☐立地の良さ
- ☐施設・設備が充実していること
- ☐教育体制が充実していること
- ☐著名な教員がいること
- ☐クリーンエネルギー・SDGs・データサイエンスなど世界のトレンドに合わせた教育研究を行っていること
- ☐教育職員免許が取得できること
- ☐学びたい分野があるか
- ☐学力レベル（偏差値）
- ☐保護者の意向
- ☐高校の先生のアドバイス
- ☐先輩・友人等のアドバイス

4 好ましいと考える入試方法を教えてください。

- ☐共通テストのみ
- ☐共通テスト+学力試験
- ☐共通テスト+面接
- ☐共通テスト+小論文
- ☐面接のみ
- ☐面接+実技（実験等）
- ☐その他

5 好ましいと考える受験方を教えてください。

- ☐希望する学科やコースを選択して受験
- ☐学部のみを選択して受験（学科やコースは入学後の希望や成績で決定）
- ☐その他

6 あなたは山梨大学工学部に入学してどのように感じていますか。

- ☐希望する大学の学科に入学でき、授業が充実して楽しい・これから頑張っていきたい
- ☐希望する大学の学科に入学できたが、授業が簡単すぎてつまらない
- ☐希望する大学の学科に入学できたが、授業が難しすぎてついていけない
- ☐希望しない大学又は学科であったが、授業が充実して楽しい・これから頑張っていきたい
- ☐希望しない大学又は学科であり、授業も簡単すぎてつまらない
- ☐希望しない大学又は学科であり、授業も難しすぎてついていけない
- ☐その他

7 あなたが高校生であると仮定して答えてください。あなたは大学でどのような基礎教育を受けたいと考えますか。次の中から3つまで選んでください。(ここでの基礎教育とは、数学、物理、化学、生物や英語などの基礎的な科目の教育を指します。)

- ☐ 低学年で基礎教育を重視した教育プログラム
- ☐ 基礎教育は重視せず入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育プログラム
- ☐ 基礎科目の学習の遅れに対する補習を行うなど基礎教育が丁寧な教育プログラム
- ☐ 習熟度ごとにクラス分けをすることで学習効果を高める教育プログラム
- ☐ 英語の外部試験（TOEIC、TOEFL など）の対策などを取り入れた教育プログラム
- ☐ 語学教育の充実や留学・海外との大学の交流等国际性を重視した教育プログラム
- ☐ その他

8 あなたが高校生であると仮定して答えてください。あなたは大学でどのような専門教育を受けたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- ☐ 入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育プログラム
- ☐ 入学後に他学科への興味が大きくなったときに成績次第で転学科ができるよう考慮した教育プログラム
- ☐ 実験・実習などの実践型授業を多く取り入れた教育プログラム
- ☐ 資格や免許等の取得が可能な教育プログラム
- ☐ 地域資源を活用するなど地域性を取り入れた教育プログラム
- ☐ 民間企業などでのインターンシップ（現地実習）を取り入れた教育プログラム
- ☐ 大学院進学を前提とした教育プログラム
- ☐ その他

9 あなたが高校生であると仮定して答えてください。現在、様々な英語の外部検定試験（英検、TOEIC、TOEFL など）があります。あなたは大学において英語外部検定試験について今後どのように取り組む予定ですか。

- ☐ 大学の授業とは関係なく毎年受験して英語の実力を確認する。
- ☐ 大学の授業とは関係なく1回は受験する。
- ☐ 大学の授業で英語があるため受験するつもりはない。
- ☐ 大学や教員の指示もしくは推薦があれば受験を考える。
- ☐ その他

10 あなたが高校生であると仮定して答えてください。あなたは大学入学後の所属学科（学修分野）についてどのように思いますか。

- ☐ 入学試験により入学を許可された分野を深く学びたい。
- ☐ 入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べるのが良い。
- ☐ 入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる方が良い。
- ☐ 分野を固定せず、浅くても様々な分野を学べる方が良い。
- ☐ その他

11 セカンドチャレンジ（転学科）制度の活用についてのあなたの考えを教えてください。

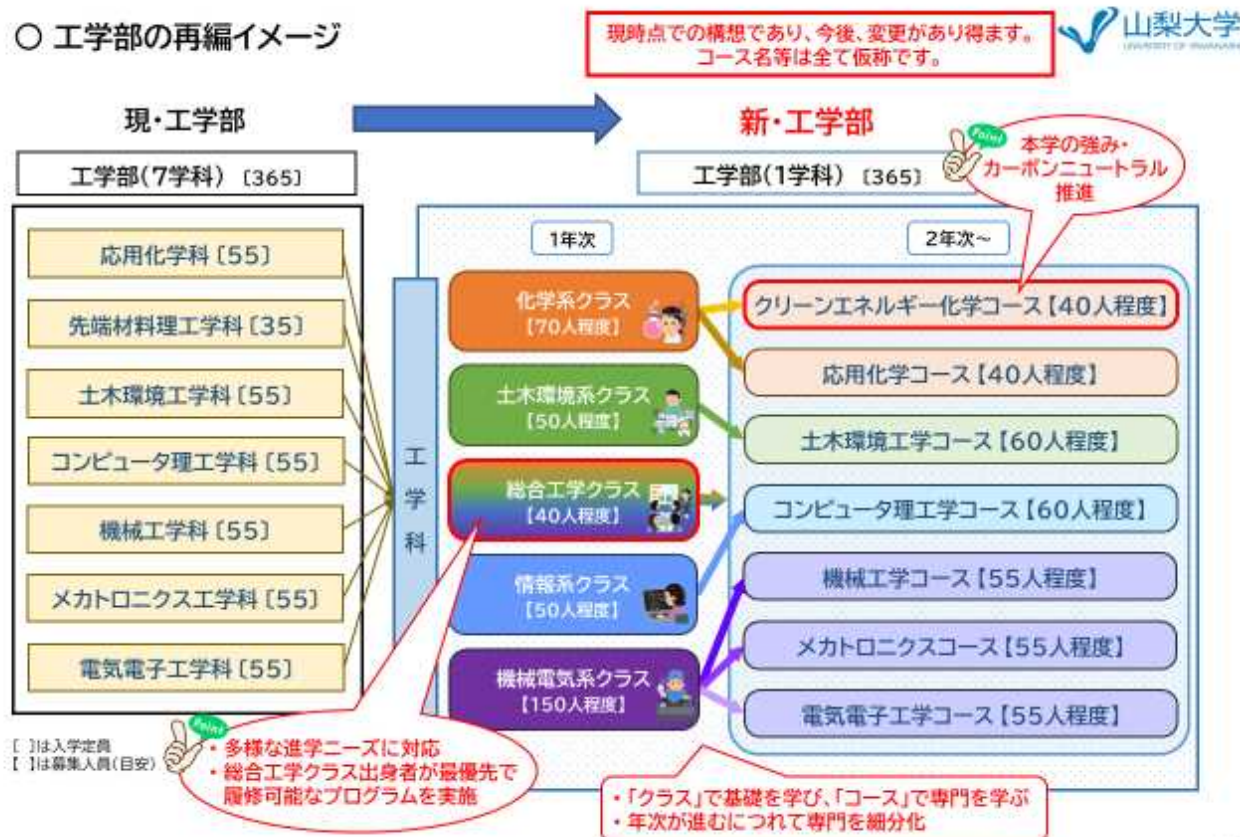
- ☐実際に活用した
- ☐したいと思っている
- ☐したいと思ったが、しなかった
- ☐したいと思わない
- ☐制度を知らなかった
- ☐その他

11-1 （11で「したいと思ったが、しなかった」の場合のみ）しなかった理由を教えてください。

--

12 あなたが高校生であると仮定して答えてください。山梨大学工学部では R6 年度より新たにクリーンエネルギー化学コースを作ることを検討しています。このコースでは、燃料電池や太陽エネルギーなどを学びますが、このコースへ進学することに興味はありますか？

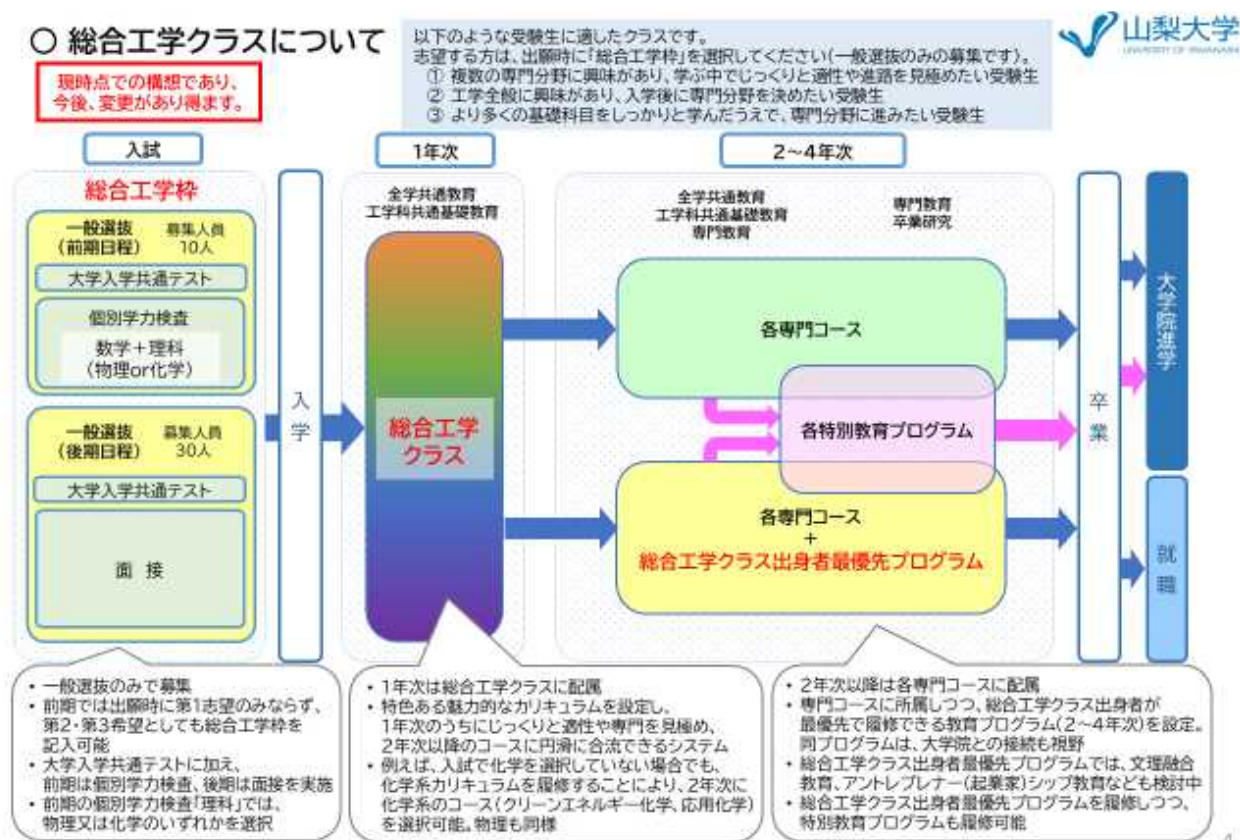
○ 工学部の再編イメージ



2

- ある
○ない
○その他

13 あなたが高校生であると仮定して教えてください。山梨大学工学部では R6 年度より新たに総合工学卒を作ることを検討しています。この卒での入学者のクラス（総合工学クラス）では、2 年生への進級時にコースを決定したり、このクラス出身者が最優先で選べるプログラム（文理融合やアントレプレナーシップ教育を導入予定）も設立予定ですが、このコースへ進学することに興味はありますか？



- ある
- ない
- その他

14 あなたは大学（山梨大学以外も含む）で高校の教育職員免許を取得することに興味がありますか。（参考：現在、山梨大学工学部では、学科により、「数学」「理科」「情報」「工業」の一種免許が取得可能です。）

☐ある（数学）

☐ある（理科）

☐ある（情報）

☐ある（工業）

☐ある（その他の教科）

☐ない

☐その他

15 山梨大学工学部に期待することがあったら教えてください。

--

16 山梨大学工学部の最も良いと思うことについて教えてください。

--

17 山梨大学工学部の最も良くないと思うことについて教えてください。

--

18 工学部以外で山梨大学にあったら良いと思う学部や学科があったら教えてください。

--

19 あなたの大学卒業後の進路希望について教えてください。

☐大学院に進学

☐就職

☐その他

20 あなたは将来の就職についてどのような職種を希望しますか。次の中から2つまで選んでください。

☐専門職（研究者・開発含む）

☐クリエイティブ・編集・出版

☐IT・エンジニア

☐土木・建設

☐製造・工場・倉庫

☐営業・販売

☐事務・オフィスワーク

☐教育・カルチャー・スポーツ（塾・インストラクターなど）

☐医療・介護・福祉

☐その他

21 あなたは将来の就職先としてどの業種を希望しますか。次の中から2つまで選んでください。

☐製造業

☐通信業

☐電気・ガス

☐運搬業

☐建設業

☐公務員

☐広告・出版・マスコミ

☐金融・保険業

☐医療・福祉

☐サービス業

☐不動産業

☐教育・学習支援

☐卸売・小売・飲食業

☐農林・水産業・漁業

☐鉱業

☐どこでもよい

☐その他

22 あなたは、就職先としてどの地域を希望しますか。

	①強く希望する	②希望する	③選択肢の一つである	④希望しない
山梨	○	○	○	○
北海道	○	○	○	○
東北	○	○	○	○
北陸	○	○	○	○
関東	○	○	○	○
中部	○	○	○	○
東海	○	○	○	○
近畿	○	○	○	○
中四国	○	○	○	○
九州・沖縄	○	○	○	○
海外	○	○	○	○

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

山梨大学工学部に関するアンケート調査【卒業生向け】

このアンケート調査は、卒業生の皆様の卒業後の進路などに関する意向等を把握し、令和6年4月に予定している山梨大学工学部の改組（再編）や将来的な方向性を検討する基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

回答内容は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用したりすることはありません。

0 あなたについて

0-1 あなたの卒業年（最終学歴）についておたずねします。

☐2014年以前

☐2015年

☐2016年

☐2017年

☐2018年

☐2019年

☐2020年

☐2021年

☐2022年

☐その他

0-2 あなたの出身高校の所在地についておたずねします。

☐山梨県

☐北海道・東北

☐関東

☐中部

☐近畿

☐中四国

☐九州・沖縄

3. あなたの性別についておたずねします。＊

☐男性

☐女性

☐その他

0-4 あなたの勤務先の業種について教えてください。

- ☐ 製造業
- ☐ 通信業
- ☐ 電気・ガス
- ☐ 運搬業
- ☐ 建設業
- ☐ 公務員
- ☐ 広告・出版・マスコミ
- ☐ 金融・保険業
- ☐ 医療・福祉
- ☐ サービス業
- ☐ 不動産業
- ☐ 教育・学習支援
- ☐ 卸売・小売・飲食業
- ☐ 農林・水産業・漁業
- ☐ 鉱業
- ☐ その他

0-5 山梨大学の現在の工学部の学科とあなたの勤務先との関係性を教えてください。

	①非常に関係が深い	②関係が深い	③少し関係している	④あまり関係していない	⑤全く関係していない
機械工学科	☐	☐	☐	☐	☐
メカトロニクス工学科	☐	☐	☐	☐	☐
電気電子工学科	☐	☐	☐	☐	☐
コンピュータ理工学科	☐	☐	☐	☐	☐
土木環境工学科	☐	☐	☐	☐	☐
応用化学科	☐	☐	☐	☐	☐
先端材料理工学科	☐	☐	☐	☐	☐

1 あなたが山梨大学工学部で在籍していた学科についておたずねします。

- ☐機械工学科
- ☐メカトロニクス工学科
- ☐電気電子工学科
- ☐コンピュータ理工学科
- ☐土木環境工学科
- ☐応用化学科
- ☐先端材料理工学科
- ☐その他

2 あなたが山梨大学工学部に入学したときの入試方法を教えてください。

- ☐総合型選抜Ⅰ
- ☐総合型選抜Ⅱ
- ☐学校推薦型選抜
- ☐一般選抜（前期）
- ☐一般選抜（後期）
- ☐私費外国人留学生入試
- ☐AO入試
- ☐3年次編入学試験
- ☐その他

3 （2で「一般選抜」の場合のみ）あなたが山梨大学工学部を受験したときに第2志望制であった場合、あなたの志望順を教えてください。

	機械工学科	メカトロニクス 工学科	電気電子工学科	コンピュータ 理工学科	土木環境工学科	応用化学科	先端材料理工学科
第1志望	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
第2志望	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

4 （2で「一般選抜」の場合のみ）あなたが利用した受験会場を教えてください。

- ☐甲府会場
- ☐東京会場（H28年度入試のみ「横浜会場」）
- ☐名古屋会場

5 あなたが本学を受験したすべての入試を教えてください。(複数回答可)

- ☐総合型選抜Ⅰ
- ☐総合型選抜Ⅱ
- ☐学校推薦型選抜
- ☐一般選抜(前期)
- ☐一般選抜(後期)
- ☐私費外国人留学生入試
- ☐AO入試
- ☐3年次編入学試験
- ☐その他

6 あなたが本学を選んだ理由を次の中から3つまで選んでください。

- ☐学費(入学料・授業料等)がリーズナブルであること
- ☐家からの距離が近いこと
- ☐立地の良さ
- ☐施設・設備が充実していること
- ☐教育体制が充実していること
- ☐著名な教員がいること
- ☐世界のトレンドにあわせた教育研究を行っていること
- ☐教育職員免許が取得できること
- ☐学びたい分野があるか
- ☐学力レベル(偏差値)
- ☐保護者の意向
- ☐高校の先生のアドバイス
- ☐先輩・友人等のアドバイス

7 好ましいと考える入試方法を教えてください。

- ☐共通テストのみ
- ☐共通テスト+学力試験
- ☐共通テスト+面接
- ☐共通テスト+小論文
- ☐面接のみ
- ☐面接+実技(実験等)

8 好ましいと考える受験方を教えてください。

- ☐希望する学科やコースを選択して受験
- ☐学部のみを選択して受験(学科やコースは入学後の希望や成績で決定)
- ☐その他

9 あなたが大学院に進学していた場合は、出身大学院（修士課程）について教えてください。

- ☐ 山梨大学大学院（工学系）
- ☐ 山梨大学大学院（それ以外）
- ☐ 大学院（修士課程）に進学していない
- ☐ その他

10 あなたが修士課程で在籍していた専攻・コース・プログラム等について教えてください。

- ☐ 工学専攻機械工学コース
- ☐ 工学専攻電気電子工学コース
- ☐ 工学専攻コンピュータ理工学コース
- ☐ 工学専攻メカトロニクス工学コース
- ☐ 工学専攻土木環境工学コース
- ☐ 工学専攻応用化学コース
- ☐ 工学専攻先端材料理工学コース
- ☐ 工学専攻流域環境科学特別教育プログラム
- ☐ 工学専攻グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム
- ☐ 機械システム工学専攻
- ☐ 電気電子システム工学専攻
- ☐ コンピュータ・メディア工学専攻
- ☐ 土木環境工学専攻
- ☐ 応用化学専攻
- ☐ 生命工学専攻
- ☐ 人間システム工学専攻
- ☐ 持続社会形成専攻
- ☐ 組込み型統合システム開発教育プログラム
- ☐ 国際流域環境科学特別教育プログラム
- ☐ クリーンエネルギー特別教育プログラム
- ☐ ワイン科学特別教育プログラム
- ☐ その他

11 あなたは山梨大学工学部に入学したとき、どのように感じていましたか。

- ☐ 希望する大学の学科に入学でき、授業が充実して楽しい・これから頑張っていきたい
- ☐ 希望する大学の学科に入学できたが、授業が簡単すぎてつまらない
- ☐ 希望する大学の学科に入学できたが、授業が難しすぎてついていけない
- ☐ 希望しない大学又は学科であったが、授業が充実して楽しい・これから頑張っていきたい
- ☐ 希望しない大学又は学科であり、授業も簡単すぎてつまらない
- ☐ 希望しない大学又は学科であり、授業も難しすぎてついていけない

12 あなたが山梨大学工学部で学んで役立ったことを教えてください。

13 あなたが山梨大学工学部で身に付いた能力・素養等を教えてください。

14 あなたが山梨大学工学部でもっと教えて欲しかったことを教えてください。

15 あなたは、山梨大学工学部は英語教育をもっと充実させた方がよいと思いますか。

- ☐もっと充実させるべき
- ☐もう少し充実させるべき
- ☐ちょうどよい
- ☐十分充実している
- ☐十分過ぎるくらい充実している

16 あなたは大学入学後の所属学科（学修分野）についてどのような方式が理想的だと思いますか。

- ☐入学試験により入学を許可された分野を深く学ぶ。
- ☐入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べる。
- ☐入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる。
- ☐分野を固定せず、浅くても様々な分野を学べる。
- ☐その他

17 セカンドチャレンジ（転学科）制度の活用についてのあなたの考えを教えてください。

- ☐ 実際に活用した
- ☐ したいと思ったが、しなかった
- ☐ したいと思わなかった
- ☐ 制度を知らなかった
- ☐ その他

17-1 （17で「したいと思ったが、しなかった」の場合のみ）しなかった理由を教えてください。

--

18 あなたは大学で高校の教育職員免許を取得しましたか。

- ☐ した
- ☐ しなかった
- ☐ その他

18-1 （18で「しなかった」の場合のみ）しなかった理由を教えてください。

--

19 あなたが山梨大学工学部に入学して最も良かったと思うことを教えてください。

--

20 あなたが山梨大学工学部に入学して最も良くなかったと思うことや、もっとして欲しいと思ったことを教えてください。

--

2 1 山梨大学工学部に期待することがあったら教えてください。

2 2 工学部以外で山梨大学にあったら良いと思う学部や学科があったら教えてください。

2 3 山梨大学では、教育研究の活性化・新型コロナウイルス感染症支援・研究者に対する研究支援など、様々な目的に対するご寄附を募っております。ご寄附に関してご教示ください。

大学へのご寄附 <https://www.yamanashi.ac.jp/donation>

☐ 寄附したことがある

☐ 寄附する予定である

☐ 寄附する気はない

☐ その他

2 4 あなたの山梨大学工学部卒業後の進路について教えてください。

☐ 大学院に進学

☐ 就職

☐ その他

25 あなたのこれまでの仕事の経験について教えてください。(複数選択可)

☐ 初めに就職した会社に在籍している。

☐ 1度転職をしている

☐ 2度以上転職をしている

☐ 起業した経験がある

☐ 大学院在学中であり、就職未経験

☐ その他

25-1 (25で「初めに就職した会社に在籍している」、「1度転職をしている」、「2度以上転職をしている」の場合のみ) 卒業時に希望の職場に就職したかどうかを教えてください。

☐ 完全に希望する職場に就職できた

☐ それなりに希望する職場に就職できた

☐ あまり希望する職場ではなかった

☐ 完全に希望外の職場に就職した

26 進路の決め手になったことを教えてください。

--

27 現在、大学(山梨大学以外も含む)で学び直しの希望はありますか？

☐ ある

☐ ない

27-1 (27で「ある」の場合のみ) どのような講座や分野を希望していますか？

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

山梨大学工学部に関するアンケート調査【産業界向け】

平素より山梨大学の教育研究活動にご理解・ご協力を承り、また多大なるご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

このアンケート調査は、令和6年4月に予定している山梨大学工学部の改組（再編）や将来的な方向性を検討する基礎資料とするものですので、大変お手数をおかけいたしますが、皆様のご協力をお願い申し上げます。

回答内容は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用したりすることはありません。

0 貴社について

0-1 貴社の業種について教えてください。

- ☐ 製造業
- ☐ 通信業
- ☐ 電気・ガス
- ☐ 運搬業
- ☐ 建設業
- ☐ 公務員
- ☐ 広告・出版・マスコミ
- ☐ 金融・保険業
- ☐ 医療・福祉
- ☐ サービス業
- ☐ 不動産業
- ☐ 教育・学習支援
- ☐ 卸売・小売・飲食業
- ☐ 農林・水産業・漁業
- ☐ 鉱業
- ☐ その他

0-2 山梨大学の現在の工学部の学科と貴社業務との関係性を教えてください。

	①非常に関係が深い	②関係が深い	③少し関係している	④あまり関係していない	⑤全く関係していない
機械工学科	○	○	○	○	○
メカトロニクス工学科	○	○	○	○	○
電気電子工学科	○	○	○	○	○
コンピュータ理工学科	○	○	○	○	○
土木環境工学科	○	○	○	○	○
応用化学科	○	○	○	○	○
先端材料理工学科	○	○	○	○	○

1 最近はSDGsやカーボンニュートラルなどのエネルギー・環境問題がよく話題に上がりますが、貴社はこのようなクリーンエネルギー化学の分野に対する関連がある、または今後関連を持ちたいと思いますか。

○関連がある・思う

○どちらかというと思う

○あまり思わない

○思わない

○その他

2 山梨大学工学部ではR6年度より新たにクリーンエネルギー化学コースを作ること検討しています。このコースでは、燃料電池や太陽エネルギーなどを学びますが、このコースを卒業した学生を貴社へ入社させたいと思いますか。

○思う

○どちらかというと思う

○あまり思わない

○思わない

○その他

3 山梨大学工学はR6年度より改組して新たな工学部に生まれ変わる予定です。以下のようなコース設定を予定していますが、これらのコースの今後の社会貢献に関する期待度を教えてください。

	①非常に期待できる	②期待できる	③それなりに期待できる	④あまり期待できない	⑤期待できない
クリーンエネルギー化学	☐	☐	☐	☐	☐
応用化学	☐	☐	☐	☐	☐
土木環境工学	☐	☐	☐	☐	☐
コンピュータ理工学	☐	☐	☐	☐	☐
機械工学	☐	☐	☐	☐	☐
メカトロニクス	☐	☐	☐	☐	☐
電気電子工学	☐	☐	☐	☐	☐
総合工学クラス(枠)(※)	☐	☐	☐	☐	☐

※総合工学クラスは、入学後に専門分野を決定する新しいクラスとなる予定です。

4 入社時に求める専門性の程度についてお教えてください。

☐専門性を非常に重視している。

☐昔は基礎能力を重視していたが、今は専門性を重視している。

☐昔は専門性を重視していたが、今は基礎能力を重視している。

☐基礎能力を非常に重視している。

☐その他

5 山梨大学工学部の卒業生に求める英語力について教えてください。

☐特に英語力は求めている

☐多少の英語の読み書きができればよい

☐英語で自分の意思を伝えられるくらいの能力が望ましい

☐英語で討論できるくらいの能力が必要である

☐ネイティブと同等の英語力を望む

☐その他

6 山梨大学工学部の卒業生に求める知識や能力について教えてください。

7 山梨大学工学部の卒業生の優れている点があれば教えてください。

8 山梨大学工学部の卒業生の不足している点があれば教えてください。

9 山梨大学工学部の最も良いと思う点を教えてください。(例えば、企業に直結した研究を行っている、学生が真面目である、など)

10 山梨大学工学部の最も良くない点を教えてください。(例えば、学生の経験値が低い、研究分野が少ない、など)

11 工学部以外で山梨大学にあったら良いと思う学部や学科があれば教えてください。

12 山梨大学で実施してほしいリカレント教育（学び直し）講座があれば教えてください。

13 山梨大学工学部に期待することがあれば教えてください。（例えば、地域の中核として優秀な学生を多数輩出してほしい、など）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

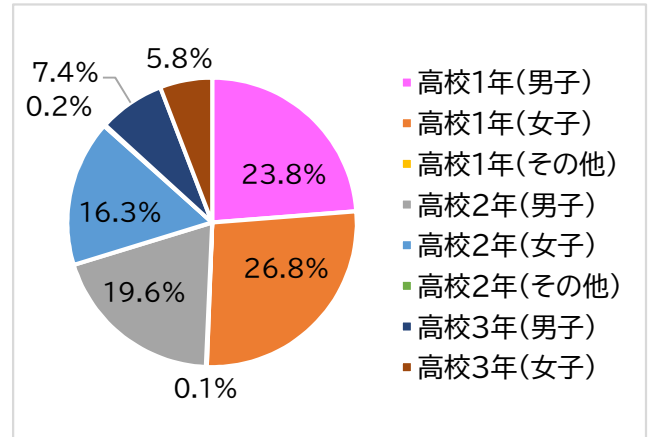
○ 山梨県内の高校生アンケート集計

回答総数	2,630
------	-------

Q0 回答者属性

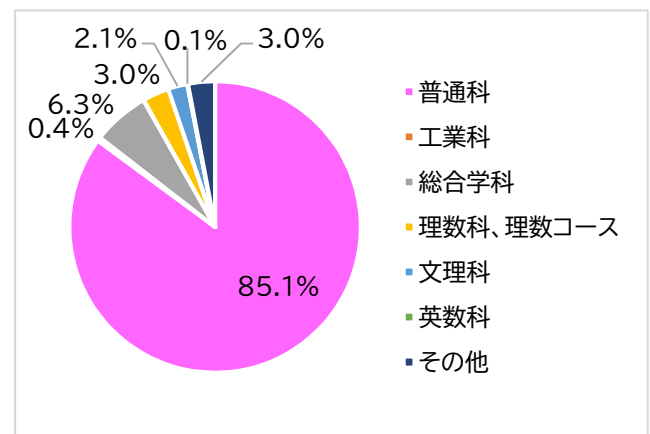
Q0-1 学年・男女別

No.	項目	件数	選択率
1	高校1年(男子)	625	23.8%
2	高校1年(女子)	705	26.8%
3	高校1年(その他)	3	0.1%
4	高校2年(男子)	515	19.6%
5	高校2年(女子)	430	16.3%
6	高校2年(その他)	4	0.2%
7	高校3年(男子)	195	7.4%
8	高校3年(女子)	153	5.8%



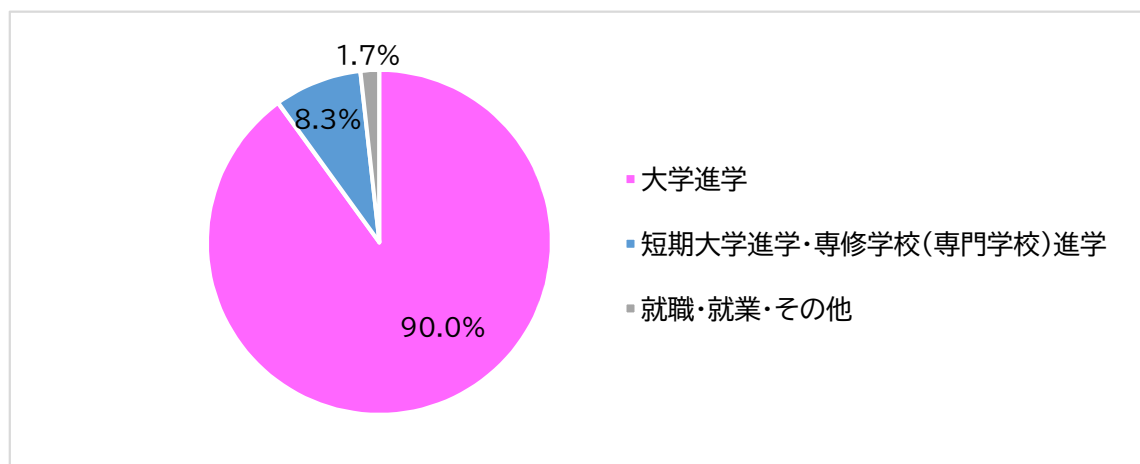
Q0-2 高校の在籍学科

No.	項目	件数	選択率
1	普通科	2,238	85.1%
2	工業科	11	0.4%
3	総合学科	166	6.3%
4	理数科、理数コース	78	3.0%
5	文理科	56	2.1%
6	英数科	2	0.1%
7	その他	79	3.0%



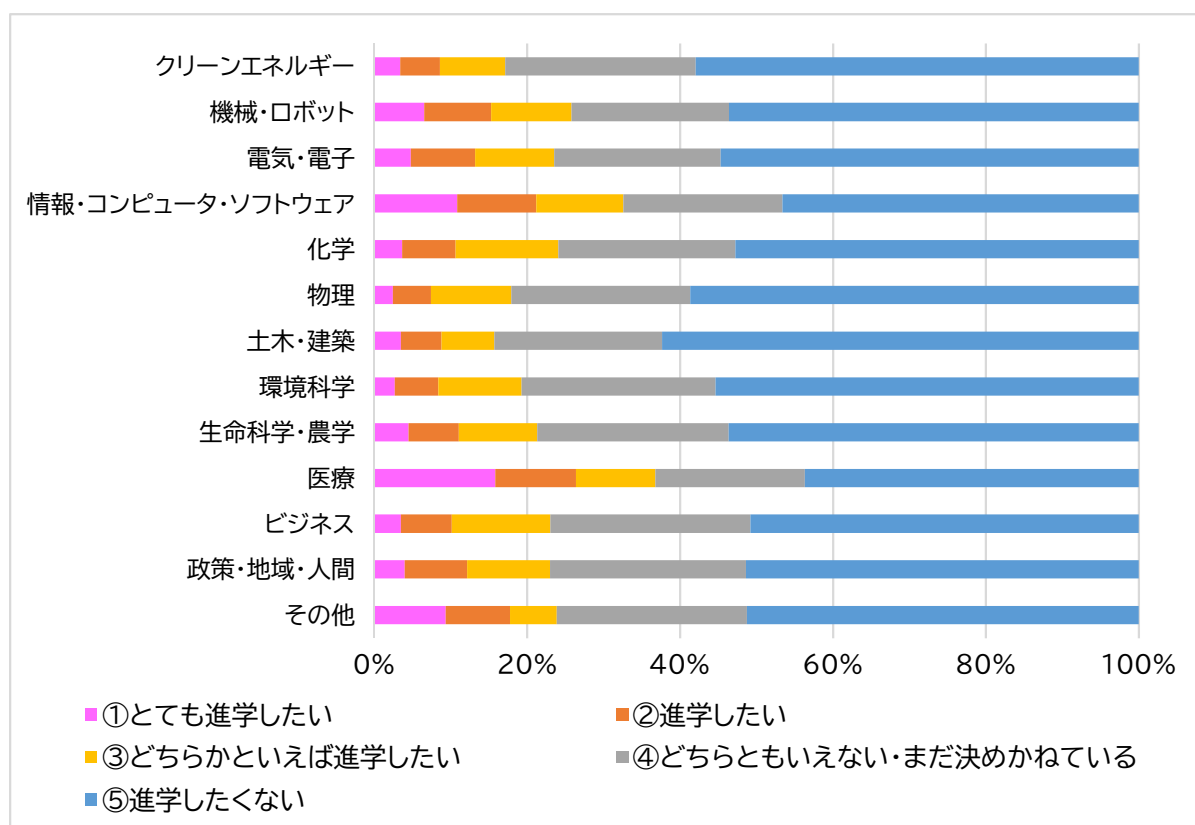
Q1 高校卒業後の進路希望は？

No.	項目	件数	選択率	
1	大学進学	2,367	90.0%	→Q2へ
2	短期大学進学・専修学校(専門学校)進学	217	8.3%	→Q24へ
3	就職・就業・その他	46	1.7%	→Q24へ



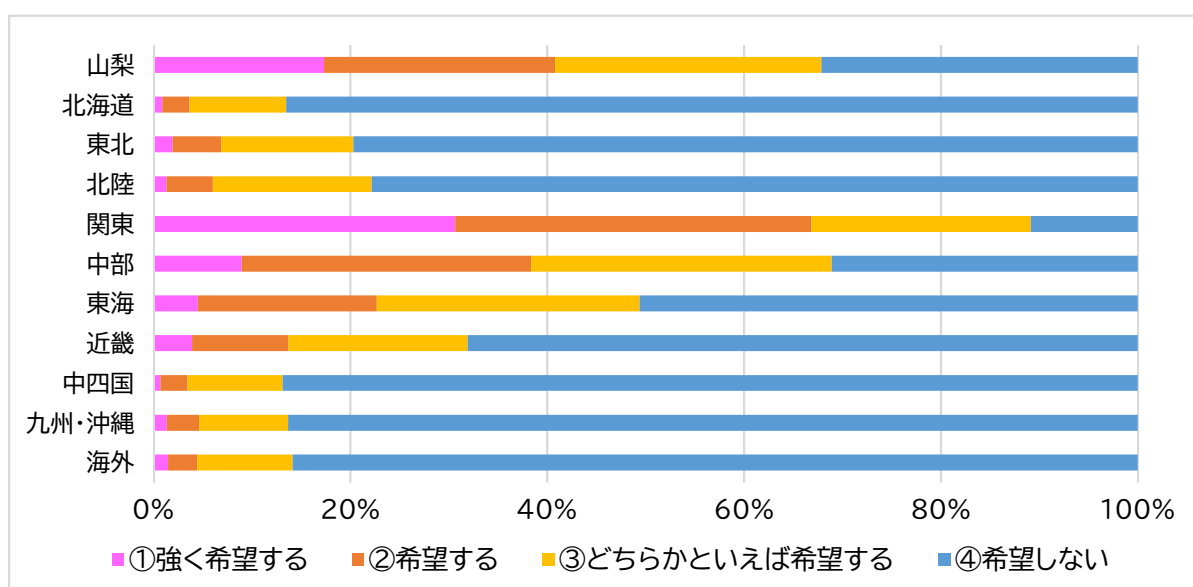
Q2 進学希望の分野は？

No.	項目	①とても進学したい	②進学したい	③どちらかといえば進学したい	④どちらともいえない・まだ決めかねている	⑤進学したくない	希望者数 (①～③計)
1	クリーンエネルギー	81	123	202	589	1,372	406
2	機械・ロボット	155	207	249	488	1,268	611
3	電気・電子	114	199	244	516	1,294	557
4	情報・コンピュータ・ソフトウェア	257	245	270	492	1,103	772
5	化学	87	165	318	548	1,249	570
6	物理	58	118	249	554	1,388	425
7	土木・建築	83	126	163	519	1,476	372
8	環境科学	64	135	257	601	1,310	456
9	生命科学・農学	107	155	243	593	1,269	505
10	医療	375	250	246	462	1,034	871
11	ビジネス	83	157	306	619	1,202	546
12	政策・地域・人間	95	193	257	606	1,216	545
13	その他	222	199	144	589	1,213	565



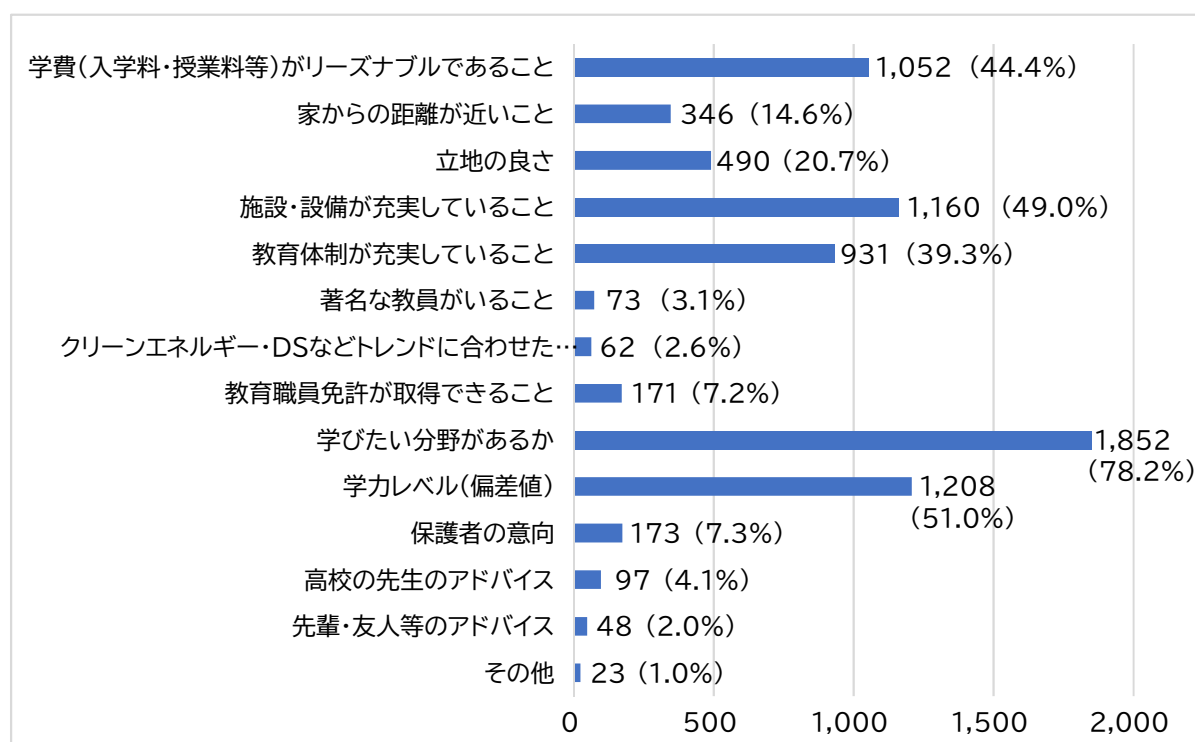
Q3 進学希望の地域は？

No.	項目	①強く希望する	②希望する	③どちらかといえば希望する	④希望しない	希望者数 (①～③計)
1	山梨	410	556	640	761	1,606
2	北海道	21	66	232	2,048	319
3	東北	46	117	318	1,886	481
4	北陸	31	112	382	1,842	525
5	関東	726	856	528	257	2,110
6	中部	212	696	723	736	1,631
7	東海	107	430	632	1,198	1,169
8	近畿	93	232	431	1,611	756
9	中四国	17	65	229	2,056	311
10	九州・沖縄	32	78	214	2,043	324
11	海外	35	70	230	2,032	335



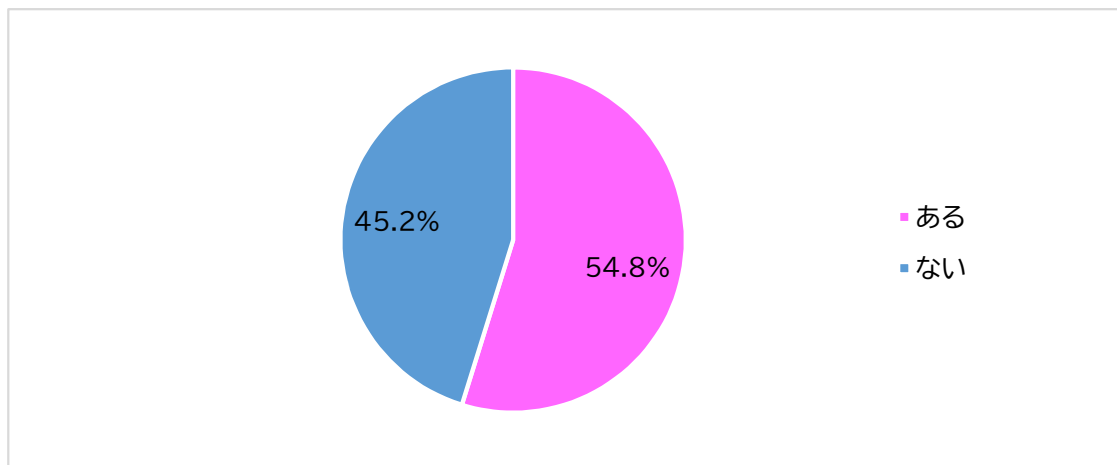
Q4 進学先の検討にあたり重要と考える事項は？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	学費(入学料・授業料等)がリーズナブルであること	1,052	44.4%
2	家からの距離が近いこと	346	14.6%
3	立地の良さ	490	20.7%
4	施設・設備が充実していること	1,160	49.0%
5	教育体制が充実していること	931	39.3%
6	著名な教員がいること	73	3.1%
7	クリーンエネルギー・DSなどトレンドに合わせた教育研究を行っていること	62	2.6%
8	教育職員免許が取得できること	171	7.2%
9	学びたい分野があるか	1,852	78.2%
10	学力レベル(偏差値)	1,208	51.0%
11	保護者の意向	173	7.3%
12	高校の先生のアドバイス	97	4.1%
13	先輩・友人等のアドバイス	48	2.0%
14	その他	23	1.0%



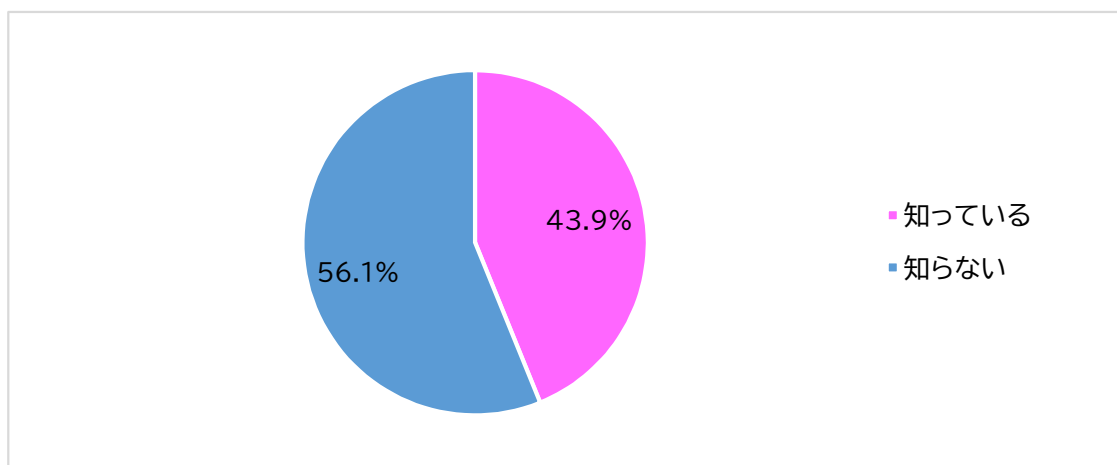
Q5 進学先として山梨大学を検討する予定はあるか？

No.	項目	件数	選択率
1	ある	1,297	54.8%
2	ない	1,070	45.2%



Q6 山梨大学工学部のこと(所在地、分野、教育、研究内容など)を知っているか？

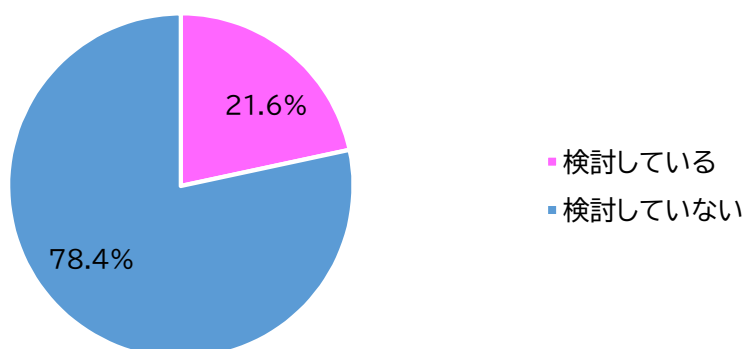
No.	項目	件数	選択率
1	知っている	1,038	43.9%
2	知らない	1,329	56.1%



Q7-1 山梨大学工学部の受験を検討しているか？

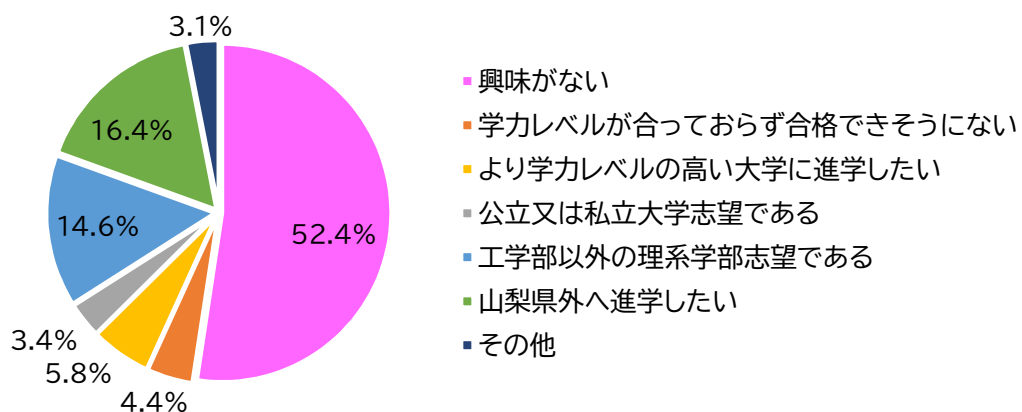
No.	項目	件数	選択率
1	検討している	512	21.6%
2	検討していない	1,855	78.4%

→Q8へ
→Q7-2へ



Q7-2 (「検討していない」場合のみ)検討していない理由は？

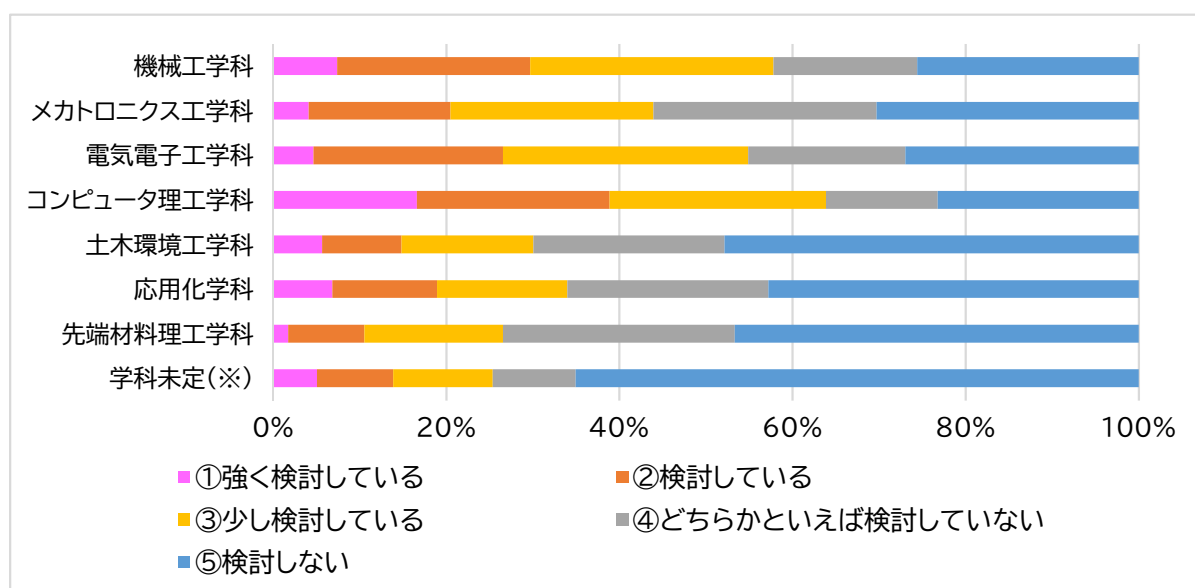
No.	項目	件数	選択率
1	興味がない	972	52.4%
2	学力レベルが合っておらず合格できそうにない	82	4.4%
3	より学力レベルの高い大学に進学したい	107	5.8%
4	公立又は私立大学志望である	63	3.4%
5	工学部以外の理系学部志望である	270	14.6%
6	山梨県外へ進学したい	304	16.4%
7	その他	57	3.1%



Q8 (Q7-1で「検討している」場合のみ)現在の学科に関し、どの学科を検討しているか？

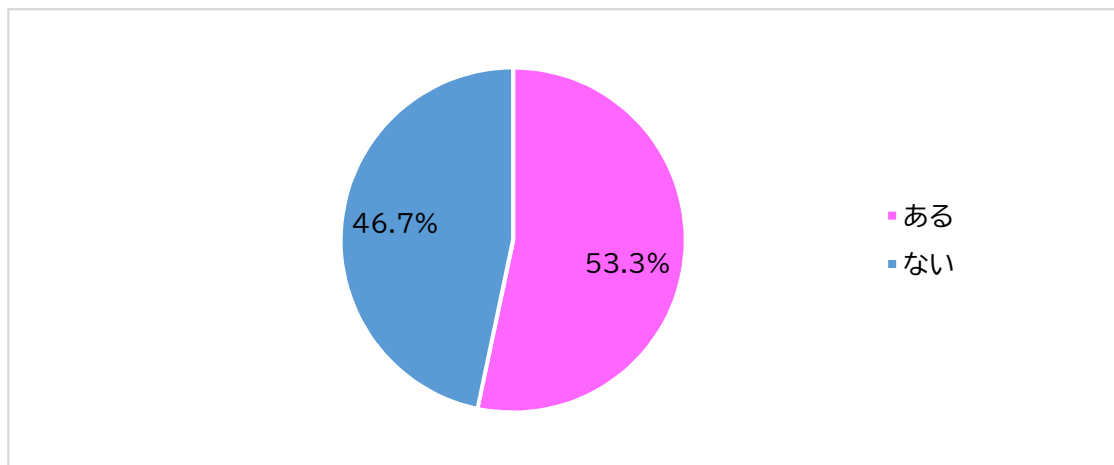
No.	項目	①強く検討している	②検討している	③少し検討している	④どちらかといえば検討していない	⑤検討しない	検討者数 (①～②計)
1	機械工学科	38	114	144	85	131	152
2	メカトロニクス工学科	21	84	120	132	155	105
3	電気電子工学科	24	112	145	93	138	136
4	コンピュータ理工学科	85	114	128	66	119	199
5	土木環境工学科	29	47	78	113	245	76
6	応用化学科	35	62	77	119	219	97
7	先端材料理工学科	9	45	82	137	239	54
8	学科未定(※)	26	45	59	49	333	-

※①～④のいずれを選択しても、回答内容に違いはなし



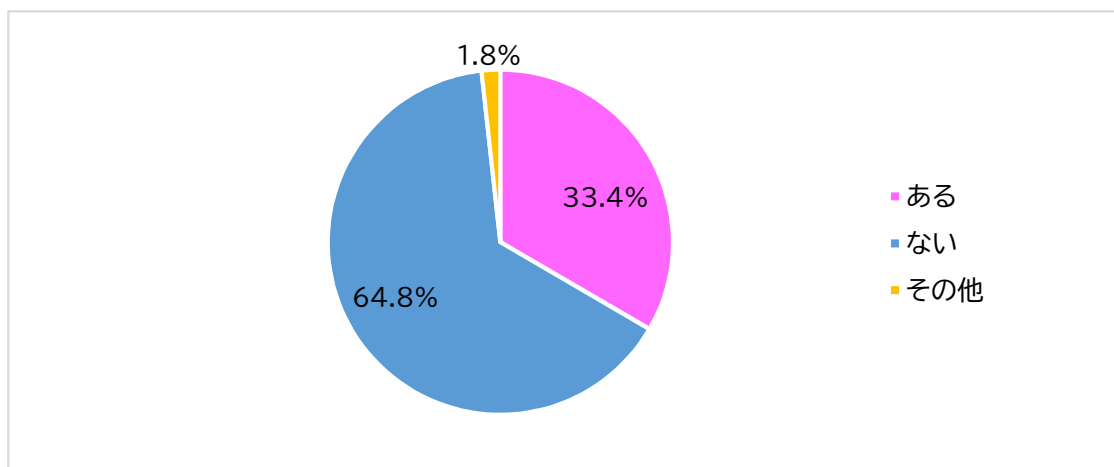
Q9 (Q7-1で「検討している」場合のみ)クリーンエネルギー分野に興味があるか？

No.	項目	件数	選択率
1	ある	273	11.5%
2	ない	239	10.1%



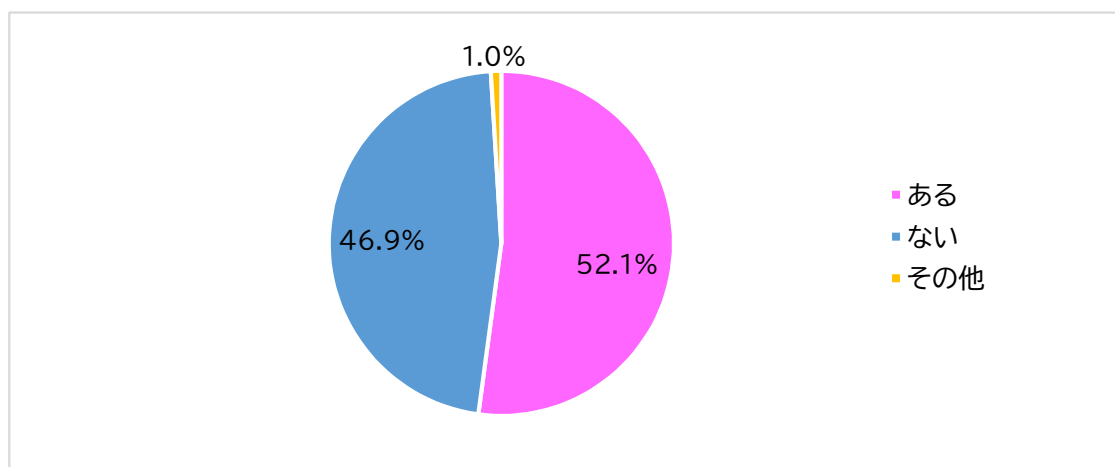
Q10 (Q7-1で「検討している」場合のみ)クリーンエネルギー化学コースへの進学に興味があるか？

No.	項目	件数	選択率
1	ある	171	33.4%
2	ない	332	64.8%
3	その他	9	1.8%



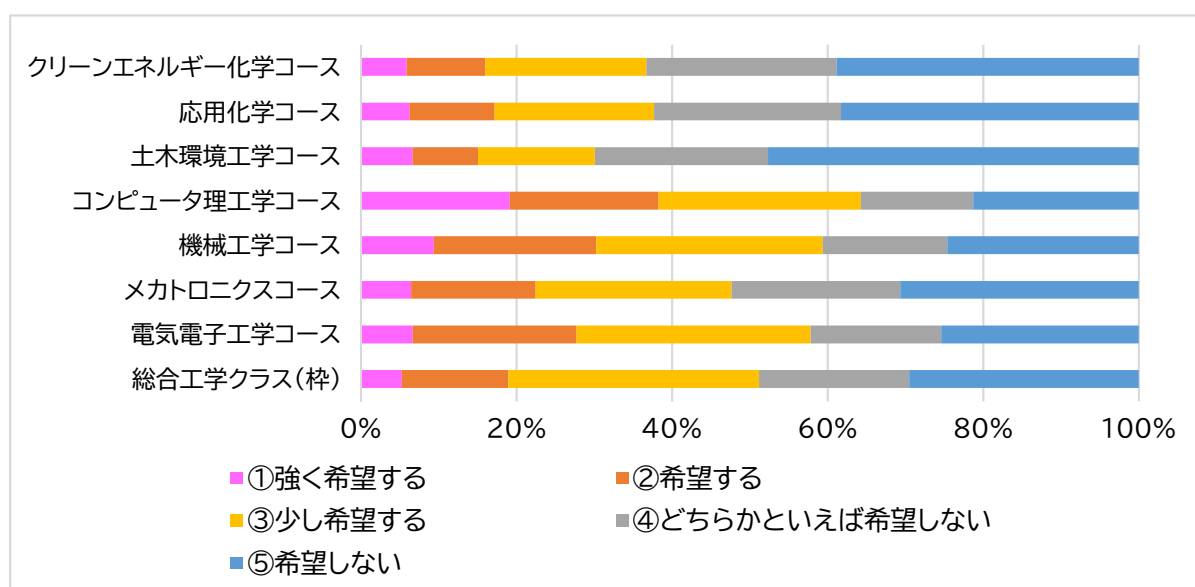
Q11 (Q7-1で「検討している」場合のみ)総合工学クラス(枠)への進学に興味があるか？

No.	項目	件数	選択率
1	ある	267	52.1%
2	ない	240	46.9%
3	その他	5	1.0%



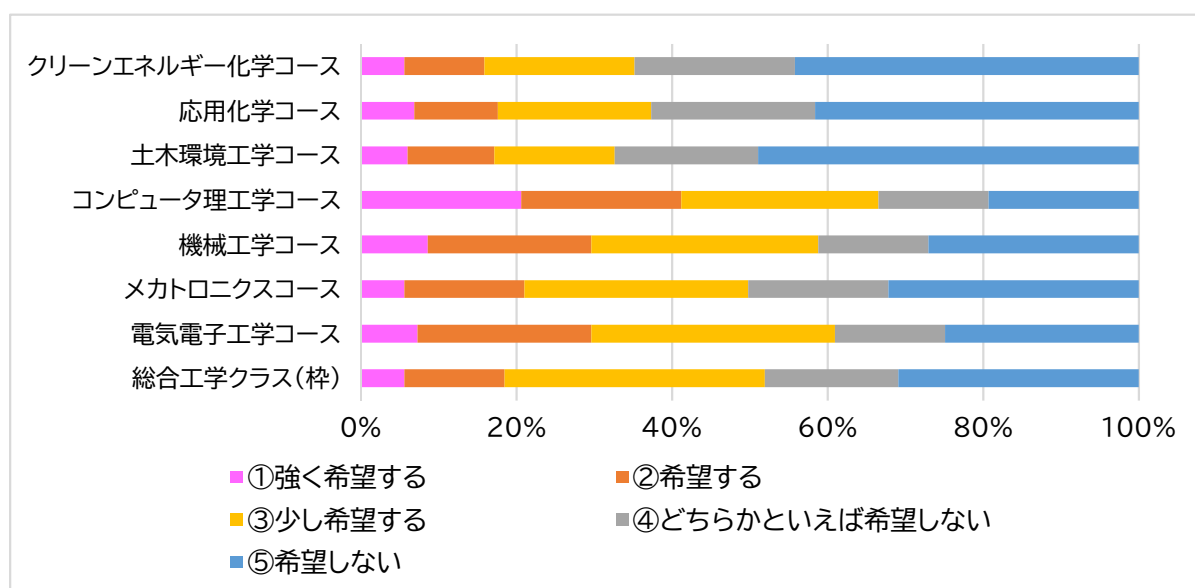
Q12 (Q7-1で「検討している」場合のみ)改組後のコースで、希望又は興味のあるコースは？

No.	項目	①強く希望する	②希望する	③少し希望する	④どちらかといえば希望しない	⑤希望しない	希望者数 (①～②計)
1	クリーンエネルギー化学コース	30	52	106	125	199	82
2	応用化学コース	32	56	105	123	196	88
3	土木環境工学コース	34	43	77	114	244	77
4	コンピュータ理工学コース	98	98	133	74	109	196
5	機械工学コース	48	107	149	82	126	155
6	メカトロニクスコース	33	82	129	111	157	115
7	電気電子工学コース	34	108	154	86	130	142
8	総合工学クラス(枠)	27	70	165	99	151	97



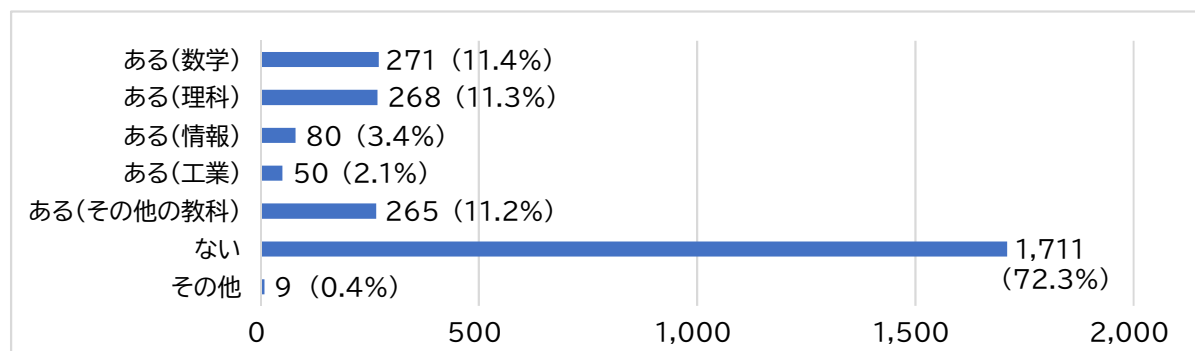
Q12-1 【高校2年生のみ抽出】(Q7-1で「検討している」場合のみ)改組後のコースで、希望又は興味のあるコースは？

No.	項目	①強く希望する	②希望する	③少し希望する	④どちらかといえば希望しない	⑤希望しない	希望者数 (①～②計)
1	クリーンエネルギー化学コース	13	24	45	48	103	37
2	応用化学コース	16	25	46	49	97	41
3	土木環境工学コース	14	26	36	43	114	40
4	コンピュータ理工学コース	48	48	59	33	45	96
5	機械工学コース	20	49	68	33	63	69
6	メカトロニクスコース	13	36	67	42	75	49
7	電気電子工学コース	17	52	73	33	58	69
8	総合工学クラス(枠)	13	30	78	40	72	43



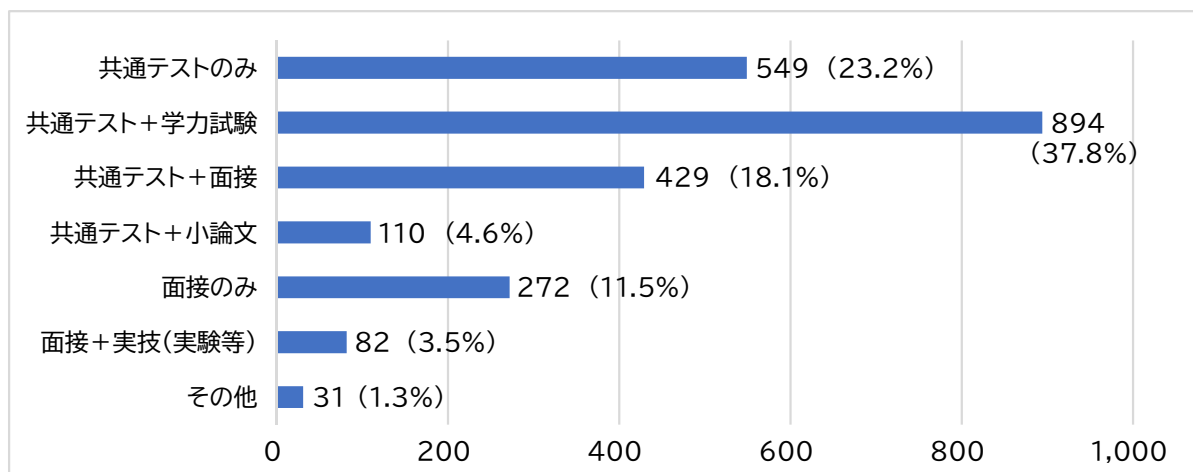
Q13 大学(山梨大学以外を含む)で高校の教員免許を取得することに興味があるか？(複数選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	ある(数学)	271	11.4%
2	ある(理科)	268	11.3%
3	ある(情報)	80	3.4%
4	ある(工業)	50	2.1%
5	ある(その他の教科)	265	11.2%
6	ない	1,711	72.3%
7	その他	9	0.4%



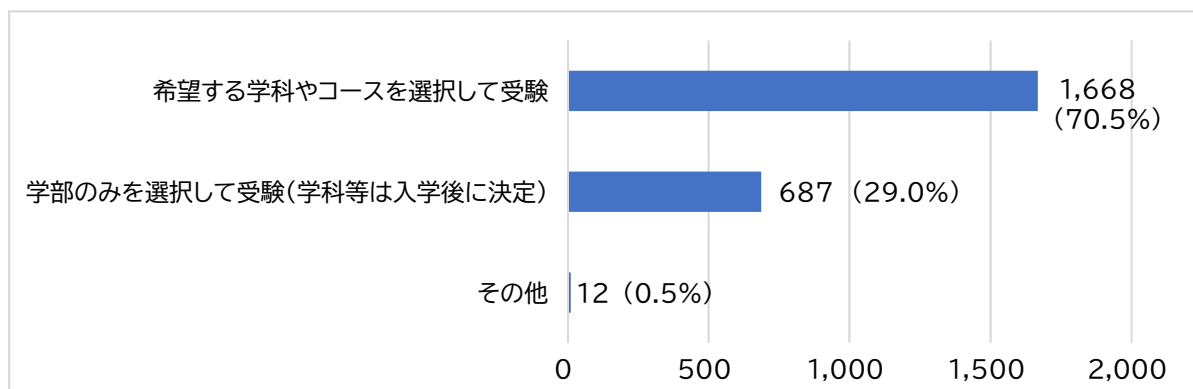
Q14 好ましいと考える入試方法は？

No.	項目	件数	選択率
1	共通テストのみ	549	23.2%
2	共通テスト+学力試験	894	37.8%
3	共通テスト+面接	429	18.1%
4	共通テスト+小論文	110	4.6%
5	面接のみ	272	11.5%
6	面接+実技(実験等)	82	3.5%
7	その他	31	1.3%



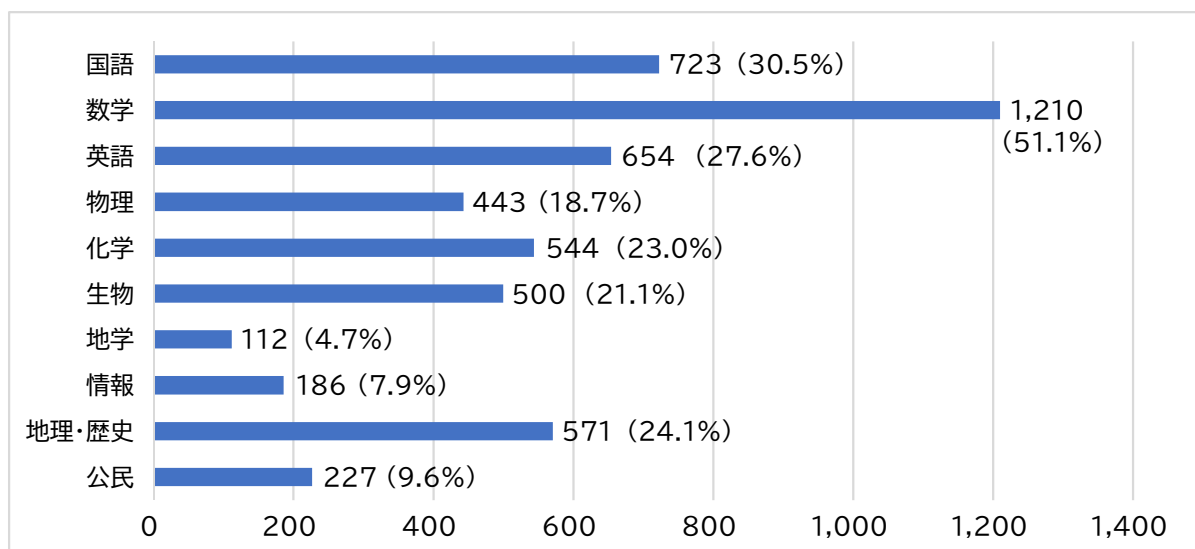
Q15 好ましいと考える受験方式は？

No.	項目	件数	選択率
1	希望する学科やコースを選択して受験	1,668	70.5%
2	学部のみを選択して受験(学科等は入学後に決定)	687	29.0%
3	その他	12	0.5%



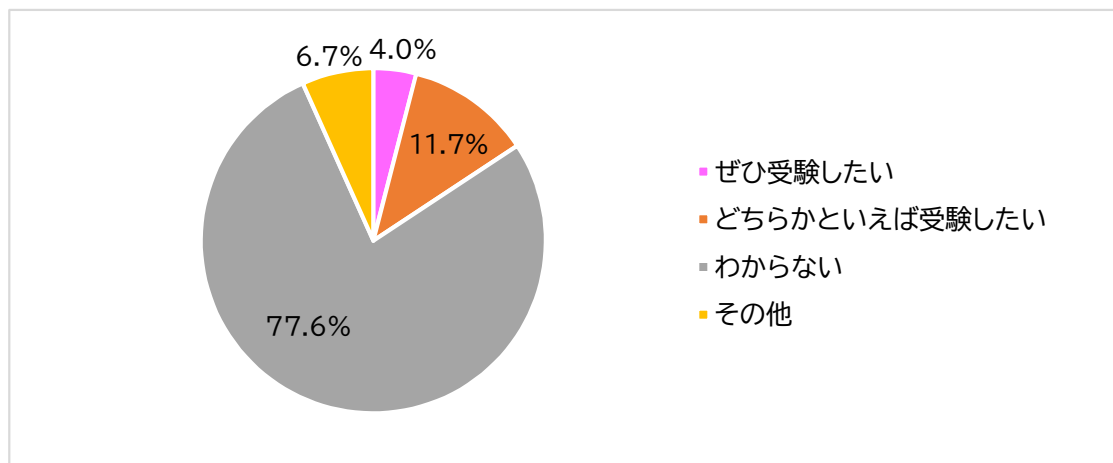
Q16 得意科目は？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	国語	723	30.5%
2	数学	1,210	51.1%
3	英語	654	27.6%
4	物理	443	18.7%
5	化学	544	23.0%
6	生物	500	21.1%
7	地学	112	4.7%
8	情報	186	7.9%
9	地理・歴史	571	24.1%
10	公民	227	9.6%



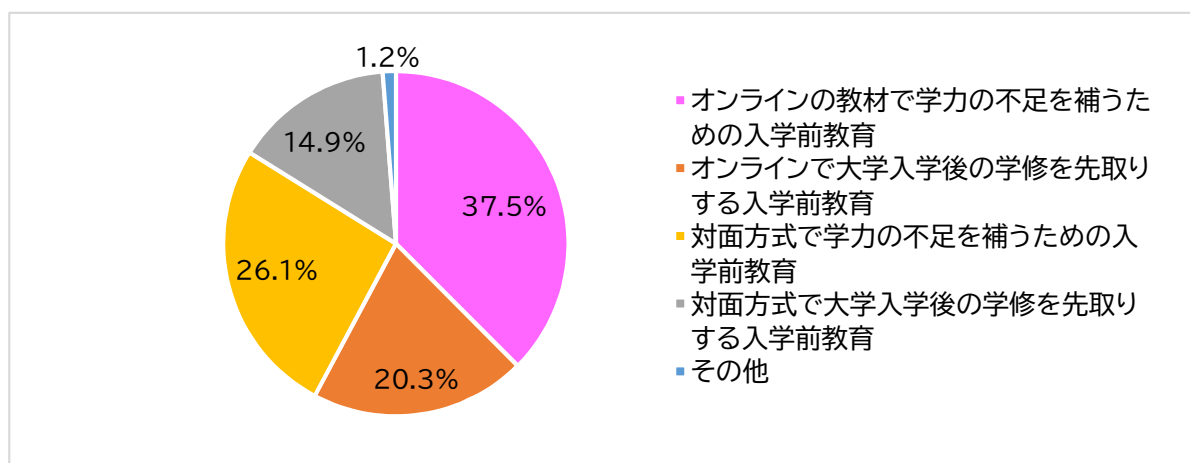
Q17 共通テストで「生物」を選択できれば、山梨大学工学部を受験したいか？

No.	項目	件数	選択率
1	ぜひ受験したい	95	4.0%
2	どちらかといえば受験したい	277	11.7%
3	わからない	1,836	77.6%
4	その他	159	6.7%



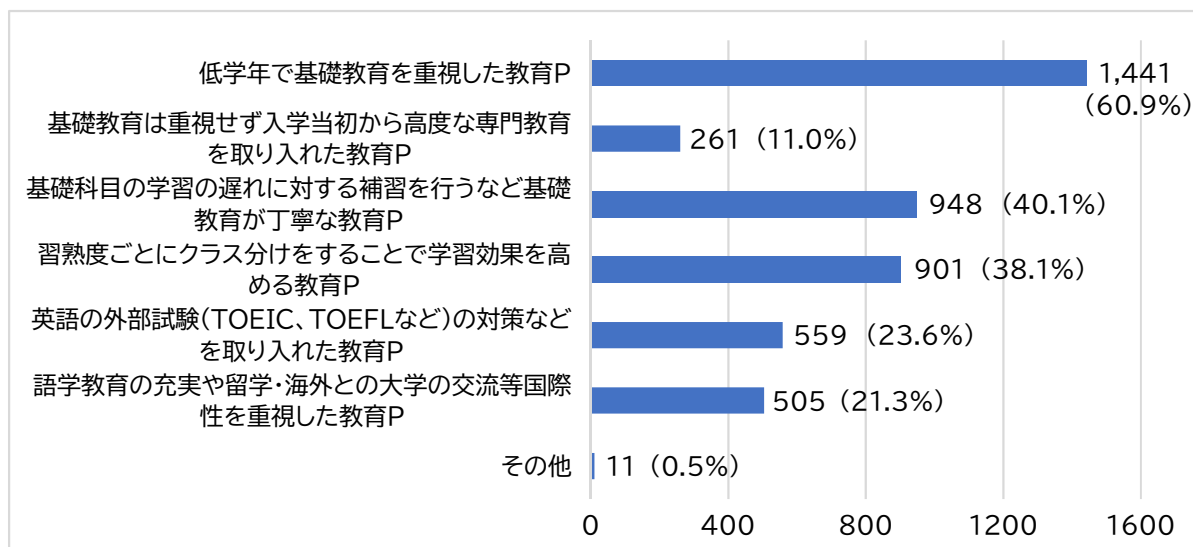
Q18 どのような入学前教育が良いと思うか？

No.	項目	件数	選択率
1	オンラインの教材で学力の不足を補うための入学前教育	888	37.5%
2	オンラインで大学入学後の学修を先取りする入学前教育	480	20.3%
3	対面方式で学力の不足を補うための入学前教育	617	26.1%
4	対面方式で大学入学後の学修を先取りする入学前教育	353	14.9%
5	その他	29	1.2%



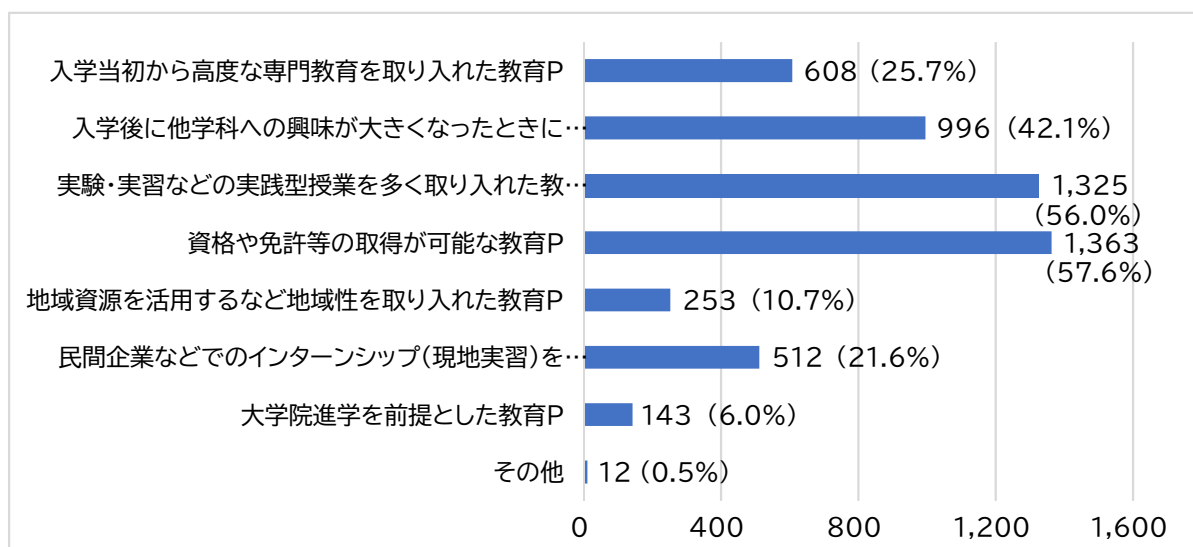
Q19 進学先でどのような基礎教育を受けたいか？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	低学年で基礎教育を重視した教育P	1,441	60.9%
2	基礎教育は重視せず入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育P	261	11.0%
3	基礎科目の学習の遅れに対する補習を行うなど基礎教育が丁寧な教育P	948	40.1%
4	習熟度ごとにクラス分けをすることで学習効果を高める教育P	901	38.1%
5	英語の外部試験(TOEIC、TOEFLなど)の対策などを取り入れた教育P	559	23.6%
6	語学教育の充実や留学・海外との大学の交流等国际性を重視した教育P	505	21.3%
7	その他	11	0.5%



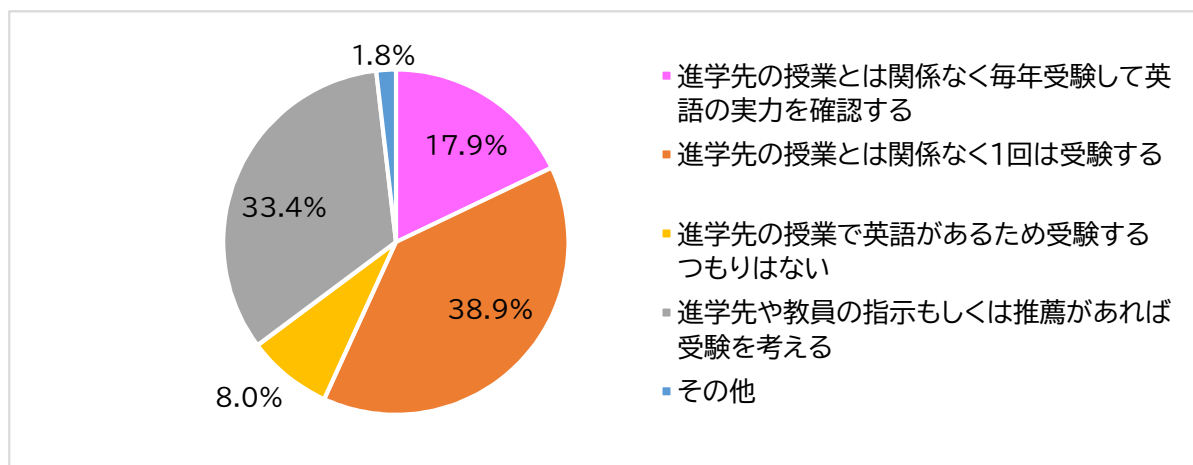
Q20 進学先の選択にあたり、特に専門教育に関し重視することは？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育P	608	25.7%
2	入学後に他学科への興味が大きくなったときに成績次第で転学科ができるよう考慮した教育P	996	42.1%
3	実験・実習などの実践型授業を多く取り入れた教育P	1,325	56.0%
4	資格や免許等の取得が可能な教育P	1,363	57.6%
5	地域資源を活用するなど地域性を取り入れた教育P	253	10.7%
6	民間企業などでのインターンシップ(現地実習)を取り入れた教育P	512	21.6%
7	大学院進学を前提とした教育P	143	6.0%
8	その他	12	0.5%



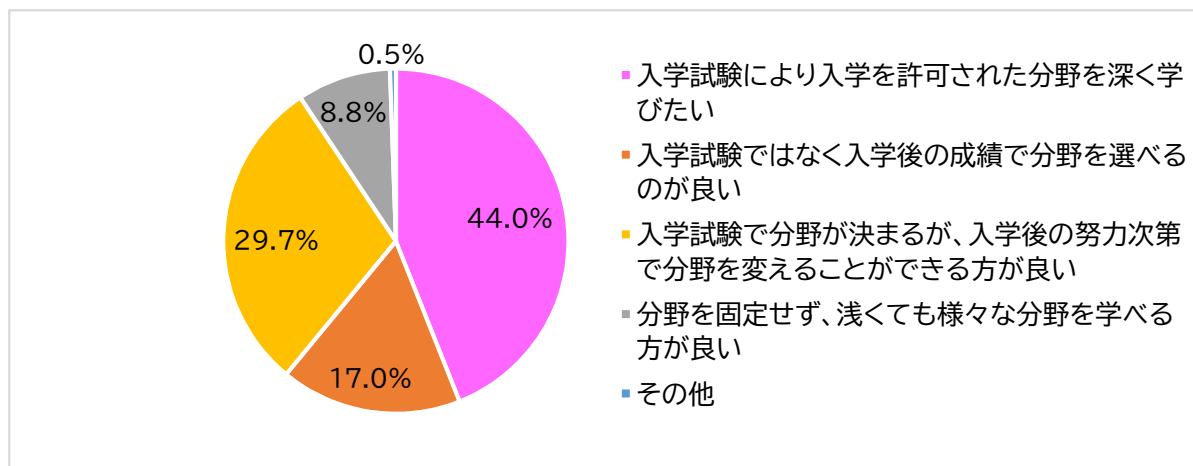
Q21 進学後、英語外部検定試験にどのように取り組む予定か？

No.	項目	件数	選択率
1	進学先の授業とは関係なく毎年受験して英語の実力を確認する	424	17.9%
2	進学先の授業とは関係なく1回は受験する	921	38.9%
3	進学先の授業で英語があるため受験するつもりはない	189	8.0%
4	進学先や教員の指示もしくは推薦があれば受験を考える	790	33.4%
5	その他	43	1.8%



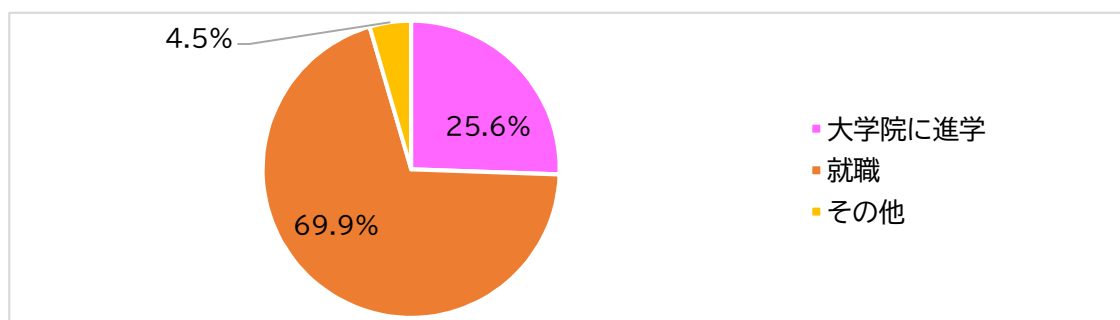
Q22 入学後の所属コース(学修分野)についてどう思うか？

No.	項目	件数	選択率
1	入学試験により入学を許可された分野を深く学びたい	1,041	44.0%
2	入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べるのが良い	402	17.0%
3	入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる方が良い	703	29.7%
4	分野を固定せず、浅くても様々な分野を学べる方が良い	208	8.8%
5	その他	13	0.5%



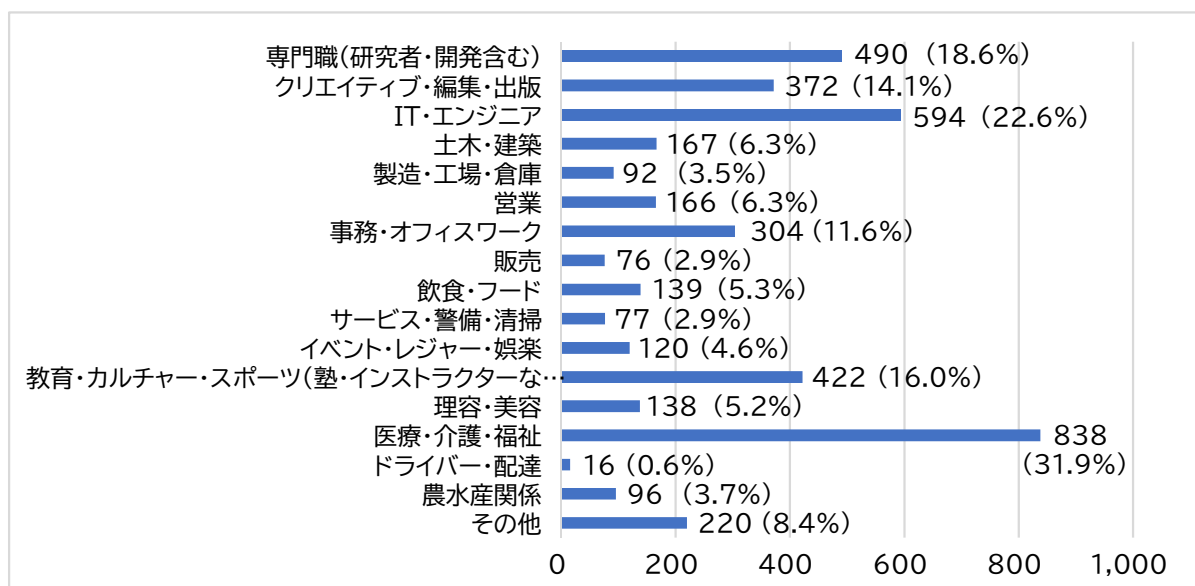
Q23 大学卒業後の進路希望は？

No.	項目	件数	選択率
1	大学院に進学	605	25.6%
2	就職	1,655	69.9%
3	その他	107	4.5%



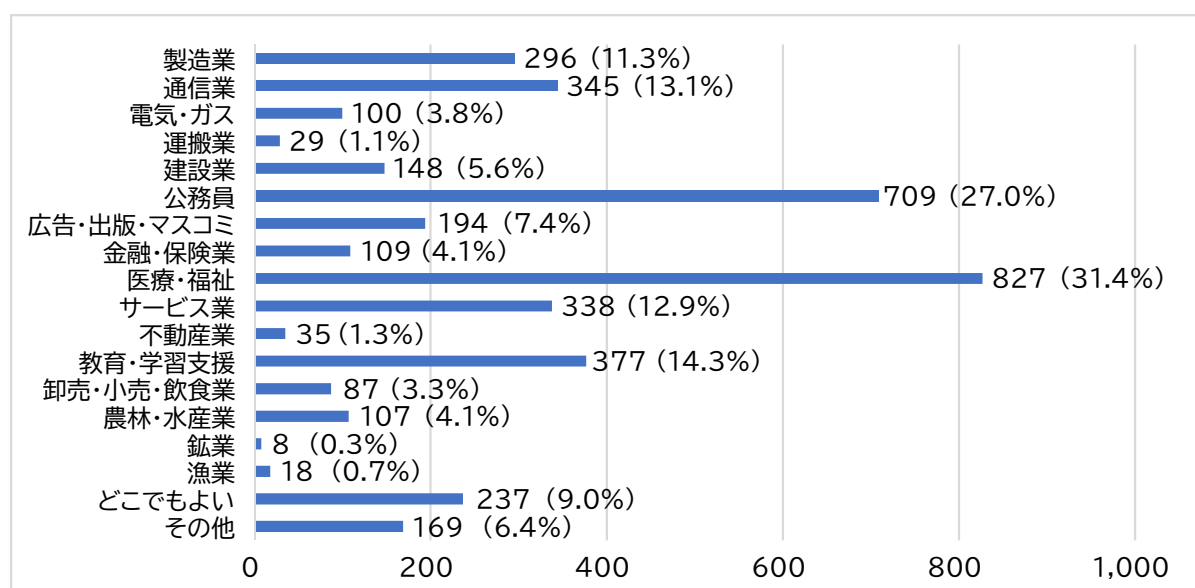
Q24 就職を希望する職種は？(2つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	専門職(研究者・開発含む)	490	18.6%
2	クリエイティブ・編集・出版	372	14.1%
3	IT・エンジニア	594	22.6%
4	土木・建築	167	6.3%
5	製造・工場・倉庫	92	3.5%
6	営業	166	6.3%
7	事務・オフィスワーク	304	11.6%
8	販売	76	2.9%
9	飲食・フード	139	5.3%
10	サービス・警備・清掃	77	2.9%
11	イベント・レジャー・娯楽	120	4.6%
12	教育・カルチャー・スポーツ(塾・インストラクターなど)	422	16.0%
13	理容・美容	138	5.2%
14	医療・介護・福祉	838	31.9%
15	ドライバー・配達	16	0.6%
16	農水産関係	96	3.7%
17	その他	220	8.4%



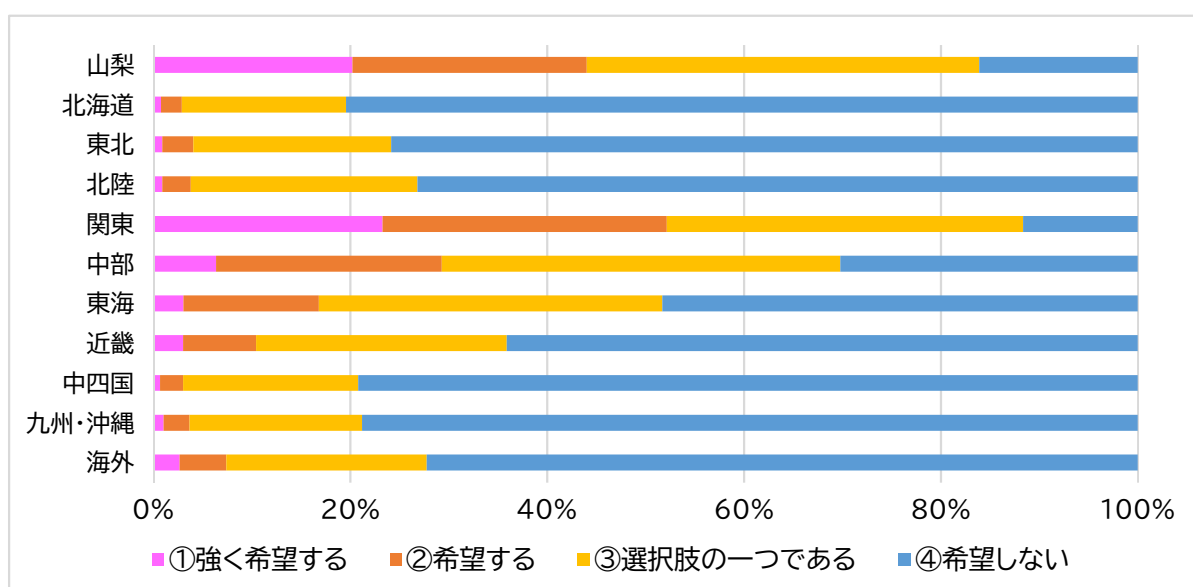
Q25 就職を希望する業種は？(2つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	製造業	296	11.3%
2	通信業	345	13.1%
3	電気・ガス	100	3.8%
4	運搬業	29	1.1%
5	建設業	148	5.6%
6	公務員	709	27.0%
7	広告・出版・マスコミ	194	7.4%
8	金融・保険業	109	4.1%
9	医療・福祉	827	31.4%
10	サービス業	338	12.9%
11	不動産業	35	1.3%
12	教育・学習支援	377	14.3%
13	卸売・小売・飲食業	87	3.3%
14	農林・水産業	107	4.1%
15	鉱業	8	0.3%
16	漁業	18	0.7%
17	どこでもよい	237	9.0%
18	その他	169	6.4%



Q26 就職を希望する地域は？

No.	項目	①強く希望する	②希望する	③選択肢の一つである	④希望しない	希望者数 (①～②計)
1	山梨	532	626	1,048	424	1,158
2	北海道	20	56	439	2,115	76
3	東北	24	83	528	1,995	107
4	北陸	24	76	605	1,925	100
5	関東	612	760	952	306	1,372
6	中部	167	603	1,065	795	770
7	東海	80	362	918	1,270	442
8	近畿	79	195	670	1,686	274
9	中四国	18	61	468	2,083	79
10	九州・沖縄	27	69	461	2,073	96
11	海外	70	125	535	1,900	195



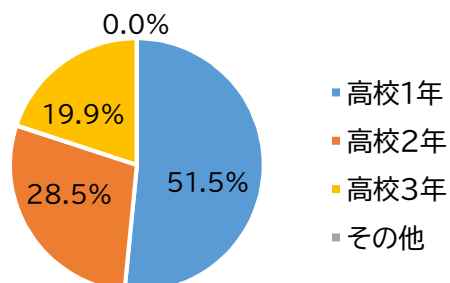
○ 山梨県内の高校生の保護者アンケート集計

回答総数	668
------	-----

Q0 子息の属性

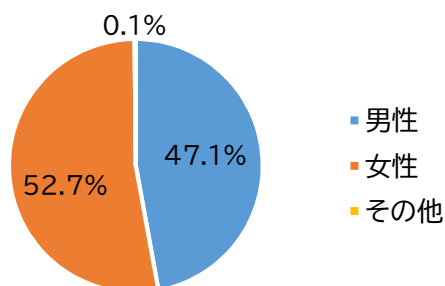
Q0-1 学年(複数選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	高校1年	367	51.5%
2	高校2年	203	28.5%
3	高校3年	142	19.9%
4	その他	0	0.0%



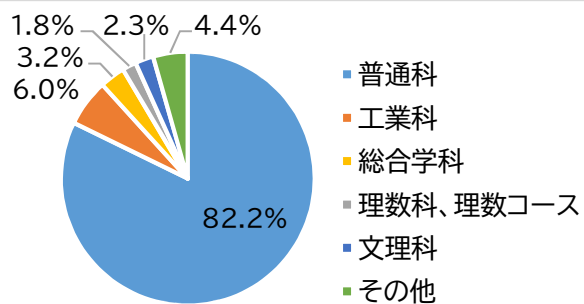
Q0-2 性別(複数選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	男性	329	47.1%
2	女性	368	52.7%
3	その他	1	0.1%



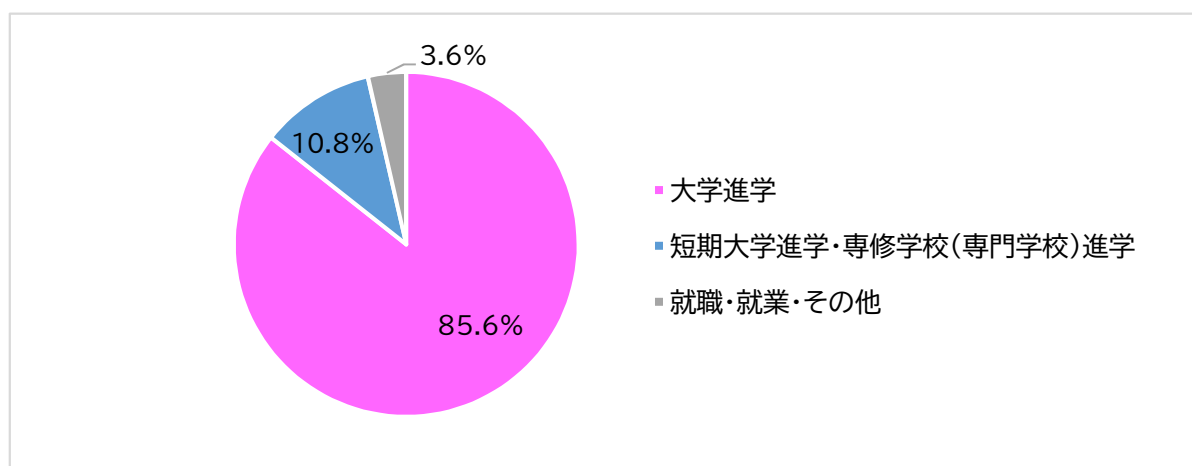
Q0-3 高校の在籍学科(複数選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	普通科	560	82.2%
2	工業科	41	6.0%
3	総合学科	22	3.2%
4	理数科、理数コース	12	1.8%
5	文理科	16	2.3%
6	その他	30	4.4%



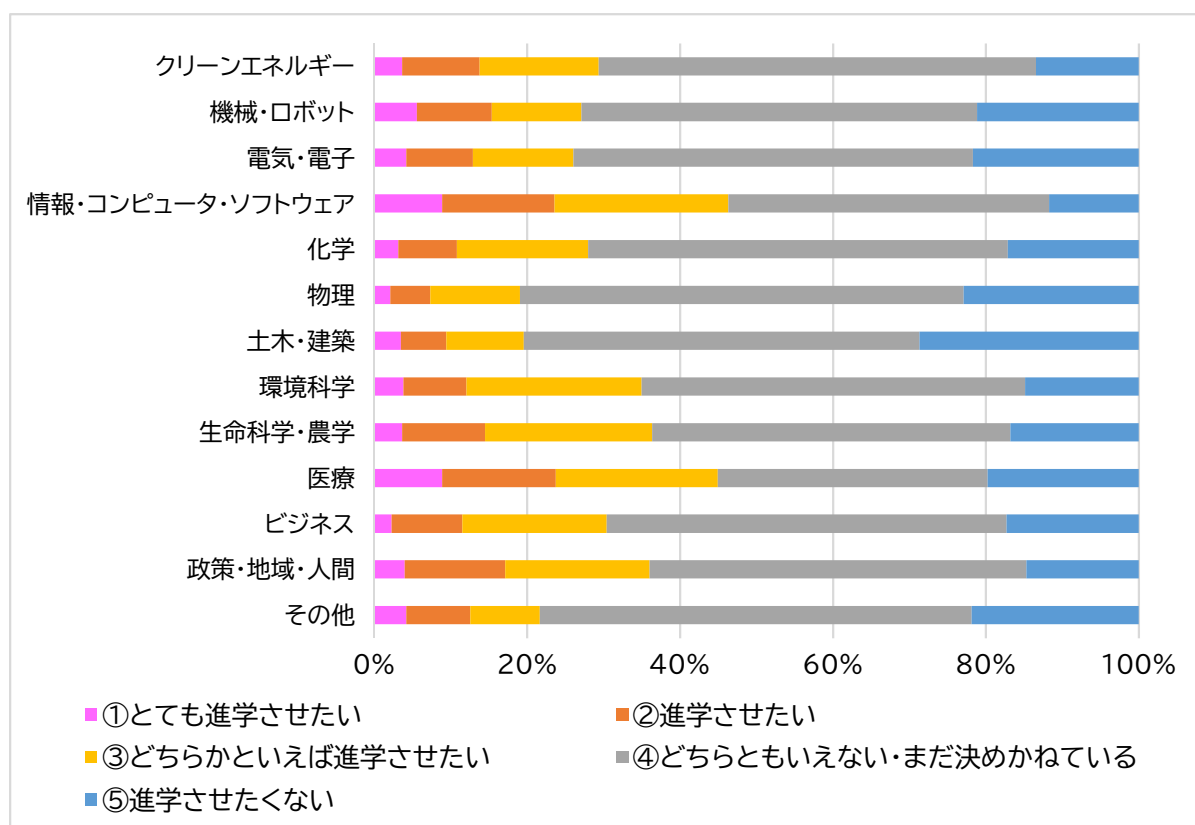
Q1 高校卒業後の進路希望は？

No.	項目	件数	選択率	
1	大学進学	572	85.6%	→Q2へ
2	短期大学進学・専修学校(専門学校)進学	72	10.8%	→Q20へ
3	就職・就業・その他	24	3.6%	→Q20へ



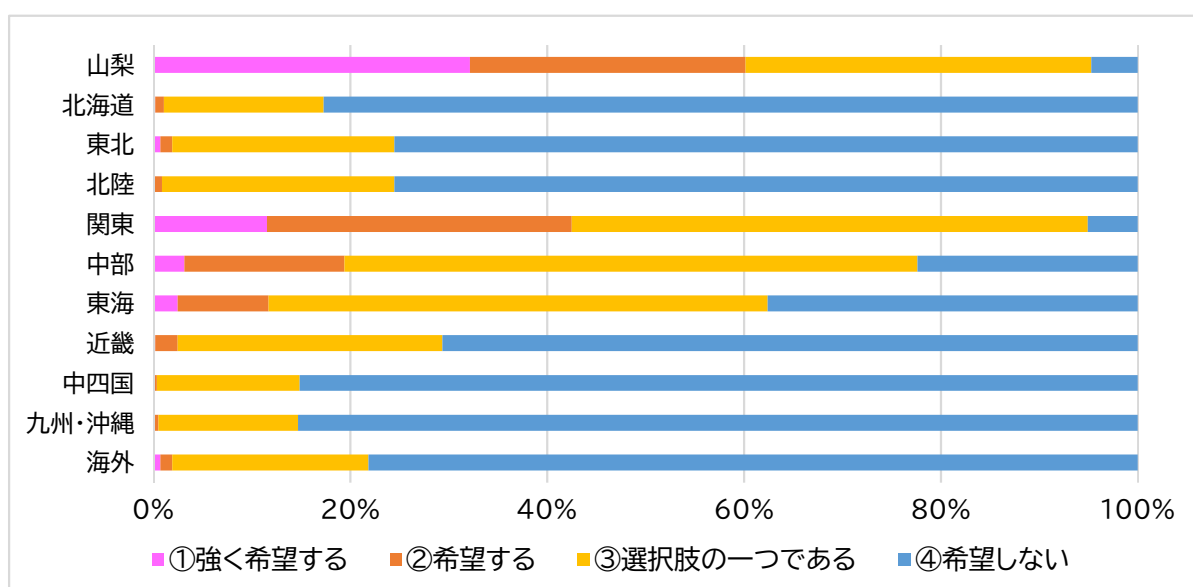
Q2 進学させたい分野は？

No.	項目	①とても進学させたい	②進学させたい	③どちらかといえば進学させたい	④どちらともいえない・まだ決めかねている	⑤進学させたくない	希望者数 (①～③計)
1	クリーンエネルギー	21	58	89	327	77	168
2	機械・ロボット	32	56	67	296	121	155
3	電気・電子	24	50	75	299	124	149
4	情報・コンピュータ・ソフトウェア	51	84	130	240	67	265
5	化学	18	44	98	314	98	160
6	物理	12	30	67	332	131	109
7	土木・建築	20	34	58	296	164	112
8	環境科学	22	47	131	287	85	200
9	生命科学・農学	21	62	125	268	96	208
10	医療	51	85	121	202	113	257
11	ビジネス	13	53	108	299	99	174
12	政策・地域・人間	23	75	108	282	84	206
13	その他	24	48	52	323	125	124



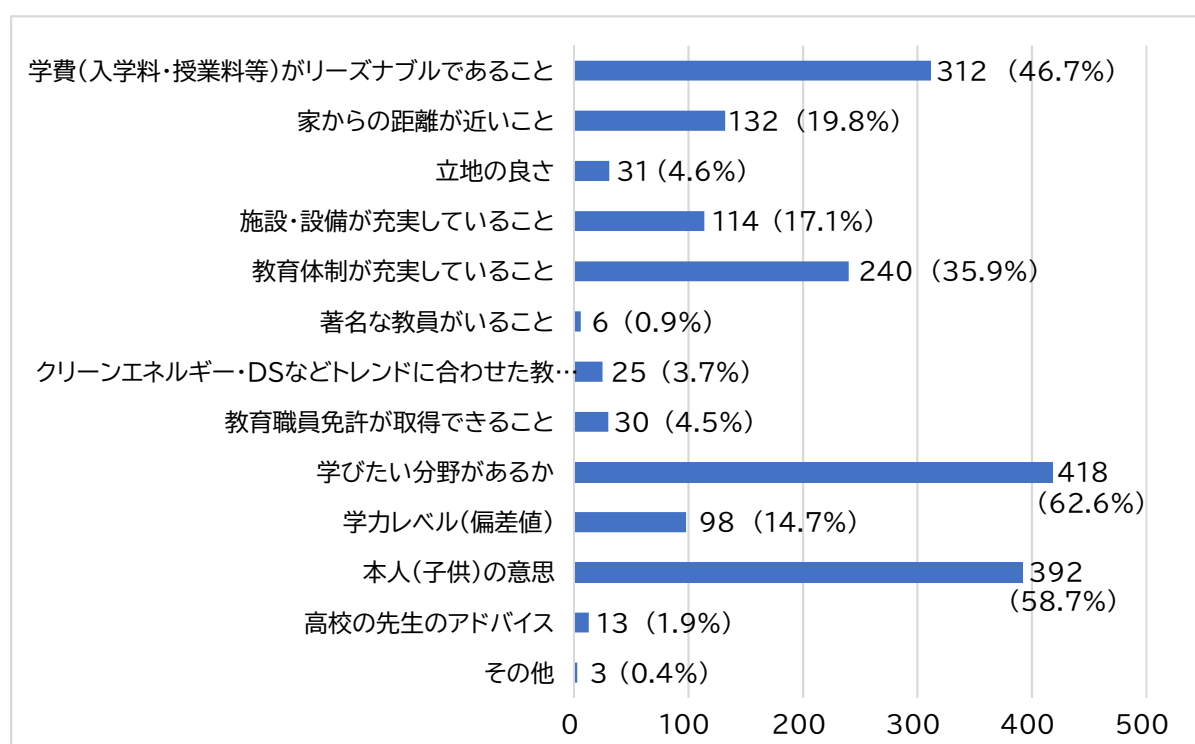
Q3 進学させたい地域は？

No.	項目	①強く希望する	②希望する	③選択肢の一つである	④希望しない	希望者数 (①～②計)
1	山梨	184	160	201	27	344
2	北海道	1	5	93	473	6
3	東北	4	7	129	432	11
4	北陸	0	5	135	432	5
5	関東	66	177	300	29	243
6	中部	18	93	333	128	111
7	東海	14	53	290	215	67
8	近畿	1	13	154	404	14
9	中四国	0	2	83	487	2
10	九州・沖縄	0	3	81	488	3
11	海外	4	7	114	447	11



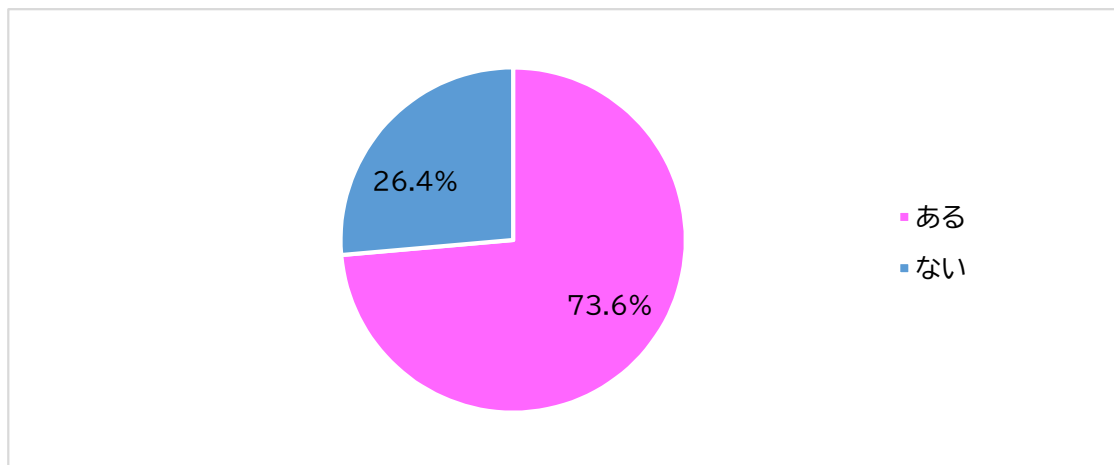
Q4 進学先の検討にあたり重要と考える事項は？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	学費(入学料・授業料等)がリーズナブルであること	312	46.7%
2	家からの距離が近いこと	132	19.8%
3	立地の良さ	31	4.6%
4	施設・設備が充実していること	114	17.1%
5	教育体制が充実していること	240	35.9%
6	著名な教員がいること	6	0.9%
7	クリーンエネルギー・DSなどトレンドに合わせた教育研究を行っていること	25	3.7%
8	教育職員免許が取得できること	30	4.5%
9	学びたい分野があるか	418	62.6%
10	学力レベル(偏差値)	98	14.7%
11	本人(子供)の意思	392	58.7%
12	高校の先生のアドバイス	13	1.9%
13	その他	3	0.4%



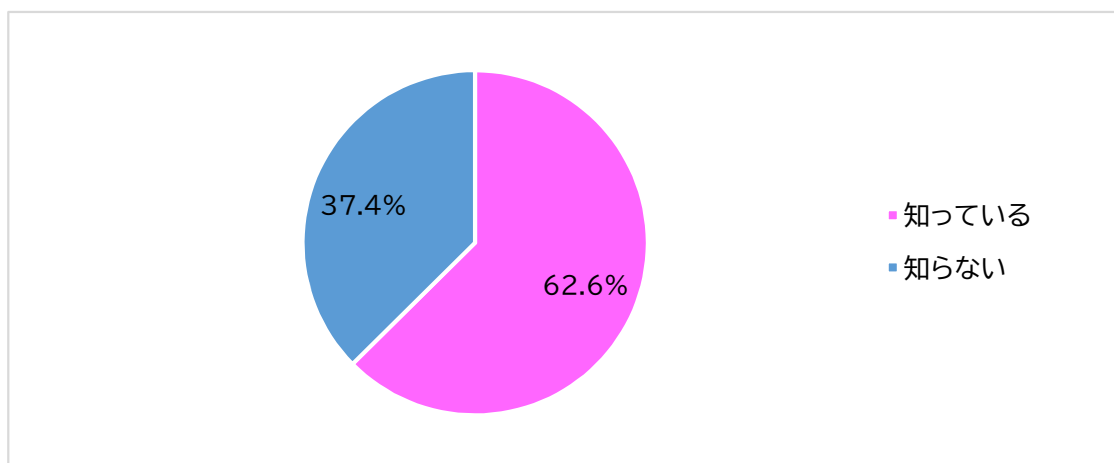
Q5 進学先として山梨大学を検討する予定はあるか？

No.	項目	件数	選択率
1	ある	421	63.0%
2	ない	151	22.6%



Q6 山梨大学工学部のこと(所在地、分野、教育、研究内容など)を知っているか？

No.	項目	件数	選択率
1	知っている	358	53.6%
2	知らない	214	32.0%

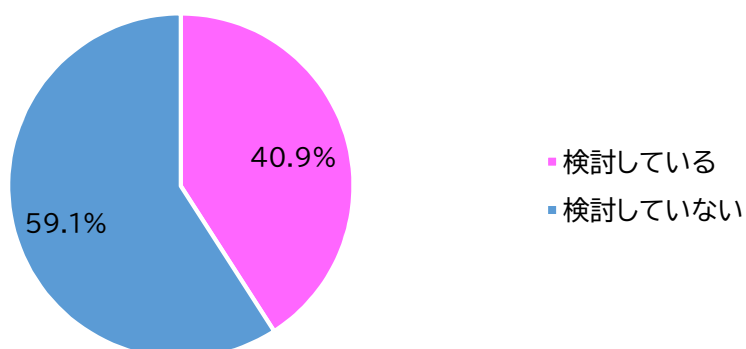


Q7-1 山梨大学工学部の受験を検討しているか？

No.	項目	件数	選択率
1	検討している	234	35.0%
2	検討していない	338	50.6%

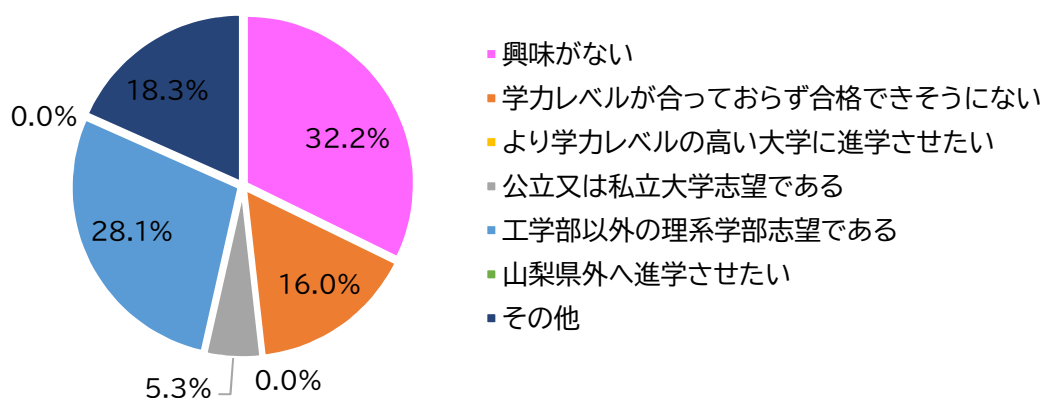
→Q8へ

→Q7-2へ



Q7-2 (「検討していない」場合のみ)検討していない理由は？

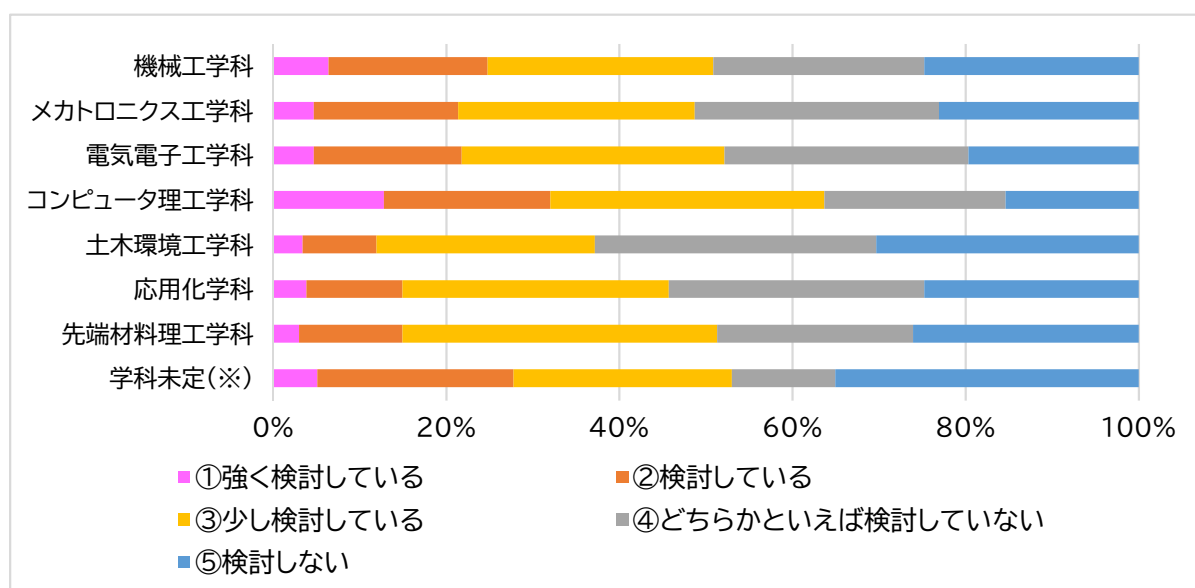
No.	項目	件数	選択率
1	興味がない	109	16.3%
2	学力レベルが合っておらず合格できそうにない	54	8.1%
3	より学力レベルの高い大学に進学させたい	0	0.0%
4	公立又は私立大学志望である	18	2.7%
5	工学部以外の理系学部志望である	95	14.2%
6	山梨県外へ進学させたい	0	0.0%
7	その他	62	9.3%



Q8 (Q7-1で「検討している」場合のみ)現在の学科に関し、どの学科を検討しているか？

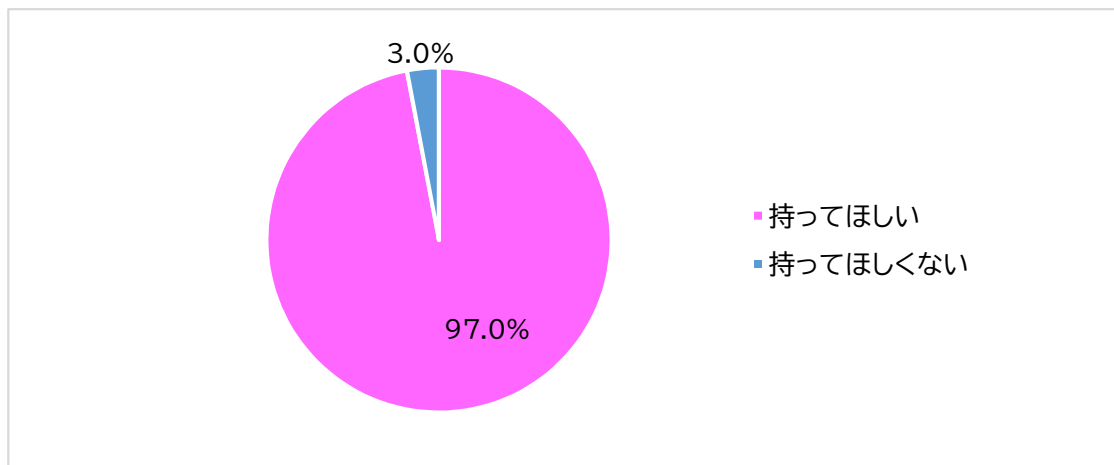
No.	項目	①強く検討している	②検討している	③少し検討している	④どちらかといえば検討していない	⑤検討しない	検討者数 (①～②計)
1	機械工学科	15	43	61	57	58	58
2	メカトロニクス工学科	11	39	64	66	54	50
3	電気電子工学科	11	40	71	66	46	51
4	コンピュータ理工学科	30	45	74	49	36	75
5	土木環境工学科	8	20	59	76	71	28
6	応用化学科	9	26	72	69	58	35
7	先端材料理工学科	7	28	85	53	61	35
8	学科未定(※)	12	53	59	28	82	-

※①～④のいずれを選択しても、回答内容に違いはなし



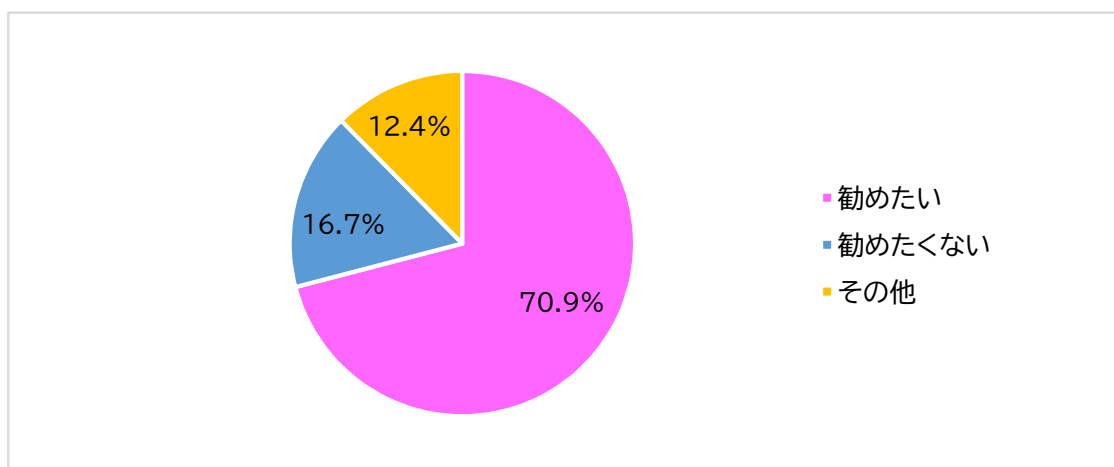
Q9 (Q7-1で「検討している」場合のみ)子息にクリーンエネルギー分野に興味を持ってほしいか？

No.	項目	件数	選択率
1	持ってほしい	227	34.0%
2	持ってほしくない	7	1.0%



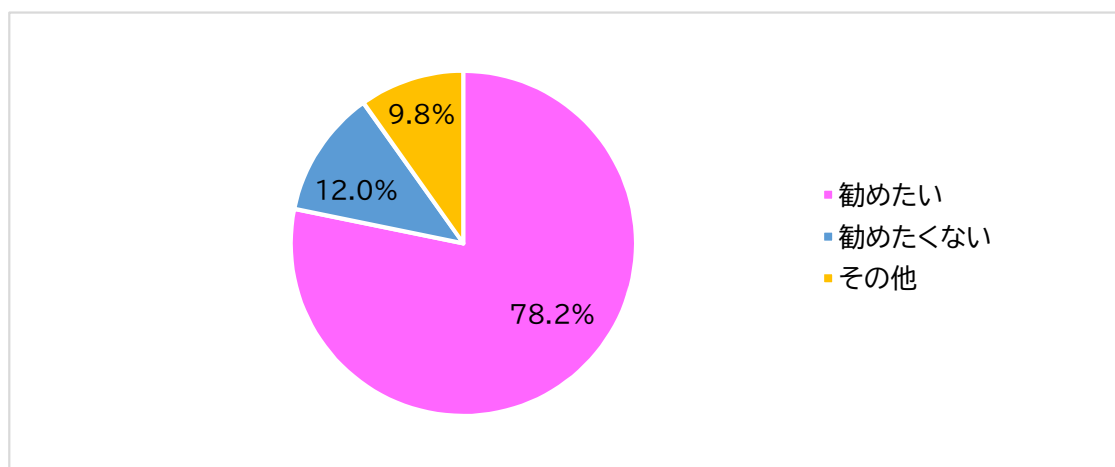
Q10 (Q7-1で「検討している」場合のみ)子息にクリーンエネルギー化学コースへの進学を勧めたいか？

No.	項目	件数	選択率
1	勧めたい	166	24.9%
2	勧めたくない	39	5.8%
3	その他	29	4.3%



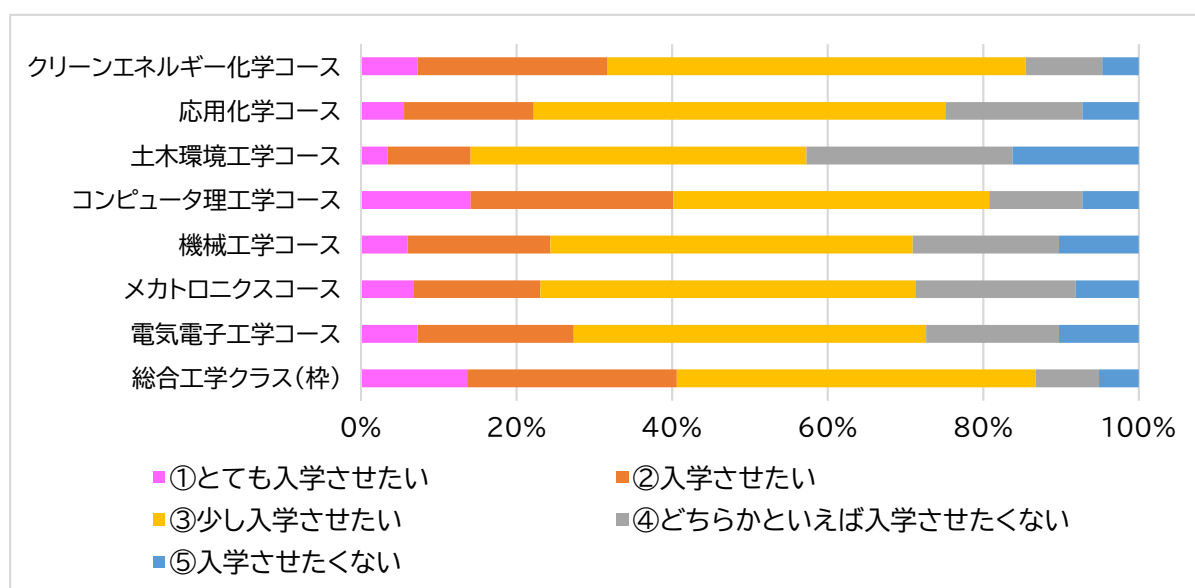
Q11 (Q7-1で「検討している」場合のみ)子息に総合工学クラス(枠)への進学を勧めたいか？

No.	項目	件数	選択率
1	勧めたい	183	27.4%
2	勧めたくない	28	4.2%
3	その他	23	3.4%



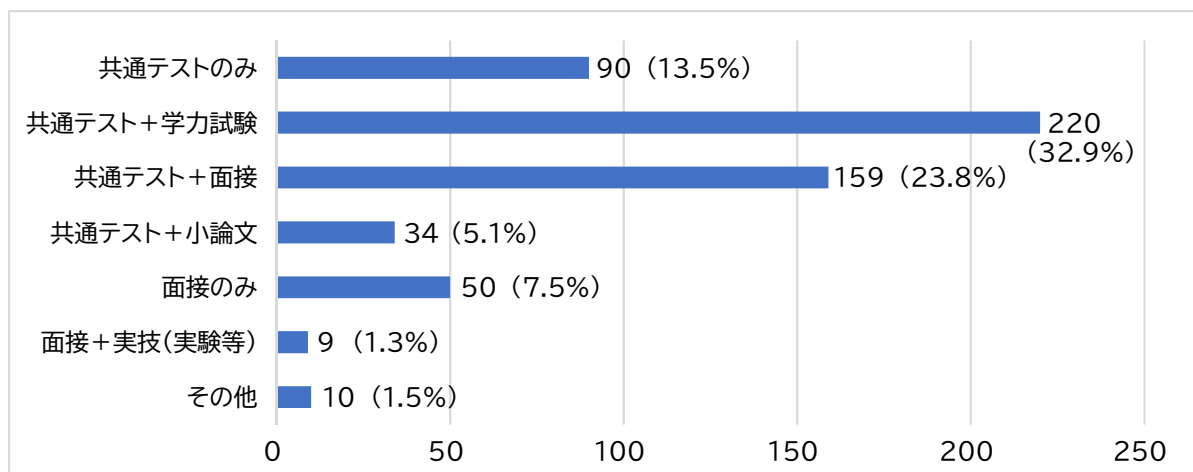
Q12 (Q7-1で「検討している」場合のみ)改組後のコースで、子息に入学させたい又は興味のあるコースは？

No.	項目	①とても入学させたい	②入学させたい	③少し入学させたい	④どちらかといえば入学させたくない	⑤入学させたくない	希望者数 (①～②計)
1	クリーンエネルギー化学コース	17	57	126	23	11	74
2	応用化学コース	13	39	124	41	17	52
3	土木環境工学コース	8	25	101	62	38	33
4	コンピュータ理工学コース	33	61	95	28	17	94
5	機械工学コース	14	43	109	44	24	57
6	メカトロニクスコース	16	38	113	48	19	54
7	電気電子工学コース	17	47	106	40	24	64
8	総合工学クラス(枠)	32	63	108	19	12	95



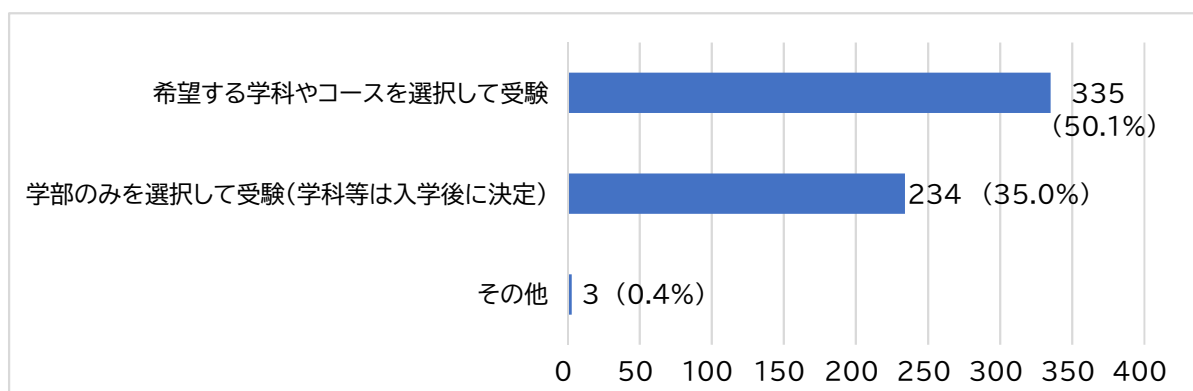
Q13 好ましいと考える入試方法は？

No.	項目	件数	選択率
1	共通テストのみ	90	13.5%
2	共通テスト+学力試験	220	32.9%
3	共通テスト+面接	159	23.8%
4	共通テスト+小論文	34	5.1%
5	面接のみ	50	7.5%
6	面接+実技(実験等)	9	1.3%
7	その他	10	1.5%



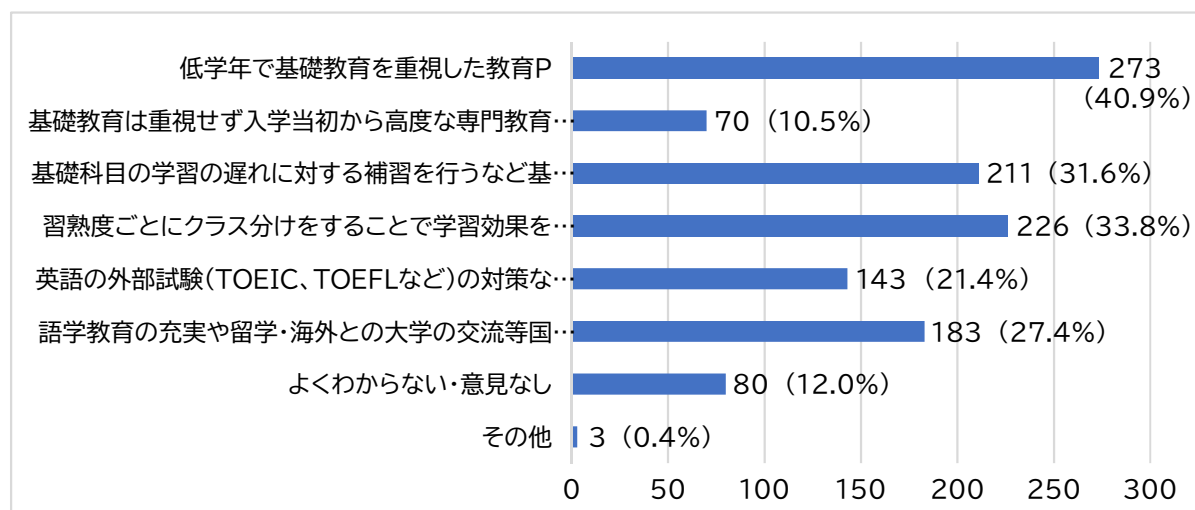
Q14 好ましいと考える受験方式は？

No.	項目	件数	選択率
1	希望する学科やコースを選択して受験	335	50.1%
2	学部のみを選択して受験(学科等は入学後に決定)	234	35.0%
3	その他	3	0.4%



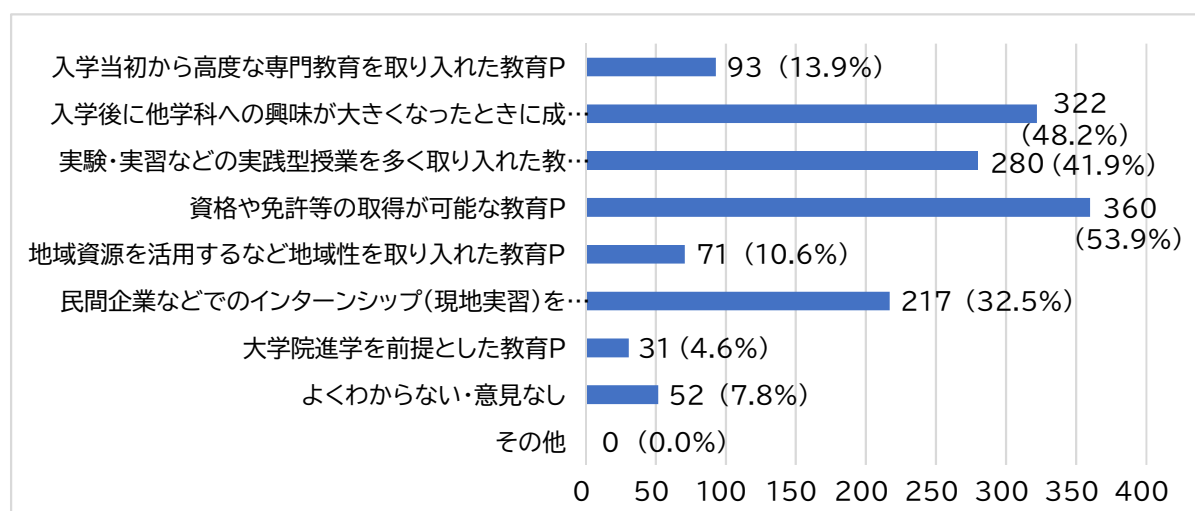
Q15 進学先でどのような基礎教育を受けさせたいか？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	低学年で基礎教育を重視した教育P	273	40.9%
2	基礎教育は重視せず入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育P	70	10.5%
3	基礎科目の学習の遅れに対する補習を行うなど基礎教育が丁寧な教育P	211	31.6%
4	習熟度ごとにクラス分けをすることで学習効果を高める教育P	226	33.8%
5	英語の外部試験(TOEIC、TOEFLなど)の対策などを取り入れた教育P	143	21.4%
6	語学教育の充実や留学・海外との大学の交流等国际性を重視した教育P	183	27.4%
7	よくわからない・意見なし	80	12.0%
8	その他	3	0.4%



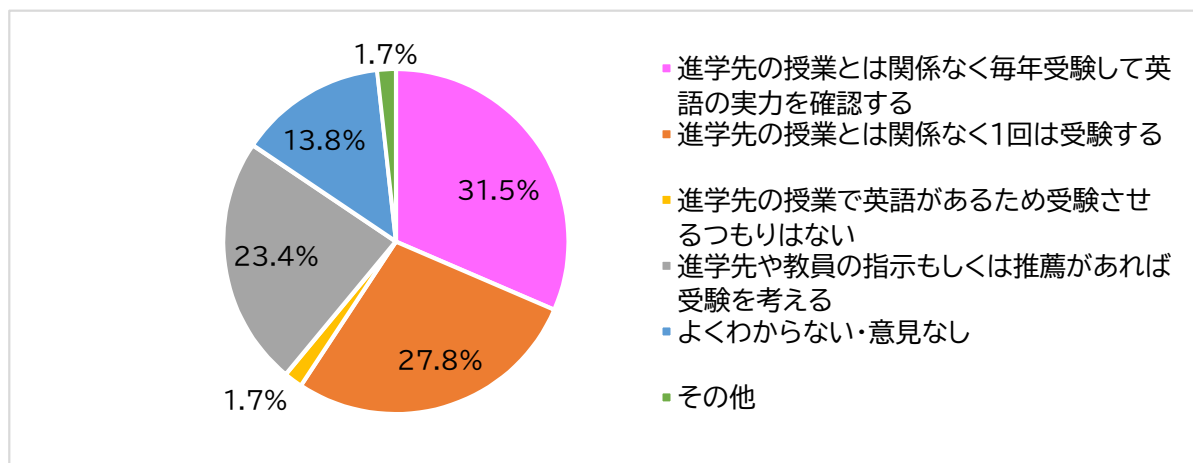
Q16 進学先の選択にあたり、特に専門教育に関し重視することは？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育P	93	13.9%
2	入学後に他学科への興味が大きくなったときに成績次第で転学科ができるよう考慮した教育P	322	48.2%
3	実験・実習などの実践型授業を多く取り入れた教育P	280	41.9%
4	資格や免許等の取得が可能な教育P	360	53.9%
5	地域資源を活用するなど地域性を取り入れた教育P	71	10.6%
6	民間企業などでのインターンシップ(現地実習)を取り入れた教育P	217	32.5%
7	大学院進学を前提とした教育P	31	4.6%
8	よくわからない・意見なし	52	7.8%
9	その他	0	0.0%



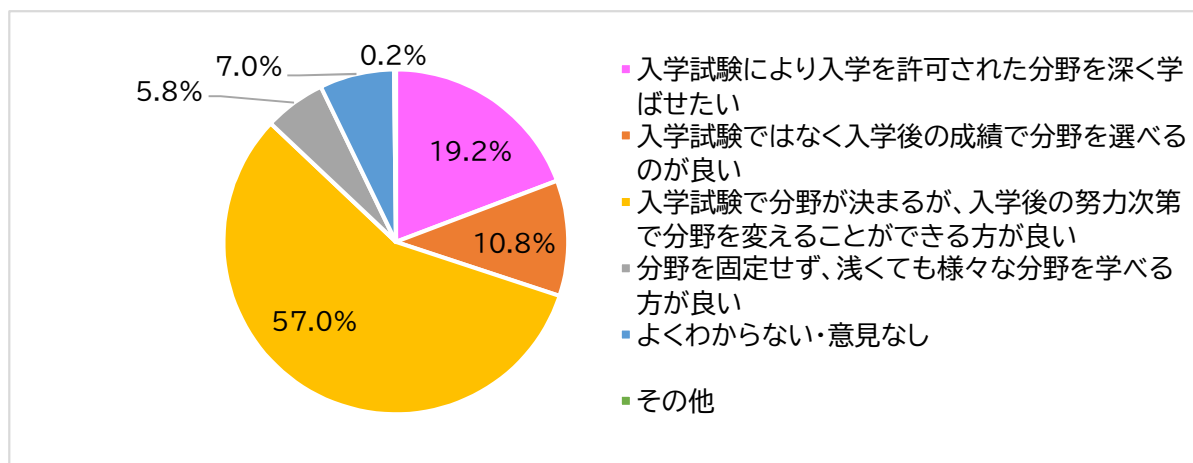
Q17 進学後、英語外部検定試験にどのように取り組むよう助言する予定か？

No.	項目	件数	選択率
1	進学先の授業とは関係なく毎年受験して英語の実力を確認する	180	26.9%
2	進学先の授業とは関係なく1回は受験する	159	23.8%
3	進学先の授業で英語があるため受験させるつもりはない	10	1.5%
4	進学先や教員の指示もしくは推薦があれば受験を考える	134	20.1%
5	よくわからない・意見なし	79	11.8%
6	その他	10	1.5%



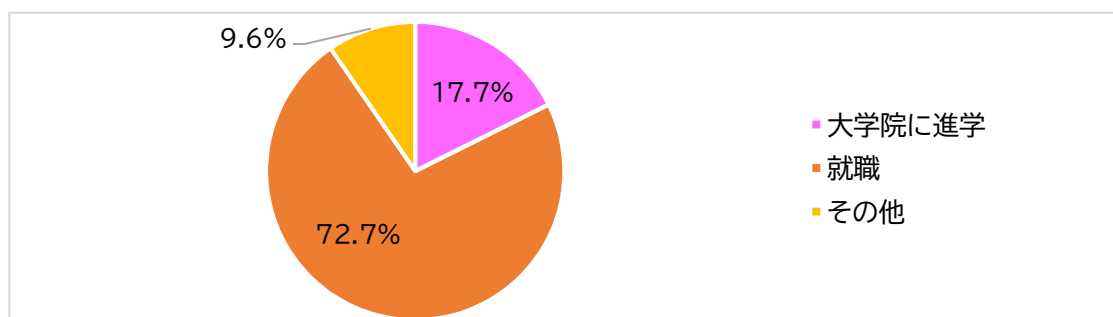
Q18 入学後の所属コース(学修分野)についてどう思うか？

No.	項目	件数	選択率
1	入学試験により入学を許可された分野を深く学ばせたい	110	16.5%
2	入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べるのが良い	62	9.3%
3	入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる方が良い	326	48.8%
4	分野を固定せず、浅くても様々な分野を学べる方が良い	33	4.9%
5	よくわからない・意見なし	40	6.0%
6	その他	1	0.1%



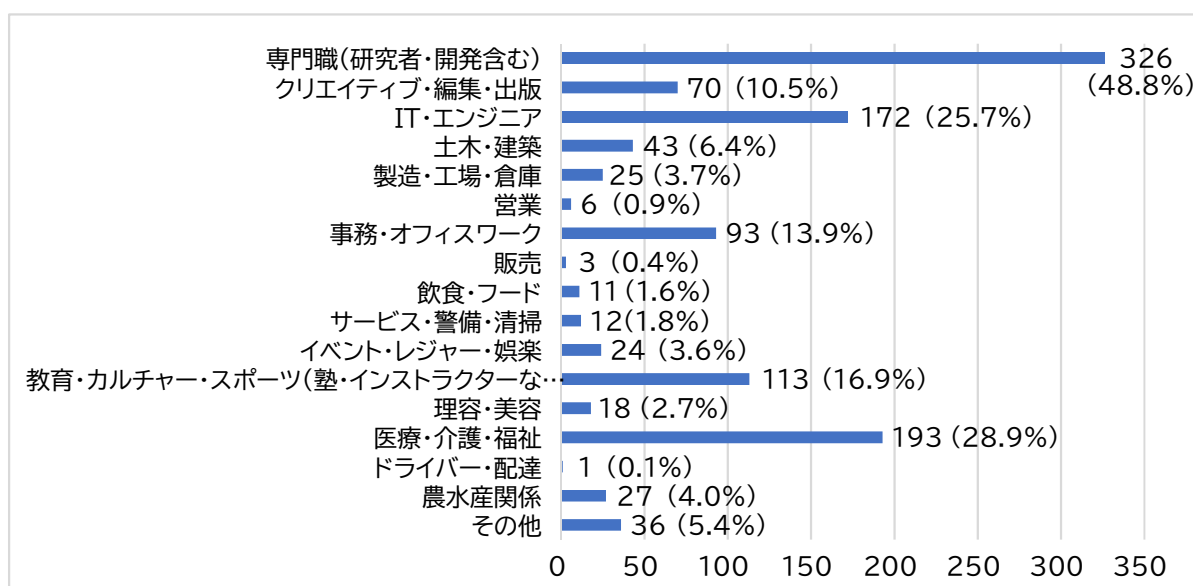
Q19 大学卒業後の進路希望は？

No.	項目	件数	選択率
1	大学院に進学	101	15.1%
2	就職	416	62.3%
3	その他	55	8.2%



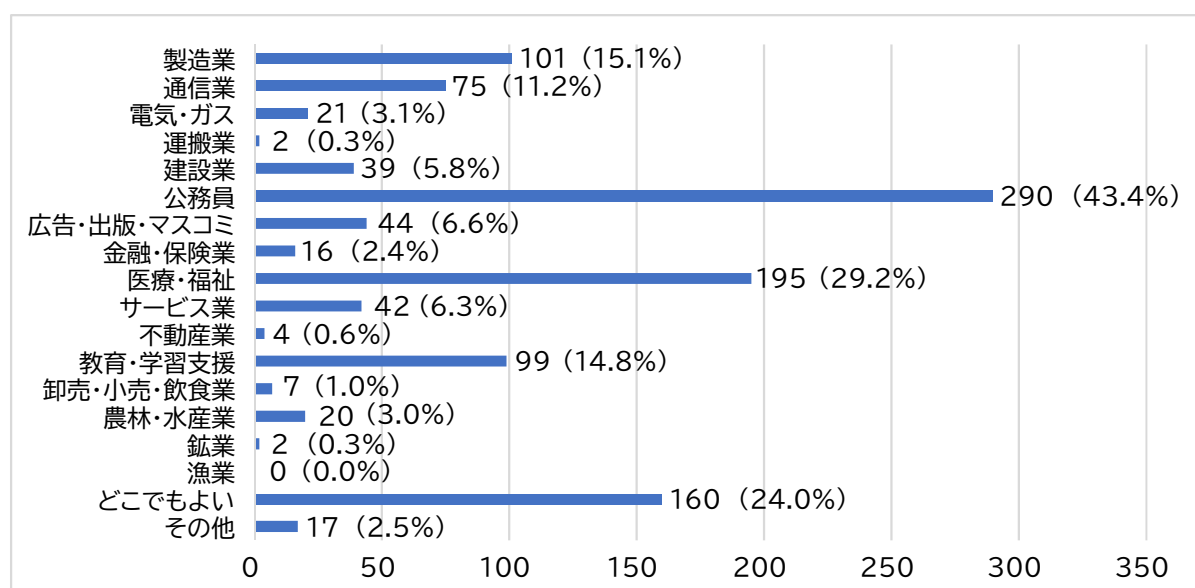
Q20 就職を希望する職種は？(2つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	専門職(研究者・開発含む)	326	48.8%
2	クリエイティブ・編集・出版	70	10.5%
3	IT・エンジニア	172	25.7%
4	土木・建築	43	6.4%
5	製造・工場・倉庫	25	3.7%
6	営業	6	0.9%
7	事務・オフィスワーク	93	13.9%
8	販売	3	0.4%
9	飲食・フード	11	1.6%
10	サービス・警備・清掃	12	1.8%
11	イベント・レジャー・娯楽	24	3.6%
12	教育・カルチャー・スポーツ(塾・インストラクターなど)	113	16.9%
13	理容・美容	18	2.7%
14	医療・介護・福祉	193	28.9%
15	ドライバー・配達	1	0.1%
16	農水産関係	27	4.0%
17	その他	36	5.4%



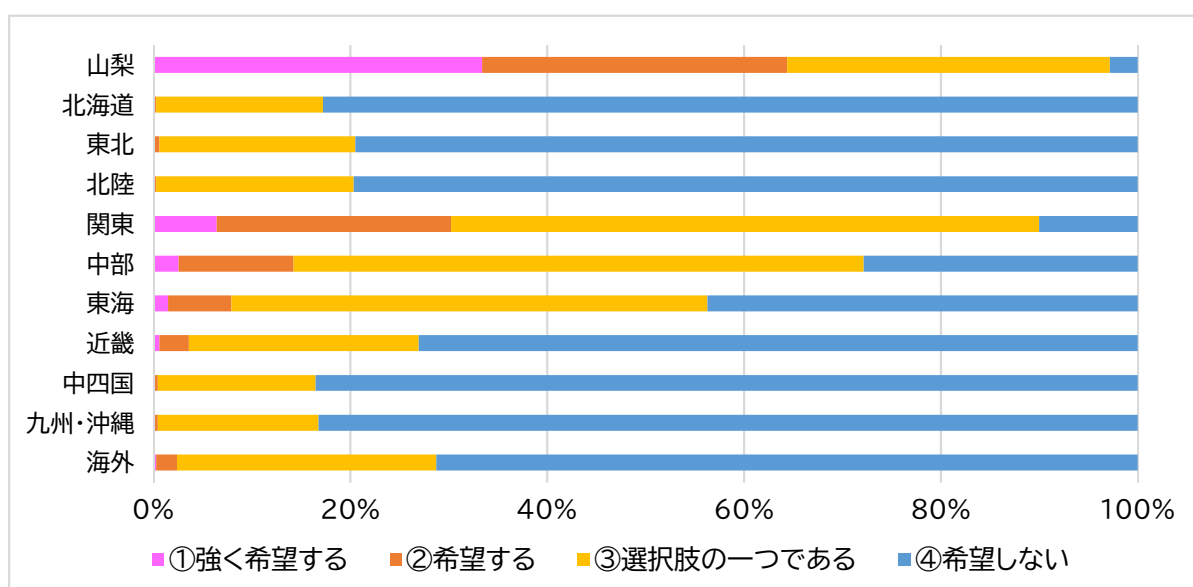
Q21 就職を希望する業種は？(2つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	製造業	101	15.1%
2	通信業	75	11.2%
3	電気・ガス	21	3.1%
4	運搬業	2	0.3%
5	建設業	39	5.8%
6	公務員	290	43.4%
7	広告・出版・マスコミ	44	6.6%
8	金融・保険業	16	2.4%
9	医療・福祉	195	29.2%
10	サービス業	42	6.3%
11	不動産業	4	0.6%
12	教育・学習支援	99	14.8%
13	卸売・小売・飲食業	7	1.0%
14	農林・水産業	20	3.0%
15	鉱業	2	0.3%
16	漁業	0	0.0%
17	どこでもよい	160	24.0%
18	その他	17	2.5%



Q22 就職を希望する地域は？

No.	項目	①強く希望する	②希望する	③選択肢の一つである	④希望しない	希望者数 (①～②計)
1	山梨	223	207	219	19	430
2	北海道	0	2	113	553	2
3	東北	1	3	133	531	4
4	北陸	0	2	134	532	2
5	関東	43	159	399	67	202
6	中部	17	78	387	186	95
7	東海	10	43	323	292	53
8	近畿	4	20	156	488	24
9	中四国	0	3	107	558	3
10	九州・沖縄	0	3	109	556	3
11	海外	2	14	176	476	16

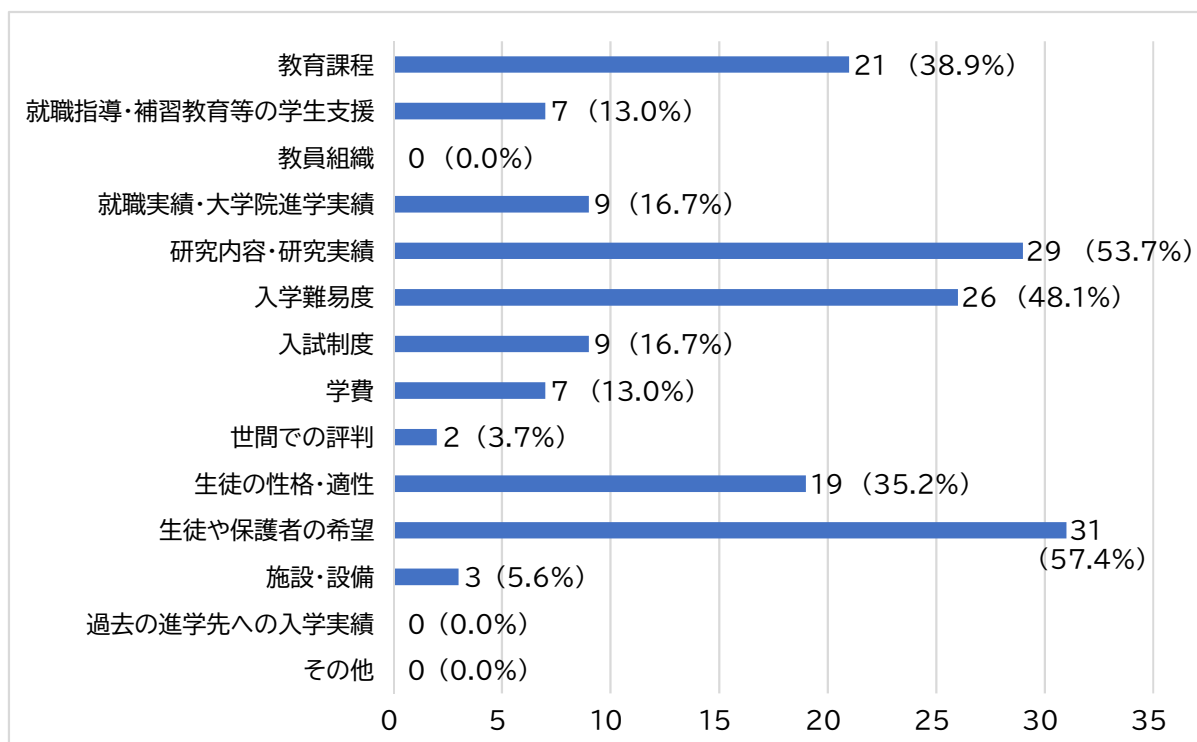


○ 山梨県内の高校教員アンケート集計

回答総数	54
------	----

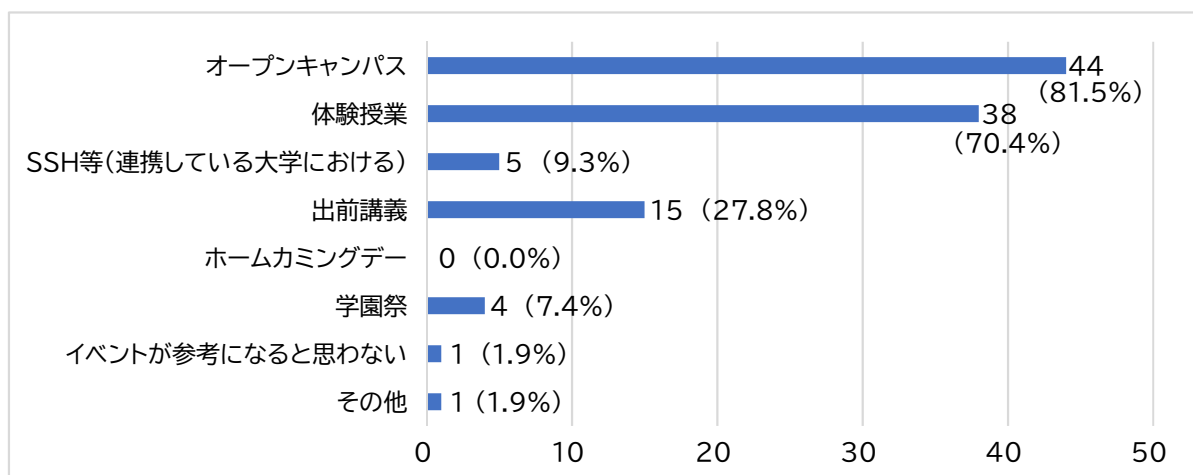
Q1 進路指導に際し、進学先に対して特に重視する事項は？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	教育課程	21	38.9%
2	就職指導・補習教育等の学生支援	7	13.0%
3	教員組織	0	0.0%
4	就職実績・大学院進学実績	9	16.7%
5	研究内容・研究実績	29	53.7%
6	入学難易度	26	48.1%
7	入試制度	9	16.7%
8	学費	7	13.0%
9	世間での評判	2	3.7%
10	生徒の性格・適性	19	35.2%
11	生徒や保護者の希望	31	57.4%
12	施設・設備	3	5.6%
13	過去の進学先への入学実績	0	0.0%
14	その他	0	0.0%



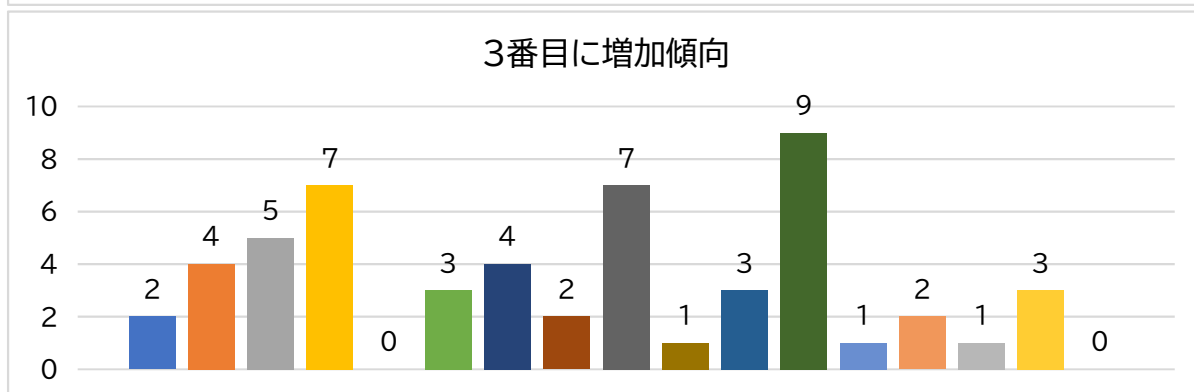
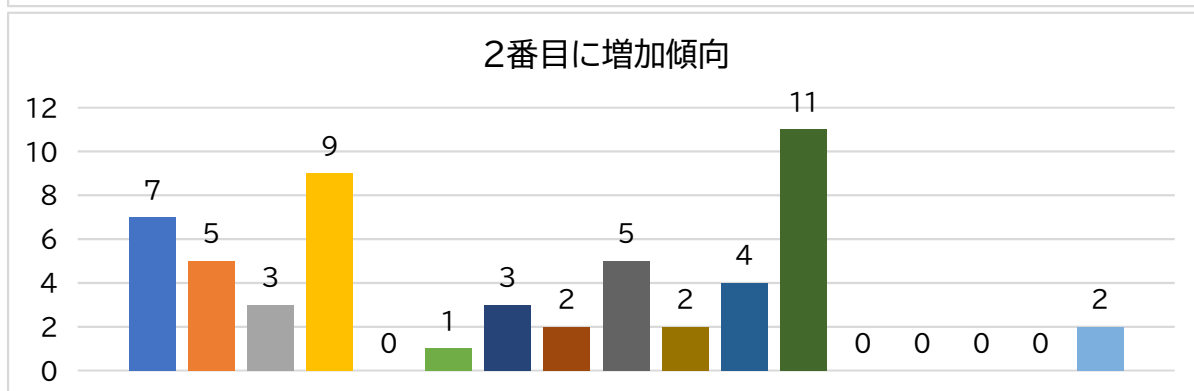
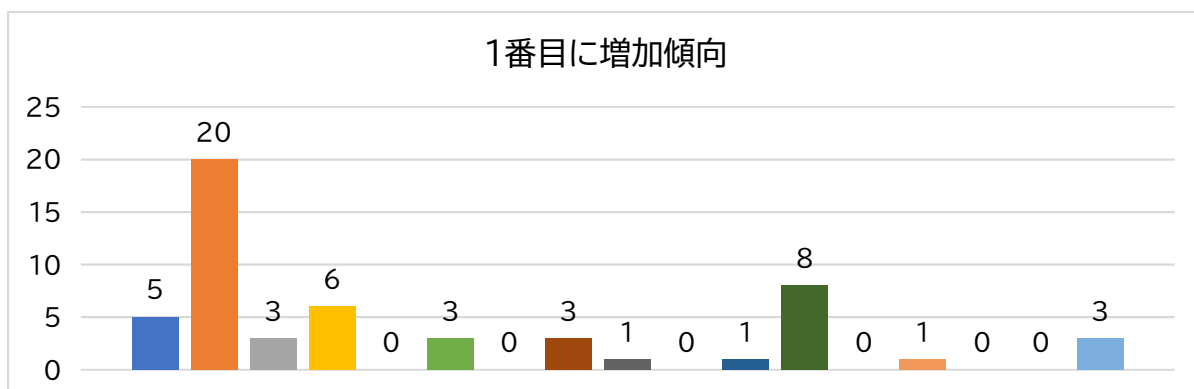
Q2 生徒が進学先を検討する際に、どのようなイベントが参考になるか？(2つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	オープンキャンパス	44	81.5%
2	体験授業	38	70.4%
3	SSH等(連携している大学における)	5	9.3%
4	出前講義	15	27.8%
5	ホームカミングデー	0	0.0%
6	学園祭	4	7.4%
7	イベントが参考になると思わない	1	1.9%
8	その他	1	1.9%



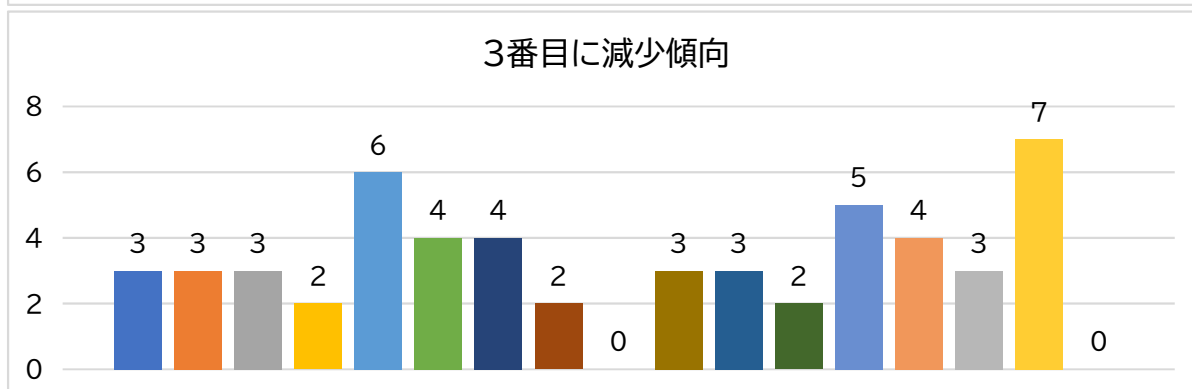
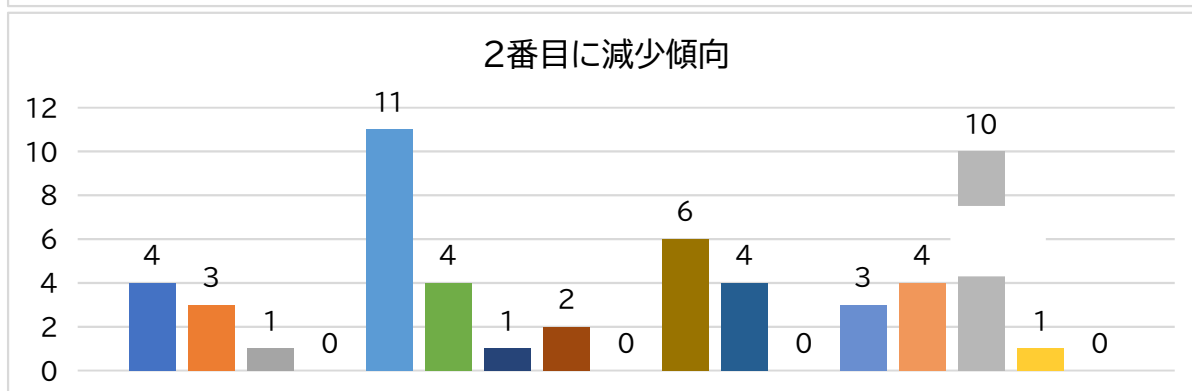
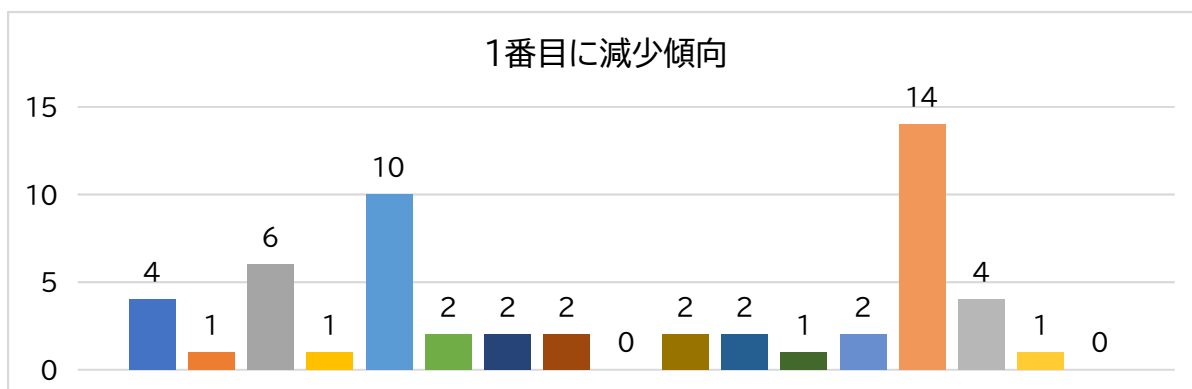
Q3 直近3年間の進路志望動向において、増加傾向とを感じる分野は？（上位3番目まで）

No.	項目	1番目	2番目	3番目
1	理学関係	5	7	2
2	工学関係	20	5	4
3	農学関係	3	3	5
4	医学・歯学・薬学関係	6	9	7
5	文学・史学・哲学関係	0	0	0
6	外国語関係	3	1	3
7	心理学関係	0	3	4
8	法学・政治学関係	3	2	2
9	商学・経済学・経営学関係	1	5	7
10	社会学関係	0	2	1
11	国際関係学関係	1	4	3
12	保健関係(看護・理学療法・作業療法・社会福祉等)	8	11	9
13	家政学関係	0	0	1
14	教員養成・教育学・保育学関係	1	0	2
15	芸術関係	0	0	1
16	総合科学関係	0	0	3
17	その他	3	2	0



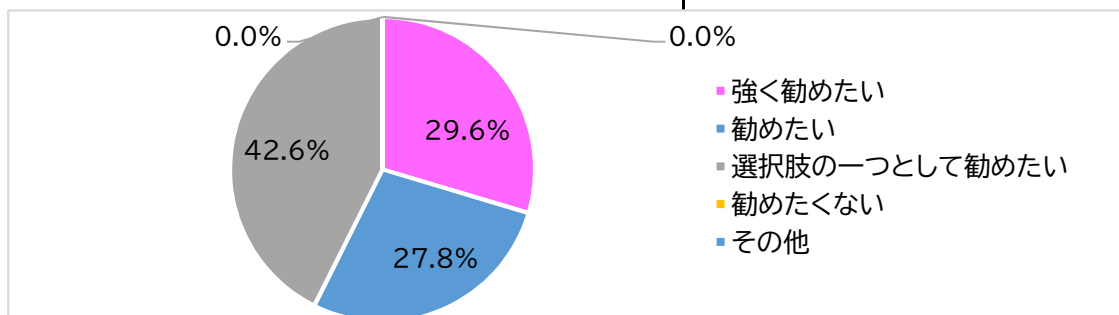
Q4 直近3年間の進路志望動向において、減少傾向と感じる分野は？（上位3番目まで）

No.	項目	1番目	2番目	3番目
1	理学関係	4	4	3
2	工学関係	1	3	3
3	農学関係	6	1	3
4	医学・歯学・薬学関係	1	0	2
5	文学・史学・哲学関係	10	11	6
6	外国語関係	2	4	4
7	心理学関係	2	1	4
8	法学・政治学関係	2	2	2
9	商学・経済学・経営学関係	0	0	0
10	社会学関係	2	6	3
11	国際関係学関係	2	4	3
12	保健関係(看護・理学療法・作業療法・社会福祉等)	1	0	2
13	家政学関係	2	3	5
14	教員養成・教育学・保育学関係	14	4	4
15	芸術関係	4	10	3
16	総合科学関係	1	1	7
17	その他	0	0	0



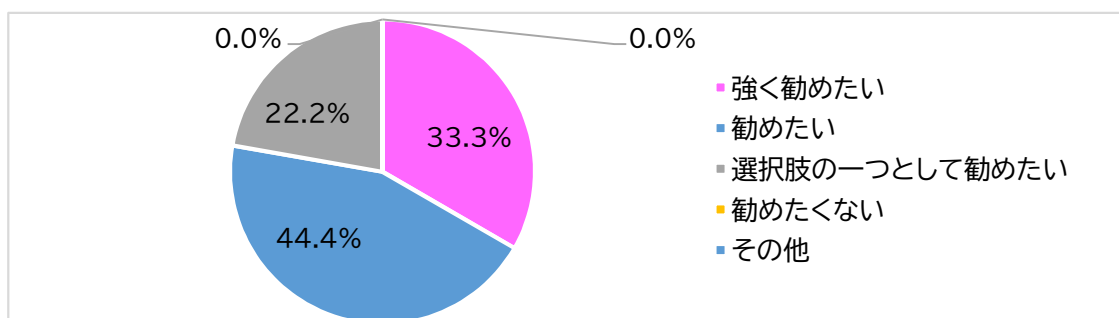
Q5 山梨大学工学部の受験を勧めたいか？

No.	項目	件数	選択率
1	強く勧めたい	16	29.6%
2	勧めたい	15	27.8%
3	選択肢の一つとして勧めたい	23	42.6%
4	勧めたくない	0	0.0%
5	その他	0	0.0%



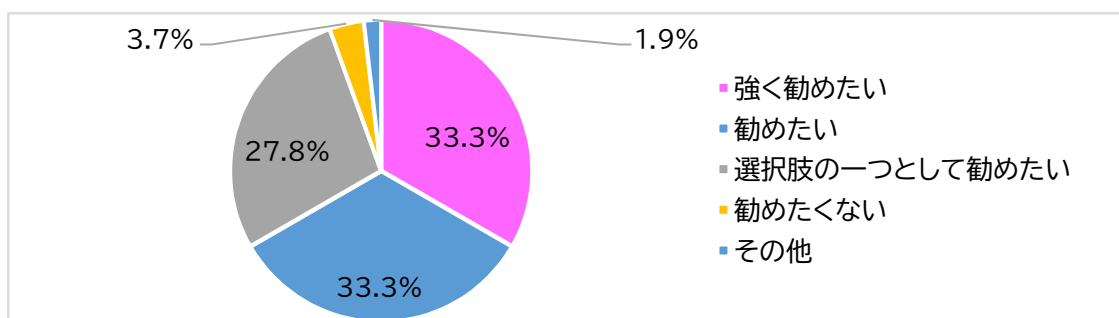
Q6 クリーンエネルギー化学コースへの進学を勧めたいか？

No.	項目	件数	選択率
1	強く勧めたい	18	33.3%
2	勧めたい	24	44.4%
3	選択肢の一つとして勧めたい	12	22.2%
4	勧めたくない	0	0.0%
5	その他	0	0.0%



Q7 総合工学クラス(枠)への進学を勧めたいか？

No.	項目	件数	選択率
1	強く勧めたい	18	33.3%
2	勧めたい	18	33.3%
3	選択肢の一つとして勧めたい	15	27.8%
4	勧めたくない	2	3.7%
5	その他	1	1.9%



Q8 山梨大学工学部に期待することは？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	今回の改組は非常に良いと思います。
2	日本や世界をリードするような研究上の実績をあげてほしい。【同意見:計2件】
3	大学は研究機関であることをもっと前面に出してよいと思います。
4	世界に通じる人材育成【同意見:計2件】
5	日本の産業を支える人材の育成
6	山梨の産業を活性化するような人材の育成
7	山梨県唯一の工学部を設置する大学であり、今後も地域や世界で活躍する人材の育成をしてもらえることを期待する。【同意見:計2件】
8	ぜひ、県内の高校に通う生徒にとって魅力的な学びができ、かつ、地元就職し、有用な人材になれるような教育を担保してほしい。
9	本校では、首都圏の大学に進学する生徒も多いですが、山梨の大学で地域に貢献したいと考えている生徒おります。そのような生徒の進学先になっていただけたらと期待しております。
10	山梨県内の学生を多く採用し、県内の発展のために還元してほしい。【同意見:計2件】
11	地元の高校生にとって、理系の進学先として幅広い可能性を残しておいてほしい。今回の総合工学校は興味深いですが、県内出身者にはハードルが高いかとも感じています。
12	優秀な生徒が他県の大学に入学せず山梨大学工学部で学び、山梨県で就職し、将来家族とともに地域に根差した生活ができるようにしていただくこと。
13	地元の生徒の確保と企業との連携
14	土木・建設系に加え、建築系の学科があると県外に流出している生徒がより山梨大学を志望しやすくなると思います。【同意見:計2件】
15	昨年指導した生徒で、コンピュータ理工学科に進学した生徒は、いわゆる偏差値のランクという枠組みではない理由で、他大学ではなく山梨大学さんのコンピュータ理工学科を志望していました。しかし、残念ながらそのような生徒はごくごく少数なのが実態で、実際には、①県内でしか進学が許されない状況、②いわゆる偏差値ランクによる志望、が圧倒的多数を占めているのが現状です。高校の進学指導にも大きな瑕疵があるのは火を見るよりも明らかですが、大学の魅力が十分に伝わっていない側面があるのもまた事実かと思えます。これらの障害の解消のために、ありきたりではありますが、③県内高校での探究学習等と大学(大学院)のコラボレーション、④県外におけるリクルーティング、等が重要かなと思っています。③は県内の意欲ある高校生の目を山梨大学さんに向けさせる意味で、④は競争力確保のために県外の高校生の目を山梨大学さんに向けさせる意味で、と考えました。ちなみに②については、高校教員のマインドセットがないと生徒の進学指導も大きく変わることがないだろうと思っています。
16	研究を通しての地域企業との連携の様子などがわかれば実態などがわかれば、梨大の魅力が伝わると思います。
17	最先端の研究と高校との連携
18	地域に全国に開かれた学問を学べる首都圏の大学としてつねに工夫を続けてくださるところに期待します。
19	山梨県の県政に対して、長野県のようなゼロカーボン宣言や電気自動車社会の実現などでリードしてほしい。計画経済や人工増加戦略にも介入してほしい。農学部をしっかりと作って林業などにも力を入れてほしい。
20	大学院生への補助

Q9 工学部以外で山梨大学に設置を希望する学部等は？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	医療系学部【同意見:計8件】 特に放射線や臨床検査などにおいて優秀な生徒が県外に出てしまうのはもったいない。医療系の学部の充実、特に女子学生の県外流出に歯止めをかけ、県の人口施策にもなると思われます。
2	薬学部【同意見:計7件】
3	理学部【同意見:計7件】
4	農学部【同意見:計4件】
5	経済・経営学部【同意見:計13件】
6	法学部【同意見:計5件】
7	社会学部【同意見:計2件】
8	文理融合学部【同意見:計2件】
9	データサイエンス学部
10	文系学部をとにかく増やして欲しい。

Q10 工学部の組織や改組に関連して高大接続で検討すべきと考えられるテーマは？(自由記述)

No.	意見
1	高校生への工学分野の学びの周知、PRを強化して行う。(オープンキャンパスや公開授業といった任意参加のイベントではなく、高校でのカリキュラムに入れ込む。)
2	高校生に学科や研究内容をより詳しく知ってもらうことが大切だとも思います。生徒は、あまり知らないのが実情です。
3	高校から大学へとつながる課題研究の取り組み方
4	総合探求の時間を利用した年間を通しての研究
5	エネルギー教育、工学的探究実習
6	高大の接続で大切なのは基礎学力の充実ではないでしょうか。勉強しなくても入学できると勘違いされたら高校も大学も困ります。他大学で「ゼミナール入試」という講義を受ければ面接だけで入学できると人気だそうですが、入学してから大丈夫なののでしょうか？
7	前任者が退職されてからは、高大接続研究会はあまり機能していないように感じます。

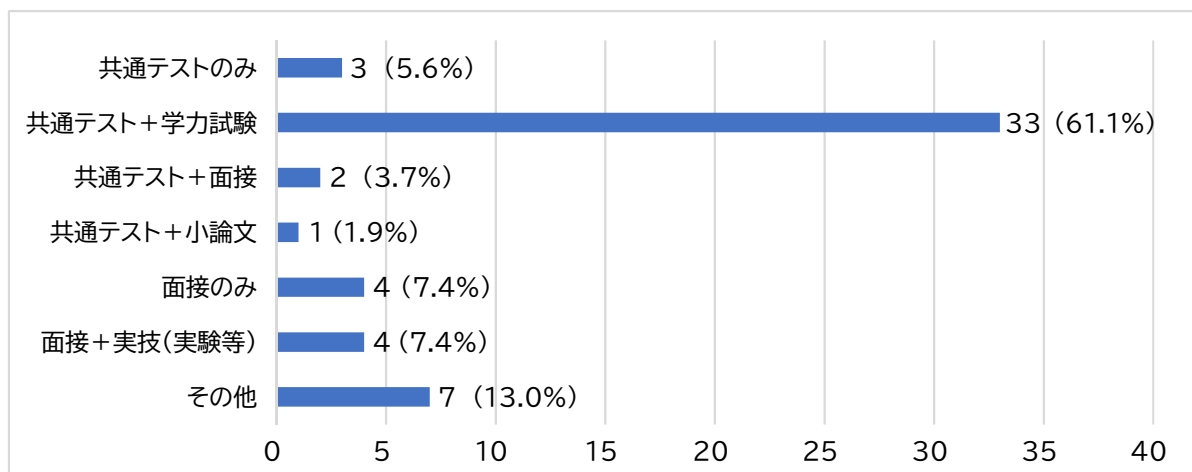
Q11 山梨大学に対する要望や不満などは？(自由記述)

No.	意見
1	工学部で令和6年度から復活する学校推薦型選抜は、現場としては大歓迎です。
2	学校推薦型選抜Ⅰを導入されるとのことですが、学校型推薦と総合型選抜のどちらで出願するのが生徒のためなのか、判断に迷う。また、最大5回の受験機会は与えられるが、5回の入試形態に柔軟に対応できる生徒は少ないと思われる。(対応できる生徒は、総合型選抜Ⅰで合格できると思われる。)
3	総合型入試での募集が上手くいっていないのが現状ではないでしょうか。くくり募集については人数確保のための手段のように感じます。高校時代に研究したい内容がまだ決まらない生徒も多いので、総合工学枠を前期でもっと増やした方が良いのではないのでしょうか。やりたい事が決まらない生徒に対しては東大や北大の総合理系を勧めていますが、学力がそこまで高くない生徒についてはそのような選択肢がありません。総合工学枠を増やすことで、そのような生徒の確保にもつながるのではないのでしょうか。
4	以前の推薦は学力不問だったので一発逆転的な要素が不満でした。総合型で共通テスト必須になるとそのような受験生が大幅に減って定員割れが起き、共通テストで平均点もとれない生徒が合格する「出した者勝ち」となる可能性があることが不満です。足切りはきちんとやってほしい。共通テスト不要に戻そうと考えるのは大きな間違いです。
5	学校推薦型選抜や総合型選抜で入学する生徒と、一般入試で入学する生徒の学力差は、入学後、どのように解消されていくのか。逆にあまり問題は無いのか。
6	この度の再編によって、共通テスト利用の際「生物」が選択可能ということですが、工学部入学するにあたって物理を学んでいない生徒でも受け入れるということですか？しかし、2次試験では、「生物」での受験は不可となっているため、生物を使つての入学はできないとなると、何故の生物選択可なのかが不明です。生物選択者に、山梨大学は生物選択者にも可能性があるとも言えないですし…。(すでに二次で生物でも受けられる学科はありますが)
7	総合工学枠は前期の定員の割合をもう少し増やしてもいいかもしれないと感じる。このままでいくのであれば、工学部の中でもレベルの高い教育を行う特別なコースであることをもっとアピールしていかないと埋没してしまうかもしれない。受験難易度の高い大学を前期で不合格となった生徒が、それならば山梨で頑張ろうと思えるような目玉コースになることを期待する。
8	工学部全般で後期入試を実施してほしい
9	工学部の入試制度の中に少人数でかまわないので総合学科枠を設けてほしい。
10	山梨県の中心大学として、県内が活性化するような活動を増やしてほしい。県内の国公立大学には経済経営系学部がないため、専門的・先進的な学びができる場があるといいと思います。
11	高大接続を外部評価の指標の一つとして捉えている意向が強くなったせいでしょうか、山梨県内の高校生に「大学の知を」というかつての趣旨が抜けてしまったように感じました。また、工学部の総合型選抜の扱いに学科の違いがあることに疑問を感じていました。
12	公開講座や出前講座ではお力添えいただきましてありがとうございました。高校生もどんどん変わっています。授業にディスカッションを入れるなど工夫をしなければついてこなくなりました。今後は講義の仕方について連携していきたいです。
13	本校を卒業した多くの学生が山梨大学さんにお世話になっております。伝統あるコンピュータ理工学科を中心に工学部を志望する生徒が毎年一定数おりますが、(高校での指導が至らないという部分もありますが、)機械工学、制御工学、情報科学等の差異をわからず受験する生徒が多いのが気になります。そういった意味で今回の改組がポジティブな方向に働いてくれるといいな、と感じております。一方で、やはり高校やあるいは中学といった早い段階で工学系の学問分野について知る機会をもっとあってもよいのかもしれないと感じています。オープンキャンパスや公開授業、出前授業といった機会を用意してくださっているため、これ以上を求めるのはお門違いなのかも知れませんが、生徒全員がそれらに触れる機会があると、選択肢が広がるのかなと思っています。せっかく高大連携するのであれば、そのようなカリキュラムを山梨大学さんと県立高校で作っていただければいいのに、と思っています。(これは高校側のカリキュラムの問題でもあります。)ぜひ、ご検討してくださると嬉しいです。

No.	意見
14	山梨大学の公開授業などで生徒が参加させていただいています。研究の仕方、様子などを拝見させていただく機会が数回あれば生徒に大学での研究の様子が伝わるのかとも思います。
15	各学部で入試説明会を実施していただいたり、出張講義を実施いただいたり、大変感謝しております。今後もこのような企画でご協力いただけると助かります。
16	県内の高校との連携に力を入れてもらいたいと思います。
17	山梨の子供、生徒たちへのアプローチと連携
18	今回のアンケートのように、地元生徒や保護者も教員の需要をよく見極めて改組することはニーズに合った改革につながり、生徒にとっても大学にとってもよいことだと思います。
19	山梨大学で多くの卒業生がお世話になっています。4年間(もしくは6年間)学び、それぞれが希望する企業等へ就職していると報告を受けます。推薦で入学した卒業生の学力要素に不安がありましたが、丁寧なご指導のおかげで山梨大学で充実した学生生活を送っていると感じます。今後とも県内進学を考える生徒に勧めていきたいと思っています。
20	時代に合わせて変わろうとする姿勢が素晴らしいと感じています。総合的なクラスも現状の学生たちに合っている形態だと感じます。
21	教育学部の「山梨県小学校教員養成特別教育プログラム」の募集定員を「一般選抜」の方にも設定していただけるとありがたいです。
22	文系は教育学部が主になっているのですが、教員は不足している状況です。優秀な学生さんが、多く採用されますよう、大学のお力に期待しています。

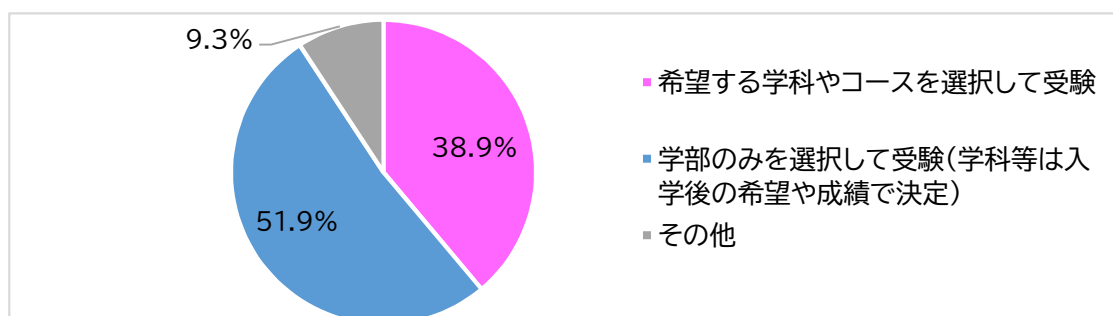
Q12 生徒に勧めたいと考える入試方法は？

No.	項目	件数	選択率
1	共通テストのみ	3	5.6%
2	共通テスト+学力試験	33	61.1%
3	共通テスト+面接	2	3.7%
4	共通テスト+小論文	1	1.9%
5	面接のみ	4	7.4%
6	面接+実技(実験等)	4	7.4%
7	その他	7	13.0%



Q13 生徒に勧めやすい受験方式は？

No.	項目	件数	選択率
1	希望する学科やコースを選択して受験	21	38.9%
2	学部のみを選択して受験(学科等は入学後の希望や成績で決定)	28	51.9%
3	その他	5	9.3%

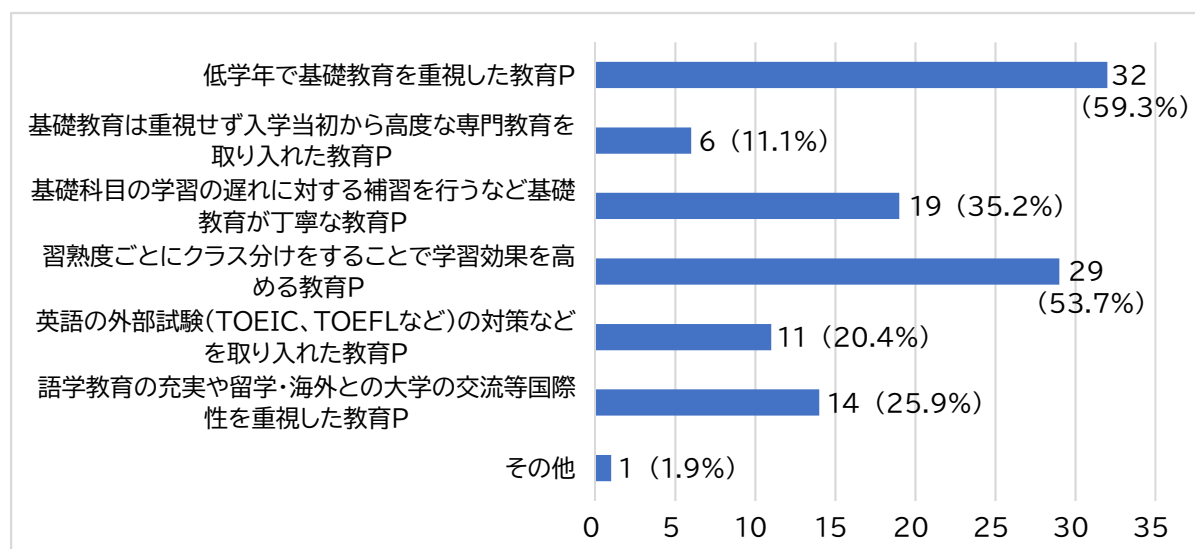


Q14 どのような入学前教育が効果的と考えられるか？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	高校での履修状況をふまえ、大学の授業に支障がない入学前教育です。
2	定期的な大学への通学による入学前学習、および課題。【同意見:計2件】
3	高校までに習得すべき知識、思考力の拡充【同意見:計3件】
4	基礎学力の習得【同意見:計2件】
5	基礎学力向上、PCの使い方
6	大学入学後のブリッジとなるような課題を与えること。
7	高校での学習の復習および、大学初年次での学習に円滑に接続できるような内容(特に、数学・物理・化学。物理などでは、微積分を用いた考察を含む)【同意見:計3件】
8	数学の微分積分を中心とした課題やテストの実施
9	基礎計算などの演習
10	英語は、英検だけで無く外部の検定を積極的に受験させたり、物理や、化学など専門的に学ぶ基礎力を着実に身につけさせたり、大学で学ぶ上で必要な基礎力の定着をはかる入学前教育。また、専門に関わる「新書」などを読んでレポートの作成。
11	高校の教育課程とは異なる専門的な、もしくは身近な科学につながる学習。やることは高校までの基礎固めがメインで良いと思います。
12	共通テストレベルの学力が保証されるような課題。
13	大学共通テストに向けての学習。進学先の学問内容に関連する書籍を読む。進学先の学問内容に関連する教科を重点的に復習させる。
14	進学する学部に関係する社会問題に対し、調べ学習や研究、意見を発表するなどの場を設ける
15	大学に入学してから必要となる科目の基礎確認や視野を広げるための読書、施設見学や大学での実験参加など体験などがよいと思います。
16	入学方法によって一般と総合型・学校推薦型で学力に差があると言われているが、やる気のある生徒が多いので、事前の課題だけでなく大学の講義や心構えなどの指導をしていただけると助かります。
17	動画教材等で基礎知識の習得。入学前より基礎的な実習や実験に参加し、その素養を磨く。課題図書の設定および輪講など。
18	学部学科の入門となる内容の書籍を読んだうえでレポートを作成するなどの教育【同意見:計2件】
19	動画などを視聴し、課題に取り組む。【同意見:計2件】
20	興味のある分野についての予備知識を獲得した上で、何かしらの研究を行うこと。
21	継続的な学習を促す教育
22	高校で学ぶべき内容をきちんとできるようになったか確認するべき。ある大学の課題を見たことがあるが、内容は中学校や高校1年生レベルで愕然とした。少なくとも個別試験で平均点が取れるか、取れなかったら入学後に指導するなど、生徒が勉強できないことを高校のせいにならないで欲しい。できない生徒を合格させた大学の責任で、きちんと教育してもらいたい。
23	大学で求められる学力を示していただけると事前に準備ができると思います。入学までに最低限習得してほしい内容を課題として与えていただくと入学前に必要な学習ができると思います。高校でも一般受験で進学する生徒と同様に指導していますが、大学からの指示があるとより効果的だと思います。
24	それはむしろ学生を受け入れる各学部学科でお考えいただくことかと思います。入学予定者に最低限何を求めるかで、変わってくるかと思います。

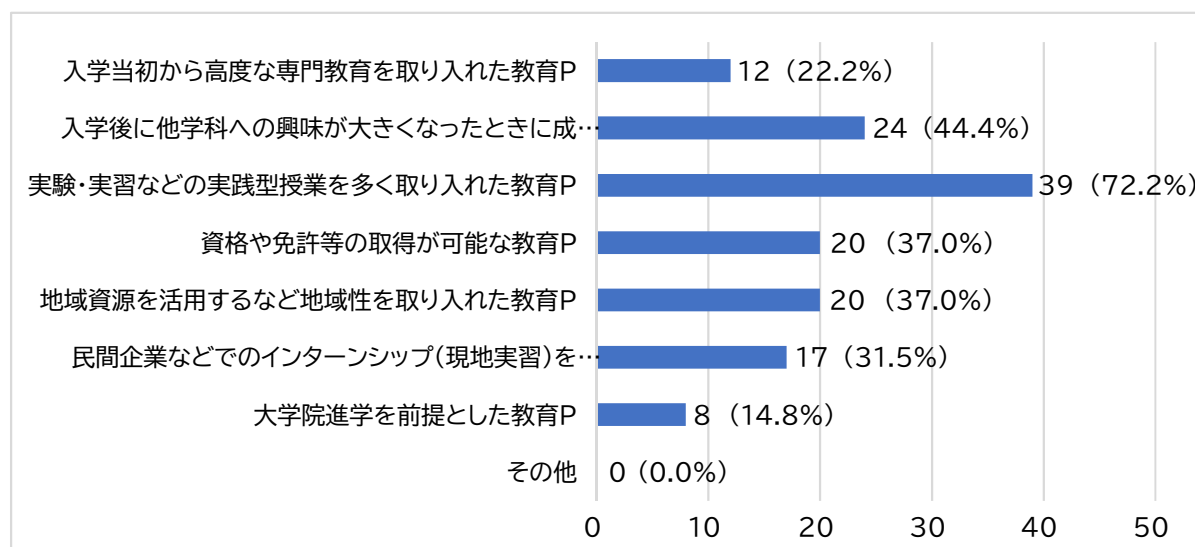
Q15 生徒に進学先を推薦する際、基礎教育に対して重視することは？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	低学年で基礎教育を重視した教育P	32	59.3%
2	基礎教育は重視せず入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育P	6	11.1%
3	基礎科目の学習の遅れに対する補習を行うなど基礎教育が丁寧な教育P	19	35.2%
4	習熟度ごとにクラス分けをすることで学習効果を高める教育P	29	53.7%
5	英語の外部試験(TOEIC、TOEFLなど)の対策などを取り入れた教育P	11	20.4%
6	語学教育の充実や留学・海外との大学の交流等国际性を重視した教育P	14	25.9%
7	その他	1	1.9%



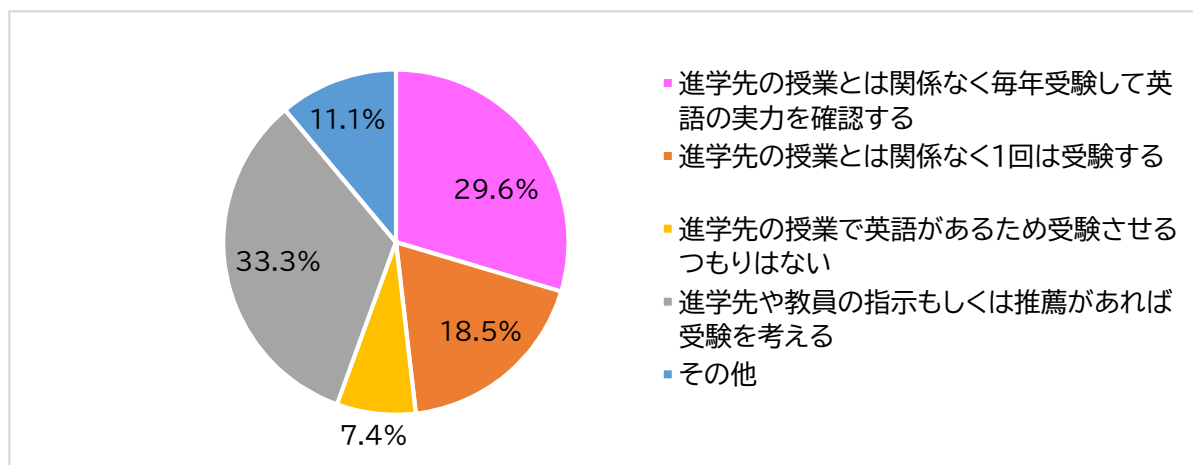
Q16 生徒に進学先を推薦する際、専門教育に対して重視することは？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育P	12	22.2%
2	入学後に他学科への興味が大きくなったときに成績次第で転学科ができるよう考慮した教育P	24	44.4%
3	実験・実習などの実践型授業を多く取り入れた教育P	39	72.2%
4	資格や免許等の取得が可能な教育P	20	37.0%
5	地域資源を活用するなど地域性を取り入れた教育P	20	37.0%
6	民間企業などでのインターンシップ(現地実習)を取り入れた教育P	17	31.5%
7	大学院進学を前提とした教育P	8	14.8%
8	その他	0	0.0%



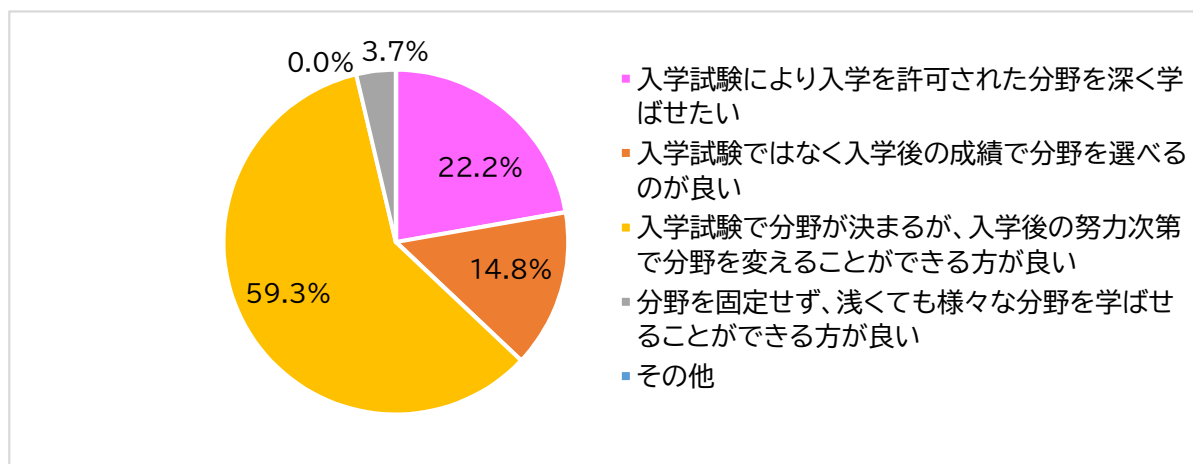
Q17 進学後、英語外部検定試験にどのように取り組むべきと考えるか？

No.	項目	件数	選択率
1	進学先の授業とは関係なく毎年受験して英語の実力を確認する	16	36.4%
2	進学先の授業とは関係なく1回は受験する	10	22.7%
3	進学先の授業で英語があるため受験させるつもりはない	4	9.1%
4	進学先や教員の指示もしくは推薦があれば受験を考える	18	40.9%
5	その他	6	13.6%



Q18 入学後の所属コース(学修分野)についてどう思うか？

No.	項目	件数	選択率
1	入学試験により入学を許可された分野を深く学ばせたい	12	22.2%
2	入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べるのが良い	8	14.8%
3	入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる方が良い	32	59.3%
4	分野を固定せず、浅くても様々な分野を学ばせることができる方が良い	2	3.7%
5	その他	0	0.0%



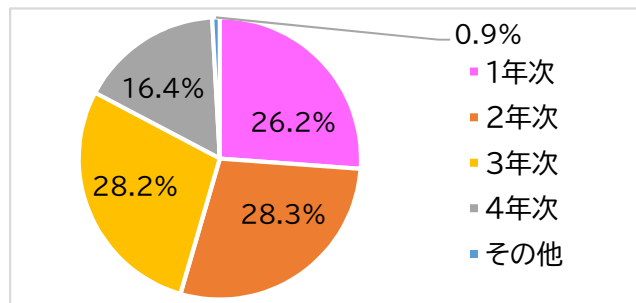
○ 在学生アンケート集計

回答総数	932
------	-----

Q0 回答者属性

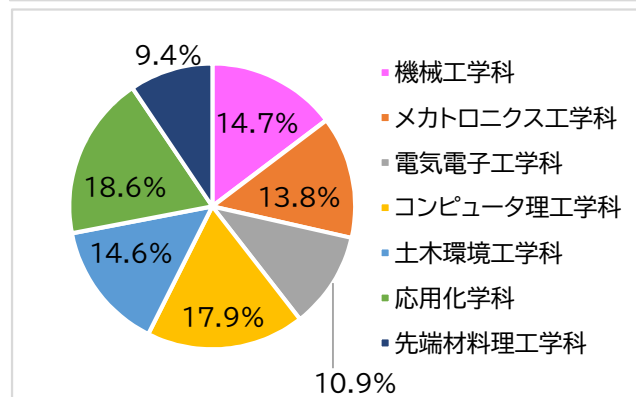
Q0-1 年次

No.	項目	件数	選択率
1	1年次	244	26.2%
2	2年次	264	28.3%
3	3年次	263	28.2%
4	4年次	153	16.4%
5	その他	8	0.9%



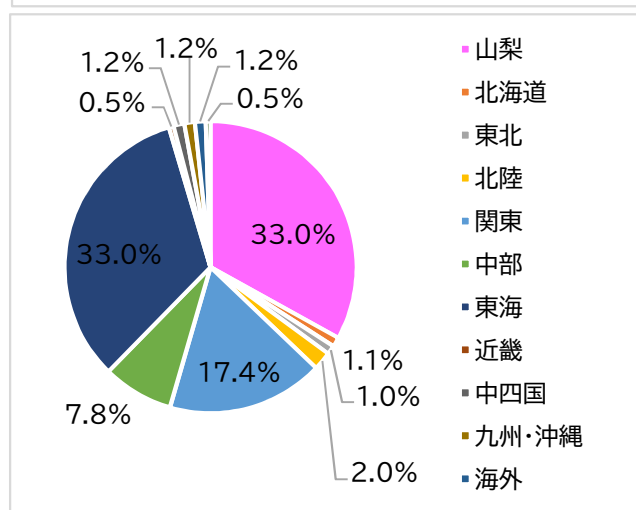
Q0-2 在籍学科

No.	項目	件数	選択率
1	機械工学科	137	14.7%
2	メカトロニクス工学科	129	13.8%
3	電気電子工学科	102	10.9%
4	コンピュータ理工学科	167	17.9%
5	土木環境工学科	136	14.6%
6	応用化学科	173	18.6%
7	先端材料理工学科	88	9.4%



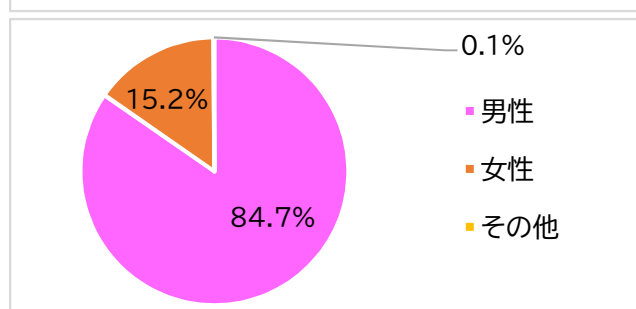
Q0-3 在籍高校の所在地

No.	項目	件数	選択率
1	山梨	308	33.0%
2	北海道	10	1.1%
3	東北	9	1.0%
4	北陸	19	2.0%
5	関東	162	17.4%
6	中部	73	7.8%
7	東海	308	33.0%
8	近畿	5	0.5%
9	中四国	11	1.2%
10	九州・沖縄	11	1.2%
11	海外	11	1.2%
12	その他(不明を含む)	5	0.5%



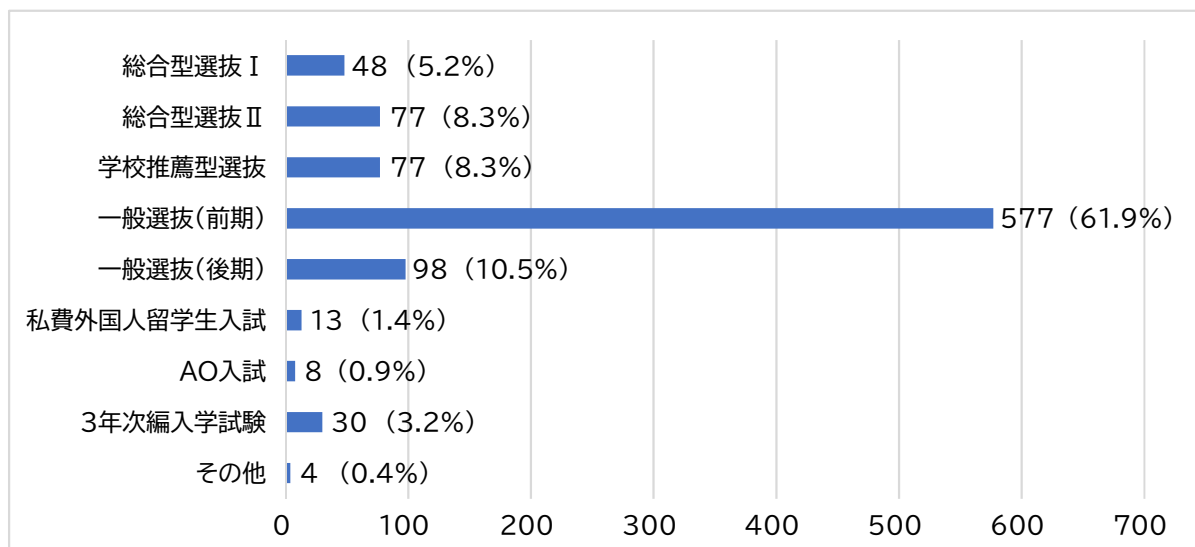
Q0-4 性別

No.	項目	件数	選択率
1	男性	789	84.7%
2	女性	142	15.2%
3	その他	1	0.1%



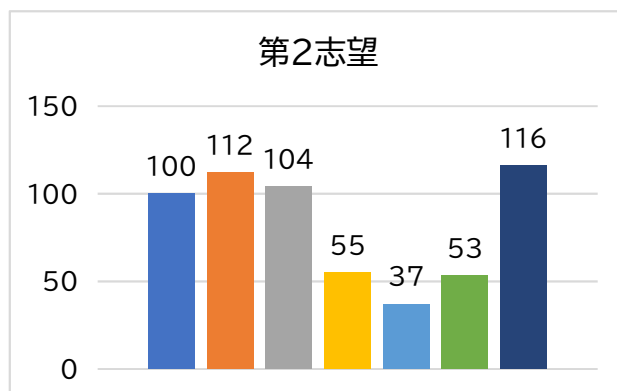
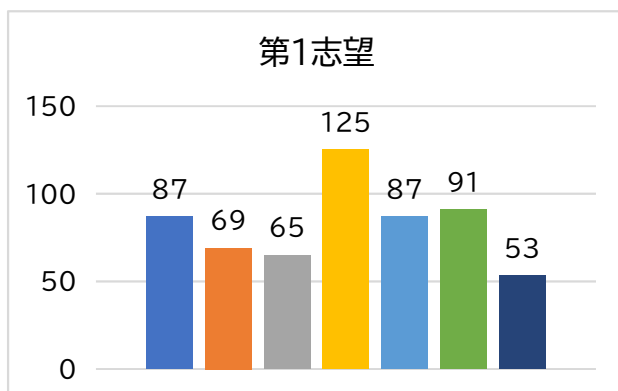
Q1 入学した際の入試方法は？

No.	項目	件数	選択率
1	総合型選抜Ⅰ	48	5.2%
2	総合型選抜Ⅱ	77	8.3%
3	学校推薦型選抜	77	8.3%
4	一般選抜(前期)	577	61.9%
5	一般選抜(後期)	98	10.5%
6	私費外国人留学生入試	13	1.4%
7	AO入試	8	0.9%
8	3年次編入学試験	30	3.2%
9	その他	4	0.4%



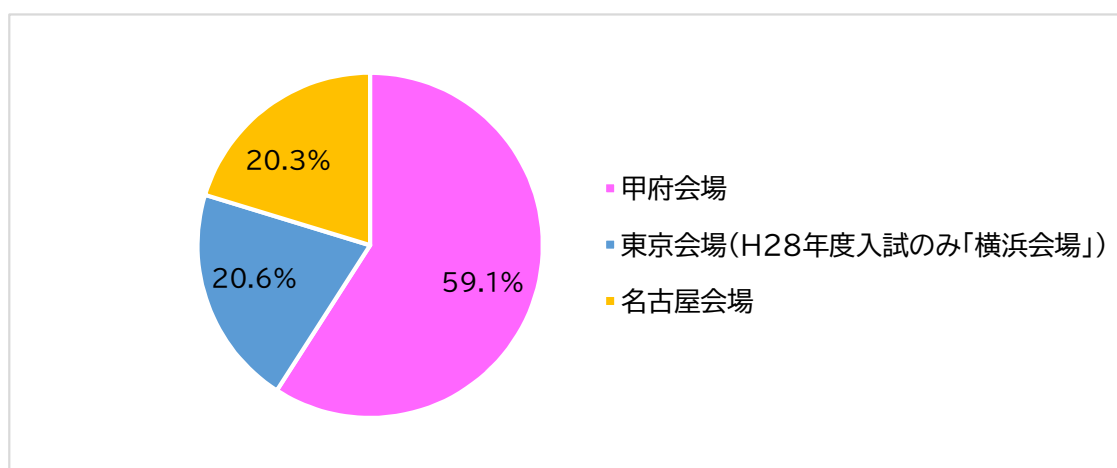
Q1-1 (Q1で「一般選抜(前期)」の場合のみ)学科の志望順は？

No.	項目	第1志望	第2志望
1	機械工学科	87	100
2	メカトロニクス工学科	69	112
3	電気電子工学科	65	104
4	コンピュータ理工学科	125	55
5	土木環境工学科	87	37
6	応用化学科	91	53
7	先端材料理工学科	53	116



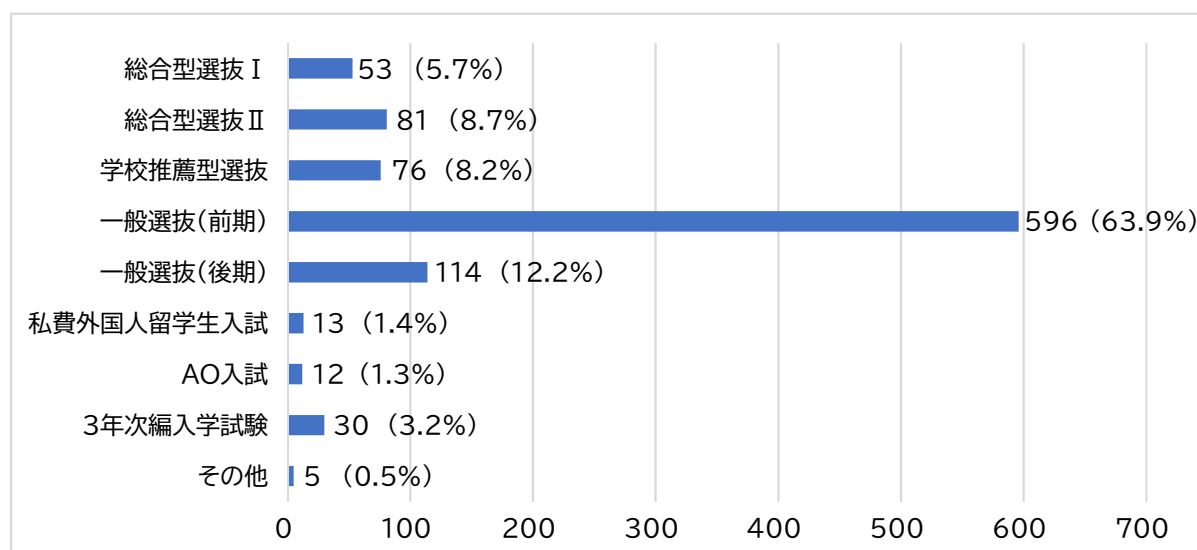
Q1-2 (Q1で「一般選抜(前期)」の場合のみ)受験会場は？

No.	項目	件数	選択率
1	甲府会場	341	59.1%
2	東京会場(H28年度入試のみ「横浜会場」)	119	20.6%
3	名古屋会場	117	20.3%



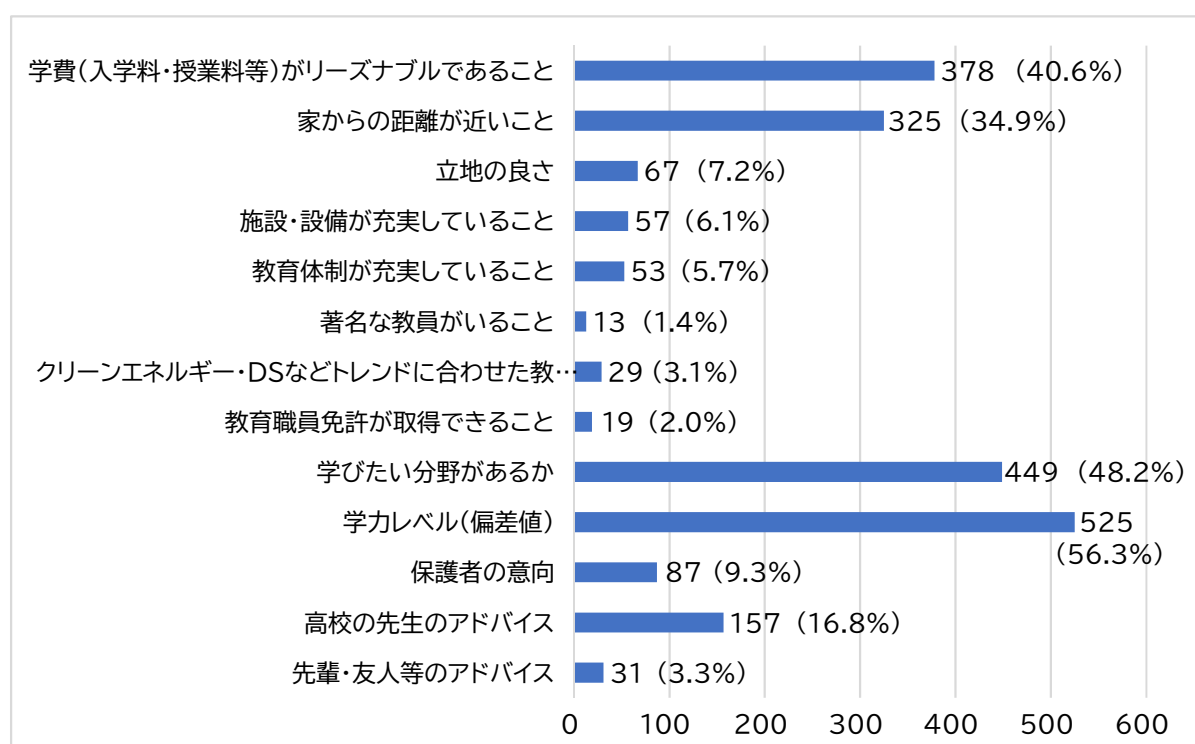
Q2 本学を受験した際の(不合格を含む全ての)入試方法は？(複数回答可)

No.	項目	件数	選択率
1	総合型選抜Ⅰ	53	5.7%
2	総合型選抜Ⅱ	81	8.7%
3	学校推薦型選抜	76	8.2%
4	一般選抜(前期)	596	63.9%
5	一般選抜(後期)	114	12.2%
6	私費外国人留学生入試	13	1.4%
7	AO入試	12	1.3%
8	3年次編入学試験	30	3.2%
9	その他	5	0.5%



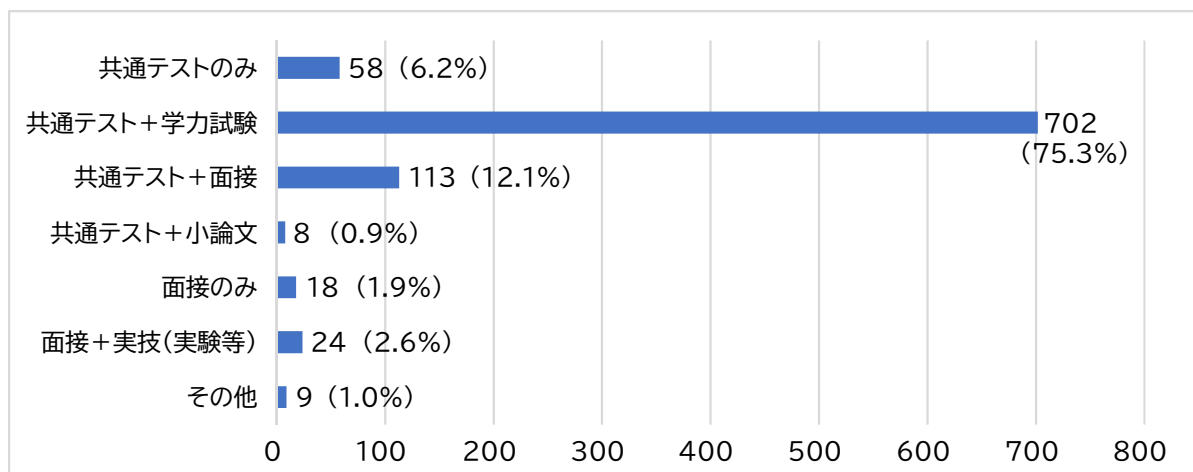
Q3 本学を選んだ理由は？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	学費(入学料・授業料等)がリーズナブルであること	378	40.6%
2	家からの距離が近いこと	325	34.9%
3	立地の良さ	67	7.2%
4	施設・設備が充実していること	57	6.1%
5	教育体制が充実していること	53	5.7%
6	著名な教員がいること	13	1.4%
7	クリーンエネルギー・DSなどトレンドに合わせた教育研究を行っていること	29	3.1%
8	教育職員免許が取得できること	19	2.0%
9	学びたい分野があるか	449	48.2%
10	学力レベル(偏差値)	525	56.3%
11	保護者の意向	87	9.3%
12	高校の先生のアドバイス	157	16.8%
13	先輩・友人等のアドバイス	31	3.3%



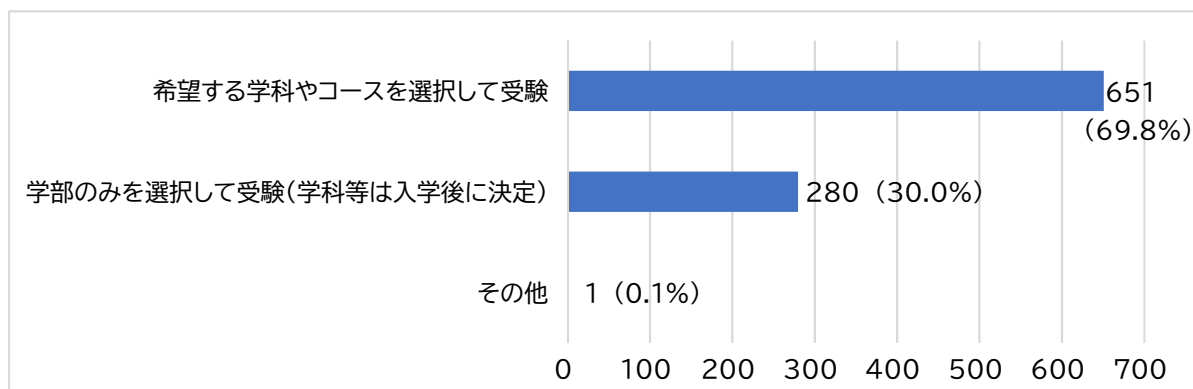
Q4 好ましいと考える入試方法は？

No.	項目	件数	選択率
1	共通テストのみ	58	6.2%
2	共通テスト+学力試験	702	75.3%
3	共通テスト+面接	113	12.1%
4	共通テスト+小論文	8	0.9%
5	面接のみ	18	1.9%
6	面接+実技(実験等)	24	2.6%
7	その他	9	1.0%



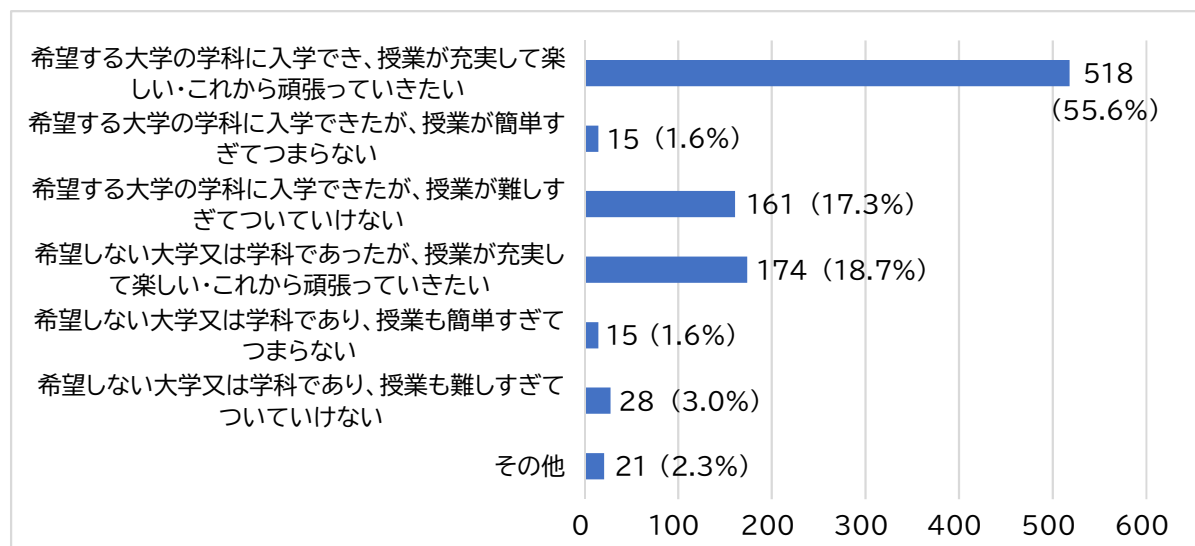
Q5 好ましいと考える受験方式は？

No.	項目	件数	選択率
1	希望する学科やコースを選択して受験	651	69.8%
2	学部のみを選択して受験(学科等は入学後に決定)	280	30.0%
3	その他	1	0.1%



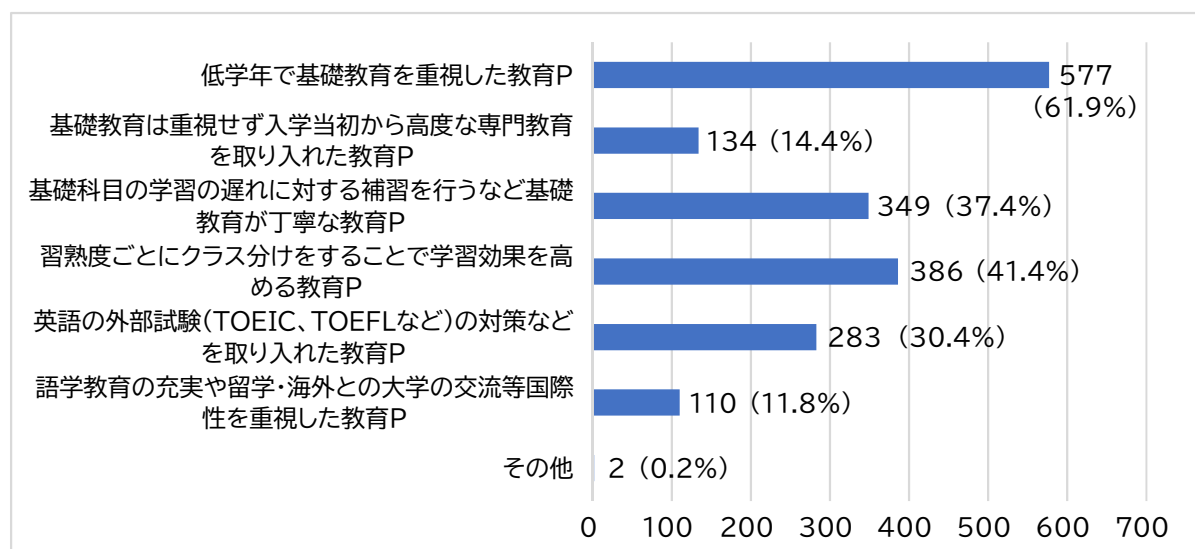
Q6 山梨大学工学部に入学してどのように感じているか？

No.	項目	件数	選択率
1	希望する大学の学科に入学でき、授業が充実して楽しい・これから頑張っていきたい	518	55.6%
2	希望する大学の学科に入学できたが、授業が簡単すぎてつまらない	15	1.6%
3	希望する大学の学科に入学できたが、授業が難しすぎてついていけない	161	17.3%
4	希望しない大学又は学科であったが、授業が充実して楽しい・これから頑張っていきたい	174	18.7%
5	希望しない大学又は学科であり、授業も簡単すぎてつまらない	15	1.6%
6	希望しない大学又は学科であり、授業も難しすぎてついていけない	28	3.0%
7	その他	21	2.3%



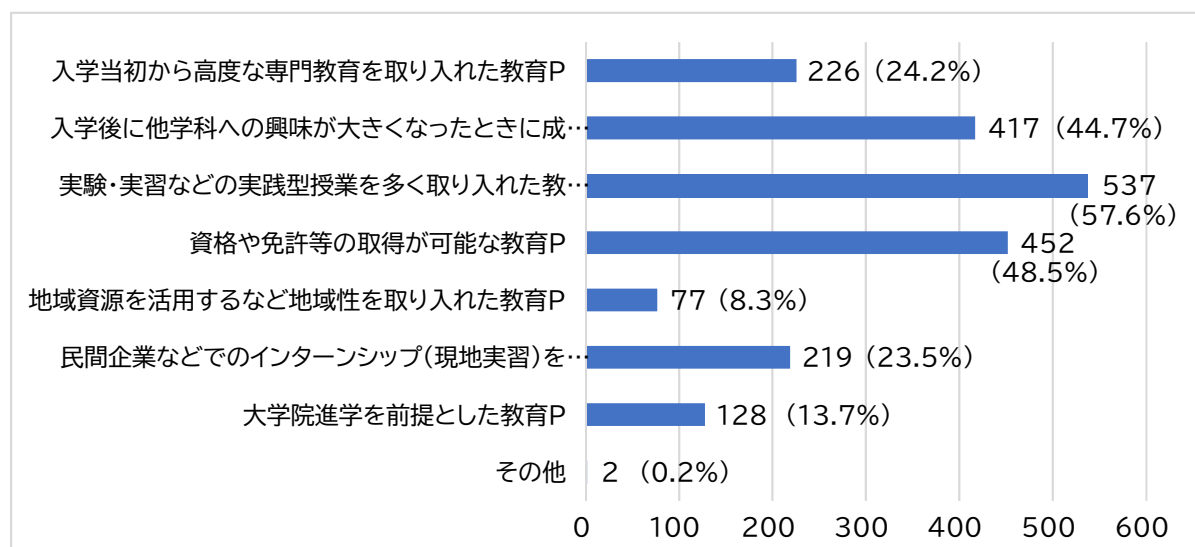
Q7 (高校生であると仮定して)進学先でどのような基礎教育を受けたいか？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	低学年で基礎教育を重視した教育P	577	61.9%
2	基礎教育は重視せず入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育P	134	14.4%
3	基礎科目の学習の遅れに対する補習を行うなど基礎教育が丁寧な教育P	349	37.4%
4	習熟度ごとにクラス分けをすることで学習効果を高める教育P	386	41.4%
5	英語の外部試験(TOEIC、TOEFLなど)の対策などを取り入れた教育P	283	30.4%
6	語学教育の充実や留学・海外との大学の交流等国际性を重視した教育P	110	11.8%
7	その他	2	0.2%



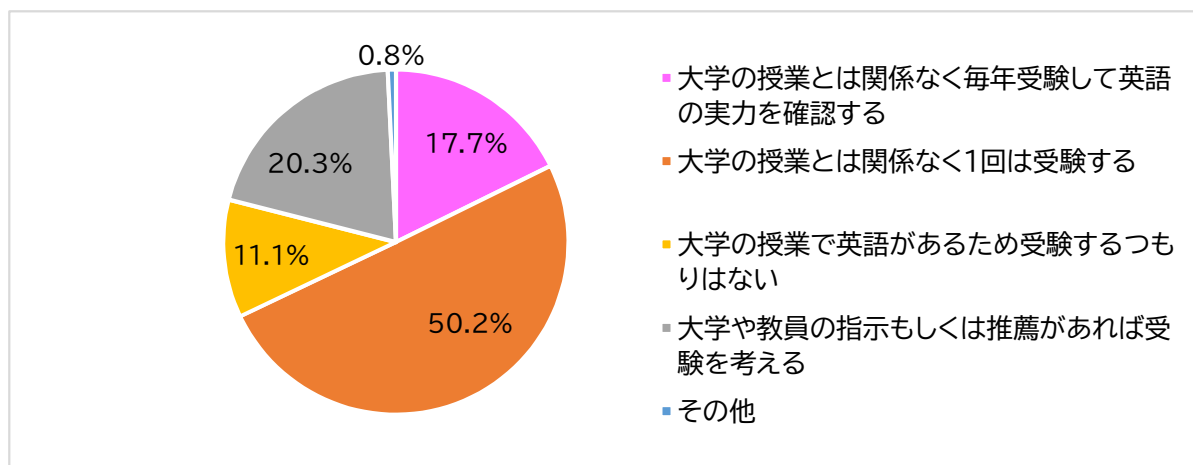
Q8 (高校生であると仮定して)進学先でどのような専門教育を受けたいか？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	入学当初から高度な専門教育を取り入れた教育P	226	24.2%
2	入学後に他学科への興味が大きくなったときに成績次第で転学科ができるよう考慮した教育P	417	44.7%
3	実験・実習などの実践型授業を多く取り入れた教育P	537	57.6%
4	資格や免許等の取得が可能な教育P	452	48.5%
5	地域資源を活用するなど地域性を取り入れた教育P	77	8.3%
6	民間企業などでのインターンシップ(現地実習)を取り入れた教育P	219	23.5%
7	大学院進学を前提とした教育P	128	13.7%
8	その他	2	0.2%



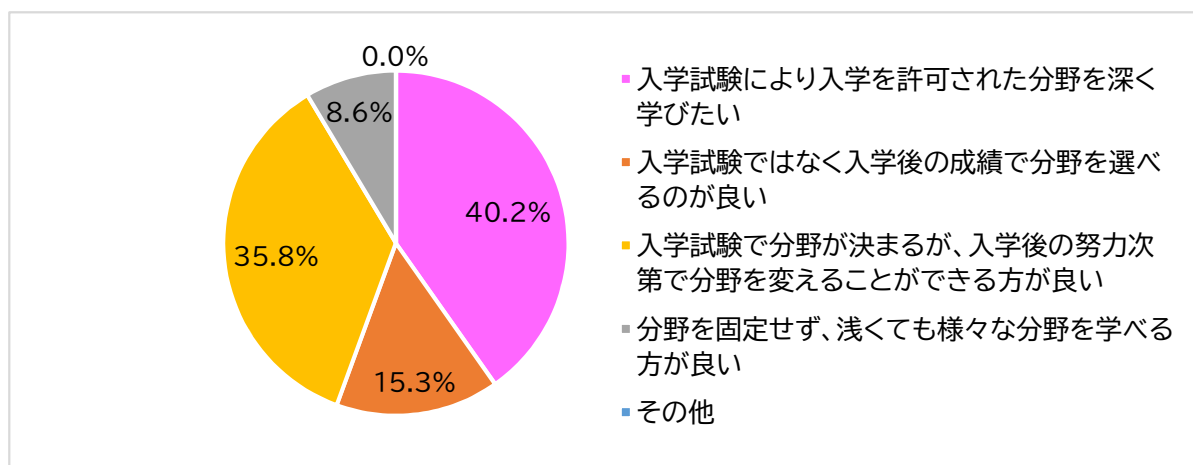
Q9（高校生であると仮定して）大学で英語外部検定試験にどのように取り組む予定か？

No.	項目	件数	選択率
1	大学の授業とは関係なく毎年受験して英語の実力を確認する	165	17.7%
2	大学の授業とは関係なく1回は受験する	468	50.2%
3	大学の授業で英語があるため受験するつもりはない	103	11.1%
4	大学や教員の指示もしくは推薦があれば受験を考える	189	20.3%
5	その他	7	0.8%



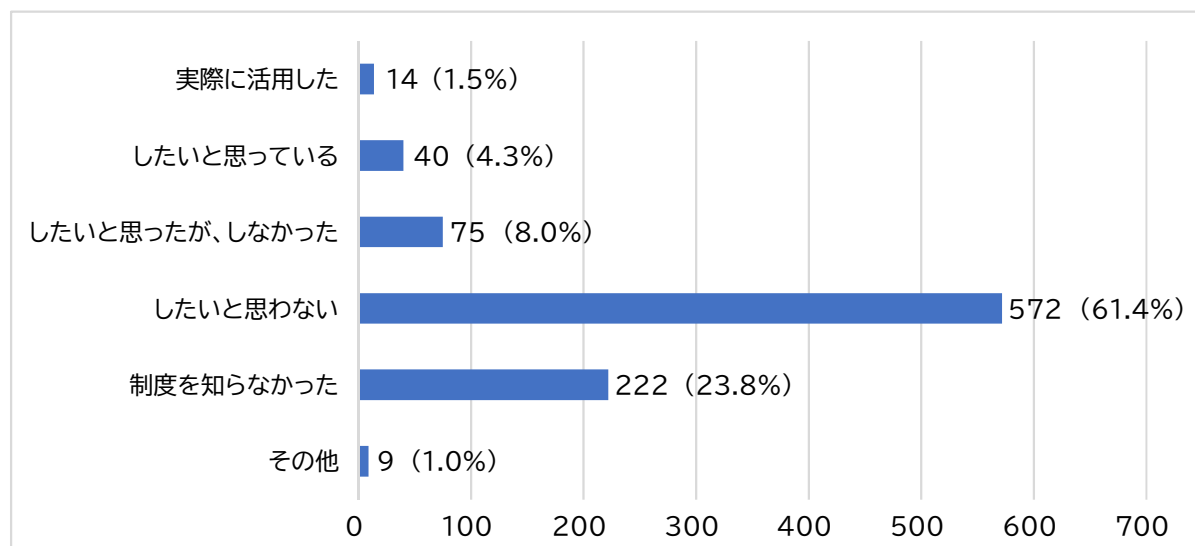
Q10（高校生であると仮定して）入学後の所属学科(学修分野)についてどう思うか？

No.	項目	件数	選択率
1	入学試験により入学を許可された分野を深く学びたい	375	40.2%
2	入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べるのが良い	143	15.3%
3	入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる方が良い	334	35.8%
4	分野を固定せず、浅くても様々な分野を学べる方が良い	80	8.6%
5	その他	0	0.0%



Q11 セカンドチャレンジ(転学科)制度を活用したいか？

No.	項目	件数	選択率
1	実際に活用した	14	1.5%
2	したいと思っている	40	4.3%
3	したいと思ったが、しなかった	75	8.0%
4	したいと思わない	572	61.4%
5	制度を知らなかった	222	23.8%
6	その他	9	1.0%

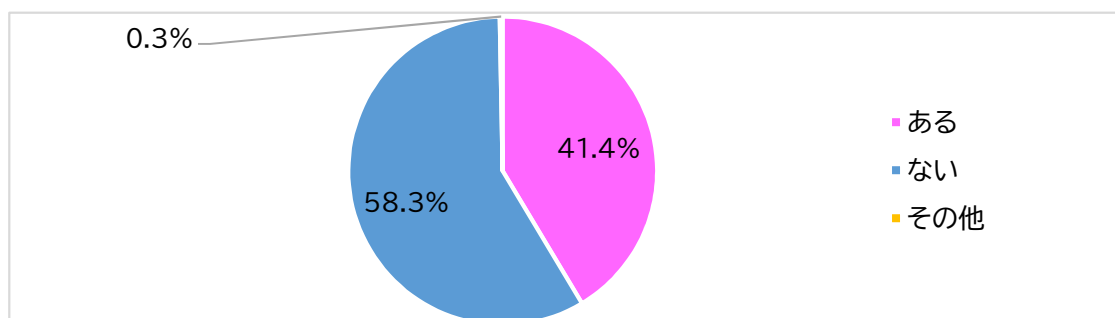


Q11-1 (Q11で「したいと思ったが、しなかった」の場合のみ)しなかった理由は？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	今の学科に満足しているから【同意見:計8件】
2	授業が難しくても化学が好きで応用化学科に入ったのでもう少し頑張りたいと思ったから
3	今の学科で学んでいる内容を諦めるには早いと感じたため
4	現在所属している学部でも学びたいことは勉強でき、かつ転学科による留年の可能性があると考えたから。
5	転学科すると留年の可能性がでるから。満足のいく就職のため現在の学科を選んだが、この選択があっているのかわからない。転学科したとしても同様の疑問を抱くから。
6	留年する可能性が高まるため【同意見:計5件】
7	成績不振のため【同意見:計7件】
8	手続き等が大変そうだったから【同意見:計16件】
9	したいと思った時にはもう遅かった【同意見:計8件】
10	転学科したかった分野の学科が無かったから。
11	学んでいくうちに苦手な分野だと感じたから。
12	学びたい学科で教員免許が取れないから

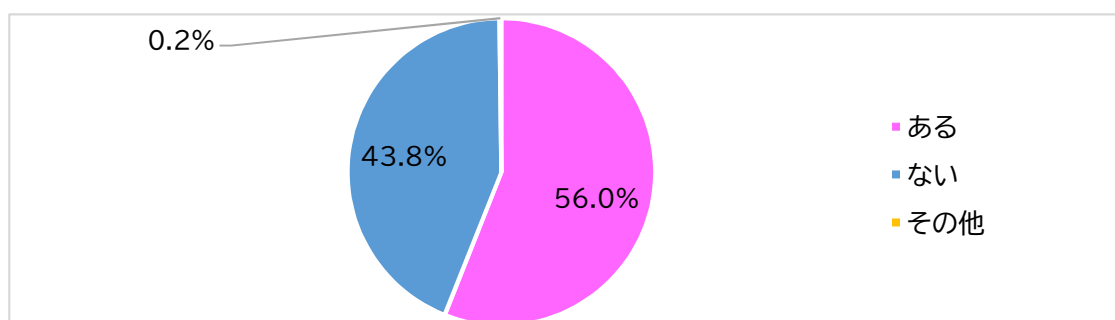
Q12 (高校生であると仮定して)クリーンエネルギー化学コースへの進学に興味があるか？

No.	項目	件数	選択率
1	ある	386	41.4%
2	ない	543	58.3%
3	その他	3	0.3%



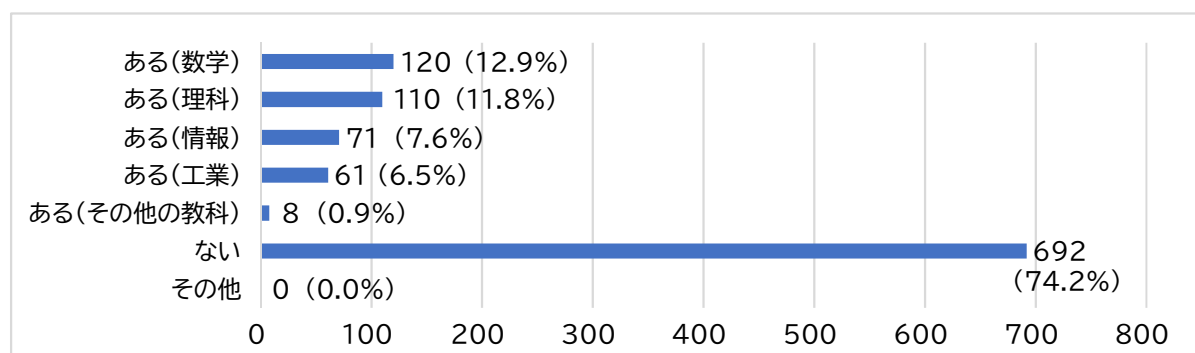
Q13 (高校生であると仮定して)総合工学クラス(枠)への進学に興味があるか？

No.	項目	件数	選択率
1	ある	522	56.0%
2	ない	408	43.8%
3	その他	2	0.2%



Q14 大学(山梨大学以外を含む)で高校の教員免許を取得することに興味があるか？(複数選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	ある(数学)	120	12.9%
2	ある(理科)	110	11.8%
3	ある(情報)	71	7.6%
4	ある(工業)	61	6.5%
5	ある(その他の教科)	8	0.9%
6	ない	692	74.2%
7	その他	0	0.0%



Q15 山梨大学工学部に期待することは？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	基礎をしっかり時間をかけてやること【同意見:計10件】
2	1年次から専門的な分野について学びたい
3	1年生から実験などもっとしてみたい【同意見:計3件】
4	実習・実験の充実などによって、その分野について深く知ることや考察できる機会をたくさん設けてほしい。【同意見:計12件】
5	学生が退屈しないような純粋な化学を学ぶ面白い講義を増やしてほしい。基礎や応用の仕方を学んでも実際にどのように作れるのかなど、将来に関して深く考えるべき1・2年時に学べていない気がする。インターンを個人で探したり就活をする頃に、まだ職業分野の化学の本質を掴めないのではないかと思う。面接時に深く話せるようなものがない気がする。
6	より専門的なことをしっかりと学ぶことができること。【同意見:計6件】
7	3年次に卒業研究に触れられるような授業があると良いと思う【同意見:計3件】
8	課題解決型の授業を増やして学生同士のコミュニケーションを活発にする。【同意見:計4件】
9	他学部等の科目履修など、幅広い分野の教育の実施【同意見:計6件】
10	授業内容や授業の仕方を改善・充実させて欲しい【同意見:計18件】
11	オンライン授業の充実【同意見:計3件】
12	就職に役立つ科目の充実【同意見:計5件】
13	資格取得に役立つ科目の充実【同意見:計6件】
14	就職・進学支援の充実【同意見:計10件】
15	研究費等の補助【同意見:計4件】
16	転学部や転学科をもっと容易にして欲しい。【同意見:計2件】
17	研究室配属後に、研究室の変更ができるようにして欲しい。
18	施設・設備等の充実【同意見:計32件】
19	学生用駐車場の整備【同意見:計2件】
20	CNSのサービス向上【同意見:計3件】
21	休み時間(授業と授業の間)を増やして欲しい【同意見:計2件】
22	課題やレポート、成績等の学生への早期フィードバック【同意見:計3件】
23	もっと教授に質問しやすいような環境があると嬉しい。【同意見:計2件】
24	女子学生の増加【同意見:計4件】
25	充実した大学生生活【同意見:計3件】
26	手書きレポートの廃止。コピー＆ペーストするようなレベルの学生への対策を取りたいのは分かるが、真面目に勉強したい学生の時間を奪う下らない対策だと思う。【同意見:計2件】
27	英語圏の留学生を増やしてほしい
28	学部・学科の枠を超えた学生交流【同意見:計2件】
29	OB・OGとの接点を持つ機会を増やして欲しい
30	化学を通じて薬学の分野に入れるような講義や研究室を作ってもらいたい【同意見:計2件】
31	工学部ではありますが理学部よりの研究室をもっと増やして欲しいなと思います。
32	学校全体の偏差値が低くても、勉強ができる人が集まる工学部にして欲しい【同意見:計2件】
33	受けたい授業があってもGPAの低下を意識しなければならず、特にGPAが高い学生においては学びに対して消極的になってしまう傾向があると思う。前年度の成績などを鑑みてこの傾向を改善するような仕組みが欲しい。
34	専門科目を一定数取らないと卒業できない体制を変えてほしい。特に興味のない授業も受けて単位を取るために勉強しないといけないうえ、それよりも自分が将来やりたいことを低学年時になんとか定めさせて、その将来に必要な分野の授業だけを勉強しても卒業できるようなものにしてほしい。
35	入学後に自分の行きたいコースを選べることは、多くの学生にとって嬉しいことだと思う。ぜひ成功させてほしい。
36	大学としての学力レベルを下げないために入試の難易度を下げないでほしい
37	偏差値向上

No.	意見(同意見は集約)
38	ieeeの論文が山梨大学のライセンスで無料で読めるようにして欲しい
39	他大学にないカリキュラム、学科コースで人気を上げること【同意見:計2件】
40	情報発信力や知名度の向上【同意見:計3件】
41	クリーンエネルギーの開発
42	将来性のある物の発明
43	自然豊かな県であり大都市の隣の県であることを有効活用できるように工学的な視点でサポートできるようになっていければいいと思う
44	もっと学生フォーミュラに興味を持って欲しい
45	山梨の活性化。山梨で働く人増加
46	授業のオンライン化に伴う学費の減額
47	他大学への入試について情報が欲しい
48	山梨大学だから出来ることを行う
49	結構今回面白い試みだと思うので実現を期待しています。
50	地域に開いた学部になったいただきたい

Q16 山梨大学工学部の最も良いと思うことは？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	キャリアハウスで1年次から研究に取り組めること【同意見:計5件】
2	低学年から実習や実験の授業が毎週あること。【同意見:計2件】
3	実験や実習を取り入れた、実践的なプログラムになっているところ。【同意見:計10件】
4	基礎から丁寧に学べること【同意見:計13件】
5	いろいろな分野があり、興味のある多くのことが学べる。【同意見:計33件】
6	授業が充実している【同意見:計27件】
7	施設・設備等が充実している【同意見:計24件】
8	パソコンやKKIが24時間使用できること【同意見:計7件】
9	フィロスがあること【同意見:計5件】
10	クリスタル科学研究センターやクリーンエネルギー研究センターなどの研究施設が充実していること。【同意見:計3件】
11	オンライン学習に対応している。自主学習しやすいこと。【同意見:計8件】
12	学部長が耳を傾ける仕組みがあること
13	教員の指導等が丁寧・熱心【同意見:計71件】
14	セカンドチャレンジ(転学科)制度があること【同意見:計3件】
15	国公立理系でありながら難易度が高すぎないところ【同意見:計4件】
16	編入の枠が多く、編入生に優しい【同意見:計3件】
17	学費が安い【同意見:計7件】
18	立地が良い【同意見:計7件】
19	キャンパスの雰囲気良く、学びやすい環境が整っている【同意見:計23件】
20	学科内の環境が良い【同意見:計5件】
21	少人数教育を実施していること【同意見:計2件】
22	就職が良い【同意見:計3件】
23	地域との連携【同意見:計3件】
24	英語を喋る機会が一日で四回持てること
25	外部の資格取得の案内があること
26	その気になって探せばどんな機会(または機械)でも大抵は存在していること
27	歴史がある
28	土木環境工学科がある【同意見:計2件】
29	JABEEの認定を受けていること
30	真面目な学生が多い【同意見:計2件】

Q17 山梨大学工学部の最も良くないと思うことは？(自由記述)

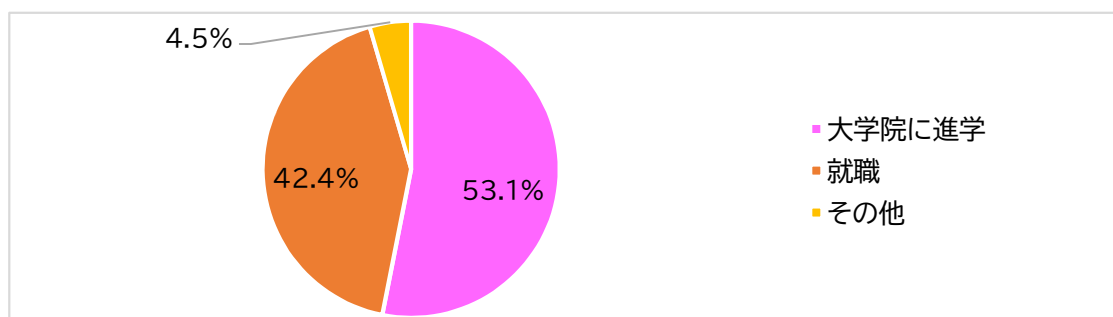
No.	意見(同意見は集約)
1	基礎教育が十分でなく、もう少し丁寧にやってほしい【同意見:計2件】
2	1年前期はほとんど専門知識が学べないところ
3	1年前期に授業を詰め込みすぎなので、もう少し分散してほしい。
4	授業がわかりにくい・質が良くない【同意見:計20件】
5	授業が難しすぎる【同意見:計9件】
6	授業が簡単すぎる【同意見:計6件】
7	基礎教育の段階で、それがどのように専門科目に役立つのかなどの関連性があまり示されていないこと。【同意見:計2件】
8	醍醐味の授業でつらつらと教科書に書いてあることばかりを喋るところ。電子の軌道や反応等を可視化したり、本当に大切に考えるべき・疑問に思うことを質問しないと答えてくれないところ。授業に取り入れれないのだろうか。
9	実験の数が少ない
10	グループで課題を行うことが少ない
11	学生間の交流が少ない【同意見:計3件】
12	学科間の交流が少なく、視野を広げる機会が少ない(学ぶ分野が狭い)【同意見:計5件】
13	履修科目が固定化されており、選択肢がほとんどない【同意見:計3件】
14	課題やレポートが多い【同意見:計2件】
15	手書き指定のレポートが多い【同意見:計2件】
16	同じ科目にもかかわらず、教員(クラス)によって成績評価の差が大きい【同意見:計6件】
17	教員によって指導や授業の質の差が大きい【同意見:計11件】
18	教員の指導が良くない【同意見:計2件】
19	研究室を見学する機会が少ない
20	インターンシップなどがあまり行われていない
21	取得可能な教員免許が少ない
22	教員免許取得に関する支援がない
23	各種連絡や成績開示が遅い【同意見:計18件】
24	大学の掲示板が使いにくい
25	CNSのサーバーがよく落ちてしまうこと。【同意見:計7件】
26	Wi-Fiの電波が弱い【同意見:計5件】
27	施設・設備等が古い・汚い【同意見:計57件】
28	KKI等に設置されているパソコンのバージョンなどが低く、管理されていないように思える
29	立地が良くない【同意見:計21件】
30	キャンパスの環境が良くない【同意見:計13件】
31	オンライン授業が多すぎる【同意見:計4件】
32	オンラインでできることを対面でやること【同意見:計5件】
33	オンラインと対面の授業が併存していること【同意見:計2件】
34	履修登録の仕組みが分かりにくく、面倒くさい【同意見:計2件】
35	休み時間が短く、移動が間に合わない【同意見:計7件】
36	女子学生が少ない【同意見:計2件】
37	学生の学力差が大きい【同意見:計4件】
38	入学前に、その学科が具体的に何を研究しているのかわかりにくかった
39	授業評価アンケートが最後の授業にあること。アンケートによる変化を受けるのは次の年の学生になるため、受講生がアンケートによる効果を得られない。
40	大学院進学で入学金がかかること。
41	大学院進学が当然のようになっていて、就職活動や公務員試験をし難い雰囲気があること。

Q18 工学部以外で山梨大学にあったらよいと思う学部等は？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	データサイエンス学部【同意見:計3件】
2	情報学部【同意見:計4件】
3	理工学部
4	物理学【同意見:計2件】
5	エネルギー工学
6	医療工学
7	宇宙工学【同意見:計3件】
8	航空宇宙工学【同意見:計5件】
9	数学科【同意見:計6件】
10	建築学科【同意見:計18件】
11	地理系
12	宝石系学科
13	海洋生物学科
14	現場特化型のエンジニア育成
15	理学部【同意見:計26件】
16	農学部【同意見:計4件】
17	薬学部【同意見:計14件】
18	歯学部【同意見:計2件】
19	検査技術学科
20	スポーツ科学部
21	インダストリアルデザイン【同意見:計2件】
22	経済学部【同意見:計26件】
23	商学部【同意見:計3件】
24	法学部【同意見:計25件】
25	文学部【同意見:計6件】
26	人文学部【同意見:計5件】
27	語学部【同意見:計2件】
28	社会学部【同意見:計4件】
29	芸術学部
30	心理学部
31	仏教学部
32	文系学部【同意見:計9件】

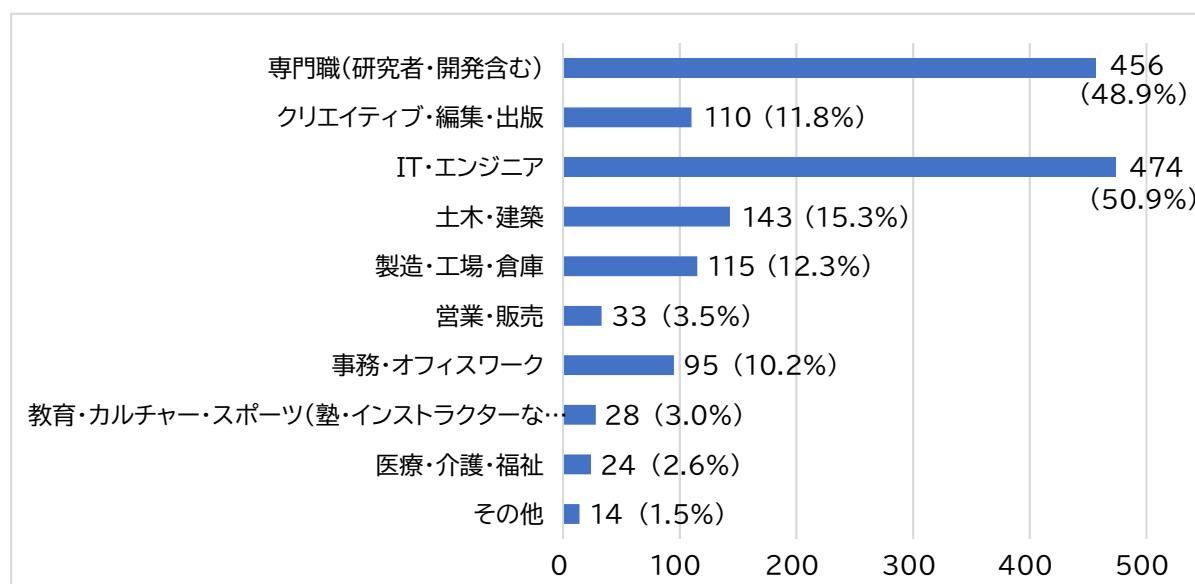
Q19 大学卒業後の進路希望は？

No.	項目	件数	選択率
1	大学院に進学	495	53.1%
2	就職	395	42.4%
3	その他	42	4.5%



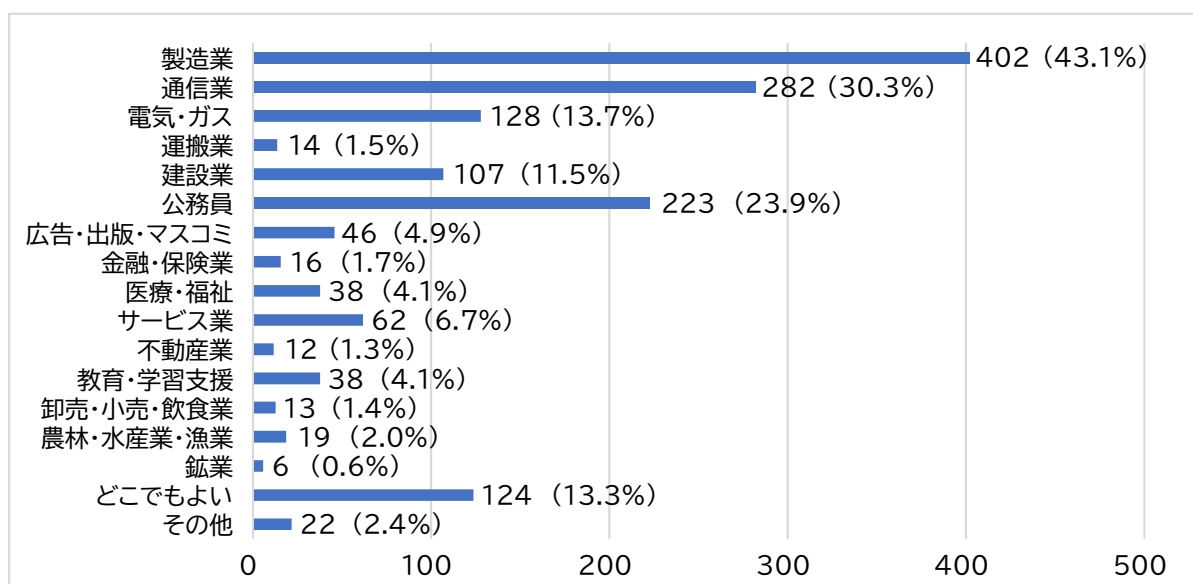
Q20 就職を希望する職種は？(2つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	専門職(研究者・開発含む)	456	48.9%
2	クリエイティブ・編集・出版	110	11.8%
3	IT・エンジニア	474	50.9%
4	土木・建築	143	15.3%
5	製造・工場・倉庫	115	12.3%
6	営業・販売	33	3.5%
7	事務・オフィスワーク	95	10.2%
8	教育・カルチャー・スポーツ(塾・インストラクターなど)	28	3.0%
9	医療・介護・福祉	24	2.6%
10	その他	14	1.5%



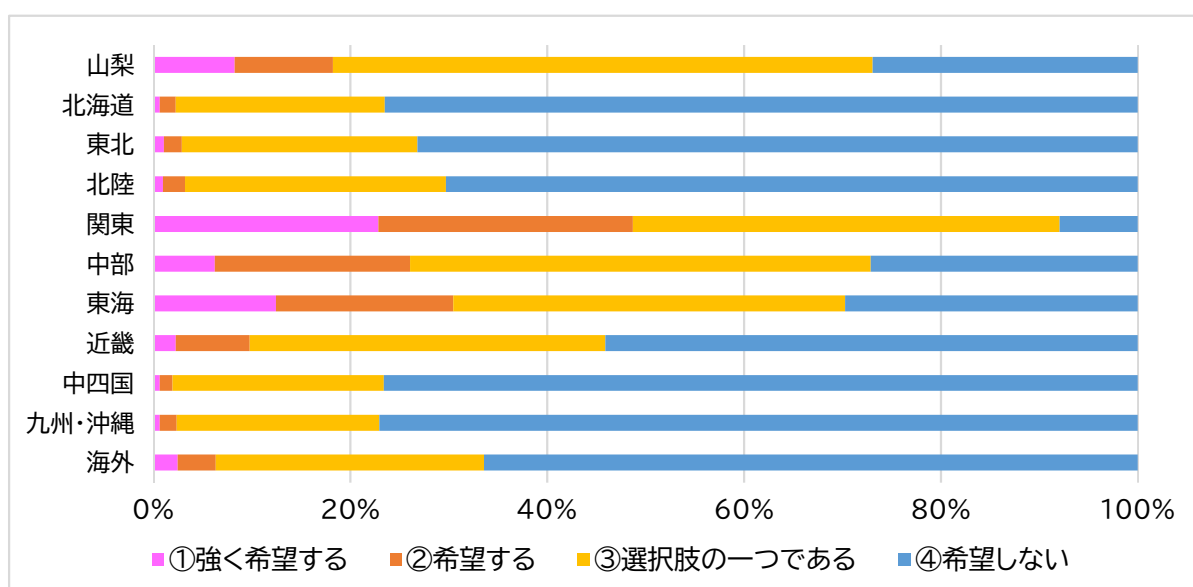
Q21 就職を希望する業種は？(2つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	製造業	402	43.1%
2	通信業	282	30.3%
3	電気・ガス	128	13.7%
4	運搬業	14	1.5%
5	建設業	107	11.5%
6	公務員	223	23.9%
7	広告・出版・マスコミ	46	4.9%
8	金融・保険業	16	1.7%
9	医療・福祉	38	4.1%
10	サービス業	62	6.7%
11	不動産業	12	1.3%
12	教育・学習支援	38	4.1%
13	卸売・小売・飲食業	13	1.4%
14	農林・水産業・漁業	19	2.0%
15	鉱業	6	0.6%
16	どこでもよい	124	13.3%
17	その他	22	2.4%



Q22 就職を希望する地域は？

No.	項目	①強く希望する	②希望する	③選択肢の一つである	④希望しない	希望者数 (①～②計)
1	山梨	77	93	511	251	170
2	北海道	6	15	198	713	21
3	東北	10	17	223	682	27
4	北陸	9	21	247	655	30
5	関東	213	241	404	74	454
6	中部	58	185	436	253	243
7	東海	116	168	371	277	284
8	近畿	21	70	337	504	91
9	中四国	6	12	200	714	18
10	九州・沖縄	6	16	192	718	22
11	海外	23	36	254	619	59



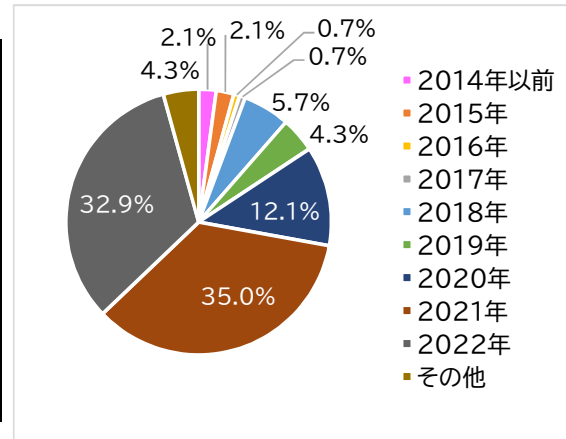
○ 卒業生アンケート集計

回答総数	140
------	-----

Q0 回答者属性

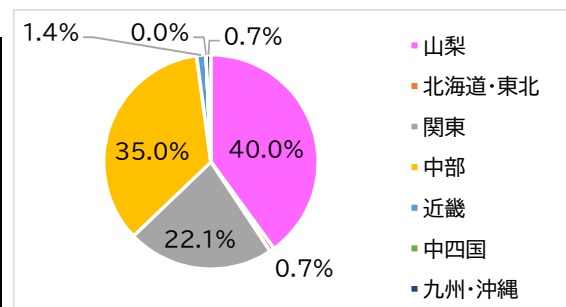
Q0-1 卒業年(最終学歴)

No.	項目	件数	選択率
1	2014年以前	3	2.1%
2	2015年	3	2.1%
3	2016年	1	0.7%
4	2017年	1	0.7%
5	2018年	8	5.7%
6	2019年	6	4.3%
7	2020年	17	12.1%
8	2021年	49	35.0%
9	2022年	46	32.9%
10	その他	6	4.3%



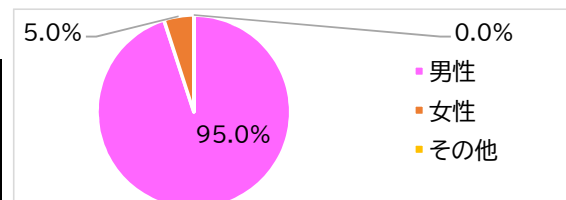
Q0-2 出身高校の所在地

No.	項目	件数	選択率
1	山梨	56	40.0%
2	北海道・東北	1	0.7%
3	関東	31	22.1%
4	中部	49	35.0%
5	近畿	2	1.4%
6	中四国	0	0.0%
7	九州・沖縄	1	0.7%



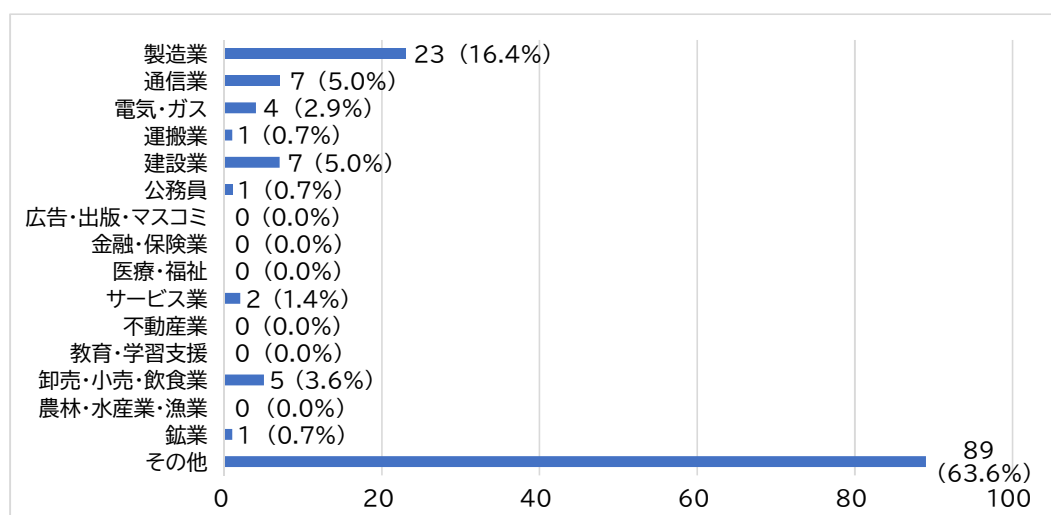
Q0-3 性別

No.	項目	件数	選択率
1	男性	133	95.0%
2	女性	7	5.0%
3	その他	0	0.0%



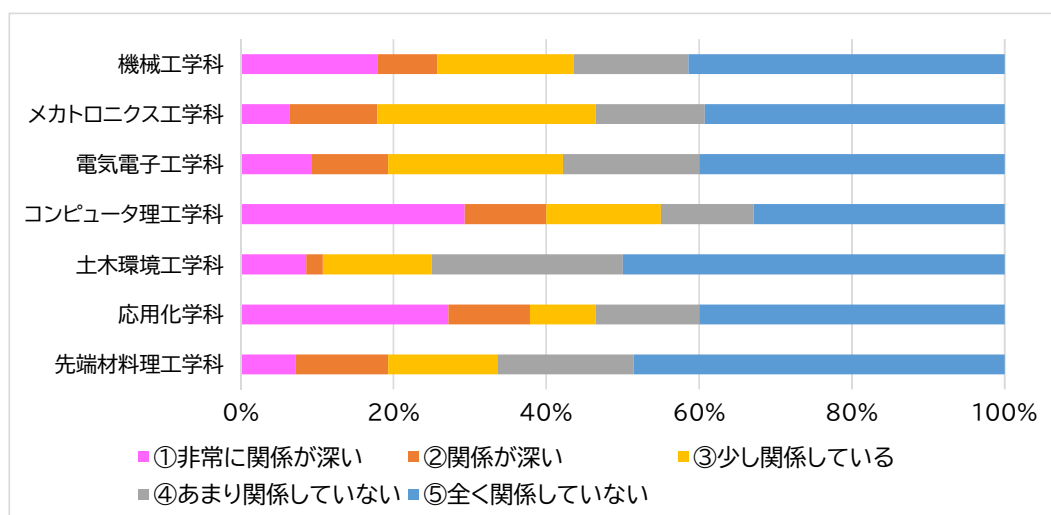
Q0-4 勤務先の業種

No.	項目	件数	選択率
1	製造業	23	16.4%
2	通信業	7	5.0%
3	電気・ガス	4	2.9%
4	運搬業	1	0.7%
5	建設業	7	5.0%
6	公務員	1	0.7%
7	広告・出版・マスコミ	0	0.0%
8	金融・保険業	0	0.0%
9	医療・福祉	0	0.0%
10	サービス業	2	1.4%
11	不動産業	0	0.0%
12	教育・学習支援	0	0.0%
13	卸売・小売・飲食業	5	3.6%
14	農林・水産業・漁業	0	0.0%
15	鉱業	1	0.7%
16	その他	89	63.6%



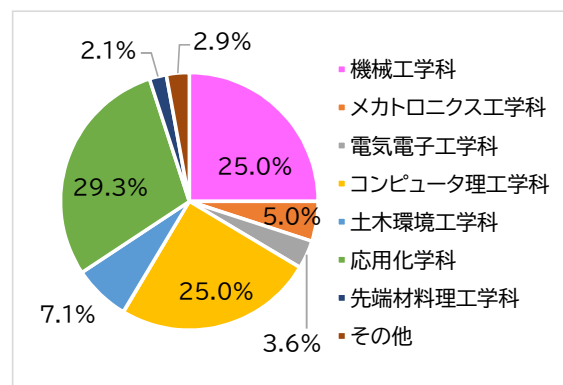
Q0-5 現在の工学部の学科と勤務先との関係性

No.	項目	①非常に関係が深い	②関係が深い	③少し関係している	④あまり関係していない	⑤全く関係していない
1	機械工学科	25	11	25	21	58
2	メカトロニクス工学科	9	16	40	20	55
3	電気電子工学科	13	14	32	25	56
4	コンピュータ理工学科	41	15	21	17	46
5	土木環境工学科	12	3	20	35	70
6	応用化学科	38	15	12	19	56
7	先端材料理工学科	10	17	20	25	68



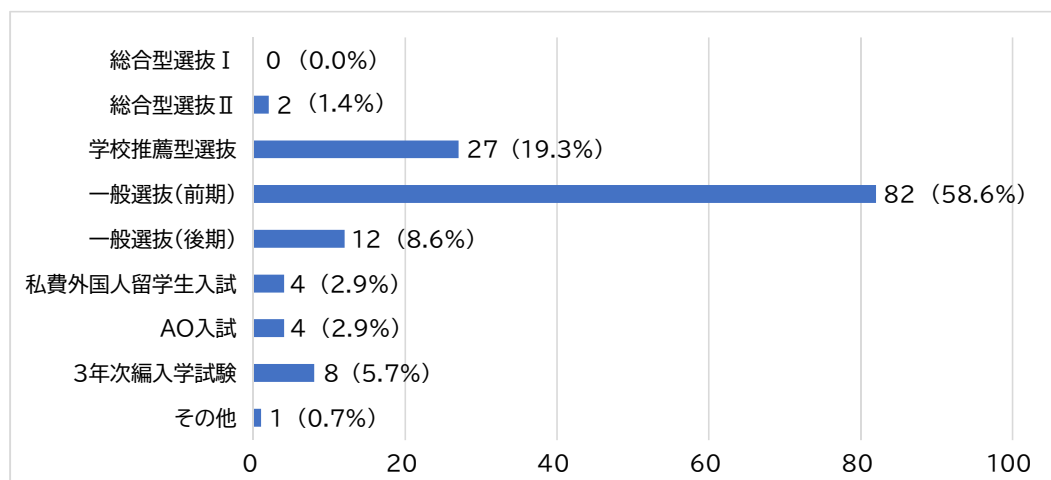
Q1 山梨大学工学部で在籍していた学科は？

No.	項目	件数	選択率
1	機械工学科	35	25.0%
2	メカトロニクス工学科	7	5.0%
3	電気電子工学科	5	3.6%
4	コンピュータ理工学科	35	25.0%
5	土木環境工学科	10	7.1%
6	応用化学科	41	29.3%
7	先端材料理工学科	3	2.1%
8	その他	4	2.9%



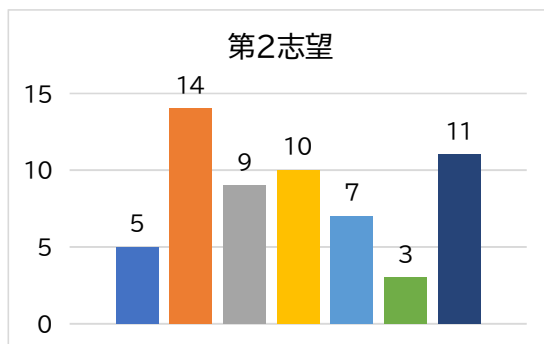
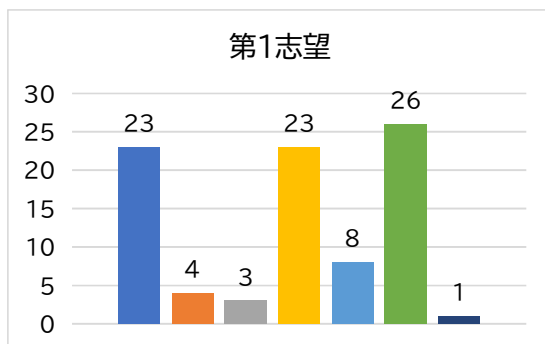
Q2 入学した際の入試方法は？

No.	項目	件数	選択率
1	総合型選抜Ⅰ	0	0.0%
2	総合型選抜Ⅱ	2	1.4%
3	学校推薦型選抜	27	19.3%
4	一般選抜(前期)	82	58.6%
5	一般選抜(後期)	12	8.6%
6	私費外国人留学生入試	4	2.9%
7	AO入試	4	2.9%
8	3年次編入学試験	8	5.7%
9	その他	1	0.7%



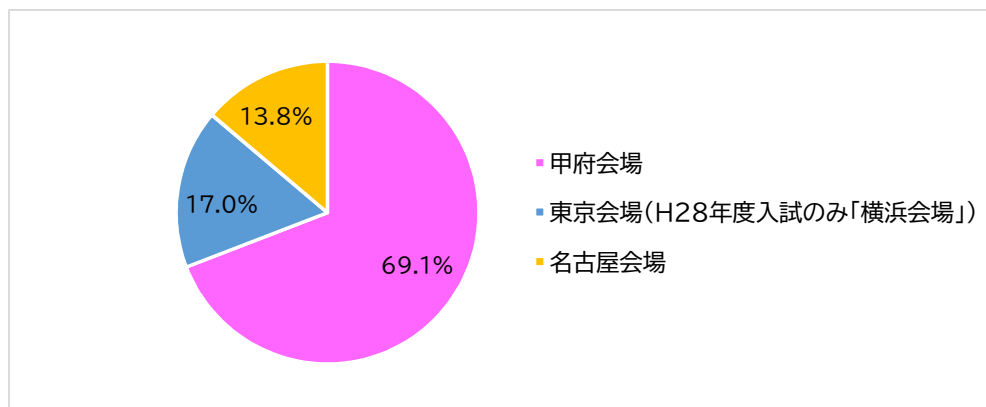
Q3 「一般選抜」を受験した場合、学科の志望順は？

No.	項目	第1志望	第2志望
1	機械工学科	23	5
2	メカトロニクス工学科	4	14
3	電気電子工学科	3	9
4	コンピュータ理工学科	23	10
5	土木環境工学科	8	7
6	応用化学科	26	3
7	先端材料理工学科	1	11



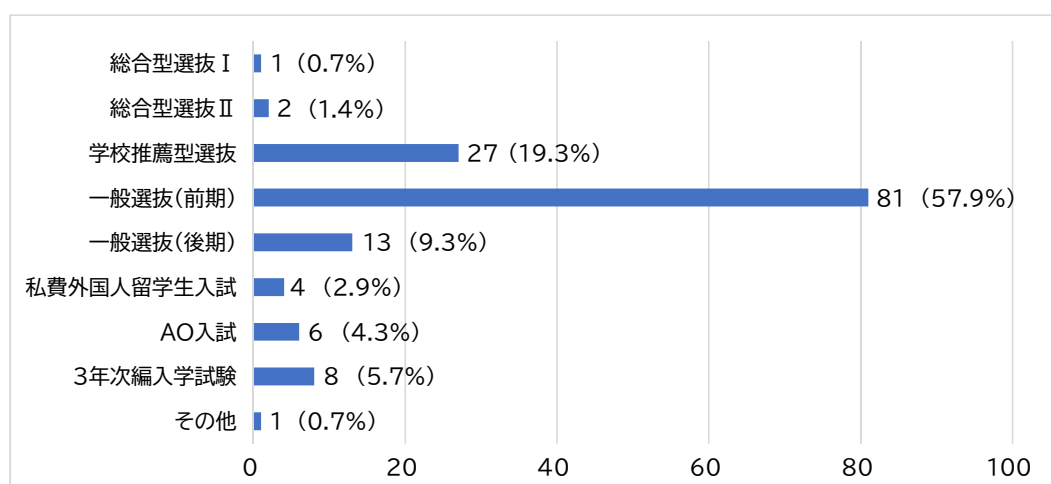
Q4 利用した受験会場は？

No.	項目	件数	選択率
1	甲府会場	65	69.1%
2	東京会場(H28年度入試のみ「横浜会場」)	16	17.0%
3	名古屋会場	13	13.8%



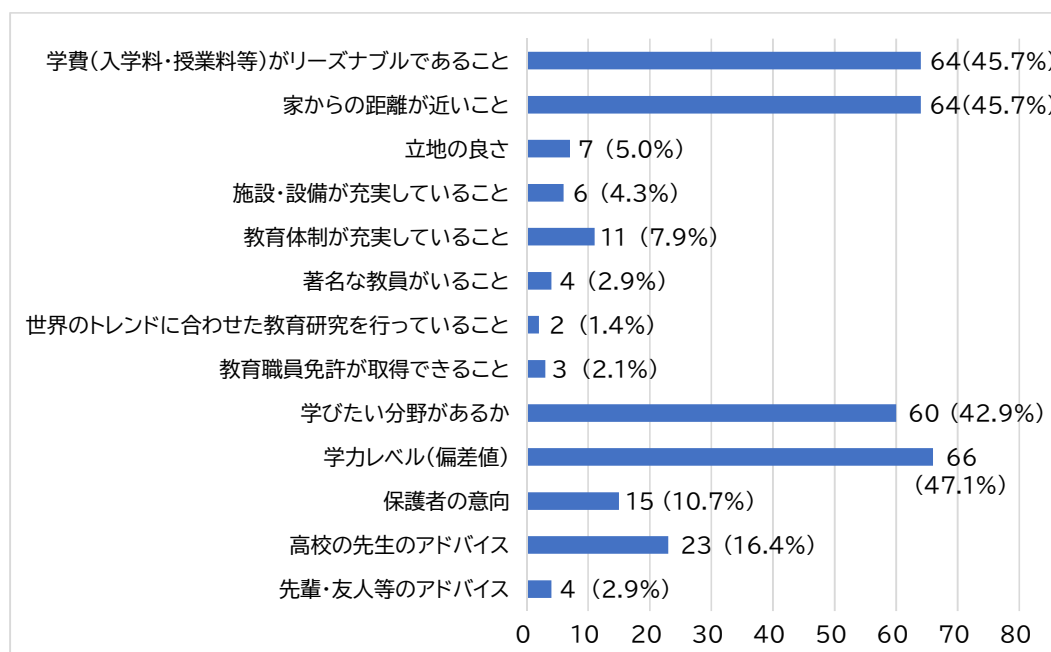
Q5 本学を受験した際の(不合格を含む全ての)入試方法は？(複数回答可)

No.	項目	件数	選択率
1	総合型選抜Ⅰ	1	0.7%
2	総合型選抜Ⅱ	2	1.4%
3	学校推薦型選抜	27	19.3%
4	一般選抜(前期)	81	57.9%
5	一般選抜(後期)	13	9.3%
6	私費外国人留学生入試	4	2.9%
7	AO入試	6	4.3%
8	3年次編入学試験	8	5.7%
9	その他	1	0.7%



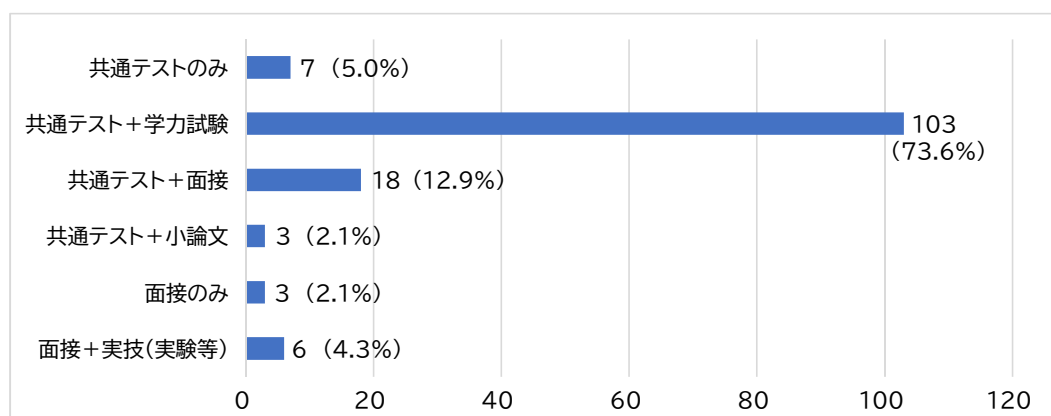
Q6 本学を選んだ理由は？(3つまで選択可)

No.	項目	件数	選択率
1	学費(入学科・授業料等)がリーズナブルであること	64	45.7%
2	家からの距離が近いこと	64	45.7%
3	立地の良さ	7	5.0%
4	施設・設備が充実していること	6	4.3%
5	教育体制が充実していること	11	7.9%
6	著名な教員がいること	4	2.9%
7	世界のトレンドに合わせた教育研究を行っていること	2	1.4%
8	教育職員免許が取得できること	3	2.1%
9	学びたい分野があるか	60	42.9%
10	学力レベル(偏差値)	66	47.1%
11	保護者の意向	15	10.7%
12	高校の先生のアドバイス	23	16.4%
13	先輩・友人等のアドバイス	4	2.9%



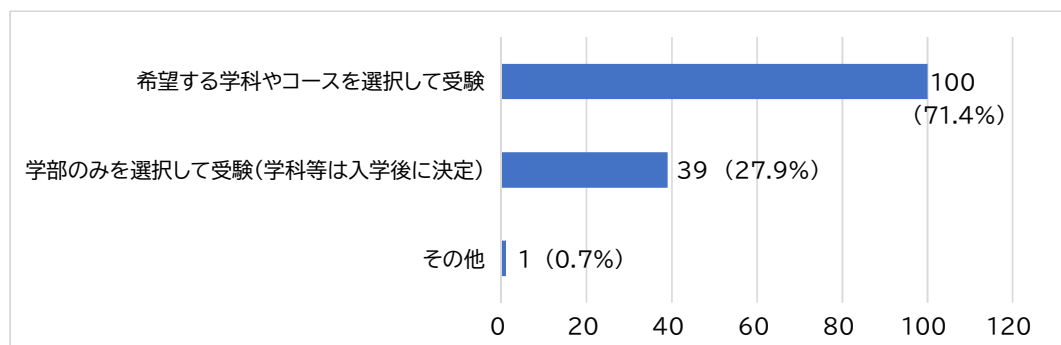
Q7 好ましいと考える入試方法は？

No.	項目	件数	選択率
1	共通テストのみ	7	5.0%
2	共通テスト+学力試験	103	73.6%
3	共通テスト+面接	18	12.9%
4	共通テスト+小論文	3	2.1%
5	面接のみ	3	2.1%
6	面接+実技(実験等)	6	4.3%



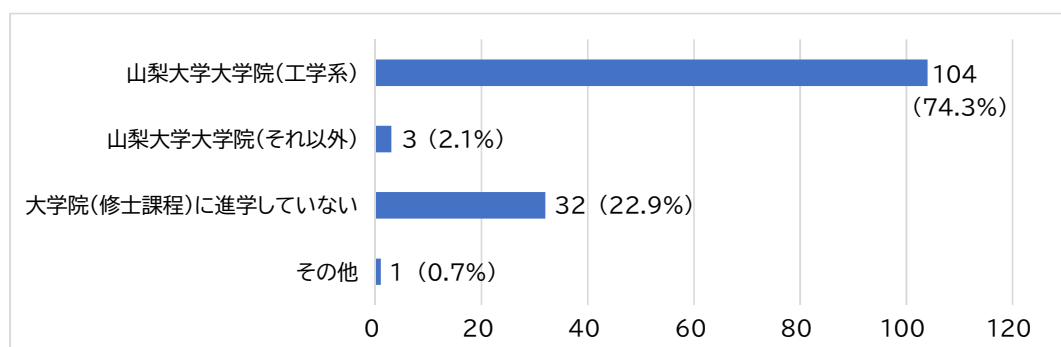
Q8 好ましいと考える受験方式は？

No.	項目	件数	選択率
1	希望する学科やコースを選択して受験	100	71.4%
2	学部のみを選択して受験(学科等は入学後に決定)	39	27.9%
3	その他	1	0.7%



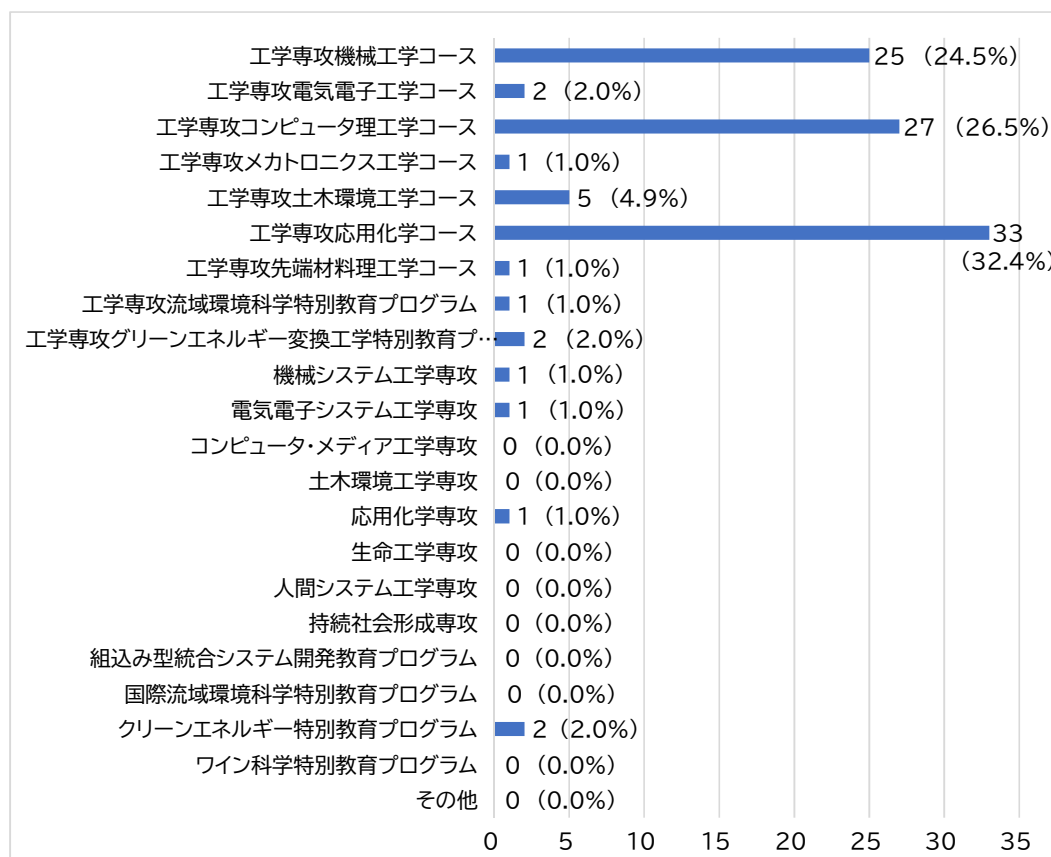
Q9 出身大学院(修士課程)は？

No.	項目	件数	選択率
1	山梨大学大学院(工学系)	104	74.3%
2	山梨大学大学院(それ以外)	3	2.1%
3	大学院(修士課程)に進学していない	32	22.9%
4	その他	1	0.7%



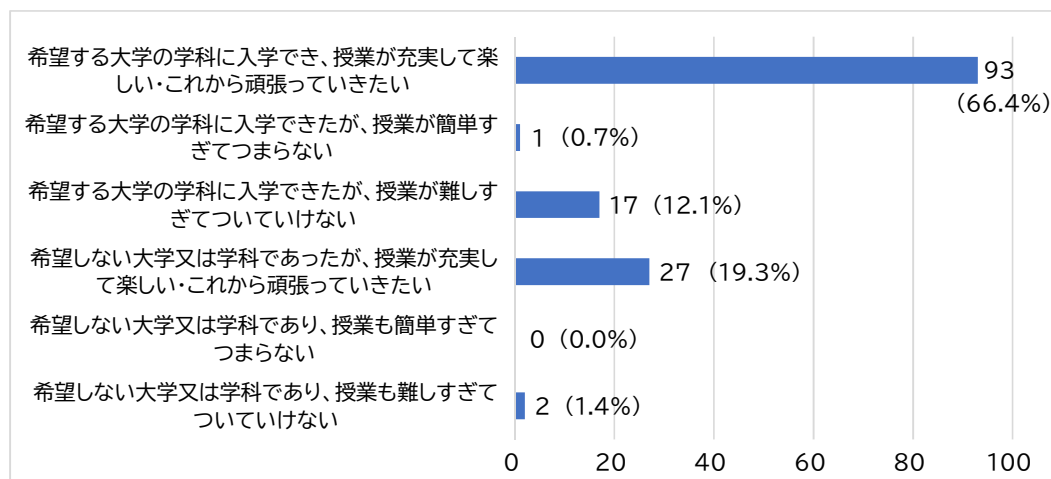
Q10 修士課程で在籍していた専攻・コース・プログラム等は？

No.	項目	件数	選択率
1	工学専攻機械工学コース	25	24.5%
2	工学専攻電気電子工学コース	2	2.0%
3	工学専攻コンピュータ理工学コース	27	26.5%
4	工学専攻メカトロニクス工学コース	1	1.0%
5	工学専攻土木環境工学コース	5	4.9%
6	工学専攻応用化学コース	33	32.4%
7	工学専攻先端材料理工学コース	1	1.0%
8	工学専攻流域環境科学特別教育プログラム	1	1.0%
9	工学専攻グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	2	2.0%
10	機械システム工学専攻	1	1.0%
11	電気電子システム工学専攻	1	1.0%
12	コンピュータ・メディア工学専攻	0	0.0%
13	土木環境工学専攻	0	0.0%
14	応用化学専攻	1	1.0%
15	生命工学専攻	0	0.0%
16	人間システム工学専攻	0	0.0%
17	持続社会形成専攻	0	0.0%
18	組込み型統合システム開発教育プログラム	0	0.0%
19	国際流域環境科学特別教育プログラム	0	0.0%
20	クリーンエネルギー特別教育プログラム	2	2.0%
21	ワイン科学特別教育プログラム	0	0.0%
22	その他	0	0.0%



Q11 山梨大学工学部に入学したとき、どのように感じていたか？

No.	項目	件数	選択率
1	希望する大学の学科に入学でき、授業が充実して楽しい・これから頑張っていきたい	93	66.4%
2	希望する大学の学科に入学できたが、授業が簡単すぎてつまらない	1	0.7%
3	希望する大学の学科に入学できたが、授業が難しすぎてついていけない	17	12.1%
4	希望しない大学又は学科であったが、授業が充実して楽しい・これから頑張っていきたい	27	19.3%
5	希望しない大学又は学科であり、授業も簡単すぎてつまらない	0	0.0%
6	希望しない大学又は学科であり、授業も難しすぎてついていけない	2	1.4%



Q12 山梨大学工学部で学んで役立ったこと(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	基礎学力・知識【同意見:計2件】
2	専門知識【同意見:計22件】
3	情報・コンピュータ関連の知識・技術【同意見:計13件】
4	プログラミング【同意見:計14件】
5	プログラミングの技術やチーム開発の経験
6	コンピュータやプログラミングの知識を身につけることができ就職活動でも役立った。
7	ITリテラシー
8	化学の知識【同意見:計14件】
9	専門的な化学工学の知識
10	機械工学の基礎知識【同意見:計8件】
11	機械工学の4力等の知識【同意見:計4件】
12	CADや熱, 力学などの知識がついたこと
13	CADや工作機械の使い方
14	電気電子について学ぶことができた。
15	電気回路や電子回路、半導体関係の授業、プログラミングなど幅広く学ぶ過程で得意不得意がわかり、就職するうえでどのような分野に進んでいきたいか考えることができた。
16	機械・電気・情報分野についてさわりを知れたのは活きたと思っています。
17	物理化学全般と電気化学
18	数学
19	土木に関する基礎知識【同意見:計5件】
20	材料の科学で、身近なひずみとかクラックについて学べたこと
21	実験操作【同意見:計5件】
22	文書作成能力【同意見:計2件】
23	課題解決能力【同意見:計2件】
24	論理的思考力【同意見:計3件】
25	研究活動で有用な知識や技術【同意見:計5件】
26	効率よく勉強する方法や一般的な化学実験の知識、自主学習の仕方、論文の読み方など
27	学んだ知識等が日常生活や仕事で活かしたこと【同意見:計8件】
28	他分野で活躍するためのノウハウ
29	反転授業
30	ぶどうの栽培
31	ワインの知識
32	人間関係【同意見:計7件】
33	わからないことがあったら調べる、人に聞くことの大切さを知った。
34	学問は難しい
35	自由に学ぶ
36	締め切りは死んでも守る
37	大学で学んだことを社会人になって応用することはまだない。ただ、今後専門知識が必要になっても改めて勉強する必要があると思うが、「何となく知ってる」と思えるのはプラスになると思う。

Q13 山梨大学工学部で身に付いた能力・素養等(自由記述)

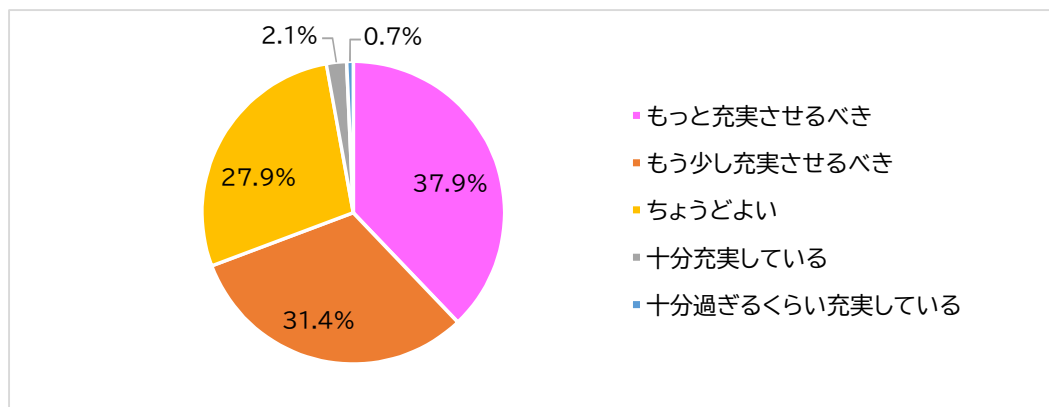
No.	意見(同意見は集約)
1	基礎学力・知識【同意見:計3件】
2	専門知識【同意見:計11件】
3	ものづくりの考え方【同意見:計3件】
4	情報・コンピュータ関連の知識・技術【同意見:計13件】
5	プログラミング【同意見:計21件】
6	ITリテラシー
7	化学の知識【同意見:計12件】
8	機械工学の基礎知識【同意見:計3件】
9	4力の基礎【同意見:計2件】
10	電気回路の知識【同意見:計2件】
11	半導体関係の知識(座学の他にもものを作るプロセス技術、実験方法、考え方など)
12	燃料電池関連の知識
13	土木の知識【同意見:計4件】
14	外国語能力
15	実験操作【同意見:計12件】
16	文書作成能力【同意見:計5件】
17	課題解決能力【同意見:計9件】
18	論理的思考力【同意見:計8件】
19	研究活動で有用な知識や技術【同意見:計14件】
20	コミュニケーション能力【同意見:計15件】
21	プレゼン・発表力【同意見:計13件】
22	サークル活動でのリーダーシップ
23	人間関係【同意見:計5件】
24	協調性【同意見:計3件】
25	自主学習能力【同意見:計5件】
26	技術者としての倫理
27	忍耐力【同意見:計2件】
28	したたかさ
29	常識
30	身の回りのもの全てにどんな応力とか質量が働いているのか考える癖ができたこと
31	先端材料理工学科は広く浅く学ぶ学科のため、様々な分野に興味を持つきっかけになった。

Q14 山梨大学工学部でもっと教えて欲しかったこと(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	一般教養【同意見:計5件】
2	工学の基礎【同意見:計3件】
3	工学分野のトレンド【同意見:計3件】
4	英語・英会話【同意見:計13件】
5	実用的な第2外国語
6	より専門的な内容【同意見:計15件】
7	より実践的な内容【同意見:計14件】
8	実験することを考えた授業(授業と授業の関連)【同意見:計2件】
9	プログラミング【同意見:計13件】
10	情報セキュリティ【同意見:計3件】
11	情報分野【同意見:計3件】
12	数学【同意見:計3件】
13	他学科・他分野の内容【同意見:計4件】
14	研究について
15	社会情勢に関すること
16	お金・経済に関すること【同意見:計5件】
17	著作権に関すること
18	就職活動について【同意見:計3件】
19	勉強方法【同意見:計2件】
20	人間関係
21	留学生とのコミュニケーション

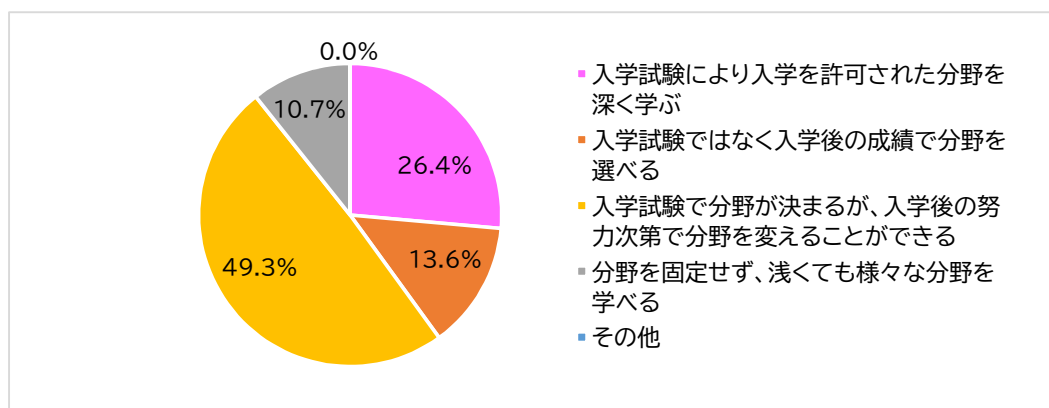
Q15 山梨大学工学部は英語教育をもっと充実させた方が良いと思うか？

No.	項目	件数	選択率
1	もっと充実させるべき	53	37.9%
2	もう少し充実させるべき	44	31.4%
3	ちょうどよい	39	27.9%
4	十分充実している	3	2.1%
5	十分過ぎるくらい充実している	1	0.7%



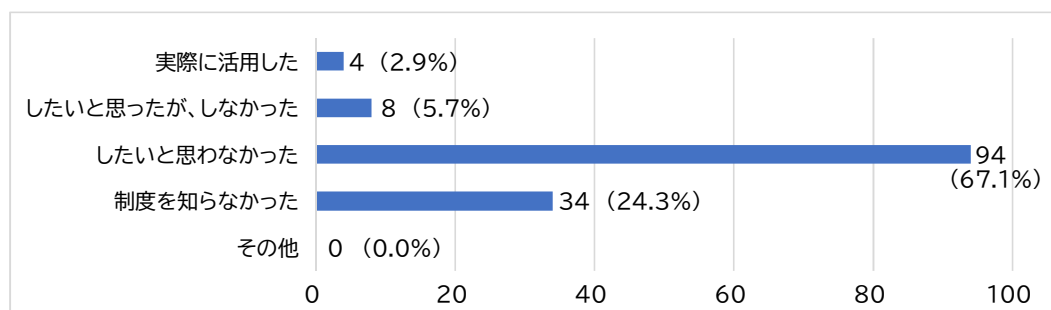
Q16 入学後の所属学科(学修分野)についてどのような方式が理想的か？

No.	項目	件数	選択率
1	入学試験により入学を許可された分野を深く学ぶ	37	26.4%
2	入学試験ではなく入学後の成績で分野を選べる	19	13.6%
3	入学試験で分野が決まるが、入学後の努力次第で分野を変えることができる	69	49.3%
4	分野を固定せず、浅くても様々な分野を学べる	15	10.7%
5	その他	0	0.0%



Q17 セカンドチャレンジ(転学科)制度についての考えは？

No.	項目	件数	選択率
1	実際に活用した	4	2.9%
2	したいと思ったが、しなかった	8	5.7%
3	したいと思わなかった	94	67.1%
4	制度を知らなかった	34	24.3%
5	その他	0	0.0%

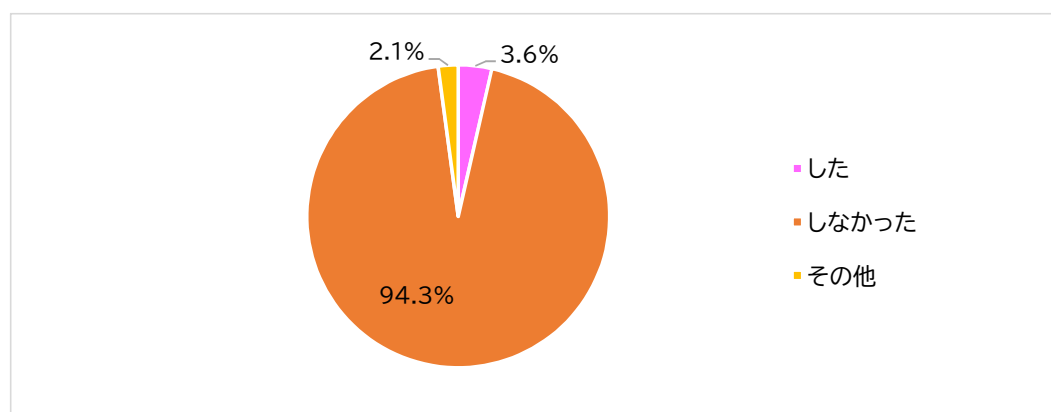


Q17-1 (Q17で「したいと思ったが、しなかった」の場合のみ)しなかった理由は？(自由記述)

No.	意見
1	他の学科で1から始まる状態で、教授たちのフォローがあるのか不安だったため
2	留年の可能性もありそうで、親に負担をかけたくなかったため
3	成績的に難しかったため
4	制度を知ったのが遅かったため
5	窓口担当者に転学科することは例が少なく難しいと言われたため
6	転学部希望だったため
7	行動しなかった

Q18 大学で高校の教員免許を取得したか？

No.	項目	件数	選択率
1	した	5	3.6%
6	しなかった	132	94.3%
7	その他	3	2.1%



Q18-1 (Q18で「しなかった」の場合のみ)しなかった理由は？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	教員になろうと思っていなかった、教職に興味がなかった【同意見:計63件】
2	大変そうだったため、科目数が多く厳しかったため【同意見:計26件】
3	取得できる免許が限られていたため【同意見:計5件】
4	必修である日本国憲法の抽選に落ちたため【同意見:計3件】
5	取得を考えていたが、窓口担当者等から具体的な説明がなく、詳細が不明だったため
6	取得できると知った時には、取得に必要な単位を取ることが不可能だったため

Q19 入学して最も良かったと思うこと(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	いろんな分野を学べた【同意見:計2件】
2	学びたい分野を学べた・知識を深められた【同意見:計17件】
3	学びたい分野が見つかった
4	良い(充実した)教育や指導をしていただいた【同意見:計10件】
5	良い指導教員と出会えた【同意見:計3件】
6	良い友人ができた、良い人間関係が築けた【同意見:計17件】
7	留学生など多様な人間と関わって、様々な価値観に触れられた
8	施設・設備が充実【同意見:計7件】
9	立地が良い【同意見:計9件】
10	学費が安い【同意見:計6件】
11	キャリアハウス等に参加し、1年次から研究をすることができた【同意見:計3件】
12	フィロスで友人と話しながら自習できる場所があったこと
13	学生フォーミュラ部に入ることにより、授業と相互にインプット・アウトプットしつつ勉強することができた
14	基礎的な能力が付いた
15	情報技術者になる上での基礎を学べた
16	研究活動において医学部の手術を見られた
17	最先端の研究に触れられた
18	自分から学ぶことの重要性を実感することができた
19	自由に研究ができた
20	希望する就職先へ入れた【同意見:計2件】
21	工学部大卒資格が得られた【同意見:計2件】
22	コンプライアンス意識が高く、自分が関わった範囲でハラスメントや研究不正のような問題はなかった。

Q20 入学して最も良くなかったと思うこと、もっと欲しいと思ったこと(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	基礎的・理論的な部分をもう少し学びたかった
2	より実践的・専門的な内容をもう少し学びたかった【同意見:計4件】
3	1年次の専門科目が高校の延長のような内容であり、もっと専門的にして欲しい
4	もっと分野横断的に学びたかった【同意見:計3件】
5	英語教育を充実させて欲しい【同意見:計7件】
6	授業や教員毎の質・レベルの差が大きすぎる(GPAにも影響するため、同じ科目の場合は不公平)【同意見:計7件】
7	授業において、もう少し詳しく解説して欲しい
8	課題が多すぎる
9	取得可能な教育免許の種類を増やして欲しい
10	就職支援を充実させて欲しい【同意見:計3件】
11	3年次編入学定員を増やして欲しい
12	教員をもっと増やして欲しい(学べる専門分野が限られている)【同意見:計3件】
13	窓口担当者や教員の対応が良くない【同意見:計3件】
14	もっと学生の意見を聴いて欲しい
15	編入生への支援を充実させて欲しい(ガイダンス等が不十分)
16	キャンパスや建物が汚い・古い・狭い【同意見:計8件】
17	立地が良くない【同意見:計7件】
18	学生用駐車場がない、駐輪場が少ない【同意見:計5件】
19	コロナ後、学内で学生が集まれる場所がない
20	学生便覧が分かりにくい
21	学費が高すぎる
22	研究費が少ない
23	地元企業との関わりが少ない
24	奇を衒った学科名でなく、一般的な学科名の方が汎用性があると思われる。
25	偏差値を上げるための施策を実施して欲しい(就職活動において、学歴フィルターをかけられることがあった)

Q21 山梨大学工学部に期待すること(自由記述)

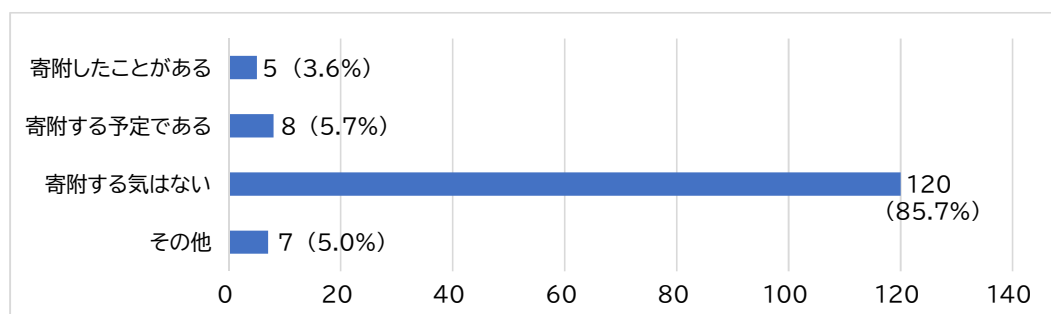
No.	意見(同意見は集約)
1	英語教育の充実【同意見:計6件】
2	グローバルな工学知識の教授
3	垣根を越えた様々な人との交流の増加
4	キャンパスや建物の美化【同意見:計5件】
5	施設・設備等の充実【同意見:計8件】
6	偏差値や学力レベルの向上【同意見:計3件】
7	優秀な人がもっと伸びるような教育、人材育成【同意見:計2件】
8	学生の質を上げること。進級を厳しくしてでも死守するべき。
9	学生目線の分かりやすい説明等【同意見:計3件】
10	学費負担の軽減、給付型奨学金の充実【同意見:計4件】
11	研究費の増額により、研究成果を残して欲しい
12	若手教員を増やし、研究者の雇用の創出の新陳代謝を上げて欲しい【同意見:計2件】
13	燃料電池分野のみならず他分野でも日本を牽引して行って欲しい(ノーベル賞等を期待)【同意見:計2件】
14	卒業生や教員等による大きな社会還元
15	地域企業とのコネクション
16	統一感のあるブランディング(受験生へのアピールのため)
17	細かなシステム等の機械化による事務作業の軽減
18	現状維持を良しとする体質にならないことを期待する。

Q22 山梨大学にあったら良いと思う学部・学科(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	ソフトウェア学科
2	データサイエンス学科
3	理学部【同意見:計3件】
4	数学科
5	エネルギー環境学科
6	医工学科
7	繊維学部
8	農学部
9	ワイン学科
10	薬学部【同意見:計5件】
11	歯学部
12	健康科学部
13	海洋工学部船舶工学科
14	海洋生物学科
15	経済学部【同意見:計8件】
16	経営学部
17	法学部【同意見:計5件】
18	政策学科
19	文学部【同意見:計2件】
20	観光学科
21	文系学部【同意見:計2件】
22	山梨の地域活性、紹介、PR等が行える学科

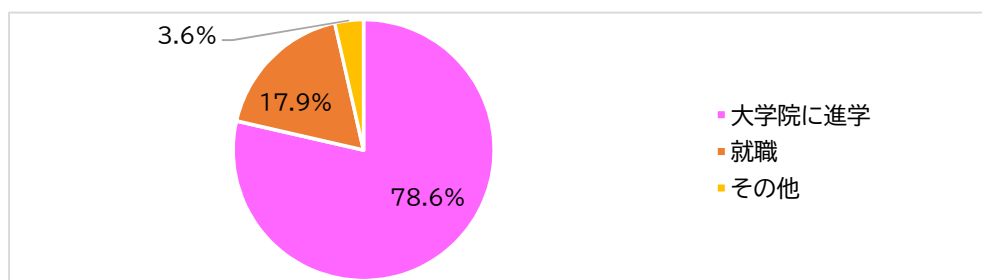
Q23 山梨大学への寄附について

No.	項目	件数	選択率
1	寄附したことがある	5	3.6%
2	寄附する予定である	8	5.7%
3	寄附する気はない	120	85.7%
4	その他	7	5.0%



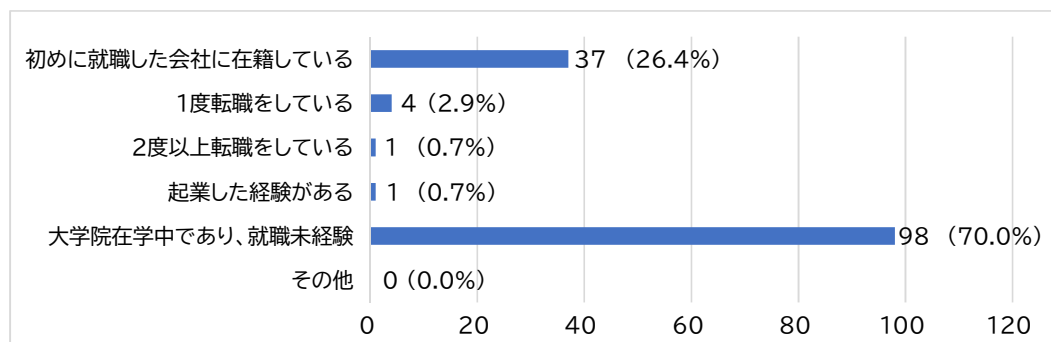
Q24 大学卒業後の進路は？

No.	項目	件数	選択率
1	大学院に進学	110	78.6%
2	就職	25	17.9%
3	その他	5	3.6%



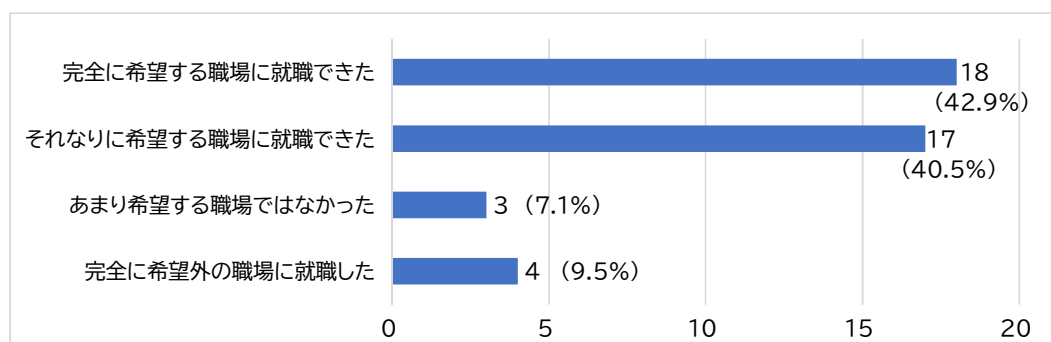
Q25 これまでの仕事の経験は？(複数回答可)

No.	項目	件数	選択率
1	初めに就職した会社に在籍している	37	26.4%
2	1度転職をしている	4	2.9%
3	2度以上転職をしている	1	0.7%
4	起業した経験がある	1	0.7%
5	大学院在学中であり、就職未経験	98	70.0%
6	その他	0	0.0%



Q25-1 (Q25で「初めに就職した会社に在籍している」、「1度転職をしている」、「2度以上転職をしている」の場合のみ)希望する職場に就職したか？

No.	項目	件数	選択率
1	完全に希望する職場に就職できた	18	42.9%
2	それなりに希望する職場に就職できた	17	40.5%
3	あまり希望する職場ではなかった	3	7.1%
4	完全に希望外の職場に就職した	4	9.5%

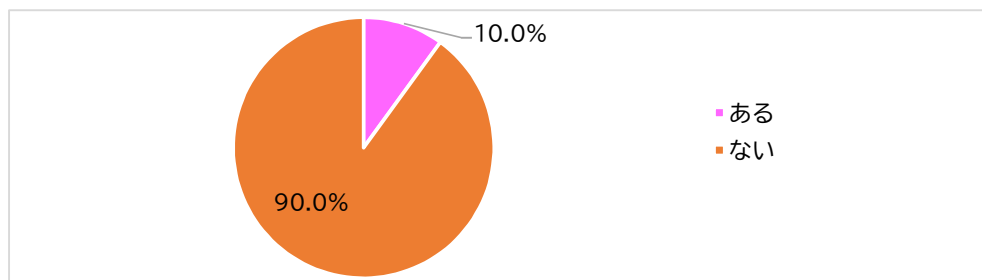


Q26 進路の決め手となったこと(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	インターンシップ【同意見:計4件】
2	企業説明会、企業訪問【同意見:計4件】
3	企業訪問
4	企業規模【同意見:計4件】
5	業界・業種【同意見:計14件】
6	立地、本社所在地【同意見:計6件】
7	年収【同意見:計3件】
8	ブランド
9	将来性
10	学生の時からの企業の人との関係
11	会社で自分の能力を活かせそうかどうか
12	大学に来ていた推薦
13	両親の勧め
14	プログラミングの知識を身に付けられる
15	大学院で学びや研究を深めてから就職したかった【同意見:計9件】

Q27 現在、大学(山梨大学以外を含む)での学び直しの希望はあるか？

No.	項目	件数	選択率
1	ある	14	10.0%
2	ない	126	90.0%



Q27-1 (Q27で「ある」の場合のみ)どのような講座や分野を希望するか？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	情報系分野(プログラミング等)【同意見・計4件】
2	燃料電池関連
3	語学
4	有機化学
5	4力。特に熱力学。
6	特別支援教育関連

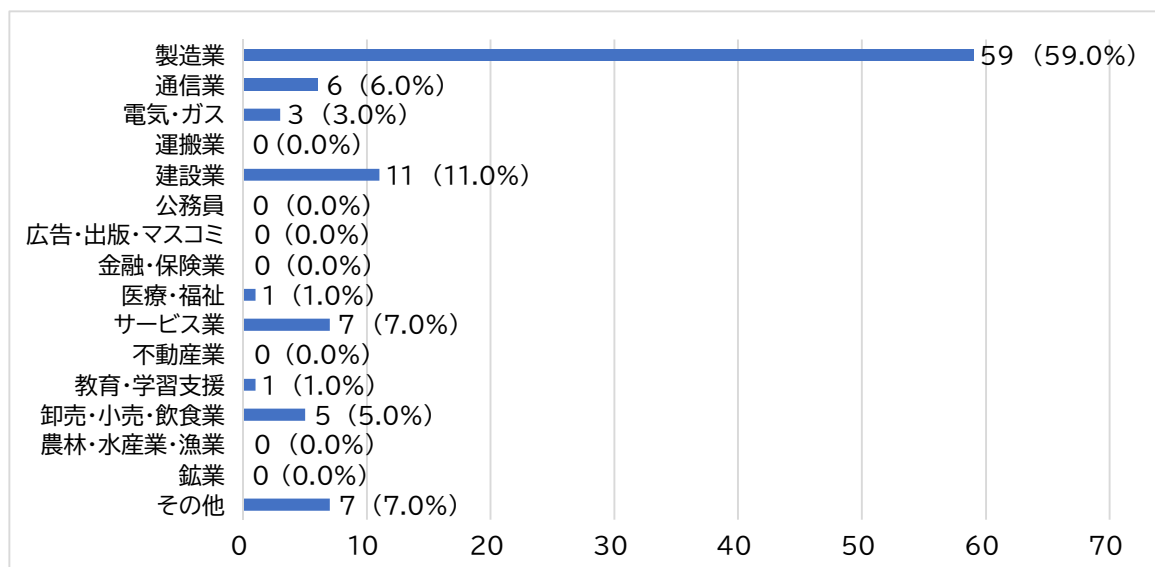
○ 産業界アンケート集計

回答総数	100
------	-----

Q0 回答者属性

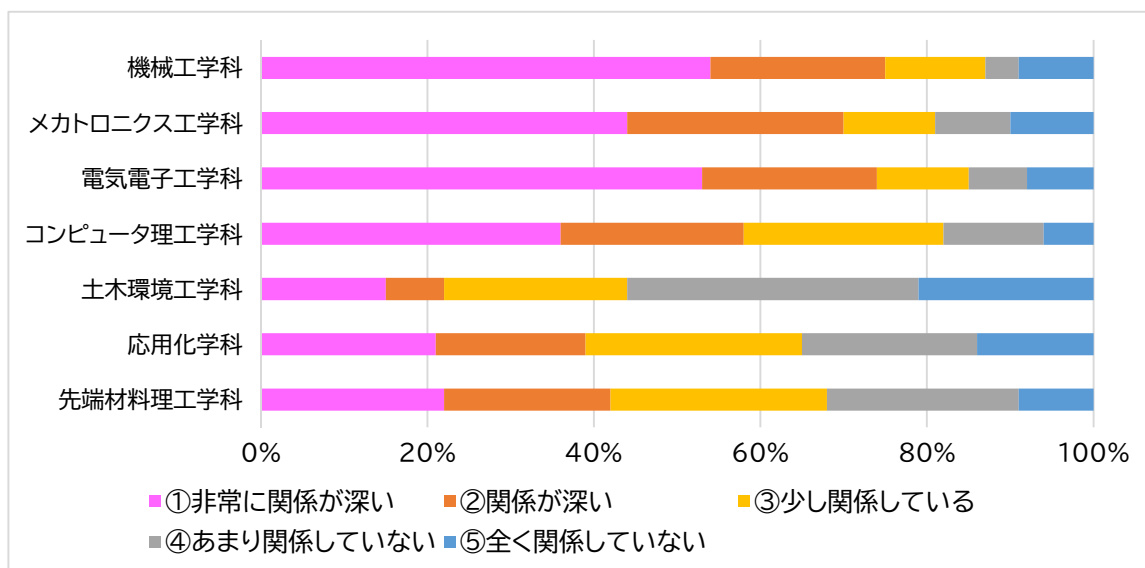
Q0-1 業種

No.	項目	件数	選択率
1	製造業	59	59.0%
2	通信業	6	6.0%
3	電気・ガス	3	3.0%
4	運搬業	0	0.0%
5	建設業	11	11.0%
6	公務員	0	0.0%
7	広告・出版・マスコミ	0	0.0%
8	金融・保険業	0	0.0%
9	医療・福祉	1	1.0%
10	サービス業	7	7.0%
11	不動産業	0	0.0%
12	教育・学習支援	1	1.0%
13	卸売・小売・飲食業	5	5.0%
14	農林・水産業・漁業	0	0.0%
15	鉱業	0	0.0%
16	その他	7	7.0%



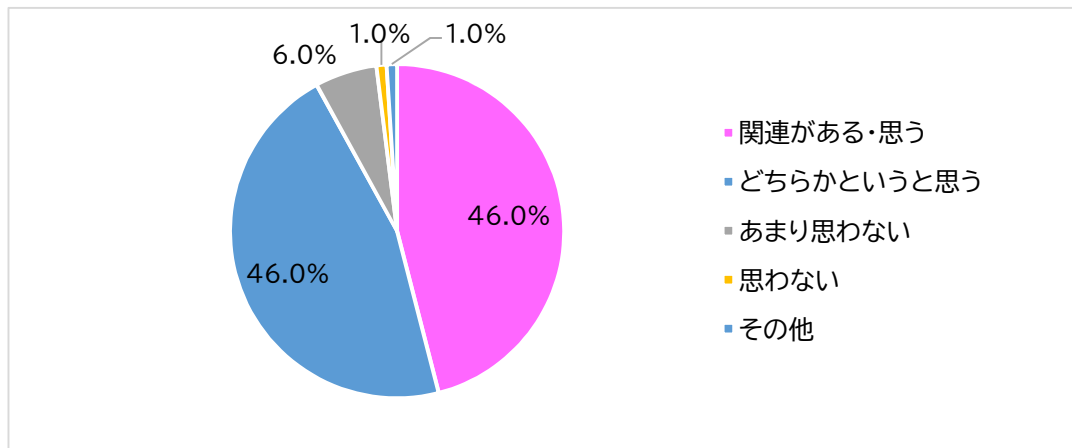
Q0-2 現在の工学部の学科と会社との関係性

No.	項目	①非常に関係が深い	②関係が深い	③少し関係している	④あまり関係していない	⑤全く関係していない
1	機械工学科	54	21	12	4	9
2	メカトロニクス工学科	44	26	11	9	10
3	電気電子工学科	53	21	11	7	8
4	コンピュータ理工学科	36	22	24	12	6
5	土木環境工学科	15	7	22	35	21
6	応用化学科	21	18	26	21	14
7	先端材料理工学科	22	20	26	23	9



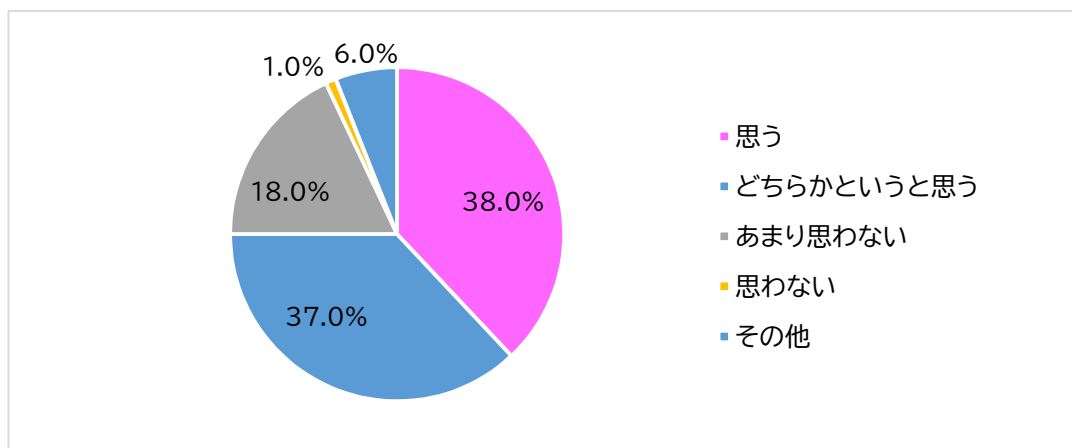
Q1 会社はクリーンエネルギー分野と関連がある又は今後関連を持ちたいか？

No.	項目	件数	選択率
1	関連がある・思う	46	46.0%
2	どちらかというと思う	46	46.0%
3	あまり思わない	6	6.0%
4	思わない	1	1.0%
5	その他	1	1.0%



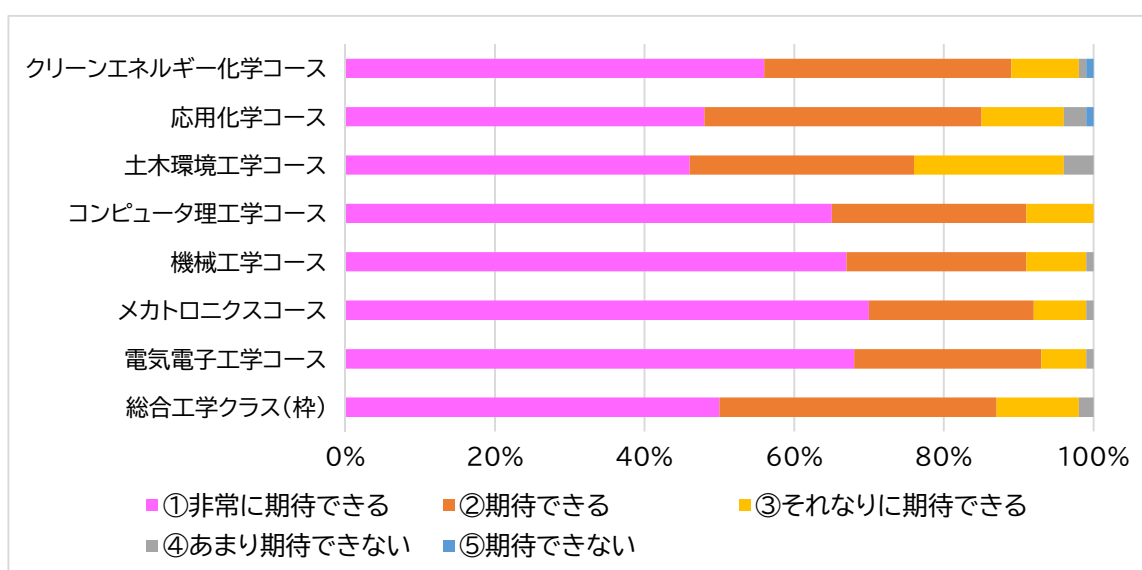
Q2 クリーンエネルギー化学コースを卒業した学生を採用したいと思うか？

No.	項目	件数	選択率
1	思う	38	38.0%
2	どちらかというと思う	37	37.0%
3	あまり思わない	18	18.0%
4	思わない	1	1.0%
5	その他	6	6.0%



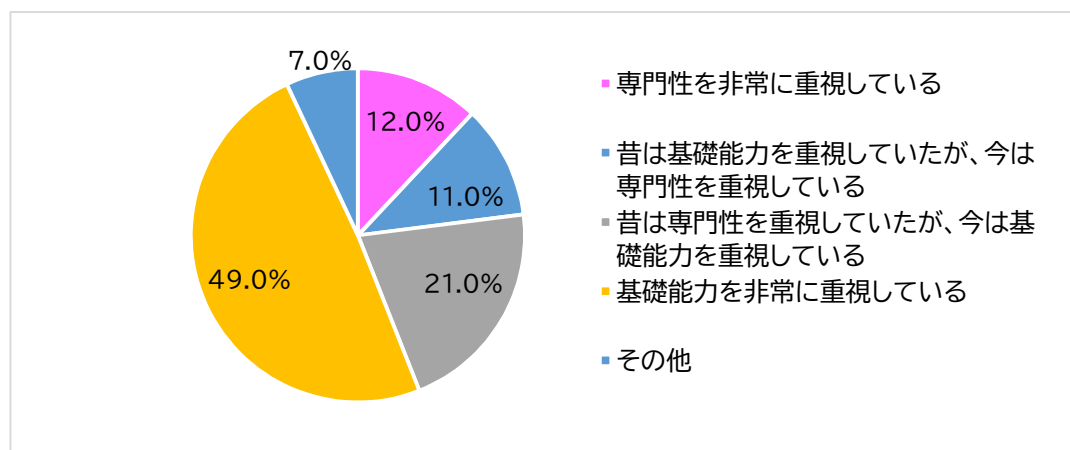
Q3 改組後のコースについて、今後の社会貢献への期待度は？

No.	項目	①非常に期待できる	②期待できる	③それなりに期待できる	④あまり期待できない	⑤期待できない
1	クリーンエネルギー化学コース	56	33	9	1	1
2	応用化学コース	48	37	11	3	1
3	土木環境工学コース	46	30	20	4	0
4	コンピュータ理工学コース	65	26	9	0	0
5	機械工学コース	67	24	8	1	0
6	メカトロニクスコース	70	22	7	1	0
7	電気電子工学コース	68	25	6	1	0
8	総合工学クラス(枠)	50	37	11	2	0



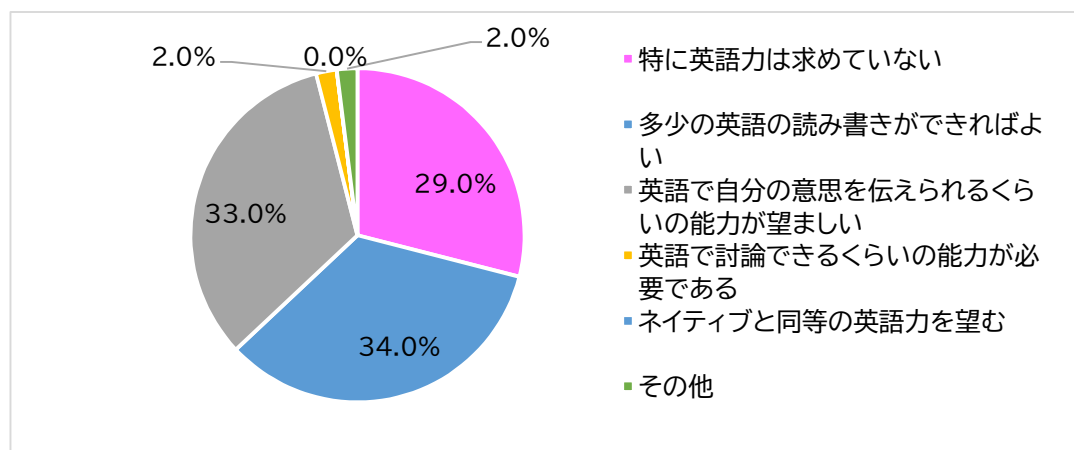
Q4 入社時に求める専門性の程度は？

No.	項目	件数	選択率
1	専門性を非常に重視している	12	12.0%
2	昔は基礎能力を重視していたが、今は専門性を重視している	11	11.0%
3	昔は専門性を重視していたが、今は基礎能力を重視している	21	21.0%
4	基礎能力を非常に重視している	49	49.0%
5	その他	7	7.0%



Q5 山梨大学工学部の卒業生に求める英語力は？

No.	項目	件数	選択率
1	特に英語力は求めている	29	29.0%
2	多少の英語の読み書きができればよい	34	34.0%
3	英語で自分の意思を伝えられるくらいの能力が望ましい	33	33.0%
4	英語で討論できるくらいの能力が必要である	2	2.0%
5	ネイティブと同等の英語力を望む	0	0.0%
6	その他	2	2.0%



Q6 山梨大学工学部の卒業生に求める知識や能力は？（自由記述）

No.	意見(同意見は集約)
1	コミュニケーション能力、協調性、チームワーク力【同意見:計24件】
2	リーダーシップ
3	主体性、自主性、責任感【同意見:計19件】
4	積極性、自ら進んで課題に取り組む力(向上心)【同意見:計25件】
5	あきらめずに取り組む姿勢、バイタリティ、ストレス耐性、忍耐力【同意見:計8件】
6	論理的思考力【同意見:計5件】
7	問題解決能力、実行力【同意見:計5件】
8	人間力
9	基礎知識、基礎学力【同意見:計24件】
10	専門知識、専門分野に関する技術、実践力【同意見:計26件】
11	英語力
12	様々なことに関する経験【同意見:計2件】

Q7 山梨大学工学部の卒業生の優れている点は？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	コミュニケーション能力、協調性、柔軟性、チームワーク力【同意見:計6件】
2	リーダーシップ
3	主体性、自主性、責任感【同意見:計9件】
4	積極性【同意見:計2件】
5	あきらめずに取り組む姿勢、バイタリティ、ストレス耐性、忍耐力【同意見:計4件】
6	論理的思考力【同意見:計2件】
7	基礎知識、基礎学力【同意見:計11件】
8	専門知識、専門分野に関する技術、応用力【同意見:計13件】
9	真面目【同意見:計11件】

Q8 山梨大学工学部の卒業生の不足している点は？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	若干コミュニケーションが苦手(積極性が弱い)な感じを受ける【同意見:計8件】
2	私大卒業生よりもハングリー精神に欠ける部分がある
3	学業以外の経験値がやや不足気味と感じる
4	(山梨大学の卒業生に限らないが)ここ数年のコロナの影響かディスカッションのスキルが落ちており、タイムマネジメントやアイデア出し、意見交換など全般において経験不足を感じる。
5	(山梨大学の卒業生に限らないが)グローバル志向が弱い

Q9 山梨大学工学部の最も良いと思う点は？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	学生が真面目・誠実【同意見:計40件】
2	学生が素直【同意見:計3件】
3	学生の基礎学力・能力が高い【同意見:計8件】
4	学生の専門知識が豊富、専門スキルが高い【同意見:計11件】
5	学生に協調性がある
6	学生に積極性・探究心がある
7	学生に忍耐力がある
8	学生に発表力がある
9	学生に傾聴力がある【同意見:計2件】
10	多くの優秀な人材を輩出し、山梨県の産業を支える基盤となっている
11	幅広く工学に関して学べる
12	JABEE認定を受けている(土木環境工学科)
13	山梨ならではの研究(ワイン関係等)を行っており、学生がイキイキとしている
14	地域の実情に即しながら、山梨県への愛着を持っている
15	自社と関係の深い研究を行っている【同意見:計2件】
16	医療に関する研究を行っている
17	企業との関係性があり、産学連携の研究もしている
18	将来に健全な危機感を持っている
19	熱意のある教職員が多い【同意見:計2件】

Q10 山梨大学工学部の最も良くないと思う点は？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	学生が大人しい・活発さが不足【同意見:計9件】
2	学生のコミュニケーション能力が不足【同意見:計2件】
3	学生のリーダーシップが不足【同意見:計2件】
4	学生の向上心が不足【同意見:計2件】
5	学生の提案力が不足
6	学生の発信力が不足
7	学生の学業以外の経験値が低い
8	グローバルな志向が不足しがち【同意見:計2件】
9	県内就職率が低い
10	自社の知名度が低い・応募が少ない【同意見:計4件】

Q11 山梨大学にあったら良いと思う学部・学科は？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	情報学部【同意見:計2件】
2	データサイエンス学科【同意見:計2件】
3	理学部
4	エネルギー関連学科
5	(電気電子以外の)半導体関連学科(物理、材料等)
6	建築学科
7	航空宇宙系の学科
8	機械工学と工業化学の両方を学ぶことができる学科
9	技術営業を育成するような学科
10	理系と文系を横断的に学ぶことのできる学科
11	農学部
12	薬学部【同意見:計2件】
13	獣医学部
14	微生物研究関連学科
15	経済学部【同意見:計3件】
16	社会学部

Q12 山梨大学で実施して欲しいリカレント教育講座は？(自由記述)

No.	意見
1	情報工学基礎
2	プログラミング
3	IT活用
4	電子電気基礎

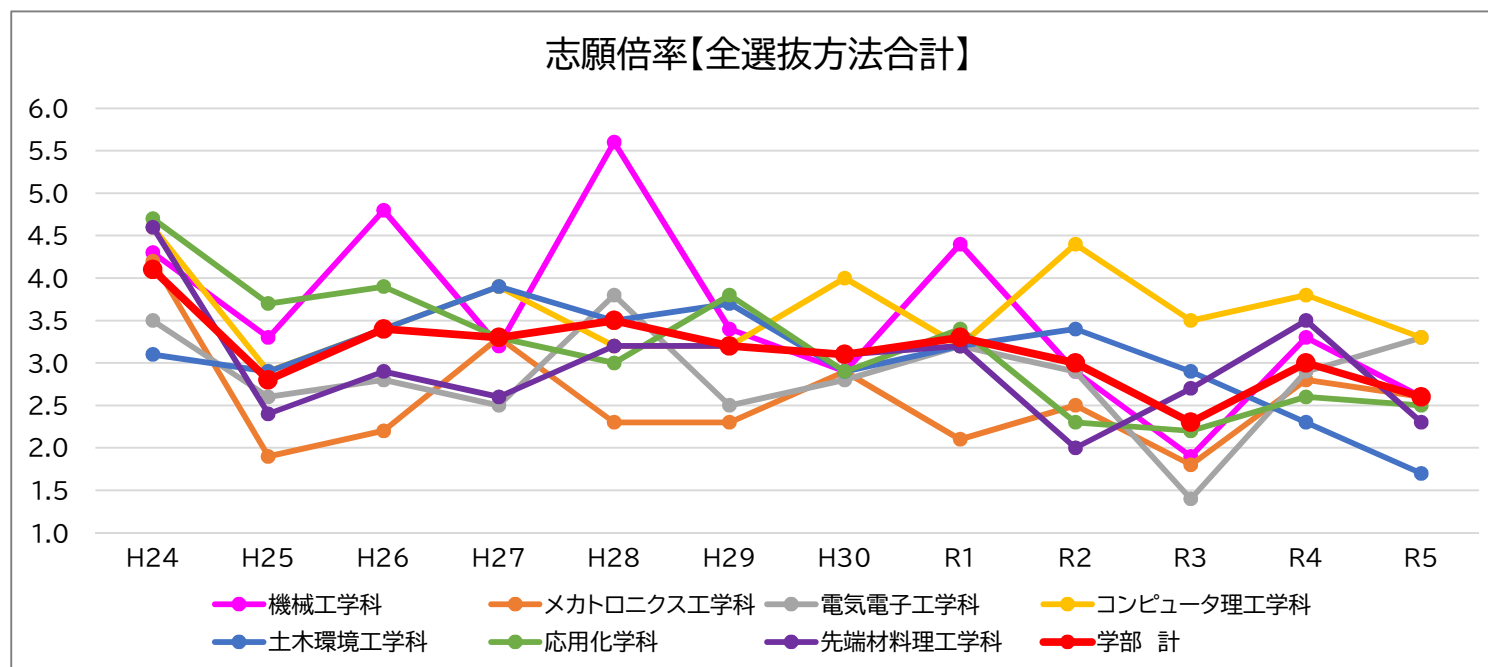
Q13 山梨大学工学部に期待することは？(自由記述)

No.	意見(同意見は集約)
1	山梨県内への就職・人材の輩出【同意見:計17件】
2	静岡県内への就職・人材の輩出【同意見:計5件】
3	長野県内への就職・人材の輩出【同意見:計2件】
4	地域のみならず全国で活躍できる人材の輩出【同意見:計2件】
5	グローバルに活躍できる人材の輩出【同意見:計6件】
6	工学系の知識・技術を有する優秀な人材の輩出【同意見:計14件】
7	積極性や探究心、向上心のある人材の輩出【同意見:計5件】
8	自社や業界を学生に知ってもらうための説明会や見学会等の開催【同意見:計5件】
9	社会や地域に貢献できる技術の普及
10	静岡県内企業とのより一層の産学交流
11	1人1人が何かの「プロ」意識を持って欲しい

○ 工学部各学科の入試倍率【全選抜方法合計】

■ 志願倍率(志願者／募集人員) / 「学部 計」未満の場合、緑網掛け

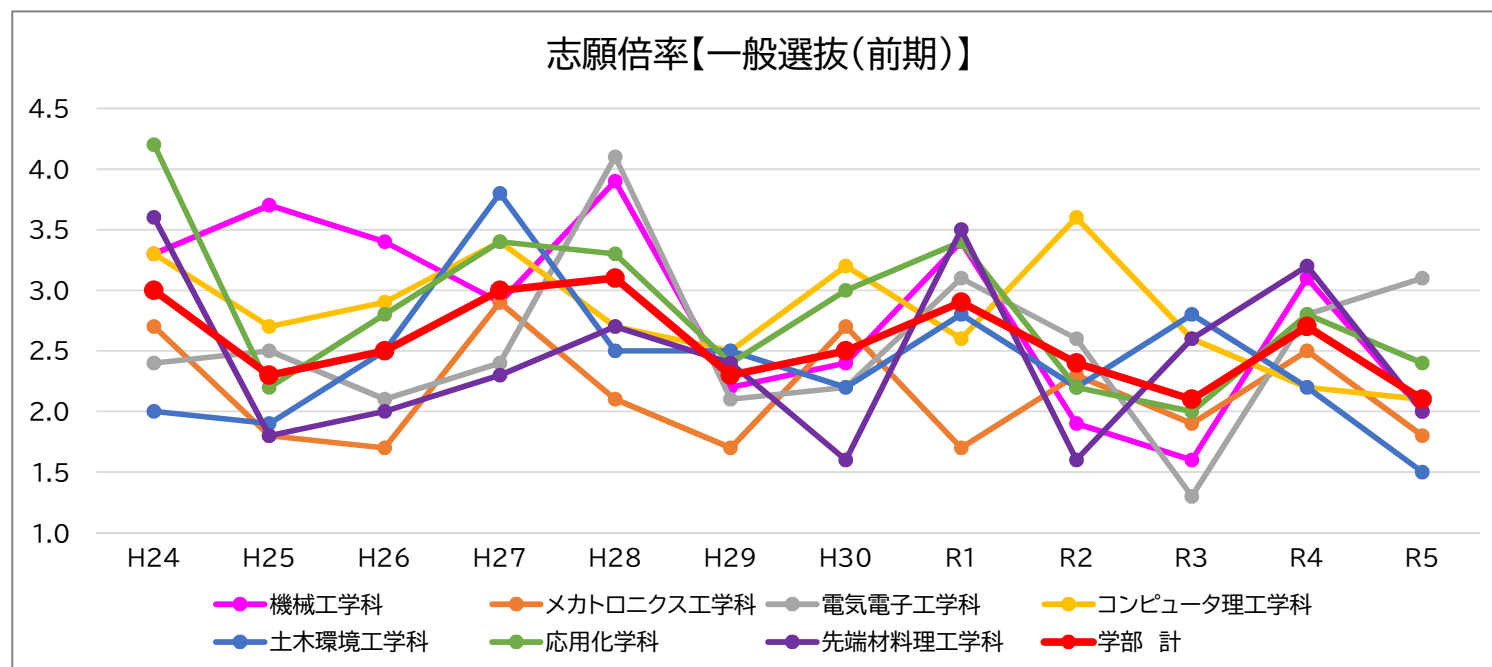
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H24-R5 平均	R1-R5 平均
機械工学科	4.3	3.3	4.8	3.2	5.6	3.4	2.9	4.4	2.9	1.9	3.3	2.6	3.55	3.02
メカトロニクス工学科	4.2	1.9	2.2	3.3	2.3	2.3	2.9	2.1	2.5	1.8	2.8	2.6	2.58	2.36
電気電子工学科	3.5	2.6	2.8	2.5	3.8	2.5	2.8	3.2	2.9	1.4	2.9	3.3	2.85	2.74
コンピュータ理工学科	4.6	2.9	3.4	3.9	3.2	3.2	4.0	3.2	4.4	3.5	3.8	3.3	3.62	3.64
土木環境工学科	3.1	2.9	3.4	3.9	3.5	3.7	2.9	3.2	3.4	2.9	2.3	1.7	3.08	2.70
応用化学科	4.7	3.7	3.9	3.3	3.0	3.8	2.9	3.4	2.3	2.2	2.6	2.5	3.19	2.60
先端材料理工学科	4.6	2.4	2.9	2.6	3.2	3.2	3.1	3.2	2.0	2.7	3.5	2.3	2.98	2.74
学部 計	4.1	2.8	3.4	3.3	3.5	3.2	3.1	3.3	3.0	2.3	3.0	2.6	3.13	2.84



○ 工学部各学科の入試倍率【一般選抜(前期)】

■ 志願倍率(志願者／募集人員) / 「学部 計」未満の場合、緑網掛け

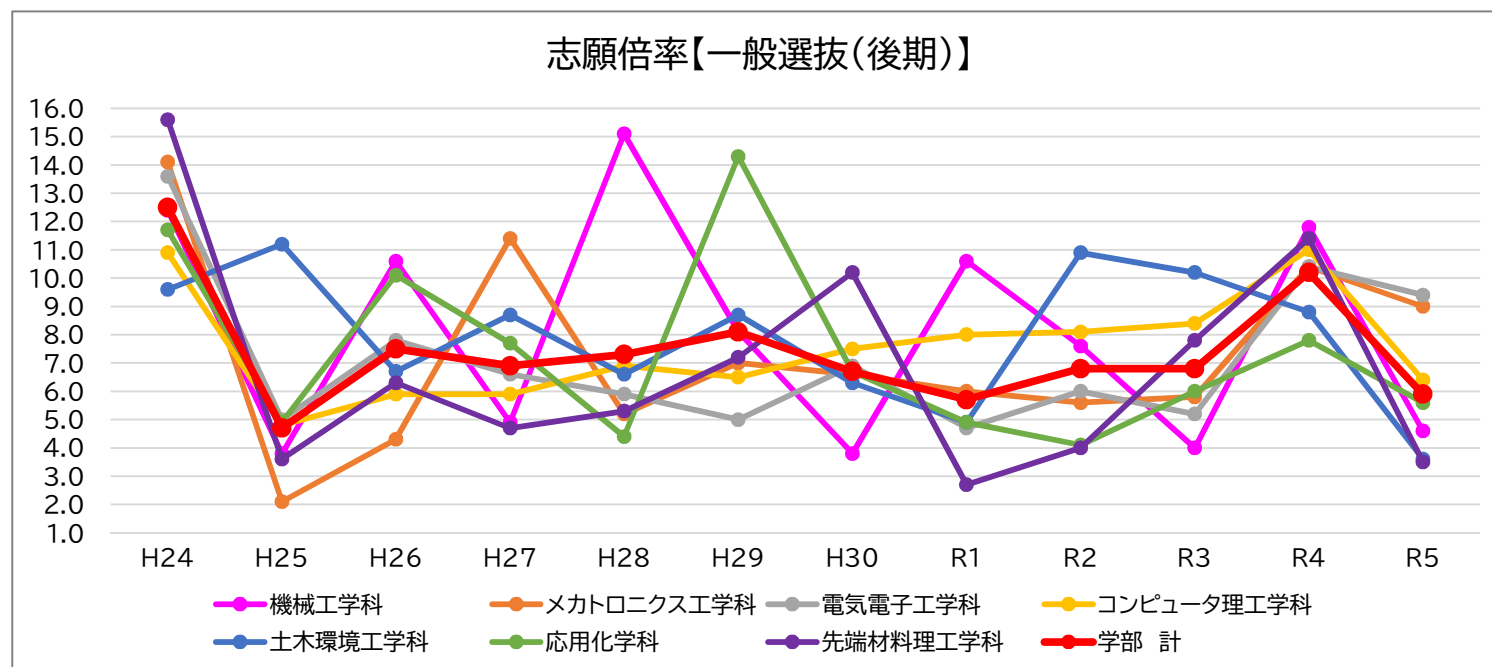
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H24-R5 平均	R1-R5 平均
機械工学科	3.3	3.7	3.4	2.9	3.9	2.2	2.4	3.4	1.9	1.6	3.1	2.0	2.82	2.40
メカトロニクス工学科	2.7	1.8	1.7	2.9	2.1	1.7	2.7	1.7	2.3	1.9	2.5	1.8	2.15	2.04
電気電子工学科	2.4	2.5	2.1	2.4	4.1	2.1	2.2	3.1	2.6	1.3	2.8	3.1	2.56	2.58
コンピュータ理工学科	3.3	2.7	2.9	3.4	2.7	2.5	3.2	2.6	3.6	2.6	2.2	2.1	2.82	2.62
土木環境工学科	2.0	1.9	2.5	3.8	2.5	2.5	2.2	2.8	2.2	2.8	2.2	1.5	2.41	2.30
応用化学科	4.2	2.2	2.8	3.4	3.3	2.4	3.0	3.4	2.2	2.0	2.8	2.4	2.84	2.56
先端材料理工学科	3.6	1.8	2.0	2.3	2.7	2.4	1.6	3.5	1.6	2.6	3.2	2.0	2.44	2.58
学部 計	3.0	2.3	2.5	3.0	3.1	2.3	2.5	2.9	2.4	2.1	2.7	2.1	2.58	2.44



○ 工学部各学科の入試倍率【一般選抜(後期)】

■ 志願倍率(志願者／募集人員) / 「学部 計」未滿の場合、緑網掛け

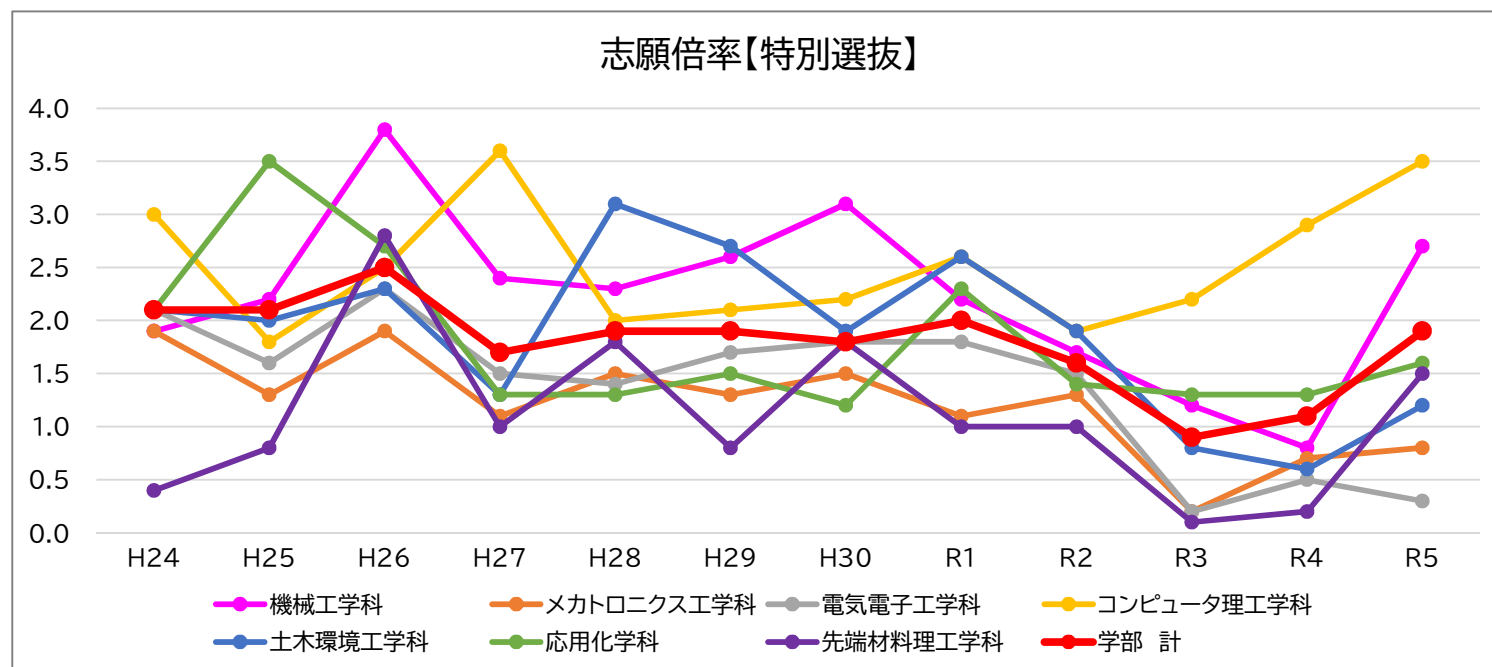
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H24-R5 平均	R1-R5 平均
機械工学科	12.4	3.8	10.6	4.9	15.1	8.1	3.8	10.6	7.6	4.0	11.8	4.6	8.11	7.72
メカトロニクス工学科	14.1	2.1	4.3	11.4	5.2	7.0	6.6	6.0	5.6	5.8	10.4	9.0	7.29	7.36
電気電子工学科	13.6	5.0	7.8	6.6	5.9	5.0	6.9	4.7	6.0	5.2	10.4	9.4	7.21	7.14
コンピュータ理工学科	10.9	4.8	5.9	5.9	6.9	6.5	7.5	8.0	8.1	8.4	11.0	6.4	7.53	8.38
土木環境工学科	9.6	11.2	6.7	8.7	6.6	8.7	6.3	4.9	10.9	10.2	8.8	3.6	8.02	7.68
応用化学科	11.7	4.9	10.1	7.7	4.4	14.3	6.7	4.9	4.1	6.0	7.8	5.6	7.35	5.68
先端材料理工学科	15.6	3.6	6.3	4.7	5.3	7.2	10.2	2.7	4.0	7.8	11.4	3.5	6.86	5.88
学部 計	12.5	4.7	7.5	6.9	7.3	8.1	6.7	5.7	6.8	6.8	10.2	5.9	7.43	7.08



○ 工学部各学科の入試倍率【特別選抜(R2以前:推薦・AO、R3以降:総合型Ⅰ・Ⅱ)】

■ 志願倍率(志願者／募集人員) / 「学部 計」未満の場合、緑網掛け

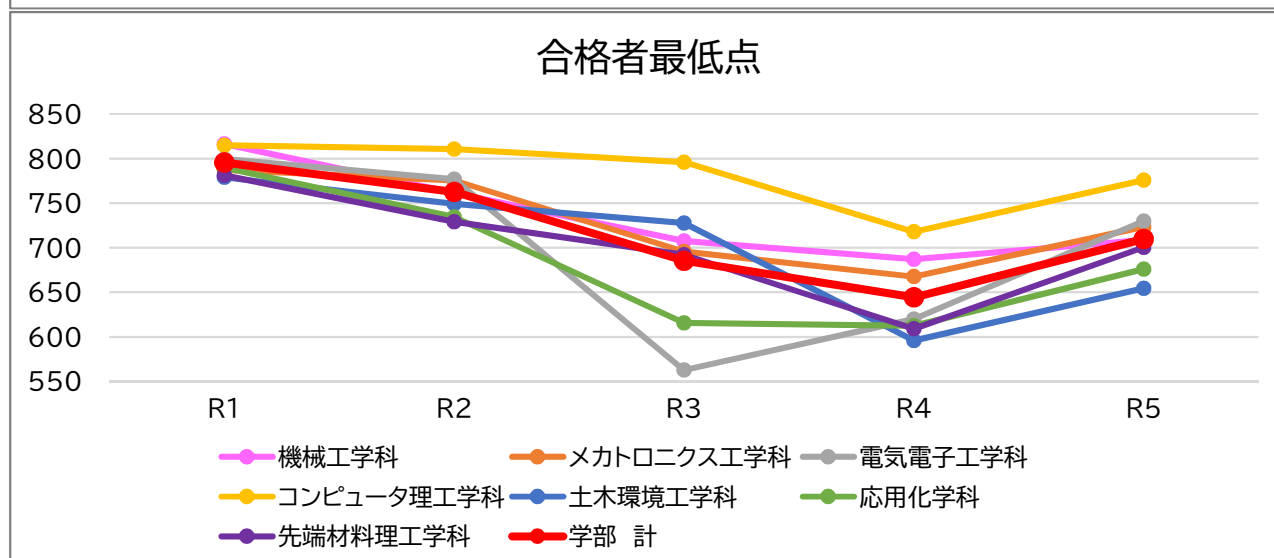
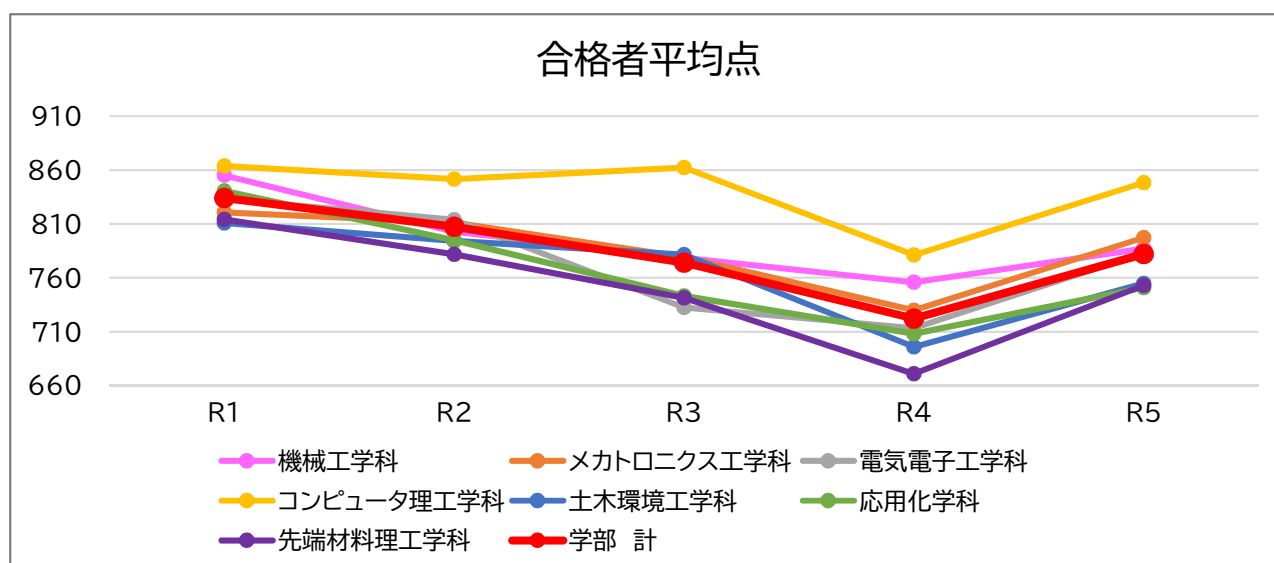
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H24-R5 平均	R1-R5 平均
機械工学科	1.9	2.2	3.8	2.4	2.3	2.6	3.1	2.2	1.7	1.2	0.8	2.7	2.24	1.72
メカトロニクス工学科	1.9	1.3	1.9	1.1	1.5	1.3	1.5	1.1	1.3	0.2	0.7	0.8	1.22	0.82
電気電子工学科	2.1	1.6	2.3	1.5	1.4	1.7	1.8	1.8	1.5	0.2	0.5	0.3	1.39	0.86
コンピュータ理工学科	3.0	1.8	2.5	3.6	2.0	2.1	2.2	2.6	1.9	2.2	2.9	3.5	2.53	2.62
土木環境工学科	2.1	2.0	2.3	1.3	3.1	2.7	1.9	2.6	1.9	0.8	0.6	1.2	1.88	1.42
応用化学科	2.1	3.5	2.7	1.3	1.3	1.5	1.2	2.3	1.4	1.3	1.3	1.6	1.79	1.58
先端材料理工学科	0.4	0.8	2.8	1.0	1.8	0.8	1.8	1.0	1.0	0.1	0.2	1.5	1.10	0.76
学部 計	2.1	2.1	2.5	1.7	1.9	1.9	1.8	2.0	1.6	0.9	1.1	1.9	1.79	1.50



○ 工学部各学科の合格者平均・最低点 【一般選抜(前期)】(R1～R5年度)

■合格者平均・最低点 上段(黒字):平均点、下段(青字):最低点

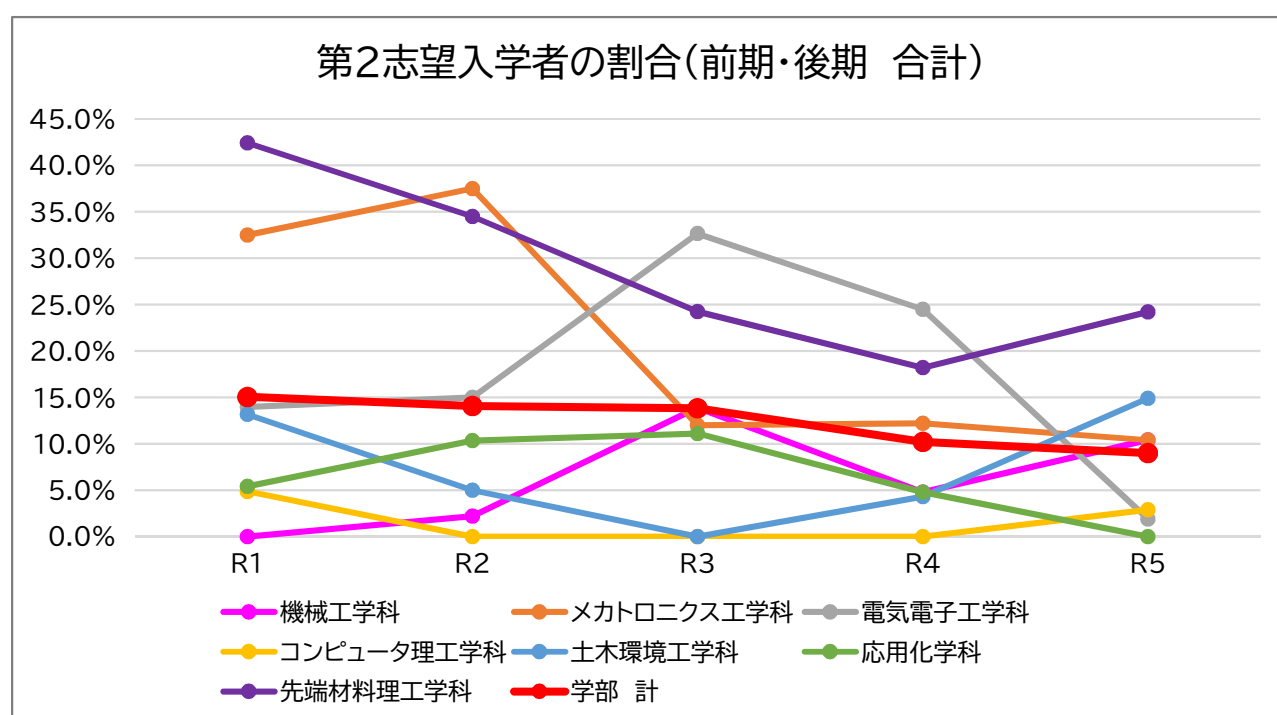
	R1	R2	R3	R4	R5	平均
機械工学科	855.1	802.8	778.5	755.8	787.1	795.9
	816.3	761.5	707.7	687.1	708.6	736.2
メカトロニクス工学科	820.6	811.3	779.0	729.9	797.1	787.6
	787.3	775.3	695.8	667.6	723.3	729.9
電気電子工学科	833.2	813.8	732.5	713.3	783.0	775.2
	799.6	776.7	562.8	620.0	729.8	697.8
コンピュータ理工学科	863.8	851.6	862.4	781.1	848.3	841.4
	814.9	810.5	795.8	717.9	775.9	783.0
土木環境工学科	810.8	794.2	781.6	695.9	754.8	767.5
	778.9	749.2	727.6	595.9	654.3	701.2
応用化学科	840.7	794.8	743.1	708.1	750.8	767.5
	789.7	734.6	615.5	612.4	676.0	685.6
先端材料理工学科	814.1	781.9	741.4	670.9	752.9	752.2
	781.2	729.2	692.1	609.1	700.3	702.4
学部 計	834.0	807.2	774.1	722.1	782.0	783.9
	795.4	762.4	685.3	644.3	709.7	719.4



○ 工学部第2志望入学者の割合(R1～R5年度)

■一般選抜(前期・後期 合計)

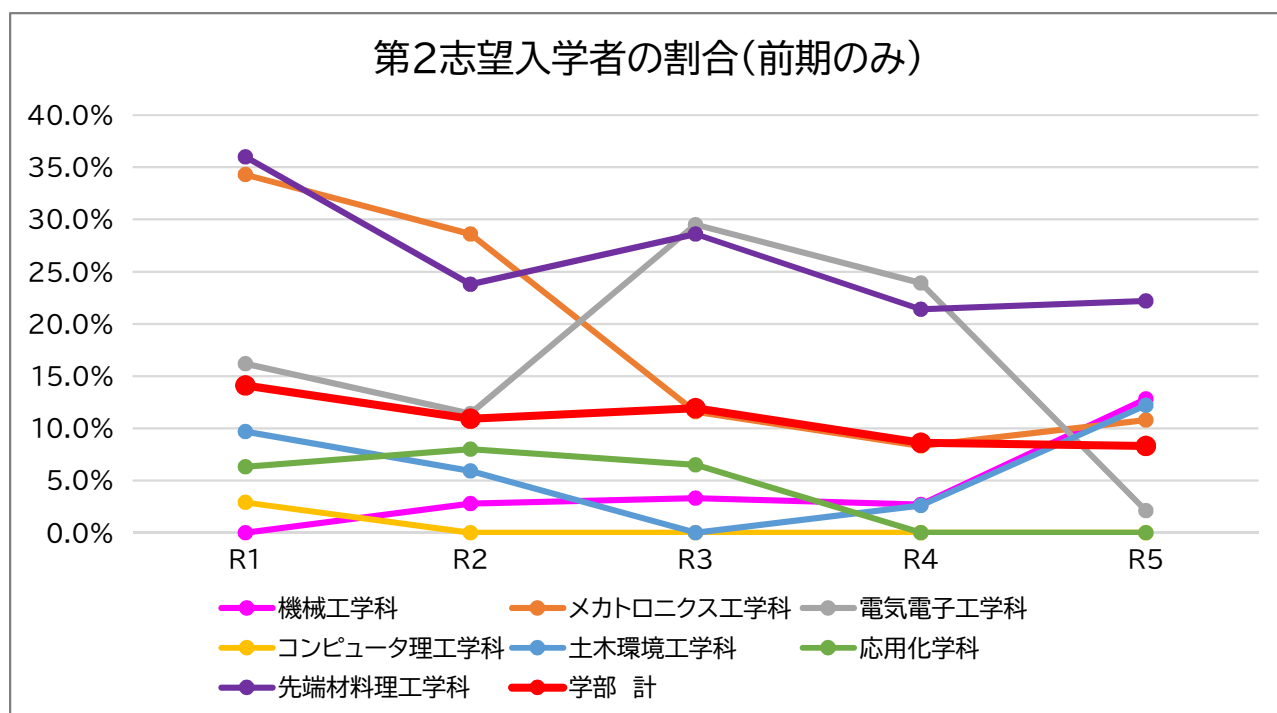
学科	R1	R2	R3	R4	R5	平均
機械工学科	0.0%	2.2%	13.9%	4.8%	10.4%	6.3%
メカトロニクス工学科	32.5%	37.5%	12.0%	12.2%	10.4%	20.9%
電気電子工学科	14.0%	15.0%	32.7%	24.5%	1.9%	17.6%
コンピュータ理工学科	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	1.6%
土木環境工学科	13.2%	5.0%	0.0%	4.3%	14.9%	7.5%
応用化学科	5.4%	10.3%	11.1%	4.8%	0.0%	6.3%
先端材料理工学科	42.4%	34.5%	24.2%	18.2%	24.2%	28.7%
学部 計	15.1%	14.1%	13.8%	10.2%	9.0%	12.4%



○ 工学部第2志望入学者の割合(R1～R5年度)

■一般選抜(前期のみ)

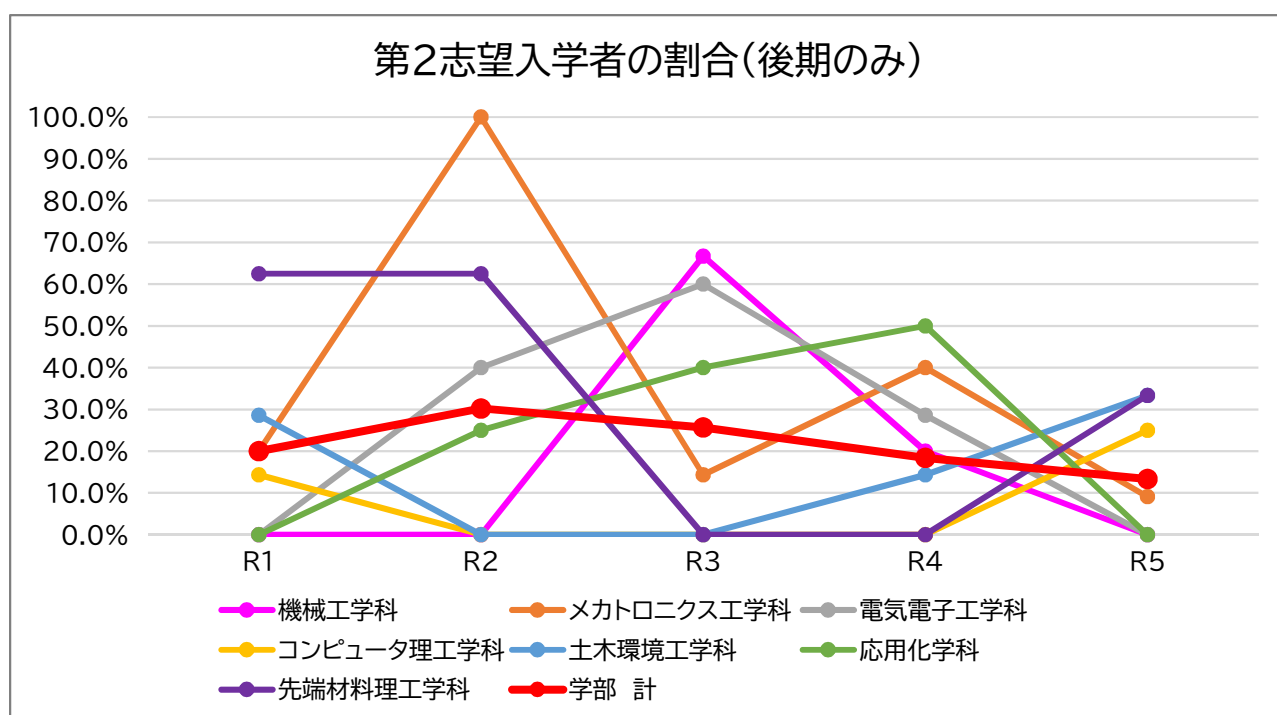
学科	R1	R2	R3	R4	R5	平均
機械工学科	0.0%	2.8%	3.3%	2.7%	12.8%	4.3%
メカトロニクス工学科	34.3%	28.6%	11.6%	8.3%	10.8%	18.7%
電気電子工学科	16.2%	11.4%	29.5%	23.9%	2.1%	16.6%
コンピュータ理工学科	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
土木環境工学科	9.7%	5.9%	0.0%	2.6%	12.2%	6.1%
応用化学科	6.3%	8.0%	6.5%	0.0%	0.0%	4.2%
先端材料理工学科	36.0%	23.8%	28.6%	21.4%	22.2%	26.4%
学部 計	14.1%	10.9%	11.9%	8.6%	8.3%	10.8%



○ 工学部第2志望入学者の割合(R1～R5年度)

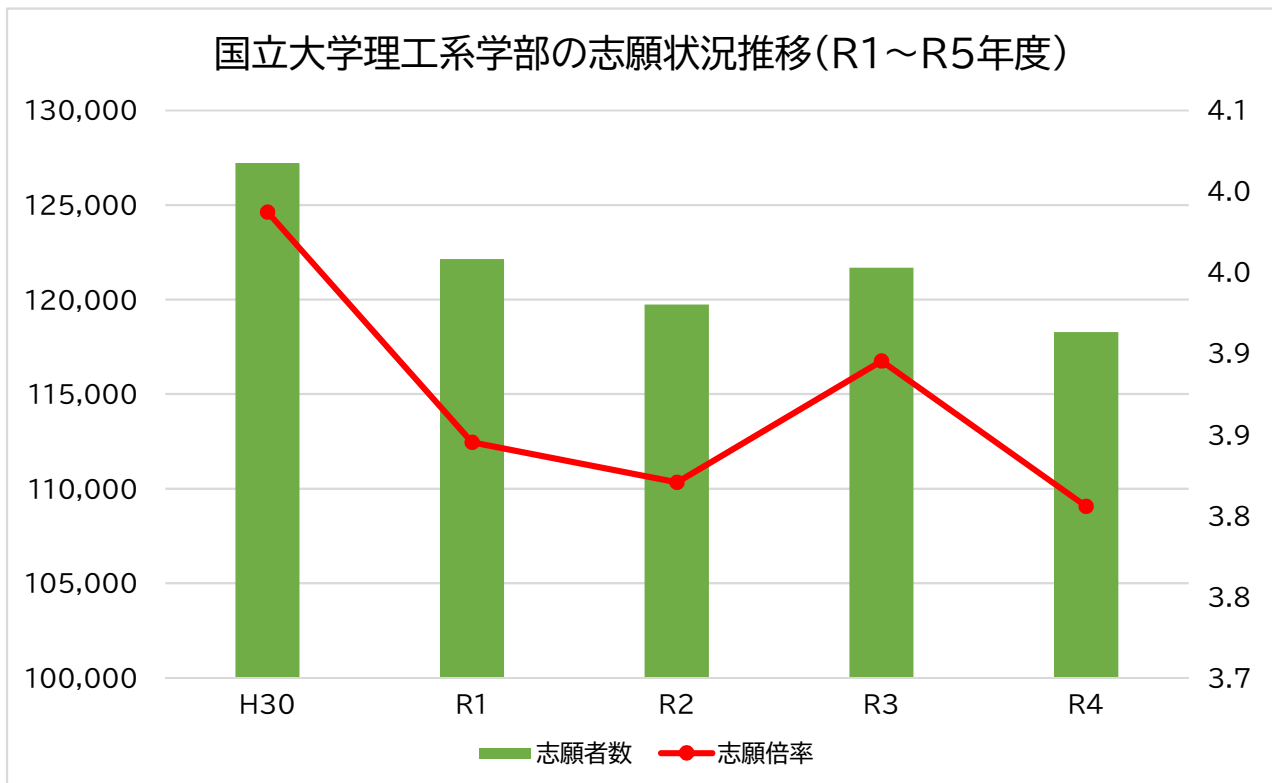
■一般選抜(後期のみ)

学科	R1	R2	R3	R4	R5	平均
機械工学科	0.0%	0.0%	66.7%	20.0%	0.0%	17.3%
メカトロニクス工学科	20.0%	100.0%	14.3%	40.0%	9.1%	36.7%
電気電子工学科	0.0%	40.0%	60.0%	28.6%	0.0%	25.7%
コンピュータ理工学科	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	7.9%
土木環境工学科	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	33.3%	15.2%
応用化学科	0.0%	25.0%	40.0%	50.0%	0.0%	23.0%
先端材料理工学科	62.5%	62.5%	0.0%	0.0%	33.3%	31.7%
学部 計	20.0%	30.2%	25.6%	18.4%	13.3%	21.5%



○ 国立大学理工系学部の志願状況推移(R1～R5年度)

	H30	R1	R2	R3	R4
募集人員	31,905	31,761	31,340	31,236	31,079
志願者数	127,215	122,129	119,738	121,680	118,278
志願倍率	4.0	3.8	3.8	3.9	3.8

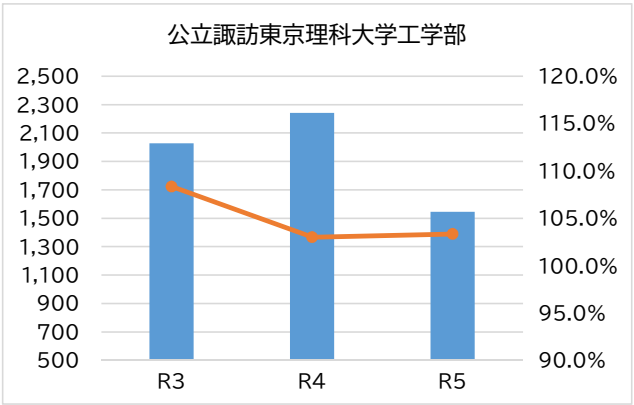
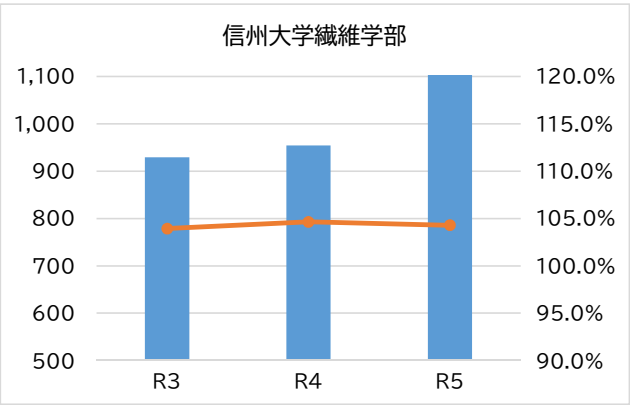
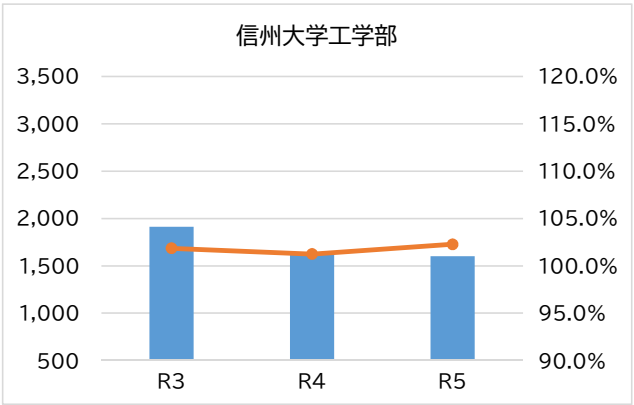
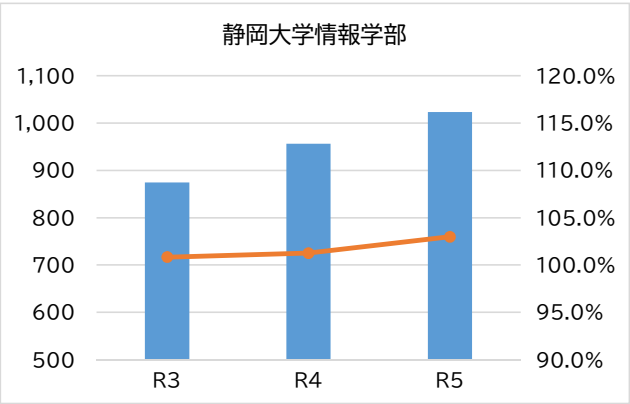
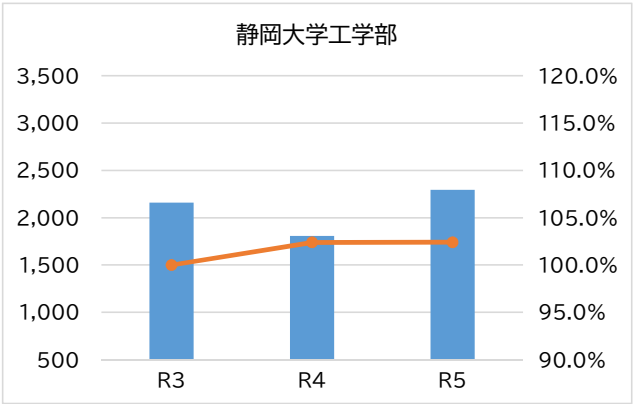


出典:文部科学省「国公立大学入学者選抜の志願状況等」

○ 静岡大学、信州大学、公立諏訪東京理科大学の入試実施状況(R3～R5年度)

		R3	R4	R5
静岡大学工学部	募集人員	545	545	540
	志願者数	2,157	1,807	2,294
	志願倍率	4.0	3.3	4.2
	受験者数	1,451	1,169	1,583
	合格者数	610	621	597
	入学者数	545	558	553
	充足率	100.0%	102.4%	102.4%
静岡大学情報学部	募集人員	240	240	235
	志願者数	874	956	1,023
	志願倍率	3.6	4.0	4.4
	受験者数	543	639	618
	合格者数	268	273	262
	入学者数	242	243	242
	充足率	100.8%	101.3%	103.0%
信州大学工学部	募集人員	485	485	485
	志願者数	1,912	1,638	1,599
	志願倍率	3.9	3.4	3.3
	受験者数	1,364	1,163	1,118
	合格者数	534	533	535
	入学者数	494	491	496
	充足率	101.9%	101.2%	102.3%
信州大学繊維学部	募集人員	280	280	280
	志願者数	929	954	1,119
	志願倍率	3.3	3.4	4.0
	受験者数	642	634	755
	合格者数	329	329	329
	入学者数	291	293	292
	充足率	103.9%	104.6%	104.3%
公立諏訪東京理科大学工学部	募集人員	300	300	300
	志願者数	2,026	2,241	1,545
	志願倍率	6.8	7.5	5.2
	受験者数	1,268	1,302	1,006
	合格者数	474	440	399
	入学者数	325	309	310
	充足率	108.3%	103.0%	103.3%

志願者数(青)・充足率(橙)



※志願者数の目盛は学部毎に異なる

18歳人口予測（全体：エリア別：2021～2033年）別添資料10

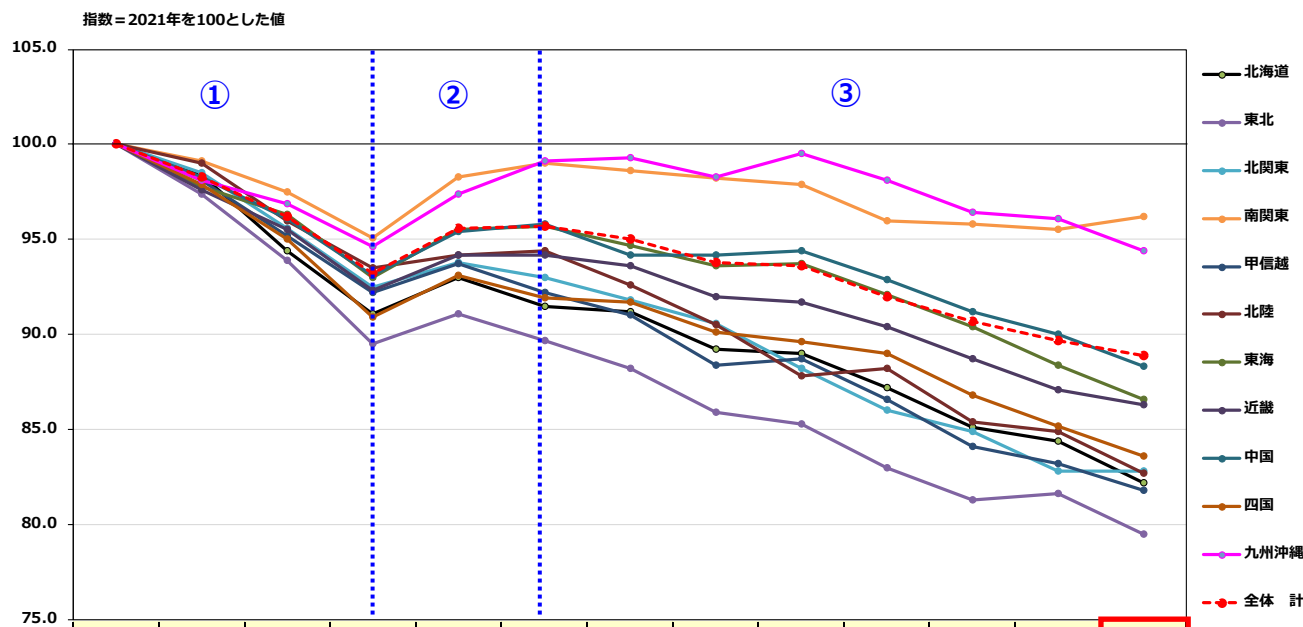
■減少率が高いのは東北（2021年比79.5%）、減少数が大きいのは近畿（26,060人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2021年比79.5%）、2位 甲信越（81.8%）、3位 北海道（82.2%）。
- ・減少数が大きいのは、1位 近畿（26,060人減）、2位 東海（19,209人減）、3位 東北（16,459人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（96.2%）、2位 九州沖縄（94.4%）、3位 中国（88.3%）。
- ・エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。

- ① 2021～2024年：全国では約8万人減少、エリアも含め減少傾向になる時期
- ② 2024～2026年：全国で約2.9万人増加、人口が回復する時期
- ③ 2026～2033年：回復後さらに減少する時期

リクルート進学総研
マーケットレポート
Vol.94 2022年5月号
(抜粋)

注) 減少率=2033年人数÷2021年人数で算出。



		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年
全体 計	人数	1,141,140	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,537	1,092,199	1,084,161	1,070,907	1,068,668	1,050,118	1,034,763	1,023,785	1,014,014
	指数	100.0	98.3	96.2	93.2	95.6	95.7	95.0	93.8	93.6	92.0	90.7	89.7	88.9
北海道	人数	45,007	44,276	42,489	41,008	41,855	41,196	41,044	40,133	40,060	39,265	38,291	37,965	36,983
	指数	100.0	98.4	94.4	91.1	93.0	91.5	91.2	89.2	89.0	87.2	85.1	84.4	82.2
東北	人数	80,269	78,146	75,379	71,820	73,091	72,012	70,805	68,979	68,473	66,589	65,295	65,461	63,810
	指数	100.0	97.4	93.9	89.5	91.1	89.7	88.2	85.9	85.3	83.0	81.3	81.6	79.5
北関東	人数	64,677	63,720	61,863	59,826	60,687	60,125	59,402	58,574	57,051	55,603	54,902	53,568	53,557
	指数	100.0	98.5	95.6	92.5	93.8	93.0	91.8	90.6	88.2	86.0	84.9	82.8	82.8
南関東	人数	301,999	299,356	294,497	287,188	296,717	299,066	297,730	296,434	295,571	289,921	289,460	288,423	290,523
	指数	100.0	99.1	97.5	95.1	98.3	99.0	98.6	98.2	97.9	96.0	95.8	95.5	96.2
甲信越	人数	47,817	46,907	45,536	44,069	44,782	44,064	43,490	42,249	42,437	41,419	40,234	39,775	39,135
	指数	100.0	98.1	95.2	92.2	93.7	92.2	91.0	88.4	88.7	86.6	84.1	83.2	81.8
北陸	人数	27,814	27,545	26,692	26,002	26,213	26,265	25,765	25,176	24,432	24,519	23,766	23,614	23,013
	指数	100.0	99.0	96.0	93.5	94.2	94.4	92.6	90.5	87.8	88.2	85.4	84.9	82.7
東海	人数	143,651	140,510	138,309	133,555	137,253	137,485	136,041	134,477	134,542	132,362	129,854	126,955	124,442
	指数	100.0	97.8	96.3	93.0	95.5	95.7	94.7	93.6	93.7	92.1	90.4	88.4	86.6
近畿	人数	190,286	185,626	181,639	175,609	179,326	179,180	178,016	174,980	174,564	172,074	168,834	165,668	164,226
	指数	100.0	97.6	95.5	92.3	94.2	94.2	93.6	92.0	91.7	90.4	88.7	87.1	86.3
中国	人数	67,945	66,821	65,318	63,279	64,838	65,107	64,017	64,026	64,132	63,091	61,964	61,184	60,014
	指数	100.0	98.3	96.1	93.1	95.4	95.8	94.2	94.2	94.4	92.9	91.2	90.0	88.3
四国	人数	34,558	33,841	32,825	31,419	32,176	31,760	31,673	31,151	30,967	30,755	30,003	29,452	28,899
	指数	100.0	97.9	95.0	90.9	93.1	91.9	91.7	90.1	89.6	89.0	86.8	85.2	83.6
九州沖縄	人数	137,117	134,537	132,869	129,676	133,599	135,939	136,178	134,728	136,439	134,520	132,160	131,720	129,412
	指数	100.0	98.1	96.9	94.6	97.4	99.1	99.3	98.3	99.5	98.1	96.4	96.1	94.4

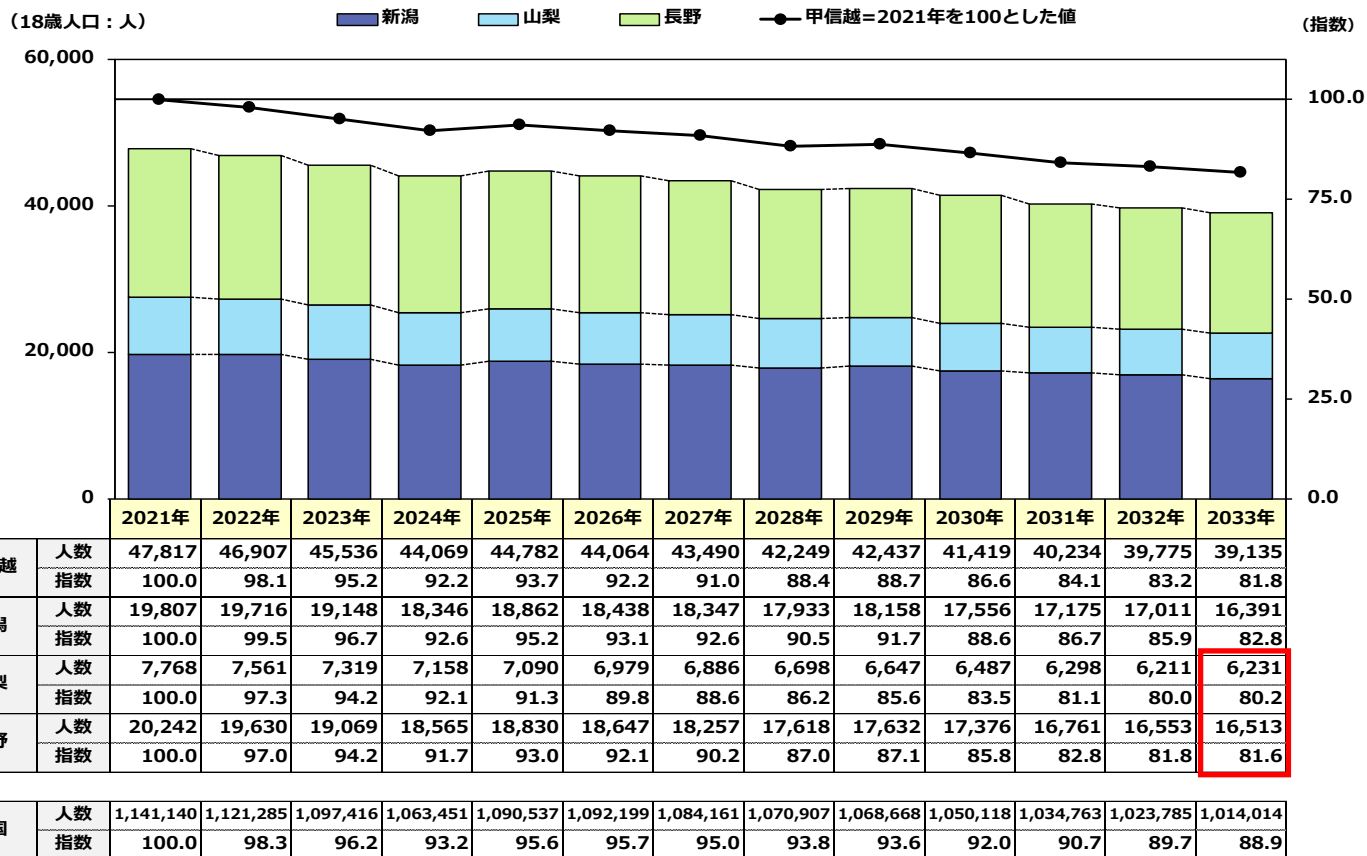
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（全体：甲信越：2021～2033年）

リクルート進学総研
マーケットレポート
Vol.99 2022年6月号
(抜粋)

■2021年47,817人→2033年39,135人（8,682人減少）

- ・甲信越エリアは12年間で8,682人・18.2%減少し、全国の減少率11.1%を7.1ポイント上回る。
- ・2024年に44,069人まで減少し、翌2025年に713人増加するが、翌2026年から2028年まで減少が続く。2029年に微増するものの、翌2030年以降は再び減少傾向。
- ・減少率が高いのは、山梨県（2021年比較19.8%減少）。
- ・減少数が多いのは、長野県（2021年20,242人→2033年16,513人、3,729人減少）。

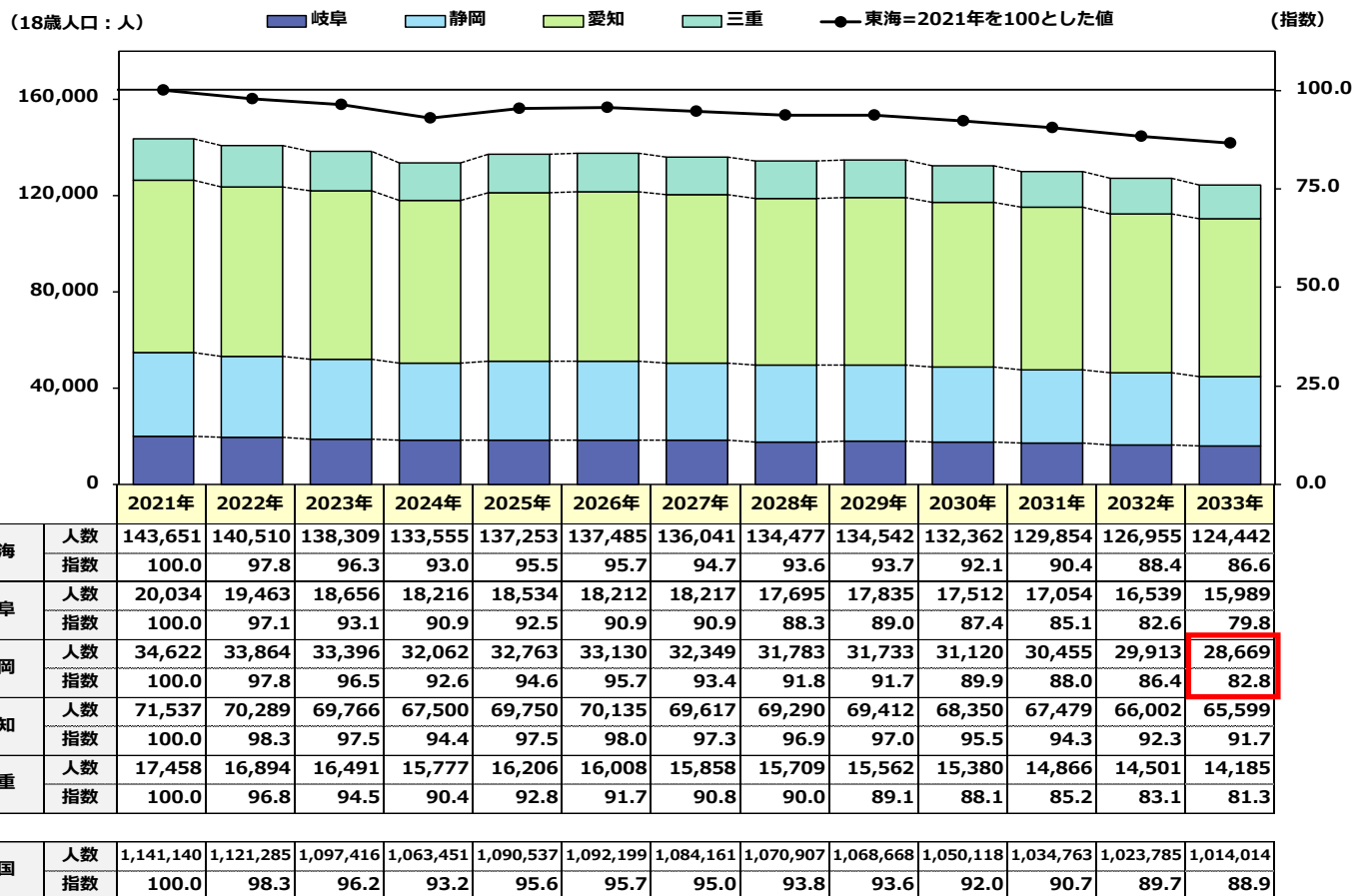


18歳人口予測（全体：東海：2021～2033年）

リクルート進学総研
マーケットレポート
Vol.101 2022年6月号
(抜粋)

■ 2021年143,651人→2033年124,442人（19,209人減少）

- ・東海エリアは12年間で19,209人・13.4%減少し、全国の減少率11.1%を2.3ポイント上回る。
- ・2024年に133,555人まで減少するが、2026年に3,930人増加した後、2028年までに再び減少する（3,008人減少）。翌2029年に微増するが、2030年以降は減少が続く。
- ・減少率が高いのは、岐阜県（2021年比較20.2%減少）。
- ・減少数が多いのは、静岡県（2021年34,622人→2033年28,669人、5,953人減少）。



大学進学率の推移（現役：エリア別：2012～2021年）

■2012年47.7%→2021年52.9%（5.2ポイント上昇）

・全体の大学進学率は2012年47.7%→2021年52.9%と、10年間で5.2ポイント上昇。

2019年から50%台の進学率となっている。

2016～2018年の3年間は横ばいのトレンド（49.3%→49.7%）。

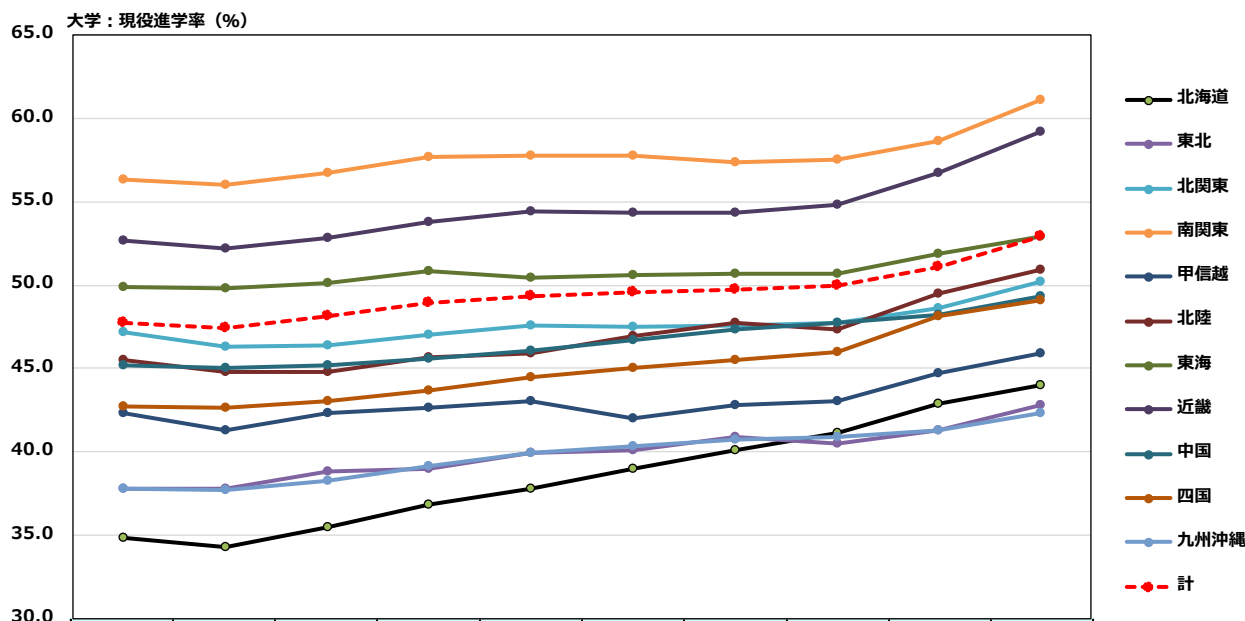
リクルート進学総研
マーケットレポート
Vol.94 2022年5月号
（抜粋）

・上昇が大きいのは、1位 北海道（126.4）、2位 四国（115.0）、3位 東北（113.2）。※注

・上昇が小さいのは、1位 東海（106.0）、2位 南関東・甲信越（108.5）。※注

・2021年進学率が高いのは、1位 南関東（61.1%）、2位 近畿（59.2%）、3位 東海（52.9%）。

※注（）内は指数＝2012年を100として算出



		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
計	進学率	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9
	指数	100.0	99.4	100.8	102.5	103.4	104.0	104.2	104.8	107.1	110.9
北海道	進学率	34.8	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1	41.1	42.9	44.0
	指数	100.0	98.6	102.0	105.7	108.6	112.1	115.2	118.1	123.3	126.4
東北	進学率	37.8	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9	40.5	41.3	42.8
	指数	100.0	100.0	102.6	103.2	105.6	106.1	108.2	107.1	109.3	113.2
北関東	進学率	47.2	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6	47.7	48.6	50.2
	指数	100.0	98.1	98.3	99.6	100.8	100.6	100.8	101.1	103.0	106.4
南関東	進学率	56.3	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4	57.5	58.6	61.1
	指数	100.0	99.5	100.7	102.5	102.7	102.7	102.0	102.1	104.1	108.5
甲信越	進学率	42.3	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8	43.0	44.7	45.9
	指数	100.0	97.6	100.0	100.7	101.7	99.3	101.2	101.7	105.7	108.5
北陸	進学率	45.5	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7	47.3	49.5	50.9
	指数	100.0	98.5	98.5	100.4	100.9	103.1	104.8	104.0	108.8	111.9
東海	進学率	49.9	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7	50.7	51.9	52.9
	指数	100.0	99.8	100.4	101.8	101.0	101.4	101.6	101.6	104.0	106.0
近畿	進学率	52.7	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7	59.2
	指数	100.0	99.1	100.2	102.1	103.2	103.0	103.0	104.0	107.6	112.3
中国	進学率	45.2	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3	47.7	48.2	49.3
	指数	100.0	99.6	100.0	100.9	102.0	103.3	104.6	105.5	106.6	109.1
四国	進学率	42.7	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5	46.0	48.1	49.1
	指数	100.0	99.8	100.7	102.3	104.2	105.4	106.6	107.7	112.6	115.0
九州沖縄	進学率	37.8	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3	42.3
	指数	100.0	99.7	101.3	103.4	105.6	106.6	107.7	108.2	109.3	111.9

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2012～2021年）

リクルート進学総研
マーケットレポート
Vol.99 2022年6月号
(抜粋)

			2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
新潟	卒業生数		21,317	21,640	20,091	20,434	20,059	20,013	19,463	19,093	18,854	17,659
	進学者数	大学	8,742	8,691	8,444	8,677	8,525	8,173	8,186	8,152	8,408	7,937
		短期大学	1,027	1,046	993	946	920	928	862	826	783	728
		専門学校	5,785	6,053	5,410	5,310	5,068	5,210	4,983	4,868	4,794	4,869
	進学率 (現役)	大学	41.0	40.2	42.0	42.5	42.5	40.8	42.1	42.7	44.6	44.9
		短期大学	4.8	4.8	4.9	4.6	4.6	4.6	4.4	4.3	4.2	4.1
		専門学校	27.1	28.0	26.9	26.0	25.3	26.0	25.6	25.5	25.4	27.6
山梨	卒業生数		8,652	9,026	8,691	8,549	8,595	8,229	8,341	8,010	7,888	7,727
	進学者数	大学	4,362	4,630	4,437	4,351	4,337	4,255	4,328	4,038	4,071	4,137
		短期大学	541	546	500	521	502	425	439	400	401	374
		専門学校	1,483	1,525	1,466	1,453	1,562	1,441	1,353	1,365	1,316	1,387
	進学率 (現役)	大学	50.4	51.3	51.1	50.9	50.5	51.7	51.9	50.4	51.6	53.5
		短期大学	6.3	6.0	5.8	6.1	5.8	5.2	5.3	5.0	5.1	4.8
		専門学校	17.1	16.9	16.9	17.0	18.2	17.5	16.2	17.0	16.7	18.0
長野	卒業生数		18,664	19,867	18,887	18,887	18,988	18,974	18,923	18,539	18,585	18,064
	進学者数	大学	7,474	7,559	7,279	7,352	7,628	7,393	7,486	7,428	7,791	7,878
		短期大学	1,784	1,917	1,736	1,713	1,675	1,743	1,549	1,396	1,359	1,297
		専門学校	4,187	4,552	4,224	4,197	4,040	3,946	4,023	4,057	4,057	3,945
	進学率 (現役)	大学	40.0	38.0	38.5	38.9	40.2	39.0	39.6	40.1	41.9	43.6
		短期大学	9.6	9.6	9.2	9.1	8.8	9.2	8.2	7.5	7.3	7.2
		専門学校	22.4	22.9	22.4	22.2	21.3	20.8	21.3	21.9	21.8	21.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2012～2021年）

リクルート進学総研
マーケットレポート
Vol.101 2022年6月号
(抜粋)

			2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
岐阜	卒業生数		18,172	18,475	18,263	18,477	18,029	18,379	18,240	18,146	17,778	17,565
	進学者数	大学	8,567	8,763	8,656	8,899	8,534	8,959	8,868	8,980	8,900	9,081
		短期大学	1,283	1,438	1,471	1,453	1,405	1,316	1,248	1,045	1,076	972
		専門学校	2,580	2,645	2,641	2,556	2,406	2,419	2,466	2,396	2,417	2,489
	進学率 (現役)	大学	47.1	47.4	47.4	48.2	47.3	48.7	48.6	49.5	50.1	51.7
		短期大学	7.1	7.8	8.1	7.9	7.8	7.2	6.8	5.8	6.1	5.5
		専門学校	14.2	14.3	14.5	13.8	13.3	13.2	13.5	13.2	13.6	14.2
静岡	卒業生数		32,523	33,516	31,726	32,404	32,058	32,825	32,434	32,163	31,854	31,272
	進学者数	大学	15,693	16,051	15,314	15,922	15,521	15,941	15,744	15,481	15,759	15,687
		短期大学	1,585	1,711	1,499	1,499	1,462	1,401	1,382	1,224	1,211	1,137
		専門学校	5,444	5,543	5,450	5,296	5,388	5,640	5,584	5,539	5,260	5,435
	進学率 (現役)	大学	48.3	47.9	48.3	49.1	48.4	48.6	48.5	48.1	49.5	50.2
		短期大学	4.9	5.1	4.7	4.6	4.6	4.3	4.3	3.8	3.8	3.6
		専門学校	16.7	16.5	17.2	16.3	16.8	17.2	17.2	17.2	16.5	17.4
愛知	卒業生数		60,685	62,798	61,420	63,268	63,656	65,316	64,789	64,458	63,406	62,229
	進学者数	大学	32,043	33,189	32,662	34,005	34,161	34,870	34,791	34,687	34,901	34,927
		短期大学	3,383	3,313	3,144	3,085	3,064	2,733	2,746	2,569	2,349	2,130
		専門学校	7,765	8,119	8,171	8,273	8,195	8,212	8,045	8,119	8,410	8,645
	進学率 (現役)	大学	52.8	52.9	53.2	53.7	53.7	53.4	53.7	53.8	55.0	56.1
		短期大学	5.6	5.3	5.1	4.9	4.8	4.2	4.2	4.0	3.7	3.4
		専門学校	12.8	12.9	13.3	13.1	12.9	12.6	12.4	12.6	13.3	13.9
三重	卒業生数		16,074	16,424	15,798	15,988	15,952	16,212	15,695	15,738	15,384	15,116
	進学者数	大学	7,353	7,329	7,158	7,235	7,095	7,384	7,055	6,974	7,055	7,078
		短期大学	928	968	920	939	898	813	822	763	729	789
		専門学校	2,414	2,393	2,350	2,255	2,374	2,431	2,279	2,294	2,256	2,243
	進学率 (現役)	大学	45.7	44.6	45.3	45.3	44.5	45.5	45.0	44.3	45.9	46.8
		短期大学	5.8	5.9	5.8	5.9	5.6	5.0	5.2	4.8	4.7	5.2
		専門学校	15.0	14.6	14.9	14.1	14.9	15.0	14.5	14.6	14.7	14.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校※）÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程

地元残留率の推移（全体：大学入学者数：エリア別：2012～2021年）

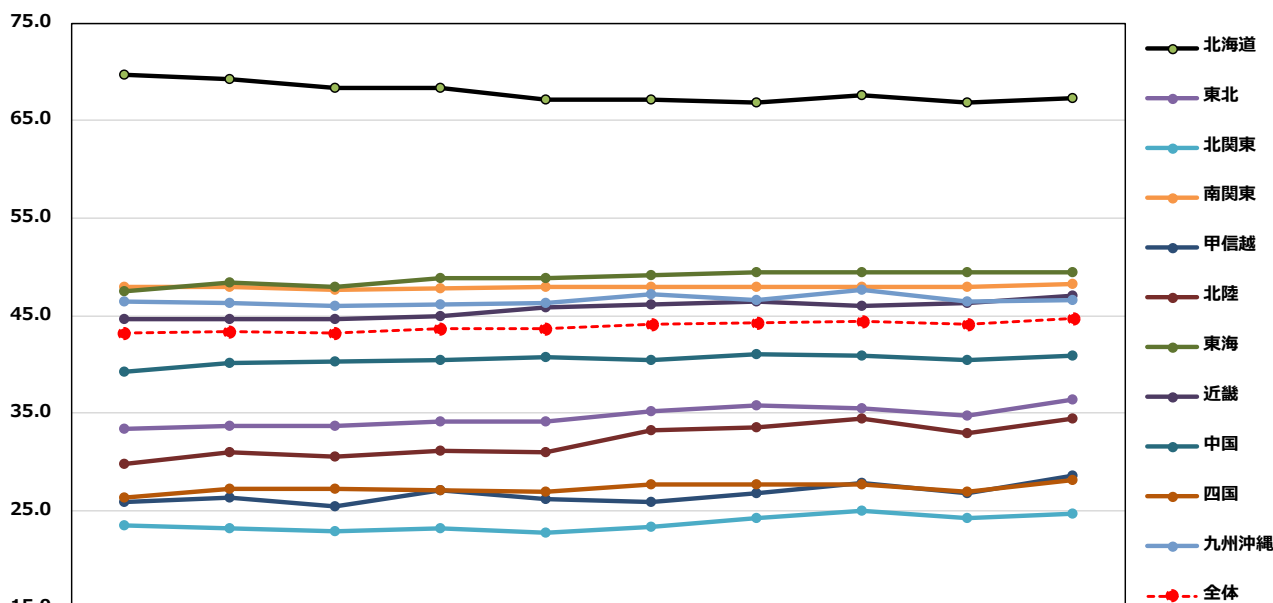
リクルート進学総研
マーケットレポート
Vol.94 2022年5月号
(抜粋)

■2012年43.2%→2021年44.7%（1.5ポイント上昇）

- ・全体で2012年43.2%→2021年44.7%と1.5ポイント上昇。
- ・2021年上昇が高いのは、1位 北陸（115.8）、2位 甲信越（110.4）、3位 東北（109.3）。※注
- ・2021年残留率が高いのは、1位 北海道（67.3%）、2位 東海（49.5%）、3位 南関東（48.2%）。
- ・2021年残留率が低いのは、1位 北関東（24.7%）、2位 四国（28.1%）、3位 甲信越（28.6%）。

※注（）内は指数＝2012年を100として算出

地元残留率（%）：全体



		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全体	残留率	43.2	43.4	43.2	43.6	43.7	44.1	44.2	44.4	44.1	44.7
	指数	100.0	100.5	100.0	100.9	101.2	102.1	102.3	102.8	102.1	103.5
北海道	残留率	69.7	69.2	68.4	68.3	67.1	67.2	66.9	67.6	66.9	67.3
	指数	100.0	99.3	98.1	98.0	96.3	96.4	96.0	97.0	96.0	96.6
東北	残留率	33.3	33.7	33.6	34.1	34.1	35.2	35.7	35.5	34.7	36.4
	指数	100.0	101.2	100.9	102.4	102.4	105.7	107.2	106.6	104.2	109.3
北関東	残留率	23.4	23.1	22.8	23.2	22.7	23.3	24.2	25.0	24.2	24.7
	指数	100.0	98.7	97.4	99.1	97.0	99.6	103.4	106.8	103.4	105.6
南関東	残留率	48.0	47.9	47.7	47.8	47.9	48.0	47.9	47.9	48.0	48.2
	指数	100.0	99.8	99.4	99.6	99.8	100.0	99.8	99.8	100.0	100.4
甲信越	残留率	25.9	26.3	25.4	27.1	26.2	25.9	26.7	27.8	26.8	28.6
	指数	100.0	101.5	98.1	104.6	101.2	100.0	103.1	107.3	103.5	110.4
北陸	残留率	29.7	31.0	30.5	31.1	30.9	33.2	33.5	34.4	32.9	34.4
	指数	100.0	104.4	102.7	104.7	104.0	111.8	112.8	115.8	110.8	115.8
東海	残留率	47.5	48.4	48.0	48.9	48.9	49.2	49.5	49.5	49.4	49.5
	指数	100.0	101.9	101.1	102.9	102.9	103.6	104.2	104.2	104.0	104.2
近畿	残留率	44.7	44.6	44.7	45.0	45.8	46.1	46.4	46.0	46.3	47.0
	指数	100.0	99.8	100.0	100.7	102.5	103.1	103.8	102.9	103.6	105.1
中国	残留率	39.2	40.1	40.3	40.5	40.7	40.5	41.0	40.9	40.4	40.9
	指数	100.0	102.3	102.8	103.3	103.8	103.3	104.6	104.3	103.1	104.3
四国	残留率	26.3	27.2	27.2	27.1	26.9	27.7	27.6	27.6	26.9	28.1
	指数	100.0	103.4	103.4	103.0	102.3	105.3	104.9	104.9	102.3	106.8
九州沖縄	残留率	46.5	46.3	46.0	46.1	46.3	47.2	46.6	47.7	46.5	46.6
	指数	100.0	99.6	98.9	99.1	99.6	101.5	100.2	102.6	100.0	100.2

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

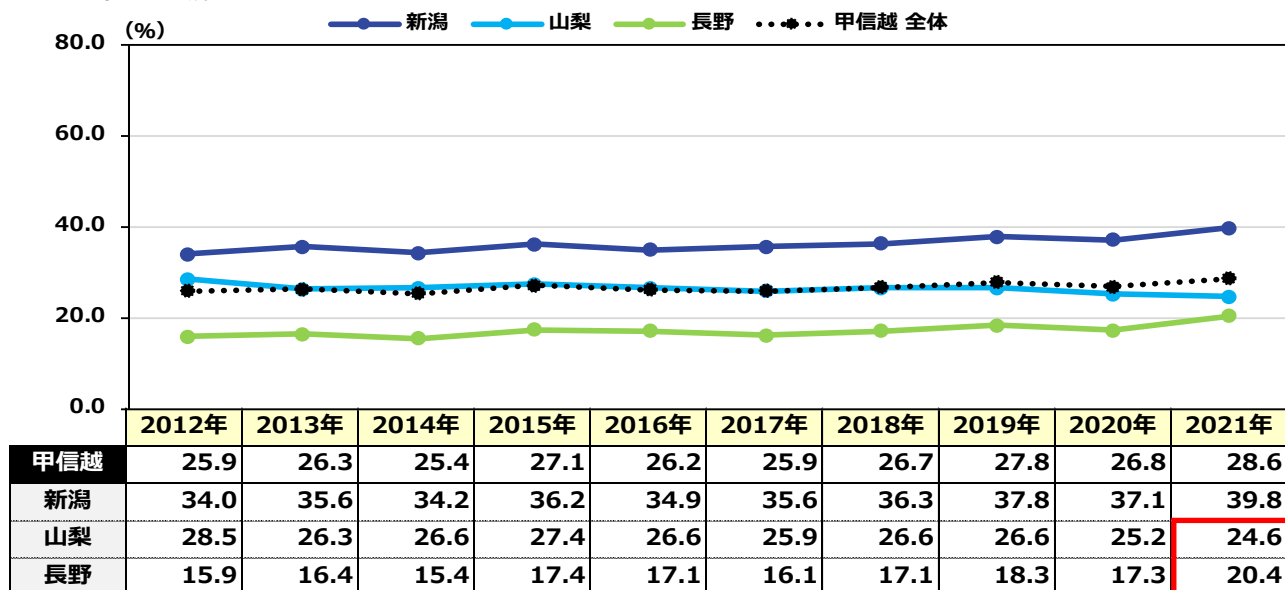
地元残留率の推移（全体：甲信越：2012～2021年）

リクルート進学総研
マーケットレポート
Vol.99 2022年6月号
(抜粋)

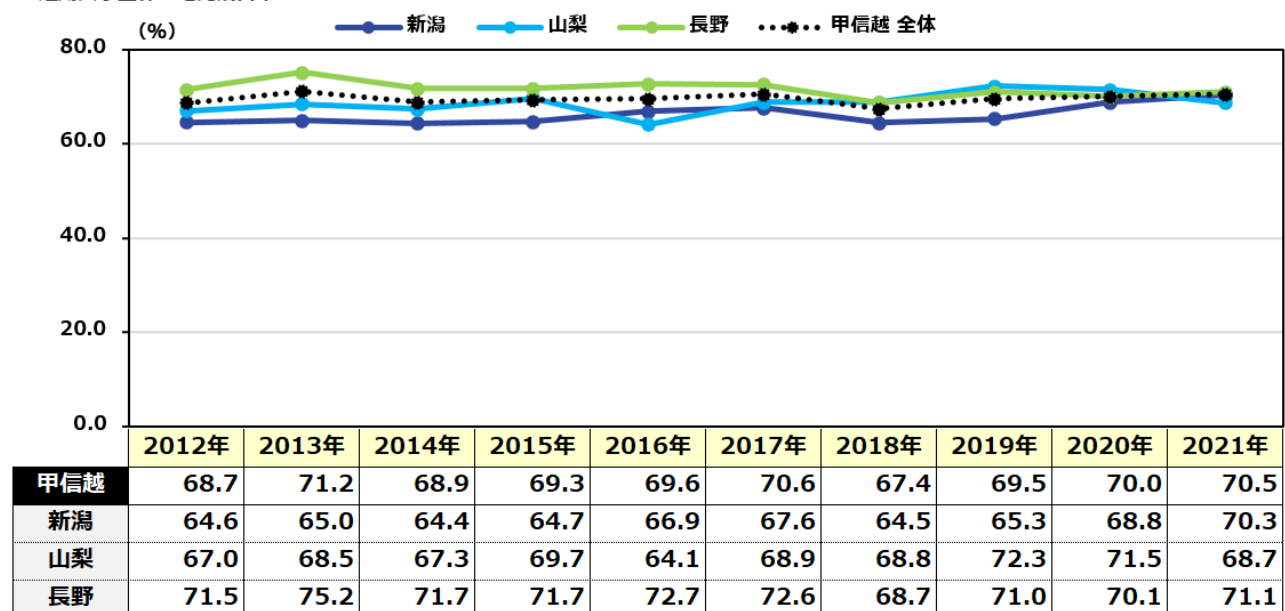
■大学は、2012年25.9%→2021年28.6%（2.7ポイント上昇）
短期大学は、2012年68.7%→2021年70.5%（1.8ポイント上昇）

- ・大学で上昇率が高いのは、新潟県（2012年34.0%→2021年39.8%、5.8ポイント上昇）。
- ・短期大学で上昇率が高いのも、新潟県（2012年64.6%→2021年70.3%、5.7ポイント上昇）。

大学全体：地元残留率



短期大学全体：地元残留率



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

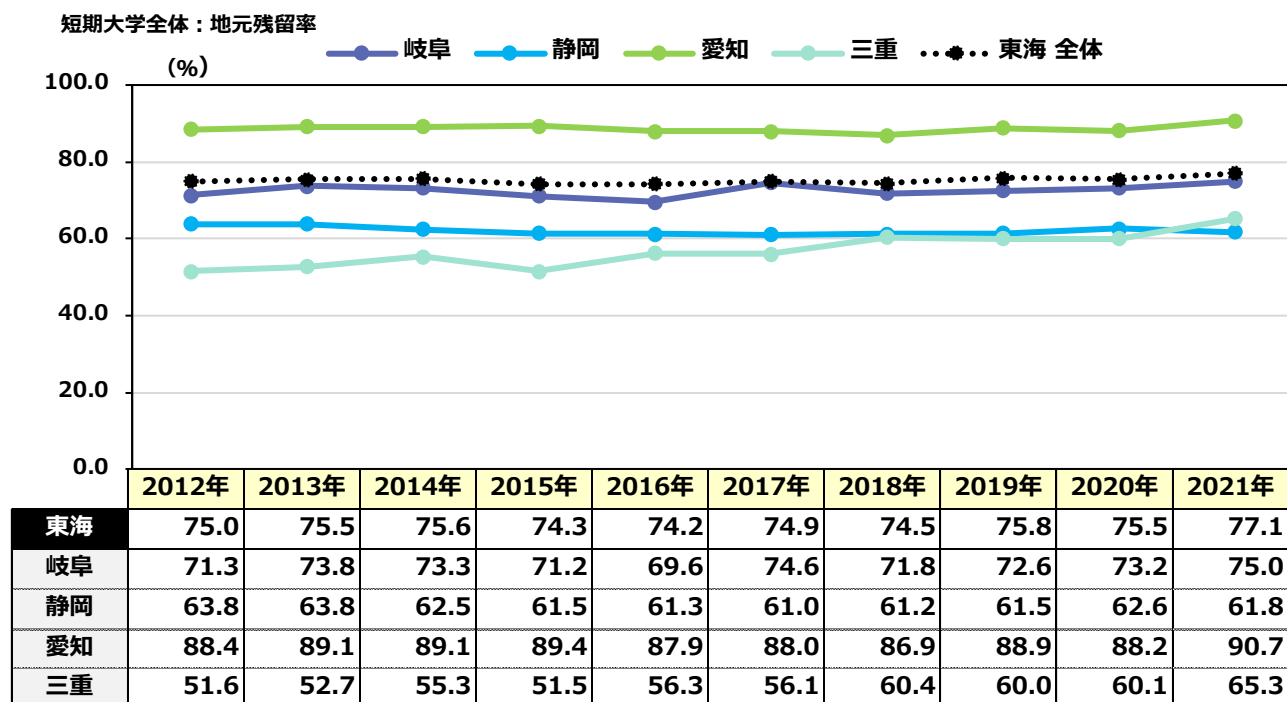
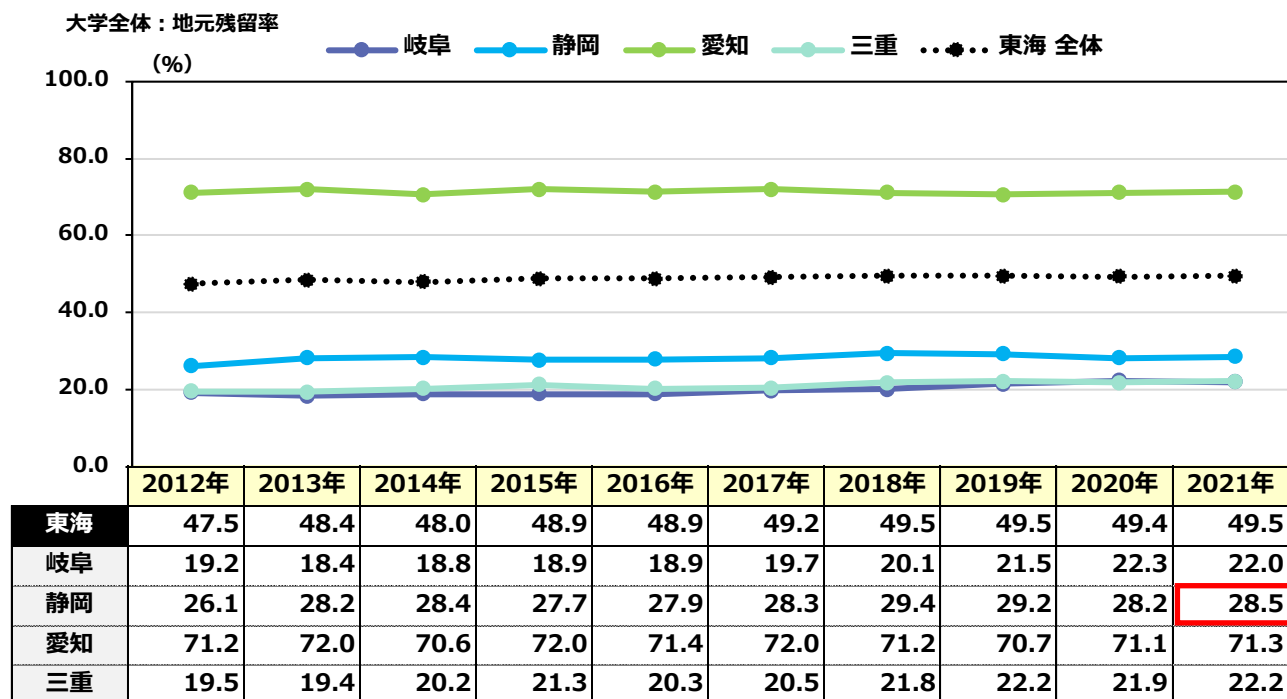
・残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

地元残留率の推移（全体：東海：2012～2021年）

リクルート進学総研
マーケットレポート
Vol.101 2022年6月号
(抜粋)

■大学は、2012年47.5%→2021年49.5%（2.0ポイント上昇）
短期大学は、2012年75.0%→2021年77.1%（2.1ポイント上昇）

- ・大学で上昇率が高いのは、岐阜県（2012年19.2%→2021年22.0%、2.8ポイント上昇）。
- ・短期大学で上昇率が高いのは、三重県（2012年51.6%→2021年65.3%、13.7ポイント上昇）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

○ 工学部の入試実施状況(R1～R5年度)

		R1	R2	R3	R4	R5
機械工学科	募集人員	55	55	55	55	55
	志願者数	243	157	103	184	142
	志願倍率	4.4	2.9	1.9	3.3	2.6
	受験者数	192	105	81	126	106
	合格者数	62	61	63	60	64
	入学者数	58	58	56	58	56
	充足率	105.5%	105.5%	101.8%	105.5%	101.8%
メカトロニクス工学科	募集人員	55	55	55	55	55
	志願者数	114	137	100	156	144
	志願倍率	2.1	2.5	1.8	2.8	2.6
	受験者数	89	118	78	113	93
	合格者数	59	59	59	62	61
	入学者数	56	58	54	52	55
	充足率	101.8%	105.5%	98.2%	94.5%	100.0%
電気電子工学科	募集人員	55	55	55	55	55
	志願者数	176	162	77	159	183
	志願倍率	3.2	2.9	1.4	2.9	3.3
	受験者数	150	130	51	115	145
	合格者数	60	60	58	63	61
	入学者数	57	56	52	57	56
	充足率	103.6%	101.8%	94.5%	103.6%	101.8%
コンピュータ理工学科	募集人員	55	55	55	55	55
	志願者数	177	243	195	207	180
	志願倍率	3.2	4.4	3.5	3.8	3.3
	受験者数	144	193	157	158	141
	合格者数	61	62	63	62	62
	入学者数	56	55	59	57	57
	充足率	101.8%	100.0%	107.3%	103.6%	103.6%
土木環境工学科	募集人員	55	55	55	55	55
	志願者数	178	186	158	127	96
	志願倍率	3.2	3.4	2.9	2.3	1.7
	受験者数	154	137	111	85	69
	合格者数	64	61	64	63	62
	入学者数	56	59	56	56	58
	充足率	101.8%	107.3%	101.8%	101.8%	105.5%
応用化学科	募集人員	55	55	55	55	55
	志願者数	188	125	119	144	137
	志願倍率	3.4	2.3	2.2	2.6	2.5
	受験者数	151	95	88	110	105
	合格者数	67	65	65	66	63
	入学者数	61	52	59	60	58
	充足率	110.9%	94.5%	107.3%	109.1%	105.5%
先端材料理工学科	募集人員	35	35	35	35	35
	志願者数	112	70	94	121	81
	志願倍率	3.2	2.0	2.7	3.5	2.3
	受験者数	100	50	67	81	60
	合格者数	43	44	39	42	41
	入学者数	37	35	36	35	37
	充足率	105.7%	100.0%	102.9%	100.0%	105.7%
学部 計	募集人員	365	365	365	365	365
	志願者数	1,188	1,080	846	1,098	963
	志願倍率	3.3	3.0	2.3	3.0	2.6
	受験者数	980	828	633	788	719
	合格者数	416	412	411	418	414
	入学者数	381	373	372	375	377
	充足率	104.4%	102.2%	101.9%	102.7%	103.3%

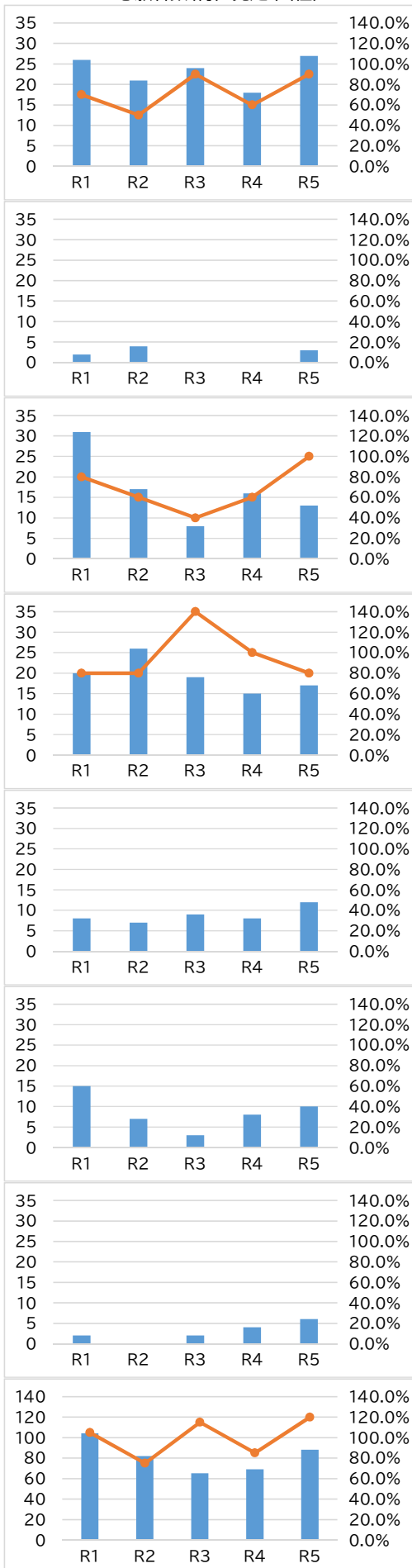
志願者数(青)・充足率(橙)



○ 工学部の3年次編入学試験実施状況(R1～R5年度)

		R1	R2	R3	R4	R5
機械工学科	募集人員	10	10	10	10	10
	志願者数	26	21	24	18	27
	志願倍率	2.6	2.1	2.4	1.8	2.7
	受験者数	25	20	20	18	27
	合格者数	13	16	12	12	12
	入学者数	7	5	9	6	9
	充足率	70.0%	50.0%	90.0%	60.0%	90.0%
メカトロニクス工学科	募集人員	若干人	若干人	若干人	若干人	若干人
	志願者数	2	4	0	0	3
	志願倍率	—	—	—	—	—
	受験者数	2	4	0	0	2
	合格者数	1	1	0	0	2
	入学者数	1	1	0	0	1
	充足率	—	—	—	—	—
電気電子工学科	募集人員	5	5	5	5	5
	志願者数	31	17	8	16	13
	志願倍率	6.2	3.4	1.6	3.2	2.6
	受験者数	31	17	7	15	13
	合格者数	18	7	2	8	9
	入学者数	4	3	2	3	5
	充足率	80.0%	60.0%	40.0%	60.0%	100.0%
コンピュータ理工学科	募集人員	5	5	5	5	5
	志願者数	20	26	19	15	17
	志願倍率	4.0	5.2	3.8	3.0	3.4
	受験者数	18	25	19	14	16
	合格者数	8	8	8	8	8
	入学者数	4	4	7	5	4
	充足率	80.0%	80.0%	140.0%	100.0%	80.0%
土木環境工学科	募集人員	若干人	若干人	若干人	若干人	若干人
	志願者数	8	7	9	8	12
	志願倍率	—	—	—	—	—
	受験者数	7	7	8	8	8
	合格者数	3	2	4	3	3
	入学者数	2	0	3	2	1
	充足率	—	—	—	—	—
応用化学科	募集人員	若干人	若干人	若干人	若干人	若干人
	志願者数	15	7	3	8	10
	志願倍率	—	—	—	—	—
	受験者数	11	7	3	6	10
	合格者数	5	3	3	4	5
	入学者数	2	2	1	0	0
	充足率	—	—	—	—	—
先端材料理工学科	募集人員	若干人	若干人	若干人	若干人	若干人
	志願者数	2	0	2	4	6
	志願倍率	—	—	—	—	—
	受験者数	2	0	2	4	5
	合格者数	2	0	2	4	5
	入学者数	1	0	1	1	4
	充足率	—	—	—	—	—
学部 計	募集人員	20	20	20	20	20
	志願者数	104	82	65	69	88
	志願倍率	5.2	4.1	3.3	3.5	4.4
	受験者数	96	80	59	65	81
	合格者数	50	37	31	39	44
	入学者数	21	15	23	17	24
	充足率	105.0%	75.0%	115.0%	85.0%	120.0%

志願者数(青)・充足率(橙)



○ 工学部各学科の男女別人数・割合(H30～R4年度入試)

■全選抜区分合計

【志願者】

※例：県内男子／(県内男子＋県内女子)

学科	性別	出身	H30	R1	R2	R3	R4	計	学科内の割合	同一出身区分内の割合(※)
機械工学科 (●)	男	県内	45	77	39	38	52	251	31.5%	96.2%
		県外	98	139	94	50	115	496	62.2%	92.4%
	女	県内	2	1	3	1	3	10	1.3%	3.8%
		県外	4	16	11	5	5	41	5.1%	7.6%
メカトロニクス工学科 (●)	男	県内	52	30	46	36	61	225	35.8%	94.9%
		県外	82	72	78	54	71	357	56.8%	91.1%
	女	県内	3	0	1	1	7	12	1.9%	5.1%
		県外	15	4	3	4	9	35	5.6%	8.9%
電気電子工学科 (●)	男	県内	29	47	35	25	46	182	26.3%	91.9%
		県外	109	114	114	41	93	471	68.0%	95.2%
	女	県内	1	3	1	3	8	16	2.3%	8.1%
		県外	8	3	4	4	5	24	3.5%	4.8%
コンピュータ理工学科 (◆)	男	県内	67	57	60	55	66	305	33.3%	85.7%
		県外	109	87	122	83	83	484	52.8%	86.3%
	女	県内	11	6	12	12	10	51	5.6%	14.3%
		県外	12	12	21	12	20	77	8.4%	13.7%
土木環境工学科 (◆)	男	県内	50	54	43	43	29	219	28.2%	81.7%
		県外	70	96	112	89	75	442	57.0%	87.0%
	女	県内	13	6	7	7	16	49	6.3%	18.3%
		県外	14	11	17	18	6	66	8.5%	13.0%
応用化学科 (▲)	男	県内	39	37	16	22	35	149	21.5%	64.5%
		県外	75	86	69	47	59	336	48.5%	72.7%
	女	県内	14	21	8	18	21	82	11.8%	35.5%
		県外	23	29	22	25	27	126	18.2%	27.3%
先端材料理工学科 (◆)	男	県内	34	17	15	17	38	121	24.5%	89.0%
		県外	61	76	43	63	69	312	63.3%	87.4%
	女	県内	4	4	2	3	2	15	3.0%	11.0%
		県外	10	11	8	6	10	45	9.1%	12.6%
学部 計	男	県内	316	319	254	236	327	1,452	29.0%	86.1%
		県外	604	670	632	427	565	2,898	58.0%	87.5%
	女	県内	48	41	34	45	67	235	4.7%	13.9%
		県外	86	86	86	74	82	414	8.3%	12.5%

※学科欄の記号は、一般選抜(前期)における個別学力検査・理科の選択科目を表す(●:物理必須、▲:化学必須、◆:物理・化学から選択)

【入学者】

学科	性別	出身	H30	R1	R2	R3	R4	計	学科内の割合	同一出身区分内の割合(※)
機械工学科 (●)	男	県内	22	18	20	21	16	97	35.1%	97.0%
		県外	31	33	29	30	36	159	57.6%	90.3%
	女	県内	1	0	1	0	1	3	1.1%	3.0%
		県外	2	6	5	2	2	17	6.2%	9.7%
メカトロニクス工学科 (●)	男	県内	10	19	20	13	20	82	30.9%	94.3%
		県外	37	34	33	37	25	166	62.6%	93.3%
	女	県内	2	1	0	1	1	5	1.9%	5.7%
		県外	3	0	2	2	5	12	4.5%	6.7%
電気電子工学科 (●)	男	県内	10	16	12	13	14	65	24.4%	89.0%
		県外	38	37	37	33	39	184	69.2%	95.3%
	女	県内	1	3	1	1	2	8	3.0%	11.0%
		県外	3	0	3	3	0	9	3.4%	4.7%
コンピュータ理工学科 (◆)	男	県内	19	17	16	23	21	96	35.3%	83.5%
		県外	30	29	28	25	25	137	50.4%	87.3%
	女	県内	2	3	4	6	4	19	7.0%	16.5%
		県外	3	4	4	3	6	20	7.4%	12.7%
土木環境工学科 (◆)	男	県内	16	13	10	14	14	67	24.5%	77.0%
		県外	30	35	35	33	32	165	60.4%	88.7%
	女	県内	5	2	3	3	7	20	7.3%	23.0%
		県外	3	3	7	5	3	21	7.7%	11.3%
応用化学科 (▲)	男	県内	17	18	9	9	12	65	23.2%	70.7%
		県外	25	27	30	32	28	142	50.7%	75.5%
	女	県内	3	6	6	5	7	27	9.6%	29.3%
		県外	7	9	6	12	12	46	16.4%	24.5%
先端材料理工学科 (◆)	男	県内	13	8	6	6	8	41	23.3%	87.2%
		県外	21	24	22	24	22	113	64.2%	87.6%
	女	県内	2	1	1	1	1	6	3.4%	12.8%
		県外	3	3	4	3	3	16	9.1%	12.4%
学部 計	男	県内	107	109	93	99	105	513	28.4%	85.4%
		県外	212	219	214	214	207	1,066	59.0%	88.3%
	女	県内	16	16	16	17	23	88	4.9%	14.6%
		県外	24	25	31	30	31	141	7.8%	11.7%

- ・各学科(応用化学科を除く)とも、志願者と入学者の女子割合はほぼ同じ(学部全体 志願者:13.0%、入学者:12.7%)であるが、応用化学科は入学者の女子割合の方がやや低い(志願者:30.0%、入学者:26.1%)【赤字】
- ⇒ 合格率について、男女間で大きな差はない(別途確認済み)
- ・入試で「化学」を選択できる学科(▲・◆)の方が女子割合が高く(志願者平均 ▲・◆:17.7%、●:6.5%)、特に応用化学科は高い(30.0%)【赤字】 ※他の国立応用化学系学科の女子割合は、本学と同様に30%程度
- ・女子割合について、学部全体では出身地による大きな差はない(志願者 県内:13.9%、県外:12.5%、計:13.0%)が、応用化学科は特に県内出身者の割合が高い(志願者 県内:35.5%、県外:27.3%、計:30.0%)【緑字】
- ・近年、応用化学科の県外出身・女子の入学者数が増加傾向(R3、R4:12人)。一方で、志願者数には大きな変化はない【青字】

○ 工学部各学科の男女別人数・割合(H30～R4年度入試)

■特別選抜(総合型Ⅰ・Ⅱ) ※R1以前はAO・推薦

【志願者】

※例: 県内男子/(県内男子+県内女子)

学科	性別	出身	H30	R1	R2	R3	R4	計	学科内の割合		同一出身区分内の割合(※)
機械工学科	男	県内	15	13	11	12	10	61	58.7%	96.2%	100.0%
		県外	16	8	6	7	2	39	37.5%		90.7%
	女	県内	0	0	0	0	0	0	0.0%	3.8%	0.0%
		県外	1	1	0	1	1	4	3.8%		9.3%
メカトロニクス工学科	男	県内	9	10	11	3	8	41	54.7%	90.7%	93.2%
		県外	10	6	7	1	3	27	36.0%		87.1%
	女	県内	1	0	1	0	1	3	4.0%	9.3%	6.8%
		県外	3	0	1	0	0	4	5.3%		12.9%
電気電子工学科	男	県内	11	13	10	1	6	41	51.9%	88.6%	89.1%
		県外	12	9	6	1	1	29	36.7%		87.9%
	女	県内	0	2	1	0	2	5	6.3%	11.4%	10.9%
		県外	0	0	3	1	0	4	5.1%		12.1%
コンピュータ理工学科	男	県内	12	17	11	18	26	84	46.7%	82.8%	84.0%
		県外	9	13	8	15	20	65	36.1%		81.3%
	女	県内	2	1	3	6	4	16	8.9%	17.2%	16.0%
		県外	3	0	1	4	7	15	8.3%		18.8%
土木環境工学科	男	県内	16	21	11	10	4	62	51.2%	78.5%	77.5%
		県外	7	10	12	2	2	33	27.3%		80.5%
	女	県内	4	5	4	1	4	18	14.9%	21.5%	22.5%
		県外	2	3	2	1	0	8	6.6%		19.5%
応用化学科	男	県内	12	21	6	6	5	50	29.9%	70.1%	64.1%
		県外	10	19	12	14	12	67	40.1%		75.3%
	女	県内	1	7	7	5	8	28	16.8%	29.9%	35.9%
		県外	3	3	5	6	5	22	13.2%		24.7%
先端材料理工学科	男	県内	4	2	1	1	0	8	44.4%	83.3%	88.9%
		県外	3	1	2	0	1	7	38.9%		77.8%
	女	県内	0	1	0	0	0	1	5.6%	16.7%	11.1%
		県外	0	0	1	0	1	2	11.1%		22.2%
学部 計	男	県内	79	97	61	51	59	347	46.6%	82.5%	83.0%
		県外	67	66	53	40	41	267	35.9%		81.9%
	女	県内	8	16	16	12	19	71	9.5%	17.5%	17.0%
		県外	12	7	13	13	14	59	7.9%		18.1%

【入学者】

学科	性別	出身	H30	R1	R2	R3	R4	計	学科内の割合		同一出身区分内の割合(※)
機械工学科	男	県内	8	7	7	10	10	42	70.0%	96.7%	100.0%
		県外	2	3	3	6	2	16	26.7%		88.9%
	女	県内	0	0	0	0	0	0	0.0%	3.3%	0.0%
		県外	0	0	0	1	1	2	3.3%		11.1%
メカトロニクス工学科	男	県内	6	10	9	3	7	35	60.3%	91.4%	94.6%
		県外	7	4	5	0	2	18	31.0%		85.7%
	女	県内	1	0	0	0	1	2	3.4%	8.6%	5.4%
		県外	2	0	1	0	0	3	5.2%		14.3%
電気電子工学科	男	県内	7	9	8	0	2	26	63.4%	85.4%	89.7%
		県外	5	2	2	0	0	9	22.0%		75.0%
	女	県内	0	2	1	0	0	3	7.3%	14.6%	10.3%
		県外	0	0	2	1	0	3	7.3%		25.0%
コンピュータ理工学科	男	県内	5	7	5	11	8	36	47.4%	80.3%	78.3%
		県外	6	4	5	4	6	25	32.9%		83.3%
	女	県内	1	1	1	4	3	10	13.2%	19.7%	21.7%
		県外	0	0	1	1	3	5	6.6%		16.7%
土木環境工学科	男	県内	8	7	4	10	4	33	47.8%	75.4%	73.3%
		県外	4	4	7	2	2	19	27.5%		79.2%
	女	県内	3	2	2	1	4	12	17.4%	24.6%	26.7%
		県外	0	2	2	1	0	5	7.2%		20.8%
応用化学科	男	県内	9	12	5	5	4	35	33.0%	69.8%	66.0%
		県外	9	7	8	10	5	39	36.8%		73.6%
	女	県内	1	4	5	3	5	18	17.0%	30.2%	34.0%
		県外	3	0	4	4	3	14	13.2%		26.4%
先端材料理工学科	男	県内	3	1	1	1	0	6	46.2%	84.6%	85.7%
		県外	1	1	2	0	1	5	38.5%		83.3%
	女	県内	0	1	0	0	0	1	7.7%	15.4%	14.3%
		県外	0	0	1	0	0	1	7.7%		16.7%
学部 計	男	県内	46	53	39	40	35	213	50.4%	81.3%	82.2%
		県外	34	25	32	22	18	131	31.0%		79.9%
	女	県内	6	10	9	8	13	46	10.9%	18.7%	17.8%
		県外	5	2	11	8	7	33	7.8%		20.1%

・特別選抜は一般選抜(次頁)と比べ県内出身者の割合が高く(志願者 特別選抜:約56%、一般選抜:約30%)、特に入学者については、志願者のそれよりも高い(志願者 特別選抜:約61%、一般選抜:約25%)【赤字】
 ・各学科(応用化学科を除く)とも、特別選抜は一般選抜(次頁)と比べ女子割合が高い(志願者 特別選抜:17.5%、一般選抜:12.2%)が、応用化学科は一般選抜とほぼ同じ(志願者 特別選抜:29.9%、一般選抜:30.0%)【緑字】
 ⇒ 他の国立応用化学系学科は特別選抜の方が女子割合が高い(特別選抜:30～40%程度、一般選抜:20～30%程度)ことから、本学応用化学科は更に(他大学と同水準まで)特別選抜の女子割合を高められる余地があると考えられる。

○ 工学部各学科の男女別人数・割合(H30～R4年度入試)

■一般選抜(前期・後期)

【志願者】

※例：県内男子／(県内男子＋県内女子)

学科	性別	出身	H30	R1	R2	R3	R4	計	学科内の割合	同一出身区分内の割合(※)
機械工学科(●)	男	県内	30	64	28	26	42	190	27.4%	95.0%
		県外	82	131	88	43	113	457	65.9%	92.5%
	女	県内	2	1	3	1	3	10	1.4%	6.8%
		県外	3	15	11	4	4	37	5.3%	7.5%
メカトロニクス工学科(●)	男	県内	43	20	35	33	53	184	33.2%	95.3%
		県外	72	66	71	53	68	330	59.6%	91.4%
	女	県内	2	0	0	1	6	9	1.6%	7.2%
		県外	12	4	2	4	9	31	5.6%	8.6%
電気電子工学科(●)	男	県内	18	34	25	24	40	141	23.0%	92.8%
		県外	97	105	108	40	92	442	72.0%	95.7%
	女	県内	1	1	0	3	6	11	1.8%	7.2%
		県外	8	3	1	3	5	20	3.3%	4.3%
コンピュータ理工学科(◆)	男	県内	55	40	49	37	40	221	30.0%	86.8%
		県外	100	74	114	68	63	419	56.9%	87.1%
	女	県内	9	5	9	6	6	35	4.7%	13.7%
		県外	9	12	20	8	13	62	8.4%	12.9%
土木環境工学科(◆)	男	県内	34	33	32	33	25	157	24.0%	86.4%
		県外	63	86	100	87	73	409	62.4%	87.6%
	女	県内	9	1	3	6	12	31	4.7%	16.5%
		県外	12	8	15	17	6	58	8.9%	12.4%
応用化学科(▲)	男	県内	27	16	10	16	30	99	18.8%	70.0%
		県外	65	67	57	33	47	269	51.1%	72.1%
	女	県内	13	14	1	13	13	54	10.3%	30.0%
		県外	20	26	17	19	22	104	19.8%	27.9%
先端材料理工学科(◆)	男	県内	30	15	14	16	38	113	23.8%	88.0%
		県外	58	75	41	63	68	305	64.2%	87.6%
	女	県内	4	3	2	3	2	14	2.9%	12.0%
		県外	10	11	7	6	9	43	9.1%	12.4%
学部 計	男	県内	237	222	193	185	268	1,105	26.0%	87.1%
		県外	537	604	579	387	524	2,631	61.8%	88.1%
	女	県内	40	25	18	33	48	164	3.9%	12.9%
		県外	74	79	73	61	68	355	8.3%	11.9%

※学科欄の記号は、一般選抜(前期)における個別学力検査・理科の選択科目を表す(●:物理必須、▲:化学必須、◆:物理・化学から選択)

【入学者】

学科	性別	出身	H30	R1	R2	R3	R4	計	学科内の割合	同一出身区分内の割合(※)
機械工学科(●)	男	県内	14	11	13	11	6	55	25.5%	91.7%
		県外	29	30	26	24	34	143	66.2%	90.5%
	女	県内	1	0	1	0	1	3	1.4%	8.3%
		県外	2	6	5	1	1	15	6.9%	9.5%
メカトロニクス工学科(●)	男	県内	4	9	11	10	13	47	22.7%	94.2%
		県外	30	30	28	37	23	148	71.5%	94.3%
	女	県内	1	1	0	1	0	3	1.4%	5.8%
		県外	1	0	1	2	5	9	4.3%	5.7%
電気電子工学科(●)	男	県内	3	7	4	13	12	39	17.3%	95.1%
		県外	33	35	35	33	39	175	77.8%	96.7%
	女	県内	1	1	0	1	2	5	2.2%	4.9%
		県外	3	0	1	2	0	6	2.7%	3.3%
コンピュータ理工学科(◆)	男	県内	14	10	11	12	13	60	30.6%	87.8%
		県外	24	25	23	21	19	112	57.1%	88.2%
	女	県内	1	2	3	2	1	9	4.6%	12.2%
		県外	3	4	3	2	3	15	7.7%	11.8%
土木環境工学科(◆)	男	県内	8	6	6	4	10	34	16.7%	88.2%
		県外	26	31	28	31	30	146	71.6%	90.1%
	女	県内	2	0	1	2	3	8	3.9%	11.8%
		県外	3	1	5	4	3	16	7.8%	9.9%
応用化学科(▲)	男	県内	8	6	4	4	8	30	17.2%	76.4%
		県外	16	20	22	22	23	103	59.2%	76.3%
	女	県内	2	2	1	2	2	9	5.2%	23.6%
		県外	4	9	2	8	9	32	18.4%	23.7%
先端材料理工学科(◆)	男	県内	10	7	5	5	8	35	21.5%	87.7%
		県外	20	23	20	24	21	108	66.3%	87.8%
	女	県内	2	0	1	1	1	5	3.1%	12.3%
		県外	3	3	3	3	3	15	9.2%	12.2%
学部 計	男	県内	61	56	54	59	70	300	21.7%	89.2%
		県外	178	194	182	192	189	935	67.5%	89.6%
	女	県内	10	6	7	9	10	42	3.0%	10.8%
		県外	19	23	20	22	24	108	7.8%	10.4%

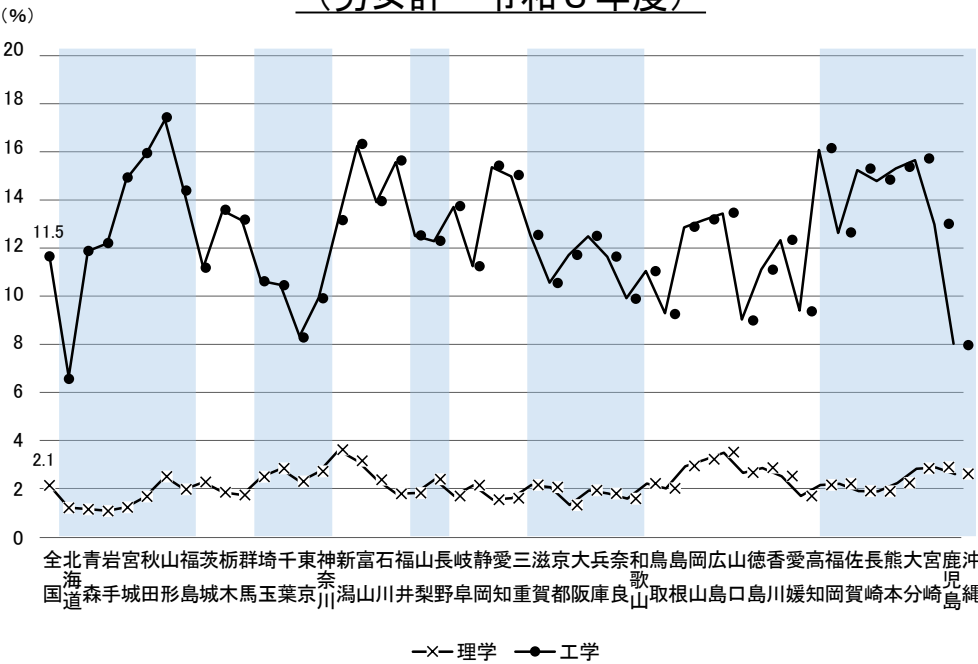
- ・各学科(応用化学科を除く)とも、志願者と入学者の女子割合はほぼ同じ(学部全体 志願者:12.2%、入学者:10.8%)であるが、応用化学科は入学者の女子割合の方が6%以上低い(志願者:30.0%、入学者:23.6%)【赤字】
- ・各学科(応用化学科を除く)とも、一般選抜は特別選抜(前頁)と比べ女子割合が低い(志願者 一般選抜:12.2%、特別選抜:17.5%)が、応用化学科は特別選抜とほぼ同じ(一般選抜:30.0%、特別選抜:29.9%)【赤字】
- ⇒ 他の国立応用化学系学科は、一般選抜の方が女子割合が低い(一般選抜:20～30%程度、特別選抜:30～40%程度)
- ・近年、応用化学科の県外出身・女子の入学者数が増加傾向(R3:8人、R4:9人)。一方で、志願者数には大きな変化はない【緑字】
- ・一般選抜は特別選抜(前頁)と比べ県内出身者の割合が低く(志願者 一般選抜:約30%、特別選抜:約56%)、特に入学者については、志願者のそれよりも低い(一般選抜:約25%、特別選抜:約61%)【青字】

Ⅱ. 理工系分野への女性の進学状況（統計に基づく集計・分析）

令和3年度内閣府調査
「女子生徒等の理工系分野への
進路選択における地域性についての
調査研究」【概要】（抜粋）
別添資料14

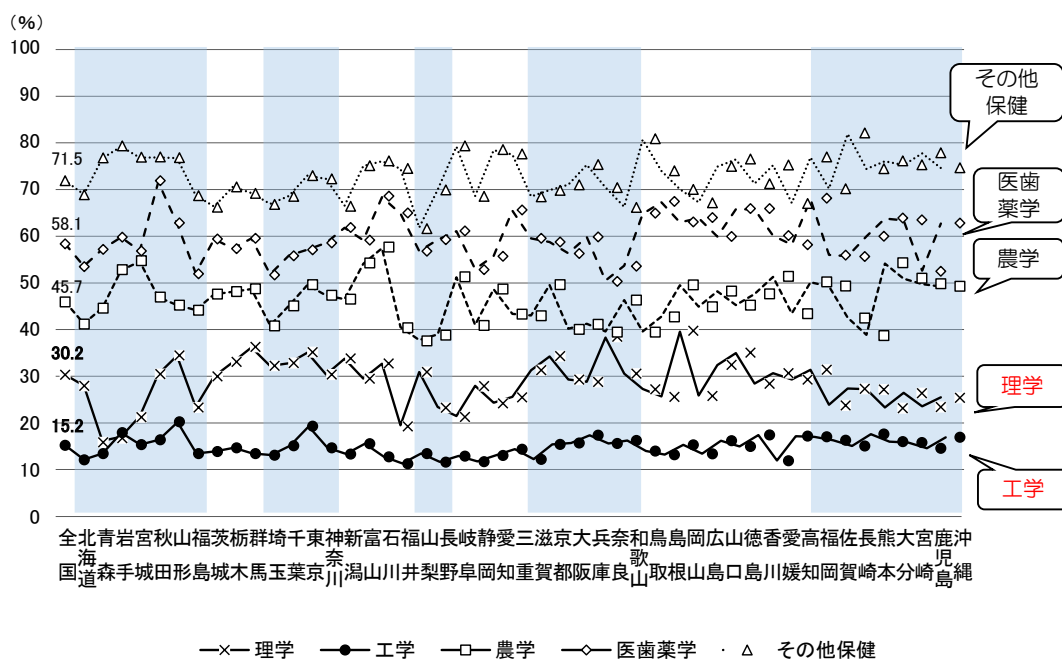
- 大学入学者に占める理工系分野入学者の割合は、全国では「理学」が2.1%、「工学」が11.5%。
- 分野別にみた、入学者に占める女性比率の全国数値は、「理学」分野が30.2%、「工学」分野が15.2%。都道府県によっても開きがみられる。

図表1 大学入学者に占める理工系分野入学者の割合
（男女計・令和3年度）



出典）文部科学省（2021）「令和3年度学校基本調査」
注1）専攻分野は「令和3年度 大学学部番号」の分類に基づいて算出している。このため、「全国」の数値は文部科学省が公表している「関係学科別大学入学状況」より算出される理工系分野入学者の割合とは数値が異なる。
注2）大学入学者に占める理工系分野入学者の割合は、高校所在地県における大学入学者のうち、理学分野と工学分野に分類される学部への入学者の割合を示す。

図表2 分野別入学者に占める女性比率
（令和3年度）

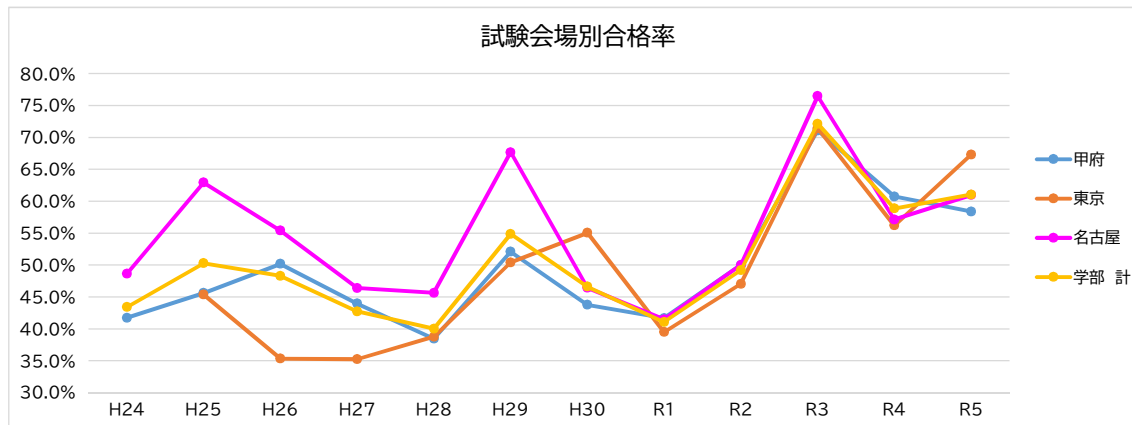


出典）文部科学省（2021）「令和3年度学校基本調査」
注1）専攻分野は「令和3年度 大学学部番号」の分類に基づいて算出している。このため、「全国」の数値は文部科学省が公表している「関係学科別大学入学状況」より算出される女性比率とは数値が異なる。なお、「医歯薬学」と「その他保健」については、「令和3年度 大学学部番号」の大分類「保健（M,N,O）」のうち、M01～M10、M16～M18、M48、M61を「医歯薬学」、その他を「その他保健」として分類している。
注2）分野別入学者に占める女性比率は、高校所在地県における各分野への入学者のうち、女性の入学者の割合を示す。

○ 工学部における試験会場別入試実施状況【一般選抜(前期)】

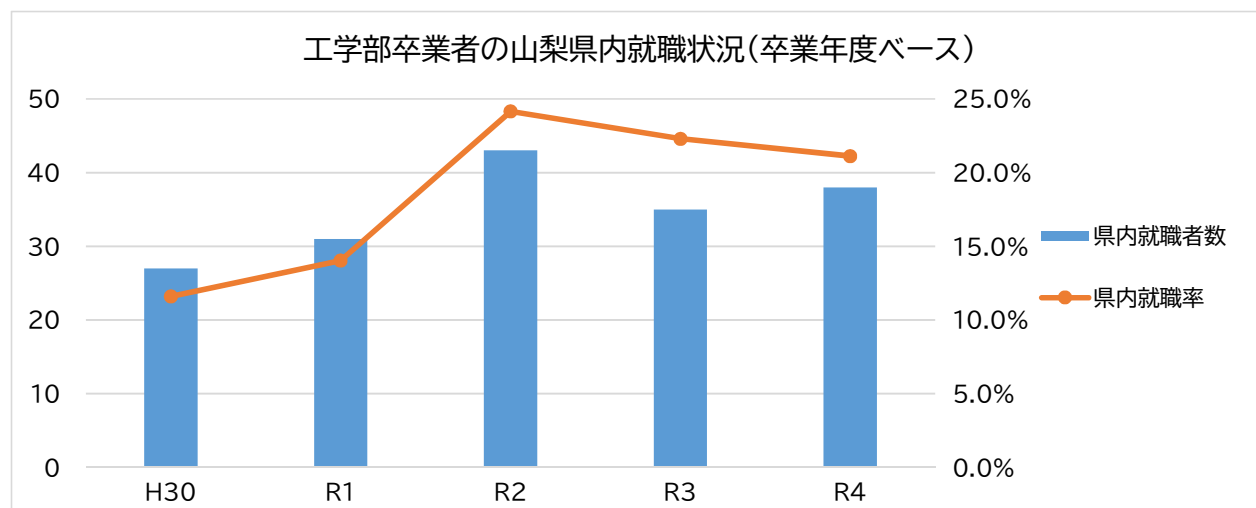
年度	試験会場	志願者数	受験者数	合格者数	合格率	入学者数
H24	甲府	479	460	192	41.7%	173
	東京	—	—	—	—	—
	名古屋	158	148	72	48.6%	69
	計	637	608	264	43.4%	242
H25	甲府	275	263	120	45.6%	123
	東京	123	119	54	45.4%	36
	名古屋	149	143	90	62.9%	83
	計	547	525	264	50.3%	242
H26	甲府	305	277	139	50.2%	124
	東京	102	116	41	35.3%	34
	名古屋	151	139	77	55.4%	68
	計	558	532	257	48.3%	226
H27	甲府	365	348	153	44.0%	140
	東京	141	139	49	35.3%	42
	名古屋	173	166	77	46.4%	67
	計	679	653	279	42.7%	249
H28	甲府	377	364	140	38.5%	131
	東京	173	165	64	38.8%	57
	名古屋	143	138	63	45.7%	58
	計	693	667	267	40.0%	246
H29	甲府	277	263	137	52.1%	123
	東京	127	121	61	50.4%	46
	名古屋	105	99	67	67.7%	62
	計	509	483	265	54.9%	231

年度	試験会場	志願者数	受験者数	合格者数	合格率	入学者数
H30	甲府	325	313	137	43.8%	124
	東京(横浜)	119	109	60	55.0%	49
	名古屋	116	112	52	46.4%	48
	計	560	534	249	46.6%	221
R1	甲府	330	319	133	41.7%	124
	東京	178	162	64	39.5%	54
	名古屋	150	147	61	41.5%	56
	計	658	628	258	41.1%	234
R2	甲府	276	264	132	50.0%	122
	東京	149	136	64	47.1%	47
	名古屋	113	108	54	50.0%	51
	計	538	508	250	49.2%	220
R3	甲府	246	211	150	71.1%	137
	東京	114	105	75	71.4%	57
	名古屋	69	68	52	76.5%	49
	計	429	384	277	72.1%	243
R4	甲府	307	265	161	60.8%	149
	東京	132	121	68	56.2%	51
	名古屋	111	105	60	57.1%	55
	計	550	491	289	58.9%	255
R5	甲府	272	238	139	58.4%	130
	東京	107	101	68	67.3%	57
	名古屋	134	123	75	61.0%	67
	計	513	462	282	61.0%	254
H24～R5 計	甲府	3,834	3,585	1,733	48.3%	1,470
	東京	1,465	1,394	668	47.9%	473
	名古屋	1,572	1,496	800	53.5%	666
	計	6,871	6,475	3,201	49.4%	2,609



○ 工学部卒業者の山梨県内就職状況(H30～R4年度卒業)

		H30	R1	R2	R3	R4
機械工学科	卒業者数	59	65	63	65	62
	就職者数(A)	38	36	21	26	32
	県内就職者数(B)	2	4	2	3	6
	県内就職率(B/A)	5.3%	11.1%	9.5%	11.5%	18.8%
メカトロニクス工学科	卒業者数	53	50	53	47	53
	就職者数(A)	27	27	26	25	24
	県内就職者数(B)	4	2	9	5	8
	県内就職率(B/A)	14.8%	7.4%	34.6%	20.0%	33.3%
電気電子工学科	卒業者数	60	56	59	52	54
	就職者数(A)	38	31	22	14	24
	県内就職者数(B)	2	3	6	1	2
	県内就職率(B/A)	5.3%	9.7%	27.3%	7.1%	8.3%
コンピュータ理工学科	卒業者数	65	57	52	49	52
	就職者数(A)	44	42	28	26	26
	県内就職者数(B)	6	5	5	6	2
	県内就職率(B/A)	13.6%	11.9%	17.9%	23.1%	7.7%
土木環境工学科	卒業者数	56	62	60	56	60
	就職者数(A)	47	45	45	43	38
	県内就職者数(B)	7	11	10	8	8
	県内就職率(B/A)	14.9%	24.4%	22.2%	18.6%	21.1%
応用化学科	卒業者数	56	54	53	53	59
	就職者数(A)	17	23	11	14	19
	県内就職者数(B)	3	5	4	7	11
	県内就職率(B/A)	17.6%	21.7%	36.4%	50.0%	57.9%
先端材料理工学科	卒業者数	42	34	35	29	42
	就職者数(A)	22	17	25	9	17
	県内就職者数(B)	3	1	7	5	1
	県内就職率(B/A)	13.6%	5.9%	28.0%	55.6%	5.9%
学部 計	卒業者数	391	378	375	351	382
	就職者数(A)	233	221	178	157	180
	県内就職者数(B)	27	31	43	35	38
	県内就職率(B/A)	11.6%	14.0%	24.2%	22.3%	21.1%



3.2 先端 IT 人材・従来型 IT 人材の需給

IT 分野では、AI や IoT、ビッグデータ活用等、いわゆるデジタル技術の進展が目覚ましいことから、新たな IT 需要が拡大し、IT 需要構造が変化するとみられている。そのため、単純に IT 需要の拡大に応じて IT 人材需要が拡大するという見解だけでは、将来の IT 人材の需給を見誤る可能性がある。需要構造の変化と人材供給のバランスや需要構造に応じたスキル獲得（スキル転換）が出来なければ、例えば、デジタル技術に対応した IT 人材（先端 IT 人材）は需要が供給を上回る一方で、従来型の需要に対応した IT 人材（従来型 IT 人材）は、供給が需要を上回る状況を生み出す可能性もある。

以下には、IT 人材（全体）の需給と同様に、生産性上昇率を「0.7%」、IT 需要の伸びの「低位」を 1%、「中位」を 2～5%、従来型 IT 人材から先端 IT 人材への「Re スキル率」を「1.0%」とする場合を基本とした上で、IT 需要の伸び、生産性上昇、スキル転換の IT 人材需給への影響を分析する。

3.2.1 先端 IT 人材・従来型 IT 人材の需要と供給の差（需給ギャップ）分析

前述の条件に基づく基本ケースの場合の 2030 年の先端 IT 人材・従来型 IT 人材の需給ギャップは表 3-14 のとおりである。

表 3-14 2030 年時点の先端 IT 人材・従来型 IT 人材の需給ギャップ（生産性上昇率 0.7%）

IT 需要の伸び		IT 人材需給ギャップ	
Re スキル率（1.0%固定）		従来型 IT 人材	先端 IT 人材
IT 需要の伸び「低位」	1%	△22.0 万人	38.4 万人
IT 需要の伸び「中位」	2～5%	△9.7 万人	54.5 万人

無印：需要数＞供給数、△：供給数＞需要数

（出所）試算結果をもとにみずほ情報総研作成

IT 需要の伸びが「低位」のケースでは、2030 年時点で、先端 IT 人材は、需要が供給を 38.4 万人上回る一方で、従来型 IT 人材は、供給が需要を 22.0 万人上回る。この結果から、先端 IT 人材と従来型 IT 人材の単純な合算では、需要が供給を 16.4 万人上回る結果となるが、先端 IT 人材を従来型 IT 人材が代替できないとすれば、IT 需要に対応した実質的な IT 人材の需給ギャップは、38.4 万人となる。また、IT 需要の伸びが「中位」のケースでは、**先端 IT 人材は、需要が供給を 54.5 万人上回り**、従来型 IT 人材は、供給が需要を 9.7 万人上回り、実質的な IT 人材の需給ギャップは 54.5 万人となる。

また、生産性の上昇率を 2030 年時点での IT 人材需給ギャップゼロを実現する水準とした場合（表 3-6 参照）には、IT 需要の伸びが「中位」であれば、先端 IT 人材は、需要が供給を 29.1 万人上回る一方で、従来型 IT 人材は、供給が需要を 29.1 万人上回り、実質的な IT 人材の需給ギャップは 29.1 万人（需要が供給を上回る）となる。

グリーン分野において地域で必要とされる人材

別添資料18
第3回教育未来創造会議（R4.3.10）
資料3「参考データ集」（抜粋）

○脱炭素推進に当たり、外部人材の知見を必要とする自治体が大多数。「全体方針の検討」のニーズが高い他、分野毎では「再エネ・省エネの知識」、「地域課題解決」の能力の求めが高い。

● 2050カーボンニュートラル表明自治体における外部人材のニーズ

脱炭素推進にあたり外部人材
の知見を必要とする自治体

9割

（回答数 = 250）

「全体的な方針、計画の検討」
の外部人材が必要とした自治体

2 / 3

（回答数 = 250、単一回答）

（出所）脱炭素分野専門人材の市町村派遣に向けた調査等業務報告書（内閣府地方創生推進室）から作成

● 自治体における地域脱炭素の取組で人材が必要とされている分野

再エネの開発・売買・維持管理や省エネ事業に精通

462

地域課題解決に向き合える

349

地元関係者との利害調整ができる

301

ITや新技術（AI、IoT）に精通

268

経営能力がある

190

その他

30

（回答自治体数 = 508、複数回答）

（出所）「脱炭素先行地域づくり」の実現に向けた調査（環境省）から作成。 15